



サイディング簡易積算システム

SDデザイナー

Operation Manual

(操作マニュアル)

 株式会社SHF

Ver 2.1.0.0

SD20000W000-02-01

contents

STEP1 はじめに

1-A	マウス操作の基本	
	1 クリック	1-1
	2 ダブルクリック	1-1
	3 ドラッグ	1-1
1-B	マウスを使った画面操作（各画面共通）	
	1 画面を拡大する	1-2
	2 画面を標準サイズに戻す	1-3
	3 前画面倍率で表示する	1-3
	4 画面を記憶させる	1-4
	5 まとめ	1-4
1-C	SDデザイナーの起動	
	1 スタートメニューから起動する	1-5
	2 デスクトップから起動する	1-5

STEP2 物件選択

2-A	新規物件の登録	
	1 工事概要の入力	2-1
	2 初期値設定の入力をする	2-2
	3 立面用部材（副資材）を入力する	2-3
	4 帳票の設定をする	2-5
2-B	既存物件の選択・修正	
	1 工事物件の選択	2-6
	2 工事物件の概要の変更	2-7
	3 工事物件の削除	2-7
	4 工事物件のコピー	2-8
	5 工事一覧の更新	2-8
	<工事名称の更新>	2-9

contents

STEP3 プラン入力

3-A	入力画面機能詳細	
1	入力画面	3-1
2	入力詳細	
	①システム入力手順ボタン	3-2
	②データツールボタン	3-2
	③設定ツールボタン	3-4
	④入力表示ツールボタン	3-7
3-B	立面図入力（BMPデータ読み込み）	
1	BMPファイルデータの読み込み	3-8
2	BMPデータの角度補正	3-9
3	BMPデータのエリアと基点の指示	3-10
4	BMPデータの縮尺設定	3-11
5	BMPデータの保存と終了	3-12
6	立面へのBMPデータの表示	3-12
3-C	立面の壁処理	
1	壁の入力	3-13
	1点入力	3-14
	2点入力	3-14
	フリー入力	3-15
2	壁の修正	3-16
	点移動	3-17
	線移動	3-17
	コピー／移動	3-18
	壁コピー（移動）の設定詳細	3-19
	ボタン表示のない壁の修正機能	3-20
	削除	3-20
	情報	3-20
	分割	3-21
	コピー	3-21
	入力補助ボタン	
	画面の移動・拡大縮小・UNDO・REDO	3-22
	移動・削除	3-22
	重複部の選択	3-23
	立面情報	3-23

contents

3-D	立面のコーナー処理	
1	コーナーの入力	3-24
	1点入力	3-25
	2点入力	3-25
	ライン入力	3-25
2	コーナーの修正	3-26
	点移動	3-27
	コピー／移動	3-27
	コーナーコピー（移動）の設定詳細	3-28
	ボタン表示のないコーナーの修正機能	3-28
	削除	3-29
	情報	3-29
	コピー	3-29
3-E	立面の開口処理	
1	開口の入力	3-30
	1点入力	3-30
	2点入力	3-31
2	開口の修正	3-31
	点移動	3-32
	コピー／移動	3-32
	開口コピー（移動）の設定詳細	3-33
	ボタン表示のない開口の修正機能	3-33
	削除	3-34
	情報	3-34
	分割	3-35
	コピー	3-35
3	特殊開口の入力	3-36
3-F	その他の立面の入力処理	
1	切欠き処理	3-37
2	補助線の入力	3-38
3	補助線の修正	3-39
	ボタン表示のない補助線の修正機能	3-40

contents

3-G	その他の立面図入力	
1	デジタイザーを利用した入力	3-41
	自動縮尺判定機能	3-41
2	手入力	3-42
3	DXFデータを利用した入力	3-42
4	『Ex_HOMES』の出力データを利用した入力	3-45
5	『実測くん』の出力データを利用した入力	3-46

STEP4 割付

4-A	割付画面機能詳細	
1	割付画面	4-1
2	画面詳細	
	パネル表示切替（網掛有無）	4-2
	パネル表示切替（設定色）	4-2
	パネル情報	4-4
4-B	壁の割付処理	
1	【全】割付	4-5
	パネル割付処理詳細	4-6
	①割付	4-6
	②割付用目地設定	4-7
	③目地	4-8
	④製品	4-9
	⑤出隅コーナー	4-10
	⑥入隅コーナー	4-11
	⑦木口コーナー	4-11
2	【面】割付	4-11
	割付	4-12
	目地	4-13
3	個々の壁の割付	4-14
4	個々の壁に対する割付用目地の設定	4-15
	割付用目地位置設定詳細	4-16
5	割付用目地の削除	4-16
6	割付用目地の移動とコピー	4-17

contents

4-G	壁割付の修正処理	
1	目地処理（割付後）	4-18
	目地位置設定詳細	4-19
	目地削除	4-19
	開口位置合わせ	4-20
2	製品変更	
	個別指定	4-21
	複数パネルの選択	4-22
	製品指定	4-22
	区分指定	4-23
	全体指定	4-23
3	パネル区分変更	
	個別指定	4-24
	製品指定	4-24
	区分指定	4-25
	全体指定	4-25
4	パネル枚数変更	
	個別指定	4-26
	製品指定	4-26
	区分指定	4-27
	全体指定	4-27
5	半裁パネル処理	
	上（左）半裁パネル指定	4-28
	複数パネルの選択	4-28
	下（右）半裁パネル指定	4-29
	半裁パネル指定の解除	4-29
6	板取り処理	4-30
7	パネル情報の表示	4-31
8	処理範囲の固定	4-32
4-D	コーナー割付処理	
1	個々のコーナーの割付	4-33

contents

4-E	コーナー割付の修正処理	
	1 目地処理（割付後）	
	目地入力	4-34
	目地削除	4-35
	2 製品変更	
	個別指定	4-35
	製品指定	4-36
	全体指定	4-36
	3 枚数変更	
	個別指定	4-37
	製品指定	4-37
	全体指定	4-38
	4 コーナーパネル情報の表示	4-38
4-F	立面図の印刷	
	1 立面図印刷処理	4-39
	板取りと区分取り	4-40

STEP5 副資材入力

5-A	副資材入力画面	
	1 副資材入力画面	5-1
5-B	副資材の入力	
	1 副資材の【全】処理	5-2
	固定部材	5-4
	設定部材	5-4
	同時取得部材の設定	5-5
	2 副資材の【面】処理	5-6
	部材・コーキング情報	5-7
	3 副資材の手動入力・修正（固定部材）	5-8
	1点入力	5-9
	2点入力	5-9
	ライン入力	5-9
	点移動	5-10
	コピー	5-10

contents

4	副資材の手動入力・修正（設定部材）	5-11
5	コーキングの手動入力	
	コーキングのみを手入力する	5-12
	副資材とコーキングを同時に手入力する	5-13
6	コーキングの手動修正	5-13
5-C	副資材のその他機能	
1	副資材のその他機能（固定部材・設定部材共通）	5-14
	削除	5-14
	情報	5-14
5-E	副資材印刷	
1	副資材印刷	5-15

STEP6 集計

6-A	集計画面機能詳細	
1	集計処理画面	6-1
6-B	集計処理	
1	集計処理	6-2
2	表示切替による集計確認	6-3
6-C	集計結果の印刷	
1	集計画面の印刷	6-4
	直接出力する場合	6-4
	CSV出力する場合	6-5

STEP7 積算・印刷

7-A	積算・印刷画面機能詳細	
1	積算・印刷処理画面	7-1
7-B	積算処理	
1	積算処理	7-2
2	積算結果データの編集	7-3
	プルダウンメニューによる変更	7-3
	手入力による変更	7-3

contents

3	レコード（行）の編集	7-4
	レコード（行）の追加	7-4
	レコード（行）の削除	7-5
	レコード（行）の移動	7-5
7-C	積算結果の印刷	
1	見積書（表紙）の印刷	7-6
	直接出力する場合	7-7
	CSV出力する場合	7-7
	見積書表紙詳細	7-8
2	内訳書の印刷	7-9
	直接出力する場合	7-9
	CSV出力する場合	7-9
3	立面図印刷	7-10
4	板取り組合せ一覧表出力	7-11

STEP8 マスター設定

8-A	マスター設定概要	
1	マスター設定画面	8-1
8-B	立面マスター設定（パネル製品）	
1	製品メーカーの設定	8-2
2	壁パネルの登録・変更	8-2
	レコード（行）編集	8-3
	CSV変換	8-3
	壁材マスター項目詳細	8-4
3	コーナーパネルの登録・変更	8-5
	コーナー材マスター項目詳細	8-5
8-C	立面マスター設定（部材製品）	
1	部材名の設定	8-6
2	部材の登録・変更	8-6
	部材マスター項目詳細	8-7
3	固定部材の登録・変更	8-7
	固定部材	8-7

contents

8-D	立面マスターの設定（入力補助）	
	1 壁入力マスターの設定	8-8
	壁用マスターの登録	8-8
	壁用マスターの詳細	8-9
	同時取得部材の設定	8-9
	2 コーナー入力マスターの設定	8-11
	3 開口入力マスターの設定	8-11
	4 副資材の設定	8-12
8-E	データコンバート	8-13
8-F	共通マスター設定（見積書）	
	1 自社データの登録・変更	8-14
	2 得意先マスターの設定	8-15
	3 見積書（言葉）の登録・変更	8-15
	4 見積書（備考・注意）の登録・変更	8-15
	5 見積書（条件）の登録・変更	8-16
	6 見積書フォーマットの登録・変更	8-16
	BMPファイルの添付	8-17
	BMPファイルの添付	8-18
8-G	共通マスター設定（出力帳票）	
	1 帳票グループ名の登録・変更	8-19
	2 各帳票の登録・変更	8-19
	出力時の帳票名称表示	8-19
	帳票のコピー	8-20
	帳票の内訳詳細	8-21
	種別一覧	8-22
	計算方法	8-23
	換算値計算機能	8-23
	単価	8-24
	3 単位の登録・変更	8-24
	4 内訳書フォーマットの登録・変更	8-24
	フォーマット設定	8-25
8-H	共通マスター設定（その他）	
	1 製品マスターの登録・変更	8-26
	2 価格名の登録・変更	8-26
	3 寸法値の登録・変更	8-26

contents

STEP9 環境設定

9-A	環境設定概要	
	1 環境設定画面	9-1
9-B	動作に関する環境設定	
	1 一般設定	9-2
	①入力補助	9-2
	②保存設定	9-2
	③デジタイザサイズ	9-2
	④出力	9-3
	⑤その他	9-3
	2 表示設定	9-3
	①表示色	9-3
	②表示設定	9-4
	③画面表示	9-5
	3 データパス設定	9-6
	データパスの変更	9-6
9-C	立面に関する環境設定	
	1 立面入力設定	9-7
	①入力補助	9-7
	②立面自動作成	9-7
	③物件データ	9-8
	④初期入力方法	9-9
	2 立面割付設定	9-9
	エラーサイズパネル	9-10
	個別割付パネル初期値	9-10
	3 立面板取り・枚数設定	9-11
	番号付け条件	9-11
	座標の考え方	9-12
	表示方法1	9-13
	表示方法2	9-13
	板取り方法	9-14
	4 集計の設定	9-15
	面積減算条件と開口	9-15

contents

9-D	印刷に関する環境設定印刷	
1	印刷の設定画面	9-16
2	立面図の作図用紙設定	9-16
	出力例	9-17
	割付画面での立面図印刷と積算・印刷画面での立面図印刷の違い	9-18
3	立面図の印刷詳細定	9-19
4	帳票CSV印刷の設定	9-20
9-E	その他の環境設定	
1	Ex_HOMESの設定画面	9-21
2	実測くんの設定画面	9-21
	開口補正角度・読込設定	9-22
	『実測くん』データの読込例	9-22
3	システム情報の表示画面	9-23

サマンサ

SD デザイナー

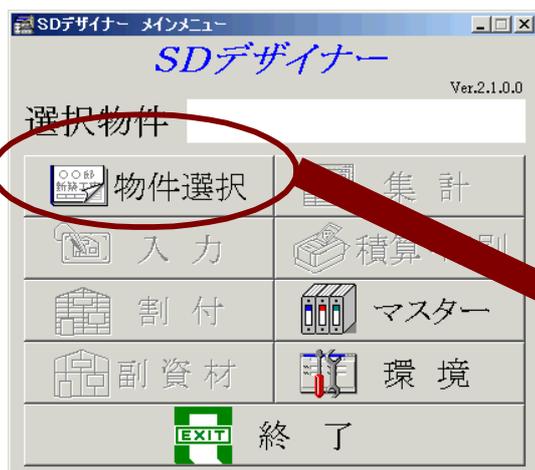
物件選択

STEP 2

2-A 新規物件の登録

物件選択の説明の前に、新規物件の登録方法についての説明を行います。
物件の登録の際には、通り芯や階高の設定、部材選択、帳票設定などの初期設定を同時に行います。

1 工事概要の入力



1. SDデザイナー メインメニューから【物件選択】にマウスカursorを合わせ、クリック（左クリック）すると、工事名称一覧画面が表示されます。

番号	工事名称	担当者	作成日	ラ
0001	SHF住宅	SHF	2003/06/01	S
0002	福知山邸工事	SHF	2003/05/30	春
0003	SHF邸新築工事	SHF	2003/06/09	S

2. 工事名称一覧画面の[新規]ボタンをクリックします。
工事概要（新規）画面が表示されます。

3. 工事概要画面の各項目の（工事名称・工事場所・得意先・担当者）必要な項目を入力します。

工事名称は、必須入力項目です。

4. 入力終了したら、[OK]ボタンをクリックします。

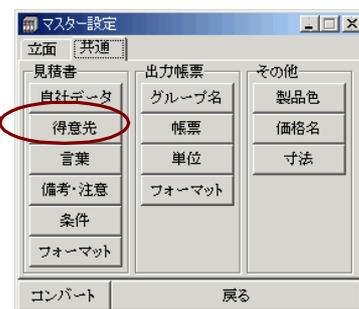
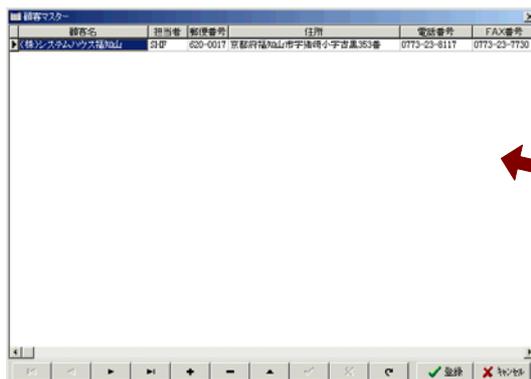
必須入力項目

顧客マスター参照

OK

< 顧客マスター参照 >

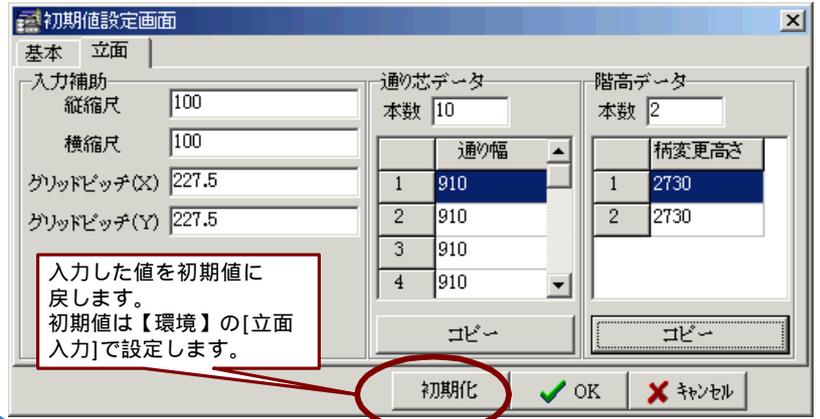
【マスター】の設定で得意先が登録されている場合は、この[顧客マスター参照]ボタンを選択（クリック）すると、顧客マスター画面が表示されます。マスターに登録された顧客の中から工事の得意先名を選択して入力することができます。



2 初期値設定の入力をする

1. 初期値設定画面が表示されます。
2. 【立面】タブでは、入力補助（縦横縮尺・XY方向のグリッドピッチ）・通り芯データ・階高データの入力を行います。

ここで設定した値は、すべての立面に共通の初期値として設定されます。
 （入力時に各面ごとに変更することが可能です）



初期値設定画面

POINT

デジタイザによる入力の場合は、初期値設定画面は、必ず必要です。
 （但し、入力時に変更することは可能です）
 その他の入力の場合は、設定を省略することが可能です。

<入力補助> 入力する各立面共通の図面情報を入力します。
 縦縮尺・・・立面の縦方向（Y方向）の縮尺
 横縮尺・・・立面の横方向（X方向）の縮尺
 グリッドピッチ（X）・・・グリッドの横方向（X方向）のピッチ
 グリッドピッチ（Y）・・・グリッドの縦方向（Y方向）のピッチ

<通り芯データ> 入力する各立面共通の横方向の目安となるライン（通り芯）の情報を入力します。
 （平面図のスパン等の間隔を入力します）

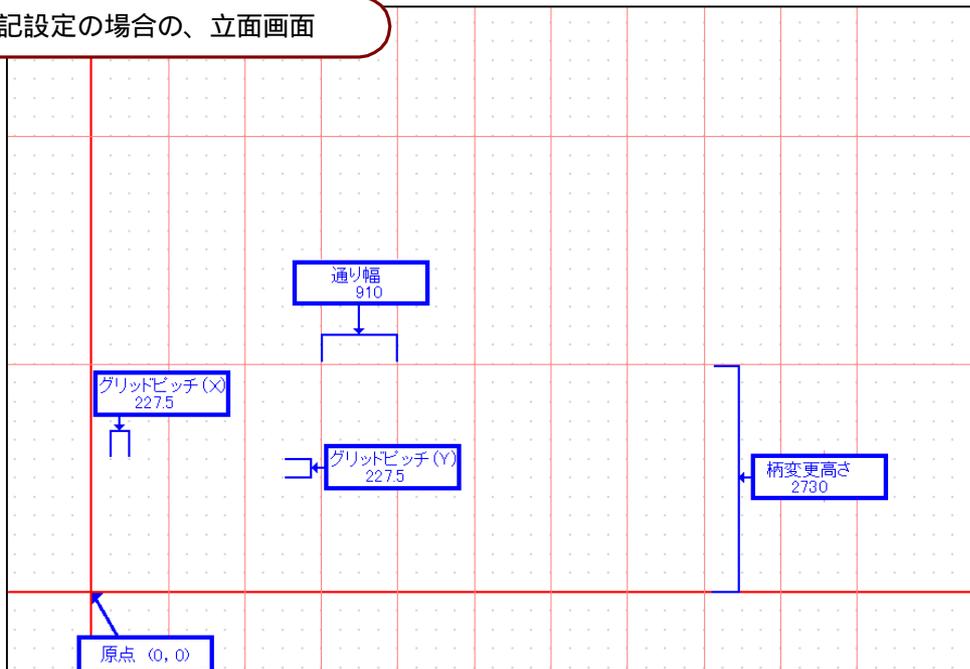
本数・・・ラインの本数
 通り幅・・・ラインの間隔（各通り芯の幅やモジュールピッチなど）

<階高データ> 入力する各立面共通の高さ方向の目安となるライン（柄変更高さ）の情報を入力します。

本数・・・ラインの本数
 柄変更高さ・・・ラインの高さ
 サイディング材の柄の貼り分けを行う場合などに利用します。
 柄を変更する高さを[柄変更高さ]に入力します。

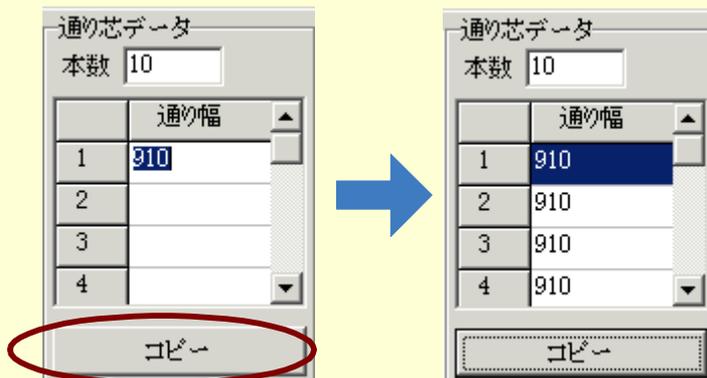
<通り芯データ> <階高データ> は印刷時に表示されません

上記設定の場合の、立面画面



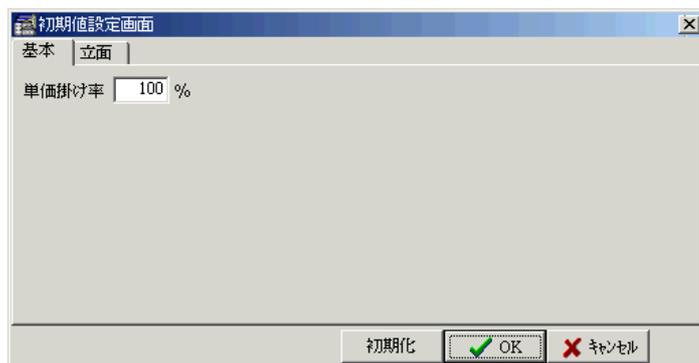
< 行のコピー >

[通り幅]・[柄変更高さ]には、行のコピー機能があります。
 コピーボタンをクリックすると、数値入力した行より下のすべての行に入力した数値がコピーされます。



3. 【基本】タブを表示します。
 ここには、帳票単価に掛ける掛率を入力します。

単価掛率・・・各単価に掛ける掛率



4. 入力が終了したら、[OK]ボタンをクリックします。

3 立面用部材（副資材）を入力する

1. 立面用部材選択画面が表示されます。ここでは、各部材の製品（製品コード）を入力します。
 入力には、直接製品コードを入力する方法とマスターから選択する方法があります。

直接入力の場合は、そのまま入力欄に製品コードを入力します。

立面用部材（副資材）

立面用部材は二つに分類されています。それぞれ、【マスター】登録画面であらかじめ製品コードを登録しておくことができます。

固定部材・・・ソフトであらかじめ設定されており、割付を行った時点で自動で拾う部材

（留め付けネジ・留め付け釘・留め付け金具・コーキング・目地板・版間）

部材・・・ユーザーによって部材設定を行い拾う部材

（参照 【マスター】 - 【立面】 - 【部材】
 【マスター】 - 【立面】 - 【部固定材】）

2. 【マスター】から選択して入力する場合は、[マスター参照]ボタンをクリックし部材のマスター一覧画面を表示します。
3. あらかじめ登録しておいたマスター一覧から部材の製品コードを選択（左クリック）します。
4. 固定部材・部材のそれぞれのタグの入力が終了したら、[OK]ボタンをクリックします。



部材の【マスター】登録は、
P8-6～8-7をご参照ください。

フィルター On/Off
フィルター設定された文字で
フィルター（絞込み）をかけ
表示します。

フィルター設定



フィルター設定画面を開き、フィルタ設定する文字を入力します。
『フィルタをかけたい文字 + *(半角)』で入力します。
フィルタ設定は、[コード][製品名]のそれぞれで設定できます。



[コード][製品名]の両方に文字を入力した場合、それぞれの文字を含んだものが絞り込まれて表示されます。



フィルター設定された文字を含む項目が絞り込まれて表示されます。

フィルター On/Off
にチェックが入っている場合
だけ、絞り込み表示を行います。

[コード][製品名]の両方に設定された文字を含む項目が絞り込まれて表示されます。



4 帳票の設定をする

1. 帳票選択画面が表示されます。
ここでは、出力する帳票を設定します。
あらかじめマスターに登録しておいた帳票グループから選択して入力します。
2. [グループ選択]ボタンをクリックすると、**帳票グループ選択画面**が表示されます。
選択する帳票のグループのチェック欄を左クリックし、[選択]ボタンをクリックします。
3. 選択したグループに登録されていた帳票が表示されます。

選択した以外の帳票グループに登録した帳票を追加したい場合は、追加表示する帳票名称箇所の[選択]ボタンをクリックします。**帳票選択画面**が表示されますので、必要なグループの帳票を選択して登録します。

4. 帳票の設定が終了したら、【OK】ボタンをクリックします。

帳票グループの登録は、
P 8-18 ~ 8-24 をご参照ください。

出力時の帳票名称表示

この部分が出力時の帳票名称の表示の設定になります。
上記の設定の場合は下記のような名称表示となります。

福知山邸工事

【サイディング見積明細書】

名称	コード	寸法・仕様	数量	単位
外壁サイディング	BR2TBS	AG-WALL 12.5 ベレーグ テラベージュ	176	m
同壁出隅	UBRC29TBS	AG-WALL 12.5 ベレーグ テラベージュ	36	m
長尺出隅	UBRC29DY	AG-WALL 12.5 NEW ベレーグ テザート イエロー	20	m
防水シート			176	m
ジョイナー	****	ハコ型ジョイナー	147	m
コーキング	****	コーキング	266	m
群突			0	m
柱巻			0	ヶ
出窓			0	ヶ
断材処理費			1	式
運搬及び手搬費			1	式

帳票選択画面のスクリーンショット。帳票名と選択帳票名の入力欄があり、10種類の帳票がリストアップされている。リストの各項目には「内訳」欄と「選択」ボタンがある。下部には「グループ選択」ボタン、緑の「登録」ボタン、赤の「キャンセル」ボタンがある。

帳票グループ選択画面のスクリーンショット。10種類の帳票グループがリストアップされている。各項目にはラジオボタンと帳票名がある。1番目の「サイディング」のラジオボタンが選択されている。下部には緑の「選択」ボタン、赤の「キャンセル」ボタンがある。

帳票選択画面のスクリーンショット。帳票名に「サイディング」が入力されている。リストには「見積明細書」「原価明細書」などの帳票が表示されている。下部には「グループ選択」ボタン、緑の「登録」ボタン、赤の「キャンセル」ボタンがある。

帳票設定画面のスクリーンショット。帳票名に「取引先4」が入力されている。下部には「コピー」ボタン、緑の「登録」ボタン、赤の「キャンセル」ボタンがある。

帳票選択画面のスクリーンショット。帳票名に「サイディング」が入力されている。リストには「見積」「原価明細書」「見積書」などの帳票が表示されている。下部には「グループ選択」ボタン、緑の「登録」ボタン、赤の「キャンセル」ボタンがある。

帳票名が追加されます。

2-B 既存物件の選択・修正

登録済みの物件の選択とその物件情報の修正や物件の削除・コピーについて説明を行います。

1 工事物件の選択



今選択されているコマンドとその処理の説明が画面下に表示されます。(全画面共通)

番号	工事名称	担当者	作成日
0001	SHF住宅	SHF	2003/06/01
0002	福知山邸工事	SHF	2003/05/30
0003	SHF邸新築工事	SHF	2003/06/09

1. SDデザイナー メインメニューから【物件選択】にマウスカーソルを合わせ、クリックします。
工事名称一覧画面が表示されます。
2. 工事名称一覧画面の[選択]ボタンが押された状態になっていることを確認します。
(ボタンが押された状態の場合、画面左下に<データ選択>の表示があります。)
3. 選択する工事の行をクリックします。
(クリックした行が青色になります。)
[OK]ボタンをクリックすると、工事が選択されます。
工事の行でダブルクリックしても同様に工事を選択することができます。
4. SDデザイナー メインメニューが表示されます。
選択物件の欄に選択した工事名称が表示されています。

番号	工事名称	担当者	作成日
0001	SHF住宅	SHF	2003/06/01
0002	福知山邸工事	SHF	2003/05/30
0003	SHF邸新築工事	SHF	2003/06/09



2 工事物件の概要の変更

1. 工事名称一覧画面を表示します。
2. [変更] ボタンをクリックします。
3. 変更したい物件データ行をダブルクリックすると、その物件データの工事概要画面が表示されます。
4. 変更箇所を入力し、[OK] ボタンをクリックします。工事名称一覧画面が表示が戻ります。

番号	工事名称	担当者	作成日
0001	SHF住宅	SHF	2003/06/01
0002	福知山邸工事	SHF	2003/05/30
0003	SHF邸新築工事	SHF	2003/06/09
0004	test工事		2003/06/18

工事概要(変更)

工事名称 SHF邸新築工事

工事場所

得意先1 システムハウス福知山

得意先2

担当者 SHF 日付 2003/06/09

顧客マスター参照 OK キャンセル

3 工事物件の削除

1. 工事名称一覧画面を表示します。
2. [削除] ボタンをクリックします。
3. 削除したい物件データ行をダブルクリックすると、下記のような確認画面が表示されます。
4. 削除データを再確認して、[OK] ボタンをクリックします。
5. 工事名称一覧画面に戻り、選択した物件データは削除されています。

番号	工事名称	担当者	作成日
0001	SHF住宅	SHF	2003/06/01
0002	福知山邸工事	SHF	2003/05/30
0003	SHF邸新築工事	SHF	2003/06/09
0004	test工事		2003/06/18

確認

? 本当に削除してもよろしいか?

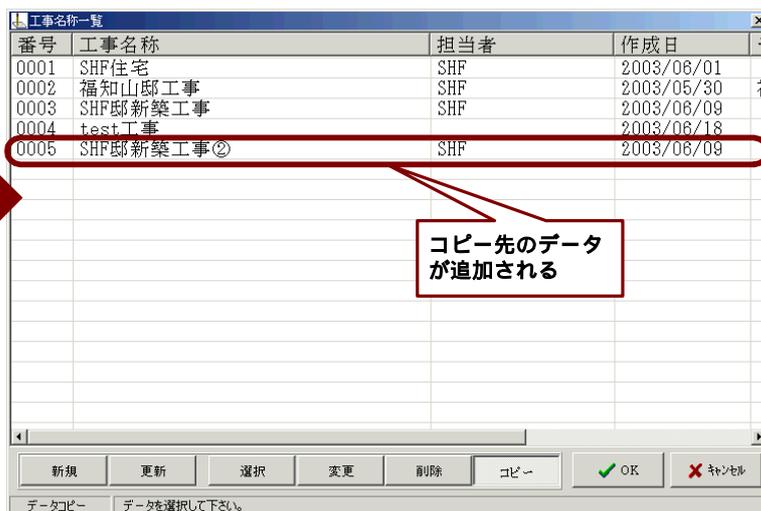
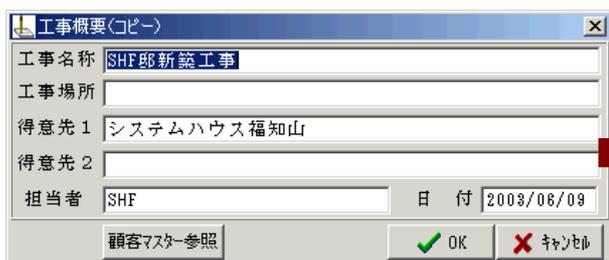
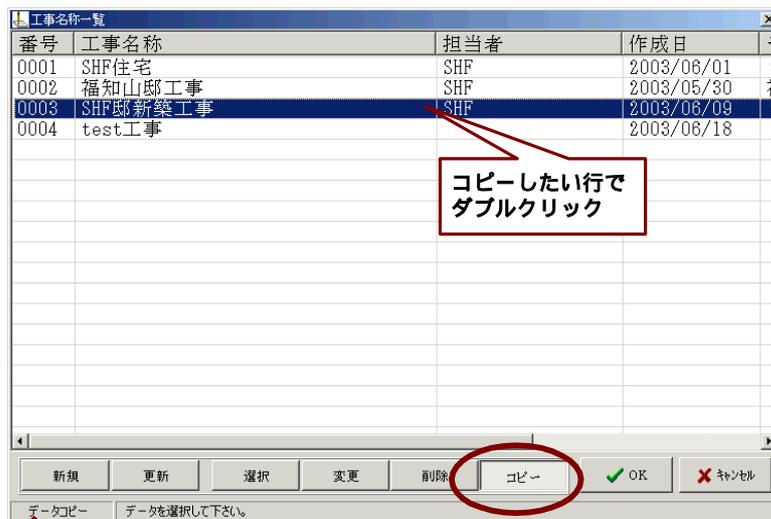
OK キャンセル

POINT

いったん削除したデータは復活できません。
必ず確認して削除処理を行って下さい。

4 工事物件のコピー

1. 工事名称一覧画面を表示します。
2. [コピー] ボタンをクリックします。
3. コピーしたい物件データ行をダブルクリックすると、選択した物件データの工事概要画面が表示されます。
4. コピー先のデータを入力します。
工事名称は必ず**コピー元と違う名称**を入力してください。
5. [OK] ボタンをクリックすると、工事名称一覧画面に表示が戻ります。コピーしたデータが一覧に追加されています。



5 工事一覧の更新

工事名称一覧の表示情報を更新する処理を行うことができます。これは、工事データが保存されているデータフォルダ内を見直してその中の工事名称を再表示するという意味です。

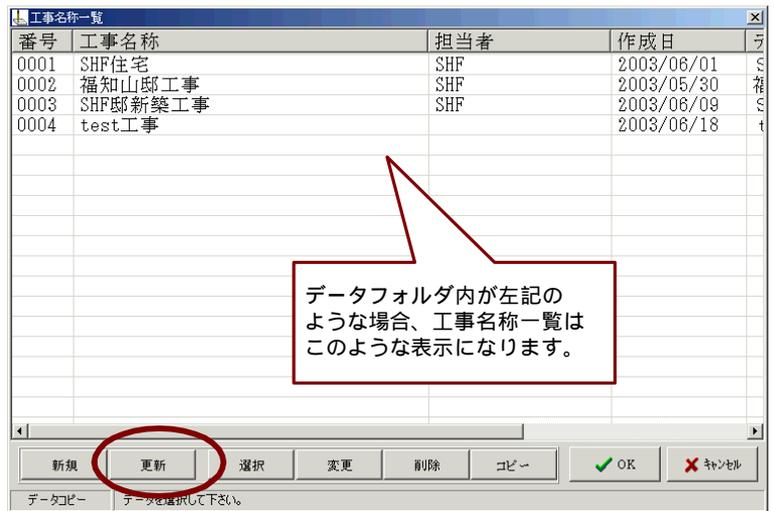
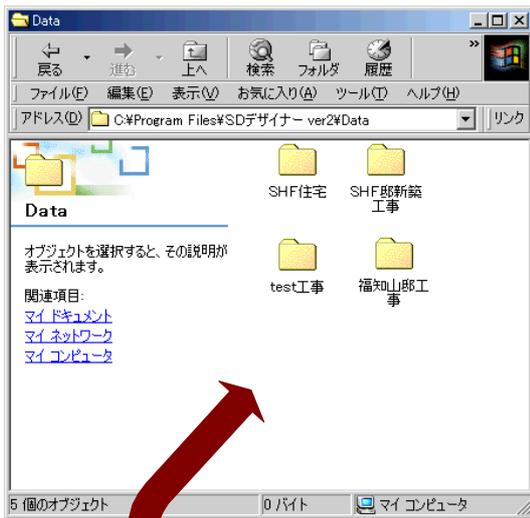
1. 工事名称一覧画面を表示します。
2. [更新] ボタンをクリックします。
3. 自動的に更新処理を行い、工事名称が再表示されます。



・・・工事名称の更新・・・

他のコンピュータで作成したSDデザイナーの工事データを、自分のコンピュータのデータフォルダにコピーして移動した場合、そのままでは工事名称一覧に表示されません。

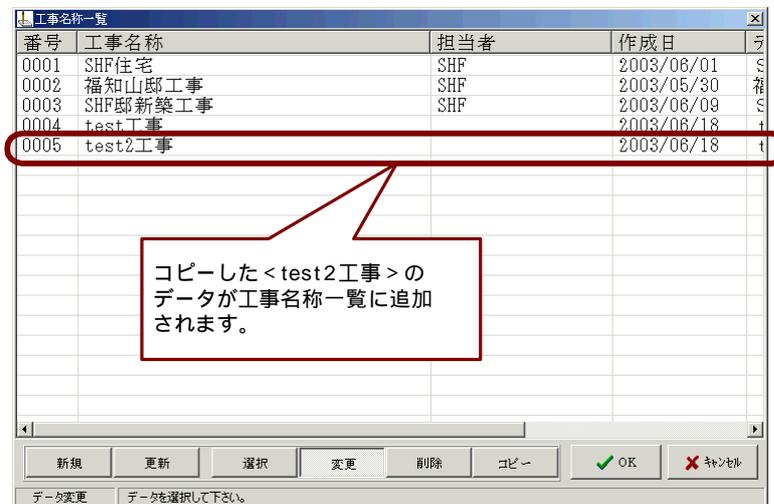
工事名称一覧画面で [更新] ボタンをクリックし更新処理をおこなうと、フォルダ内を自動的に再読み込みして工事名称一覧を更新表示します。



データフォルダに下記のデータをコピーする



[更新] ボタンをクリックすると、データフォルダ内を再読み込みしコピーされたデータを工事名称一覧に追加して表示します。



サマンサ

SD デザイナー

入 力

STEP 3

3-A 入力画面機能詳細

外壁材サイディングの割付をおこなう為に、工事物件建物の外壁材を割付ける各立面を入力します。

SDデザイナーにおいて、入力の方法は次の6つの方法があります。

- スキャナーを利用した入力< BMP・JPGデータ読み込みによる入力 >
- DXFデータ読み込みによる入力
- デジタイザーを利用した入力
- Ex_HOME Sシステムからの出力データによる入力
- 実測くんシステムからの出力データによる入力
- 手入力

ここでは、スキャナーを利用した入力< BMP・JPGデータ読み込みによる入力 >を中心に入力説明をおこなってゆきます。

1 入力画面

- SDデザイナー メインメニューから【入力】ボタンをクリックします。
- 下記のような立面の入力画面が表示されます。

The screenshot shows the 'test工事' application window with a toolbar and a main workspace. The workspace contains a grid and a large red circle highlighting the '立面表示エリア' (立面表示エリア (拡大・縮小可能です)).

印刷ボタン
(表示している立面だけを印刷します)

入力処理機能ボタン
壁や開口などの入力処理を指示します。

入力処理ボタンに応じて製品の種類や入力方法のボタンが表示されます。

入力補助ボタン
拡大・縮小、削除・移動など入力を便利にする補助機能が表示されています。

東西南北の各面が、タグに分かれて表示されます。
(これ以外の立面のタグを追加することもできます。)

立面表示エリア
(拡大・縮小可能です)

マウスカーソルのある位置のXY座標を表示しています。

X = 6825.0 Y = 7052.5

壁 入力処理を選択

今選択している処理(コマンド)とその処理方法を表示しています

立面情報
入力された立面の面積や部品の長さなどが表示されています。

立面情報	
総壁	0m ²
外壁	0m ²
ベランダ	0m ²
総コーナ	0m
出コーナ	0m
入コーナ	0m
木コーナ	0m
開口	0m ²
開口	0m
切欠き	0m ²

2 入力詳細

システム入力手順ボタン



システムの入力手順を示しています。
左から右に矢印に沿って入力を進めていきます。



<入力処理>

外部データ (BMP・DXFなど) の読み込みなどによる入力処理をおこないます。
壁・コーナー・開口・特殊開口・切欠などの入力もおこなうことができます。



<割付処理>

壁・コーナーなどの割付処理をおこないます。
板取りチェックや立面図印刷もおこなうことができます。



<副資材入力処理>

副資材 (固定・部材) の入力処理をおこないます。



<集計処理>

入力された各立面の集計処理をおこないます。



<積算・印刷処理>

帳票設定された書式で見積書の作成・印刷処理をおこないます。

<胴縁処理>



胴縁オプション機能を追加導入
されている場合に表示されます。
下地胴縁の入力・割付処理を
おこないます。

データツールボタン



データの取扱い処理のボタン

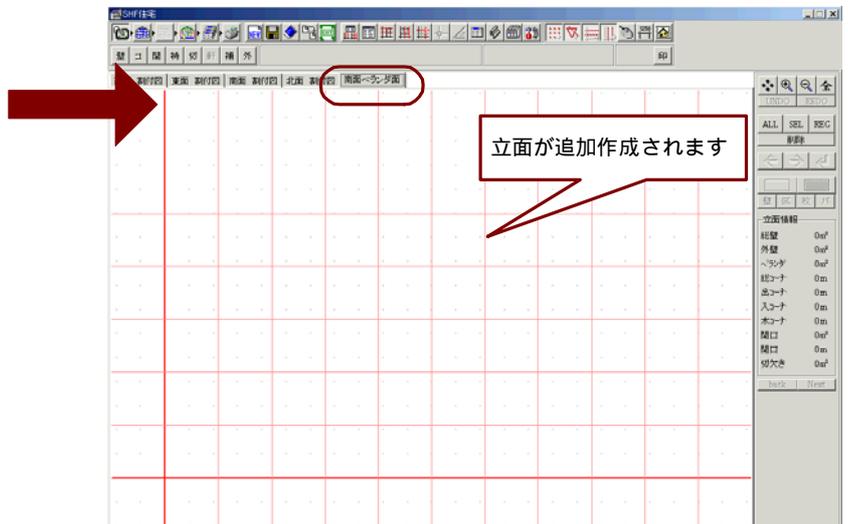


<新規立面>

新しい立面を追加作成します。下のような画面が表示されますので、必要箇所の入力を行い
[OK]ボタンをクリックすると新しく立面タグが追加されます。

データ名	南面ベランダ面
縦縮尺	1/100
横縮尺	1/100
グリッドピッチ(X)	227.5
グリッドピッチ(Y)	227.5

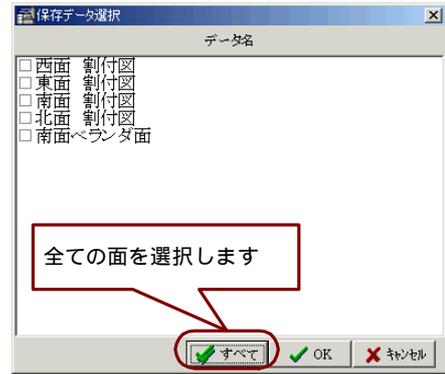
データ名称の入力は必須です





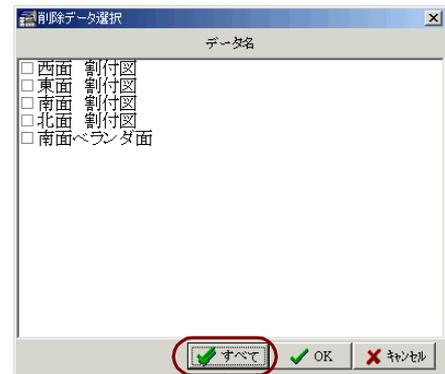
<データ保存>

各立面ごとにデータを保存することができます。
右図のような画面が表示されますので、保存する面に
チェックをいれ(部をクリック) [OK]ボタンを
クリックします。



<データ削除>

各立面ごとにデータの削除をすることができます。
右図のような画面が表示されますので、削除する面に
チェックをいれ(部をクリック) [OK]ボタンを
クリックします。



POINT

データ削除をおこなっても、データ保存が行われる
まで、メモリ上にデータは保存されています。
間違えてデータ削除を行った場合、
もう一度<データ削除>を選択し削除データ選択画面
を表示しチェックをはずすと、削除した立面が再表示
します。



<データコピー>

各立面のデータをコピーすることができます。
下図のような画面が表示されますので、 部をクリックして、コピー元のデータ名と
コピー先のデータ名を設定します。



コピー先に<新規>を選択すると
新規立面を作成します。

コピー方法
標準・・・コピー元そのままの立面をコピー
反転・・・コピー元の立面を左右反転してコピー



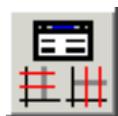
<入力終了>

立面入力画面を終了し、SDデザイナー メインメニューの画面に戻ります。
終了時には全部の立面データを自動保存します。

設定ツールボタン

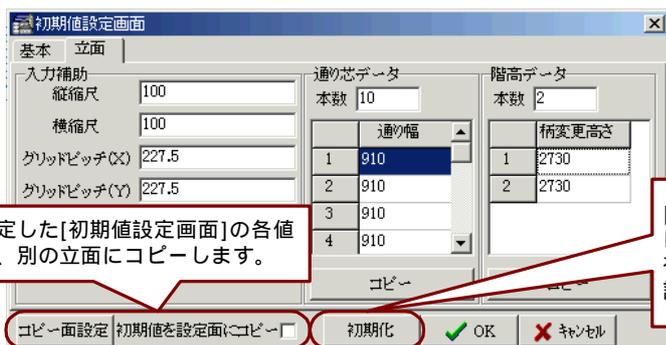


各設定の処理のボタン



<初期値データ変更>

データの新規登録時に設定した各初期値の確認・変更をおこなうことができます。
各立面ごとに初期値の確認・変更が可能です。
また、一面だけ初期値の変更をおこない別の立面へ、その値をコピーすることも可能です。

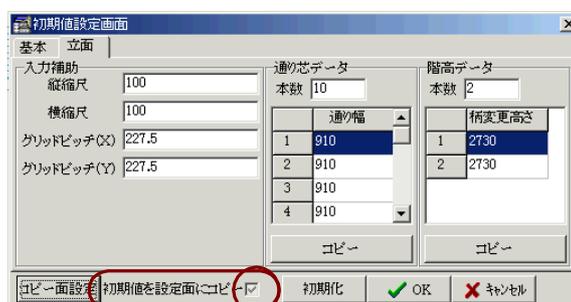


設定した[初期値設定画面]の各値を、別の立面にコピーします。

[初期値設定画面]の各値を初期値に戻します。
初期値は【環境】の[立面入力]で設定します。

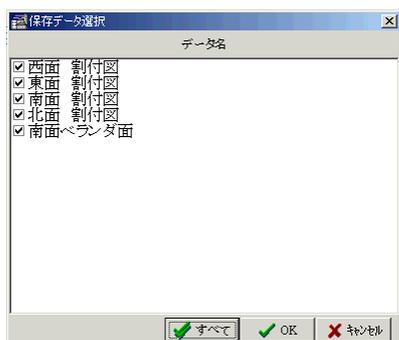
<コピー面設定でコピーする立面を設定>

[コピー面設定]ボタン他をクリックし、[保存データ選択]画面を表示します。
コピーする立面名をクリックしてチェックをつけ、[OK]ボタンをクリックします。
[初期値設定画面]に戻ると、[初期値を設定面にコピー]のチェック欄が の表示になっています。
[OK]ボタンをクリックすると、指定した立面に設定した初期値がコピーされています。



<すべての立面にコピーを設定>

[保存データ選択]画面の[すべて]ボタンをクリックして、すべての立面にチェックをつけます。
[初期値設定画面]に戻ると、[初期値を設定面にコピー]のチェック欄が の表示になっています。
[OK]ボタンをクリックすると、すべての立面に設定した初期値がコピーされています。

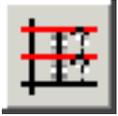


すべての立面にコピーをする場合は、[初期値を設定面にコピー]のチェック欄にチェックをつけるだけで、すべての立面を選択したことになります。



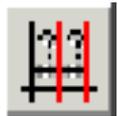
<面データ変更>

各立面ごとの立面名称・縦横縮尺・XYグリッドピッチの入力・変更をおこなうことができます。



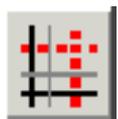
<柄変更高さ変更>

各立面ごとの建物の高さ方向の目安となるライン（柄変更高さ）の入力・変更をおこなうことができます。ラインの本数と高さ寸法の入力・変更が可能です。



<通りピッチ変更>

各立面ごとの建物の横方向の目安となるライン（通り芯）の入力・変更をおこなうことができます。ラインの本数と間隔寸法の入力・変更が可能です。



<通り芯追加>

各立面ごとの建物の縦横方向の目安ラインをコピーして追加することができます。このボタンをクリックして、コピー元となるラインをマウスでクリックします。コピー元となるラインが縦・横の場合でそれぞれ下記のような画面が表示されます。元となるラインからの移動距離を入力します。



<基点登録>

デジタイザ入力する場合の図面基点を指示します。立面用紙が移動したり、入力情報がずれている場合は、再度基点登録をして基点入力をおこなってください。



<水平ライン登録>

デジタイザ入力する場合の図面の水平位置を指示します。立面用紙が傾いている場合でも自動的にラインを水平に修正します。

<基点登録> <水平ライン登録>は
入力表示がマウスになっている場合
は選択できません。



< 帳票選択 >

データの新規登録時に設定した帳票設定の確認・変更をおこなうことができます。
 マスターの帳票設定を変更してその変更を入力物件に反映させたい場合は、
 この< 帳票選択 > ボタンを利用して帳票設定を読み出し、再登録する必要があります。

帳表名	選択帳表名
1 見積明細書	内訳 選択
2 原簿明細表	内訳 選択
3	内訳 選択
4	内訳 選択
5	内訳 選択
6	内訳 選択
7	内訳 選択
8	内訳 選択
9	内訳 選択
10	内訳 選択



< 使用部材選択 >

データの新規登録時に設定した立面用部材の確認・変更をおこなうことができます。

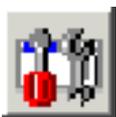
部材名	製品名	製品コード	コーキングコード
水切	土台水切	**** マスター参照	**** マスター参照
幕板	幕板	**** マスター参照	**** マスター参照
破風	破風	**** マスター参照	**** マスター参照
入隅	入隅	**** マスター参照	**** マスター参照
軒天	軒天	**** マスター参照	**** マスター参照
オーバーハング	オーバーハング	**** マスター参照	**** マスター参照
付柱	付柱	**** マスター参照	**** マスター参照
見切縁	見切縁	**** マスター参照	**** マスター参照
中間水切	中間水切	**** マスター参照	**** マスター参照
バルコニー水切	バルコニー水切	**** マスター参照	**** マスター参照



< マスター変更 >

マスターの確認・変更をおこなうことができます。

< マスター変更 > < 環境設定 > で表示される画面は【SDデザイナー メインメニュー】の[マスター][環境]と同じものです。



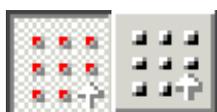
< 環境設定 >

環境設定の確認・変更をおこなうことができます。

入力表示ツールボタン



入力中の画面表示設定処理のボタン



< ON > < OFF >

< グリッド入力 ON/OFF >

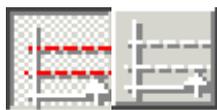
グリッドの表示 (ON) ・非表示 (OFF) の切替ボタンです。



< ON > < OFF >

< 補助線表示 ON/OFF >

補助線の表示 (ON) ・非表示 (OFF) の切替ボタンです。



< ON > < OFF >

< 高さグリッド表示 ON/OFF >

柄変更線 (建物の高さ方向の目安となるライン) の表示 (ON) ・非表示 (OFF) の切替ボタンです。



< ON > < OFF >

< 通り芯グリッド表示 ON/OFF >

通り芯線 (建物の横方向の目安となるライン) の表示 (ON) ・非表示 (OFF) の切替ボタンです。



< ON > < OFF >

< デジタイザ ON/OFF >

デジタイザ入力 (ボタン ON の状態) とマウス入力 (ボタン OFF の状態) の切替ボタンです。



< ON > < OFF >

< 寸法 ON/OFF >

入力時には寸法表示 (ON) ・非表示 (OFF) 、割付時には板取番号表示 (ON) ・非表示 (OFF) の切替ボタンです。

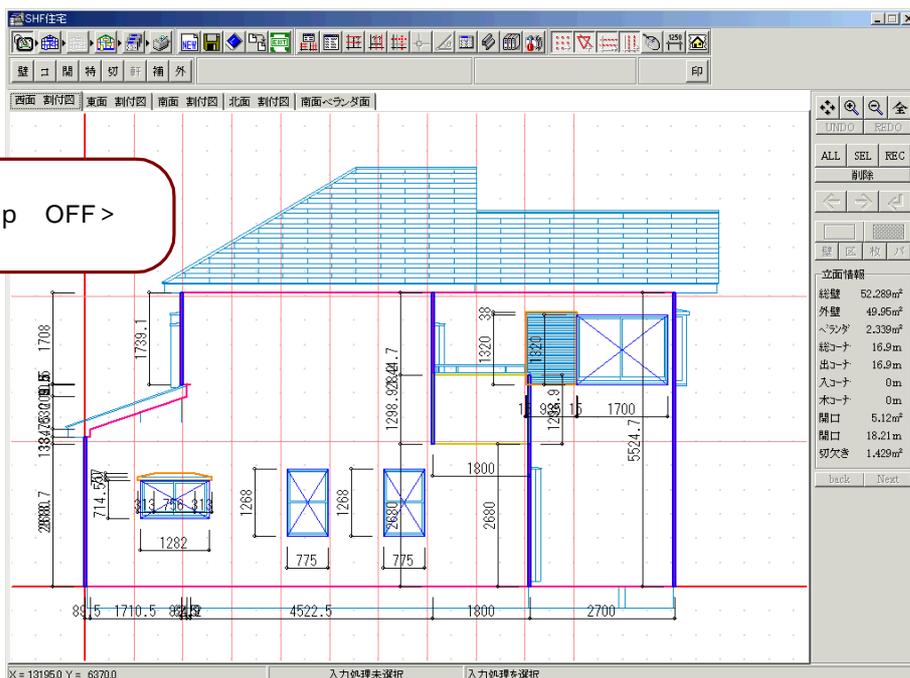


< ON > < OFF >

< Bit Map ON/OFF >

BMP (J P G) データの絵を下絵として表示 (ON) ・非表示 (OFF) の切替ボタンです。

右記は
< デジタイザ OFF > < Bit Map OFF >
その他全て < ON > 表示の画面です。



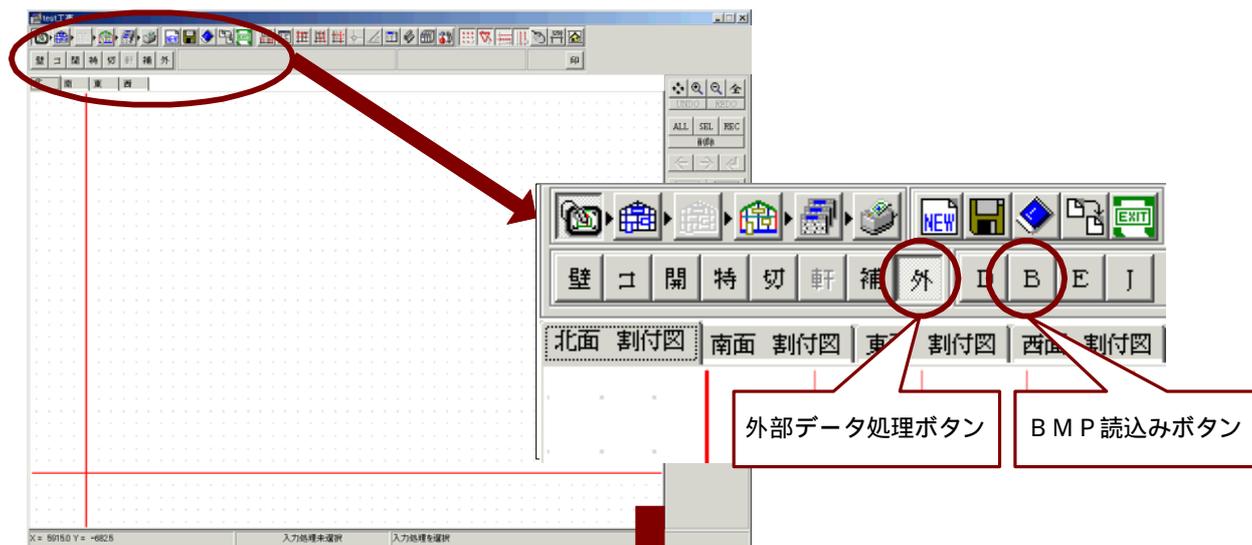
3-B 立面図入力 (BMPデータ読み込み)

1 BMPファイルデータの読み込み

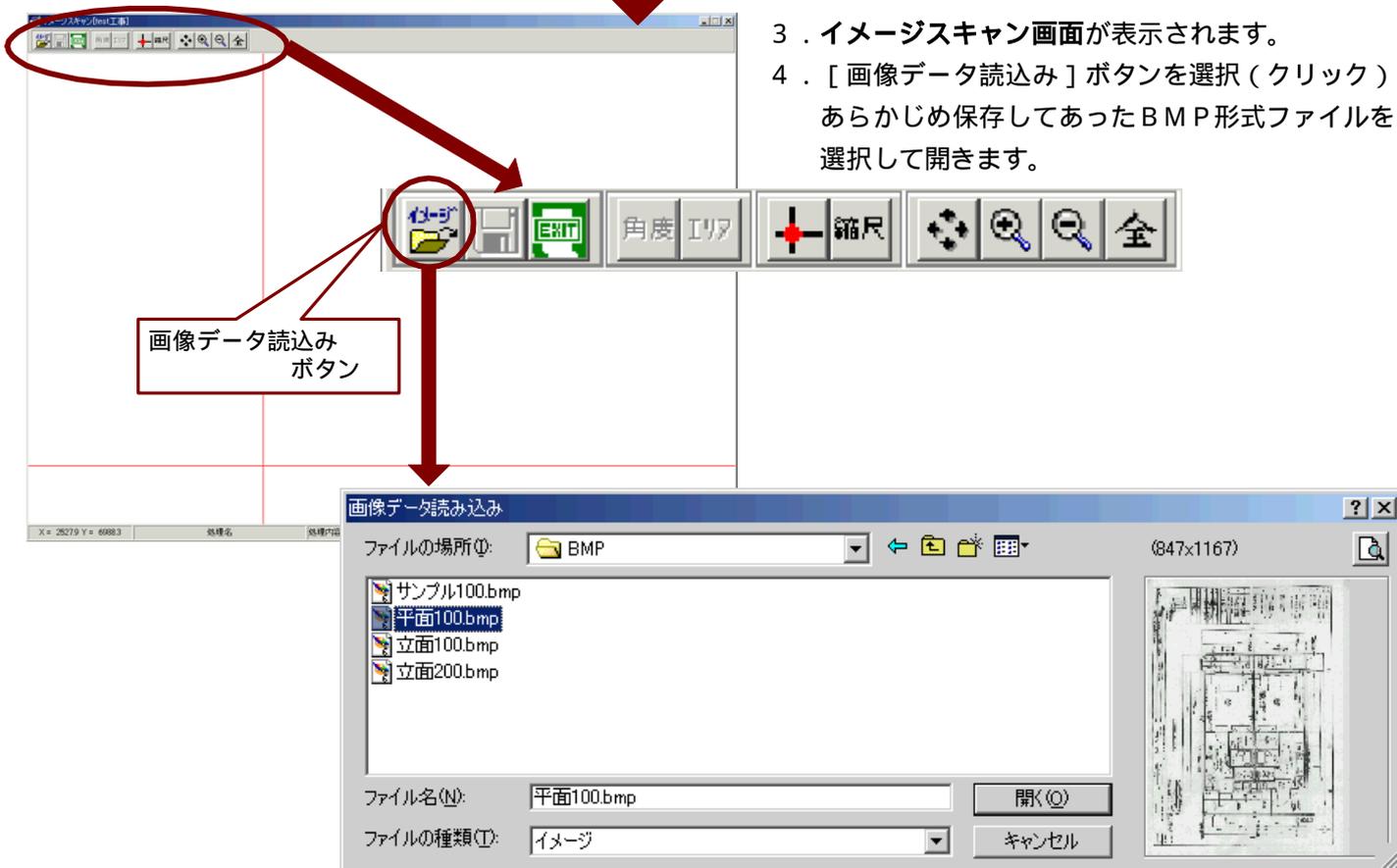
あらかじめ、読み込む図面をご使用のスキャナーで読み取り、BMPファイル形式 (またはJPGファイル形式) で名前をつけて保存をしてください。

(この部分の操作は、ご使用のスキャナーのマニュアルをご参照ください。)

1. 立面の入力画面を表示します。
2. [外部データ処理] ボタンを選択 (クリック) し、[BMP読み込み] ボタンを選択します。



3. イメージスキャン画面が表示されます。
4. [画像データ読み込み] ボタンを選択 (クリック) し、あらかじめ保存してあったBMP形式ファイルを選択して開きます。



2 BMPデータの角度補正

1. イメージスキャン画面にBMPデータが表示されます。
データの絵を水平に配置する為に角度補正をおこないます。
2. [角度補正] ボタンを選択(クリック)し、BMPデータ上の基準となる2点を指示します。
(GLラインなどの水平線を基準として指示してください。)

画面拡大ボタン
左クリックで画面を拡大します

画面縮小ボタン
左クリックで画面を縮小します

角度補正ボタン

画面移動ボタン
画面を左ドラッグで動かすことができます

画面全体ボタン
全画面表示になります

拡大表示して、2点をそれぞれ指示します。

マウスで水平線上の2点をクリック

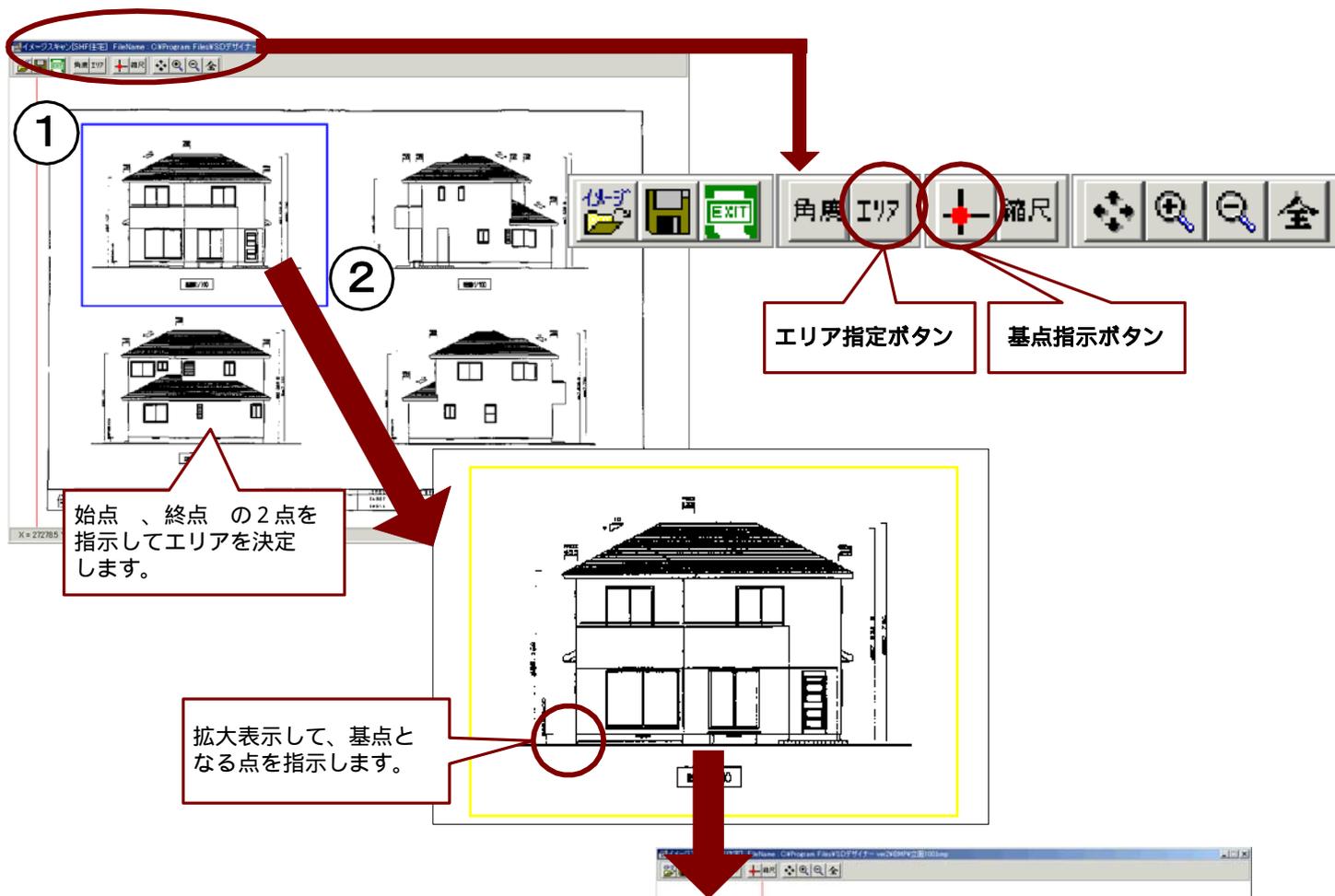
3. 指示された水平線を基準に自動で角度補正をおこないBMPデータを表示します。
(指示した水平線をX軸と平行に位置するように表示します)

POINT
角度修正の場合、誤差をできる限り小さくする為、選択する2点間の距離は出来るだけ大きく取ってください。

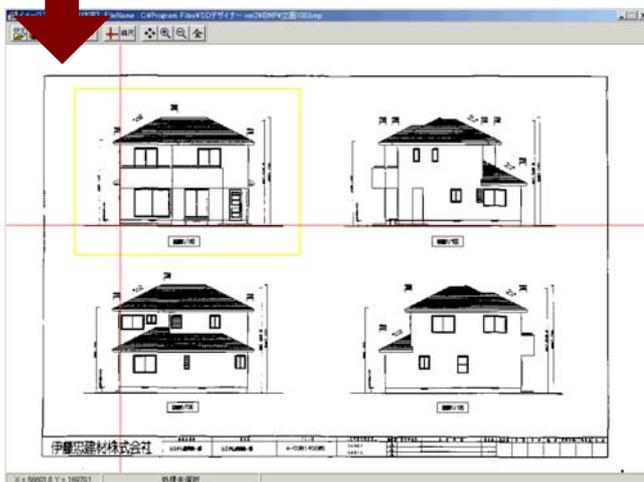
3 BMPデータのエリアと基点の指示

SDデザイナーの立面に利用する絵をBMPデータから選択し、その基点を指示します。

1. [エリア指定] ボタンを選択(クリック)し、利用する部分のエリアを始点・終点の2点指示で囲み決定します。(始点となる1点をクリックすると、終点を決定するまで青線でエリアを表示します。終点を指示すると決定したエリアが黄線で囲まれて表示されます。)
2. [基点指示] ボタンを選択(クリック)し、決定したエリア上の基点となる点を指示します。基点は立面画面の原点(0,0)に対応して表示されますので、エリア左下のGLライン上などの点を指示してください。)



3. 基点を中心に赤いX軸・Y軸のラインが表示されます。



4

BMPデータの縮尺設定

BMPデータ中の寸法がわかっている2点を指示し、その2点間の実寸距離を入力することによって縮尺を設定します。縦方向・横方向それぞれについての縮尺設定をおこないます。

1. [縮尺設定] ボタンを選択(クリック)し、実寸法の分かっている2点間の両端をそれぞれ指示(クリック)します。
2. 自動縮尺判定画面が表示されますので、指示した2点間の実寸値を入力し、[OK] ボタンをクリックします。この処理を、横方向・縦方向のそれぞれについておこないます。

縮尺設定ボタン

2点間の実寸法値を入力します。

拡大表示して、2点をそれぞれ指示します。

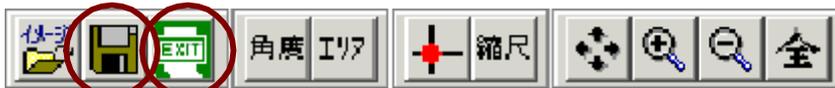
まず、横方向の縮尺設定を行います

2点間の実寸法値を入力します。

次に、縦方向の縮尺設定を行います

5 BMPデータの保存と終了

1. [データ保存] ボタンを選択(クリック)すると、下記のような BMPデータ変換画面が表示されます。
選択したエリアのBMPデータを登録する立面名を選択してOK] ボタンをクリックします。
(エリア指定・基点指示・縮尺設定が未設定の場合は、データ保存は出来ません。)
2. 同様の手順で他の面のBMPデータを設定し保存します。
3. [終了] ボタンを選択(クリック)して、立面入力画面へもどります。



データ保存ボタン

終了ボタン

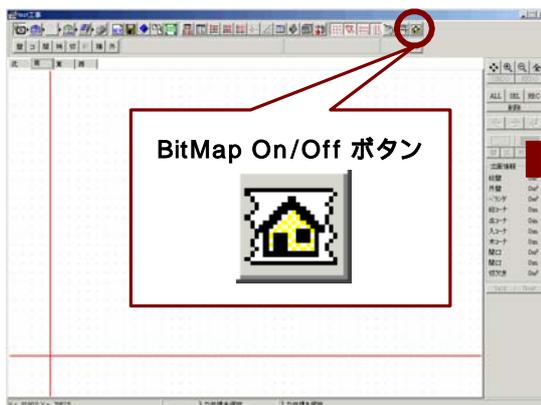


POINT

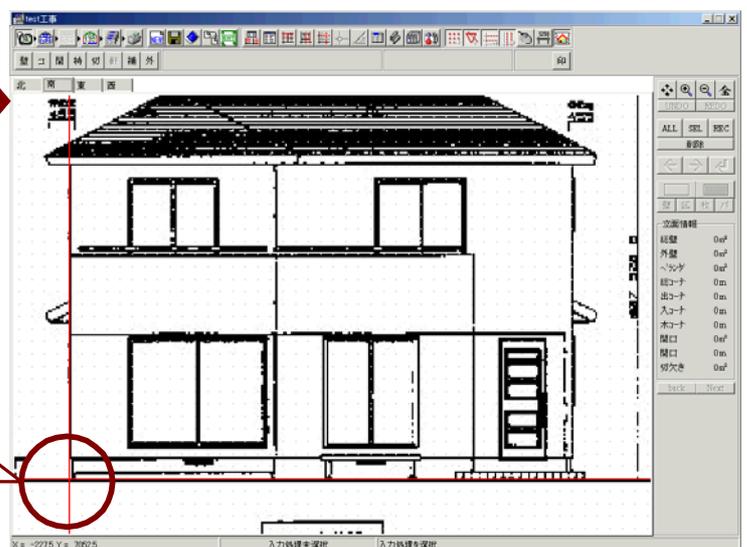
開いている物件データを閉じない限り、イメージスキャン画面のBMPデータはそのままの状態では保存されています。

6 立面へのBMPデータ表示

1. 立面入力画面で、保存したBMPデータを表示する面のタブを選択し表示します。
(保存した立面名と同じ面を表示してください。)
2. [BitMap On/Off] ボタンを選択(クリック)し、保存したBMPデータを表示します。
3. 同様の手順で他の面にもBMPデータを表示します。



BMPデータで基点指示した点が原点として表示されます。

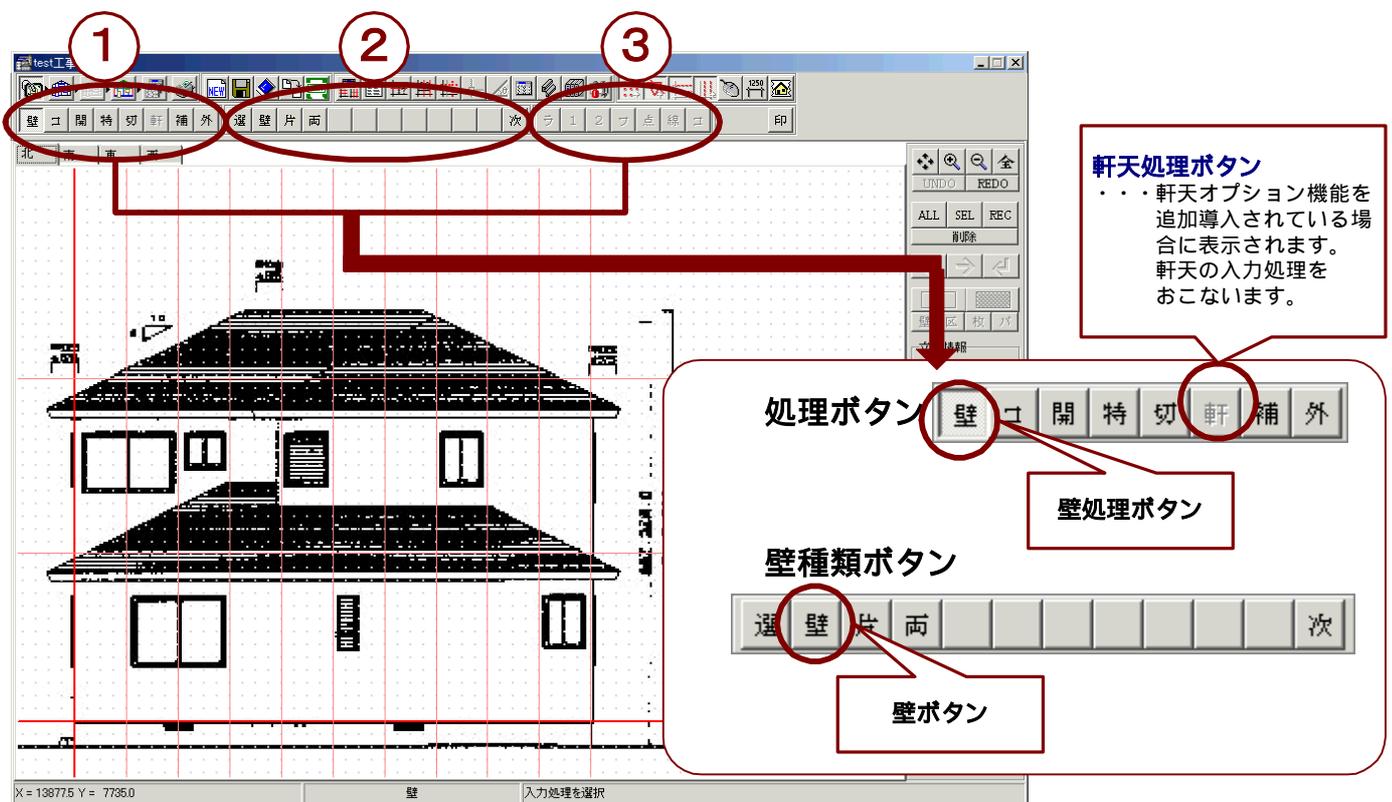


3-C 立面の壁処理

下絵として読み込み表示したBMPデータをもとに、建物の壁・コーナー・開口などを入力していきます。

1 壁の入力

1. 表示したBMPデータを下絵として、壁の領域を入力してゆきます。
2. [壁処理]ボタンを選択（クリック）し、表示された壁種類ボタンから入力する壁のボタンを選択します。壁種類ボタンは、【マスター設定】-立面【入力補助】-【壁】で最大20種まで登録することが可能です。登録した壁名称の最初の1文字がボタンと表示されています。ここでは、初期値として登録されている[壁]ボタンを選択します。
3. 壁入力の3つの方法の中から適した入力方法を選択して、壁の入力をおこないます。



入力ボタン



- 1点入力・・・基点となる1点を指示し、壁のWH寸法を入力して壁領域を入力します
- 2点入力・・・基点となる1点と対角線上にある1点の二つの点を指示し四角形を入力して壁領域を入力します（矩形入力）
- フリー入力・・・任意の点を指示し閉じた多角形を入力して壁領域を入力します（多角形入力）

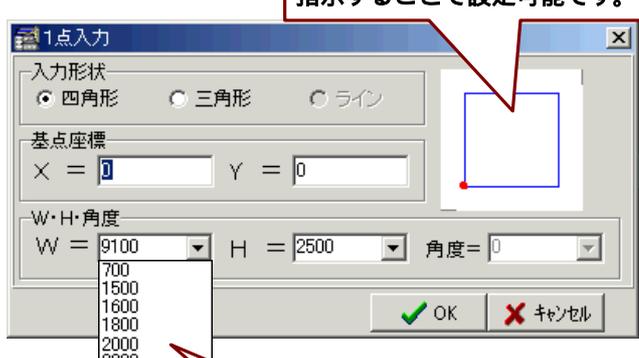
1点入力

基点となる点（入力する壁領域の左下の点）を指示（クリック）すると下記のような1点入力画面が表示されます。入力形状・基点座標・WH寸法を入力して[OK]ボタンをクリックします。

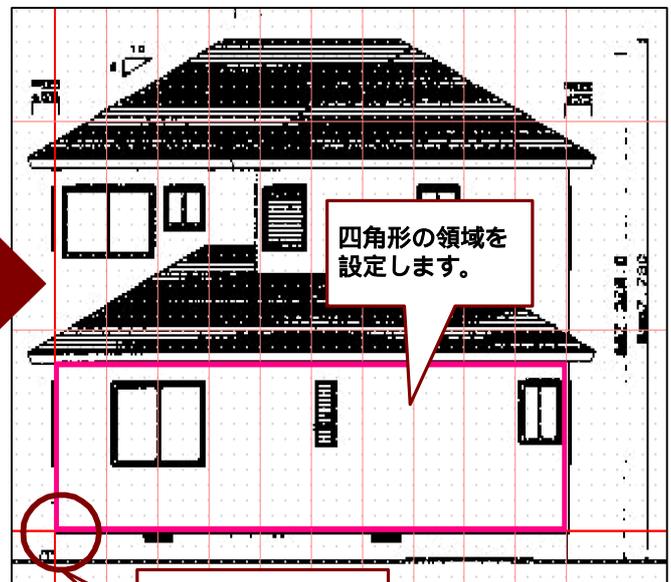
設定された壁領域が囲まれて表示されます。

（壁などの色設定は【環境設定】-【表示】-表示色で設定が可能です。）

<基点の変更>
この図上で四角形の各頂点を指示することで設定可能です。



<W・Hのマスター登録>
1点入力で、よく利用するサイズのW・H寸法をマスターとして登録しておくことができます。
（【マスター設定】-【共通】-【寸法】）



四角形の領域を設定します。

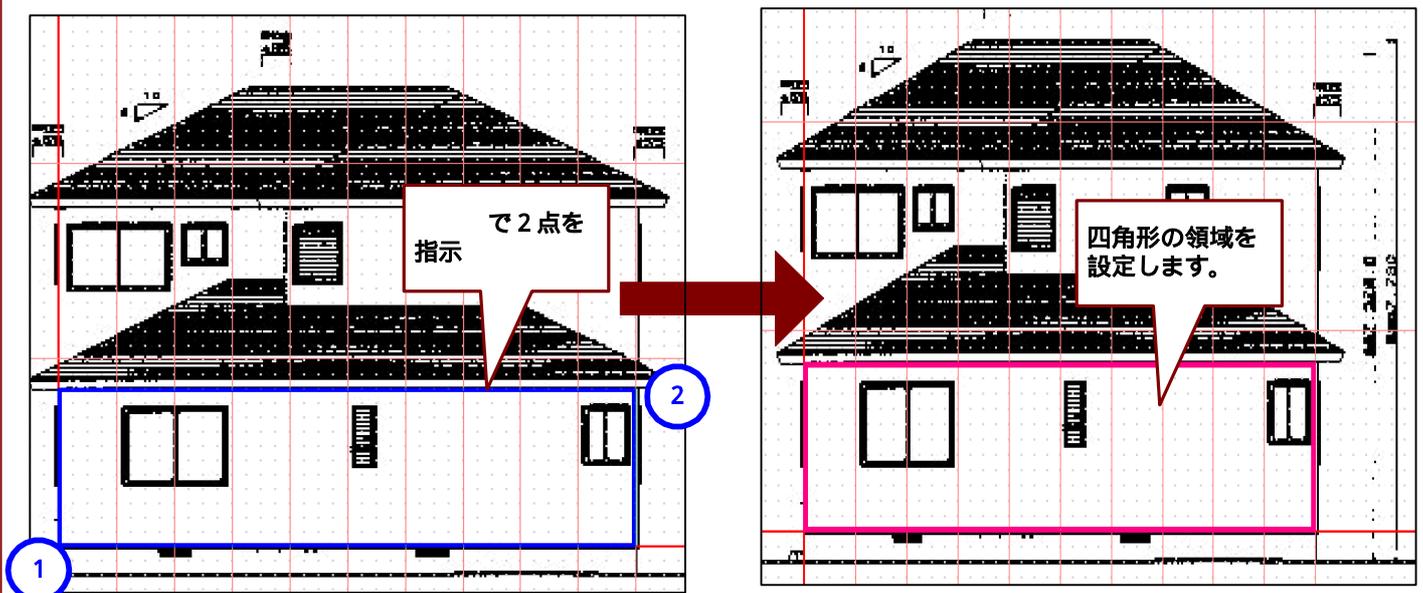
基点位置
(この場合は原点)

2点入力

基点となる点（始点）とその対角線上にある2点目（終点）を指示（クリック）します。

（始点となる1点目を指示すると、終点を指示するまで青線でエリアを表示します。）

設定された壁領域が囲まれて表示されます。



で2点を指示

四角形の領域を設定します。

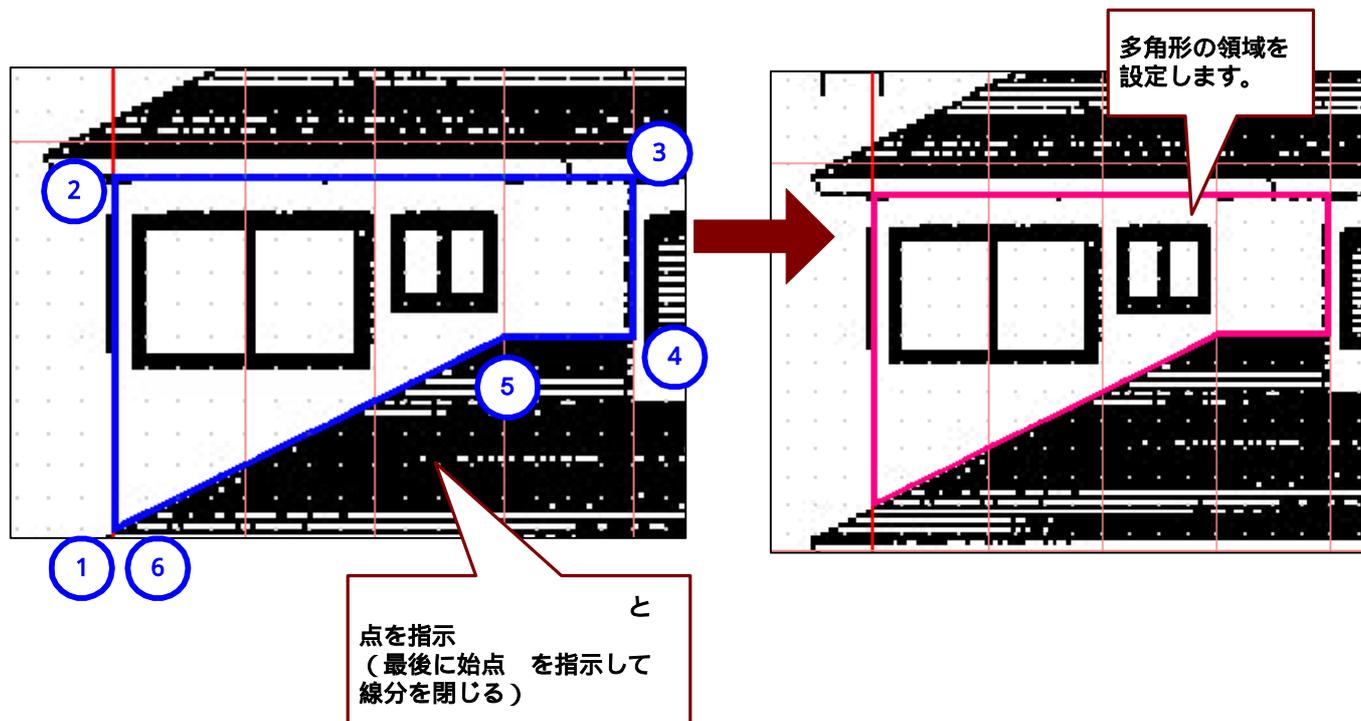
フリー入力

下絵に沿って壁領域となるエリアの各点を指示（クリック）します。

一筆書きの要領で1点目（始点）から順に点を指示してゆきます。最後に始点を指示して線分を閉じ多角形の壁領域を入力します。

（始点となる1点目を指示すると、線分が閉じるまで青線でエリアを表示します。）

設定された壁領域が囲まれて表示されます。



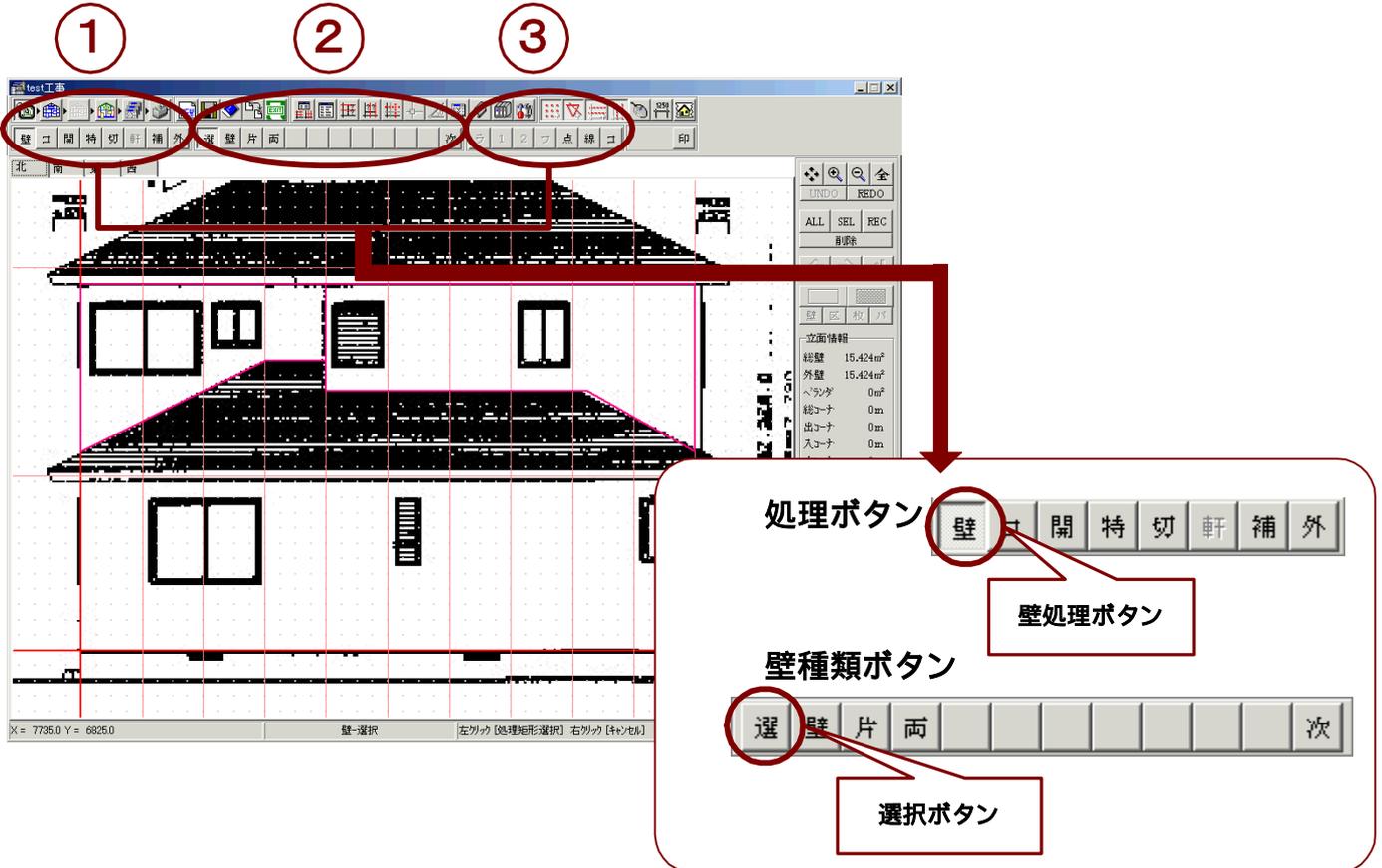
POINT

フリー入力の途中で、指示（クリック）した点が間違っていた場合、**右クリック**を押すと、指示した点の選択が解除になります。

壁入力以外でも、点や線を指示する場合は同様に右クリックで指示が解除になります。

2 壁の修正

1. 入力した壁に修正を加える場合に使用します。
2. [壁処理]ボタンを選択（クリック）し、壁種類ボタンから[選択]ボタンをクリックします。
3. [点移動]・[線移動]・[コピー/移動]の3つのボタンが表示されます。
ボタン表示はされませんが、他に[削除]・[情報の確認変更]・[分割]・[他面へのコピー]の機能があります。



入力ボタン



点移動ボタン・・・壁の多角形の頂点の1点を指示し、その点の移動先の位置を指示します

線移動ボタン・・・壁の多角形の一辺（線）を指示し、その辺（線）の移動先の位置を指示します

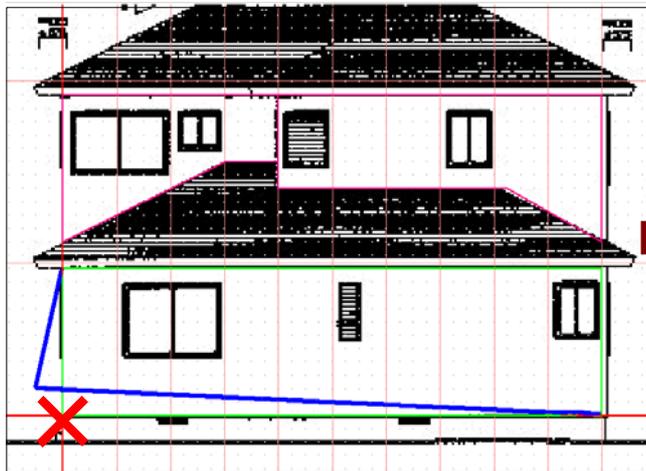
コピー/移動ボタン・・・コピー元の壁を指示し、コピー先の位置を指示します。

（マウスでコピー先の位置を直接指示する方法と、コピーの角度やピッチを入力してコピー先を指示する方法があります）

コピー元の壁を削除する（= 移動）ことも可能です。

点移動

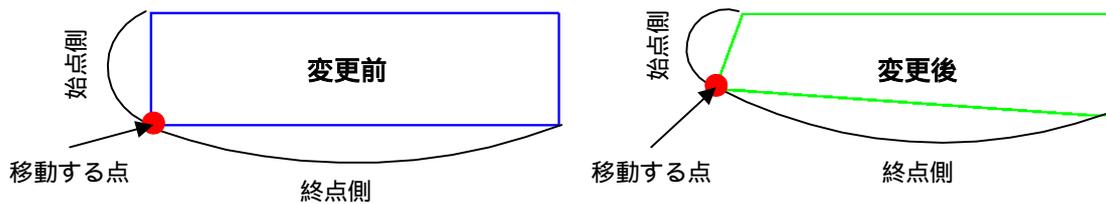
修正する壁の点を指示（クリック）し、その点の移動先の位置を指示します。
移動先の位置が指示されるまで、下図のように点をはさむ2辺が青線で表示されます。
移動先の位置が指示されると点移動画面が表示されます。
ここで移動距離・角度を入力しなおすことも可能です。



点移動	
変更データ	
距離	965.201 mm
角度	135
変更前データ	
始点側	2502.5 mm
終点側	9100 mm
変更後データ	
始点側	1943.761 mm
終点側	9806.279 mm
OK キャンセル	

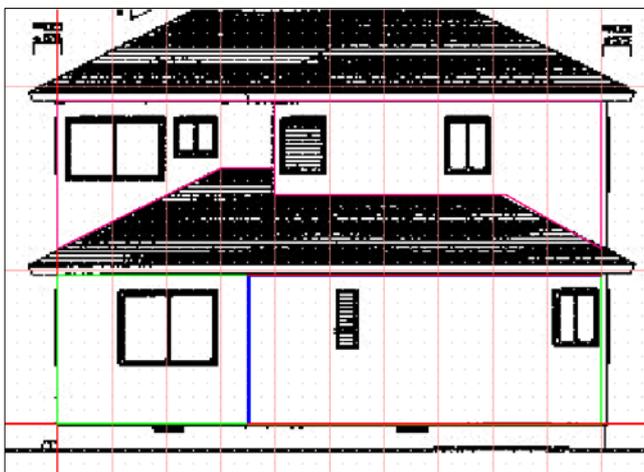
選択した点を含む壁が表示されます。
青線がもとの壁面、緑線を含むのが点移動後の壁面です

上記のような点移動の場合の変更前後の、始点側終点側は下記ようになります。
(始点 終点は反時計周りで考えます)



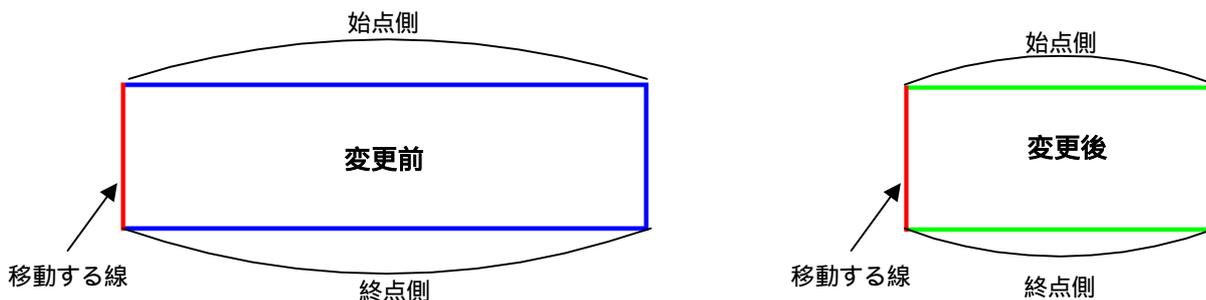
線移動

修正する壁の辺（線）を指示（クリック）し、その辺（線）の移動先の位置を指示します。
移動先の位置が指示されるまで、下図のように辺（線）が青線で表示されます。
移動先の位置が指示されると線移動画面が表示されます。
ここで移動距離・角度を入力しなおすことも可能です。



線移動	
変更データ	
距離	3640 mm
角度	
変更前データ	
始点側	9100 mm
終点側	9100 mm
変更後データ	
始点側	5460 mm
終点側	5460 mm
OK キャンセル	

前記のような線移動の場合の変更前後の、始点側終点側は下記ようになります。
 (始点 終点は反時計周りで考えます)



コピー / 移動

コピーする壁を左クリックで指示します。(この時に指示した点から一番近い多角形の頂点を図形の基点とします。)下記のようなコピー方法画面が表示されますので、コピーの方法を選択します。



<マウス>によるコピーを選択した場合、指示した壁と同じ形状の壁領域が青線で表示されます。コピー先の位置を指示(クリック)すると壁コピー画面が表示されます。(この2回目の指示点がコピーデータの基点の座標として表示されています。)

コピー先の壁情報の設定や複数コピーの設定などをこの画面で行うことができます。

同時取得部材	上	下	左	右
コーナ	0	0	0	0
水切	0	0	0	0
箒板	0	0	0	0
破風	0	0	0	0
入隅	0	0	0	0
軒天	0	0	0	0
オーバーハング	0	0	0	0
付柱	0	0	0	0

マウスで指示した点にそのままコピーする場合は、コピー数1、角度0、ピッチ0 とします。

コピー元データを消す(移動)場合はここにチェックを入れます

<図形の基点の変更>
この図上で多角形の頂点を指示することで変更可能です。

<ダイアログ>によるコピーを選択した場合、上記の壁コピー画面が表示されます。コピー数・角度・ピッチ・基点座標・始まり位置の設定をおこないます。

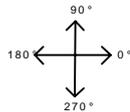
壁コピー（移動）の設定詳細

コピー先の壁の設定をマスター設定した壁の中から選ぶことができます。またこの画面で壁の設定を変更することも可能です。
（参照【マスター】-【入力補助】-【壁】）

初期値に戻す

コピーする数量

コピー先への角度



複数コピーを配置するピッチ

コピー先の基点のXY座標
始めに表示される座標は
<マウス>の場合は、2回目に指示した点の座標、<ダイアログ>の場合は、図形の基点となっています。

コピーの開始位置設定

コピー元データの削除

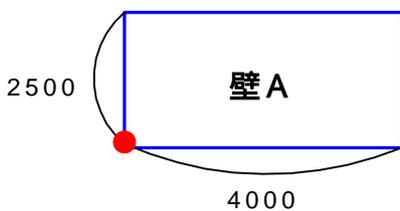
同時取得部材	上	下	左	右
コーナー	0	0	0	0
水切	0	0	0	0
幕板	0	0	0	0
破風	0	0	0	0
入隅	0	0	0	0
軒天	0	0	0	0
オーバーハンダ	0	0	0	0
付柱	0	0	0	0

指示したコピー元の壁形状が表示されます。

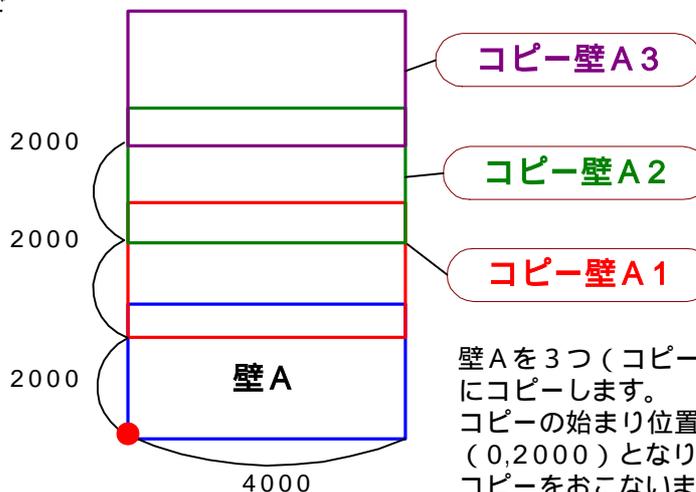
赤点はコピー（移動）のする際の図形の基点

壁コピーのサンプル

例えば下左のような壁Aを下右のような設定でコピーをおこなった場合、壁Aはつぎのようにコピーされて表示されます。



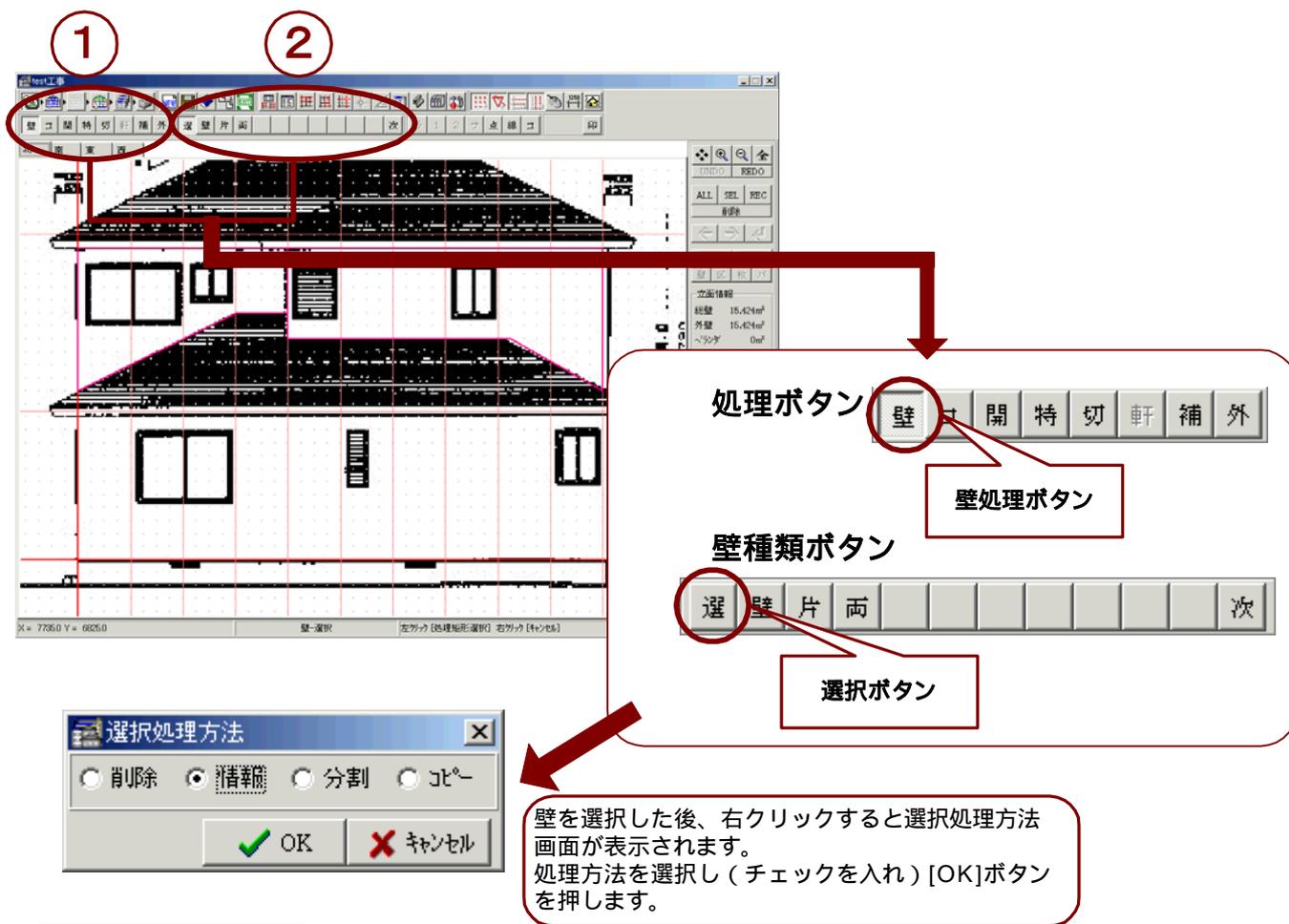
角度90°なので
上方向にコピー
して配置



壁Aを3つ（コピー壁A1・A2・A3）を上方向にコピーします。
コピーの始まり位置は、基点+ピッチの点（0,2000）となり、ピッチ分ずつ上に移動してコピーをおこないます。

ボタン表示のない壁の修正機能 [削除]・[情報の確認変更]・[分割]・[他面へのコピー] について

1. ボタン表示の機能と同様に、入力した壁に修正を加える場合に使用します。
2. [壁処理]ボタンを選択(クリック)し、壁種類ボタンから[選択]ボタンをクリックします。
3. 修正作業をおこなう壁を選択(クリック)し、その後**右クリック**をおこないます。
下記のような**選択処理方法**画面が表示されます。
[削除]・[情報]・[分割]・[コピー]から必要な機能の箇所をクリックして[OK]ボタンをおします。



削除

選択した壁を削除します。

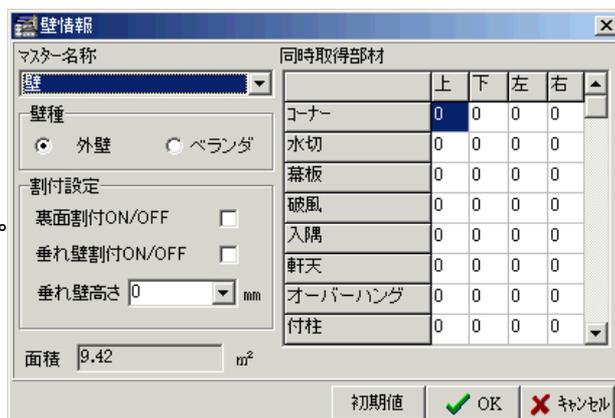
情報

壁情報画面が表示されます。

壁の設定をマスター設定した壁の中から選ぶことができます。またこの画面で壁の設定を変更することも可能です。

(参照【マスター】-【入力補助】-【壁】

P5-5 同時取得部材の設定)



分割

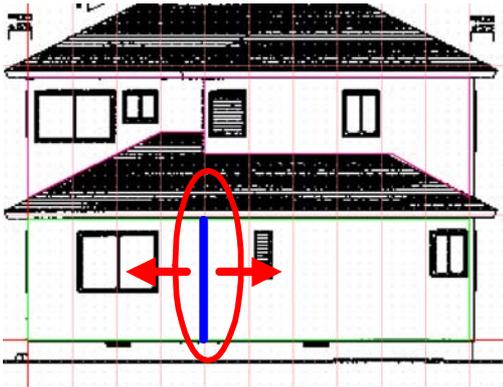
分割処理方法画面が表示されます。

壁の2分割を行うことが可能で、その分割の方法として、縦・横・任意の3つの設定があります。



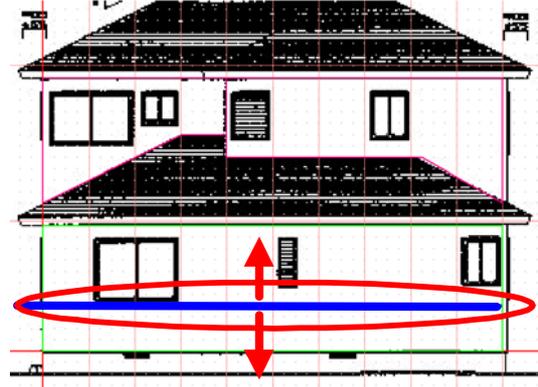
縦分割

選択した壁の縦方向の線が表示されますので、分割位置を指示（クリック）します。
分割位置が決定するまで、青線で位置表示を行います。



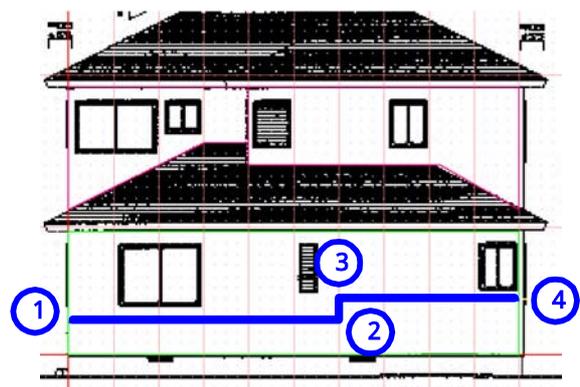
横分割

選択した壁の横方向の線が表示されますので、分割位置を指示（クリック）します。
分割位置が決定するまで、青線で位置表示を行います。



任意分割

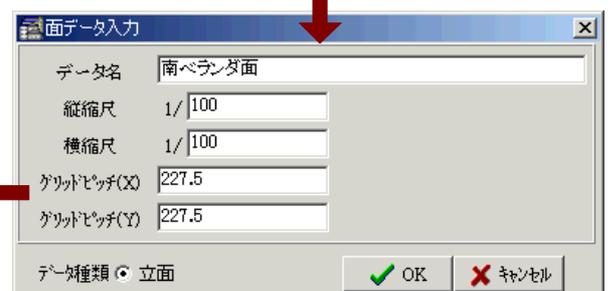
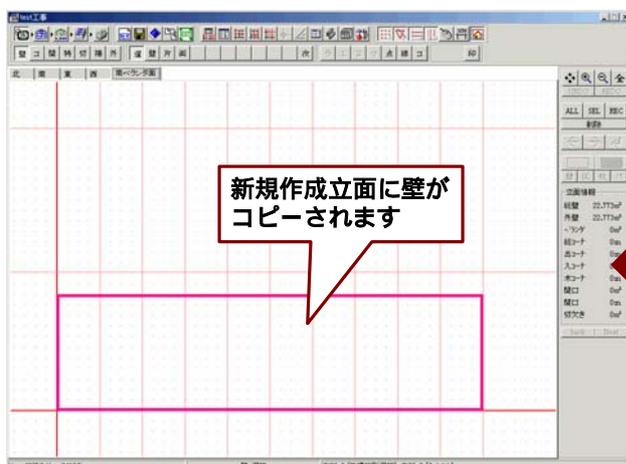
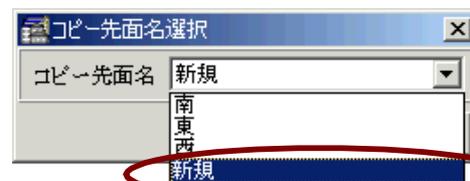
分割する壁の上をフリーに分割位置を指示することができます。
分割位置の指示は、壁のフリー入力の要領で行います。



コピー

選択した壁面を他の立面へコピーします。

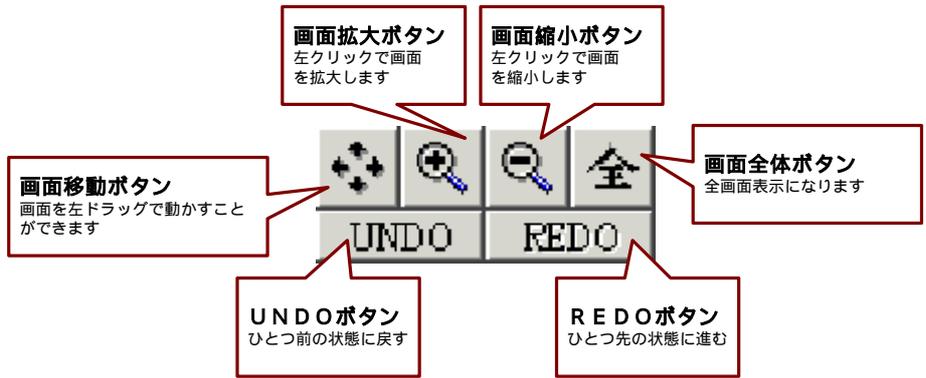
コピー先面名選択画面が表示されますので、コピー先の面の名称を選択します。新規の面にコピーする場合は、新規を選択し、続いて表示する面データ入力画面に新規面の縮尺・ピッチの入力を行います。



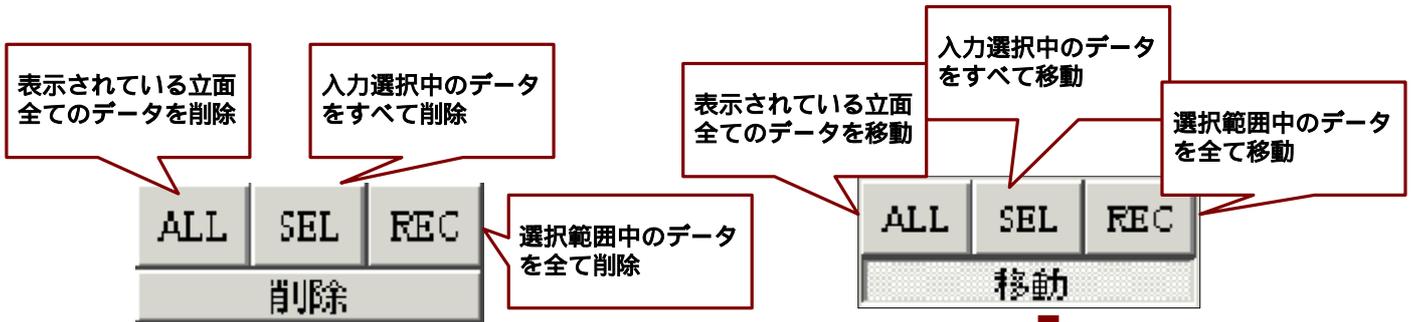
入力補助ボタン

各入力画面に共通の入力補助ボタンです。

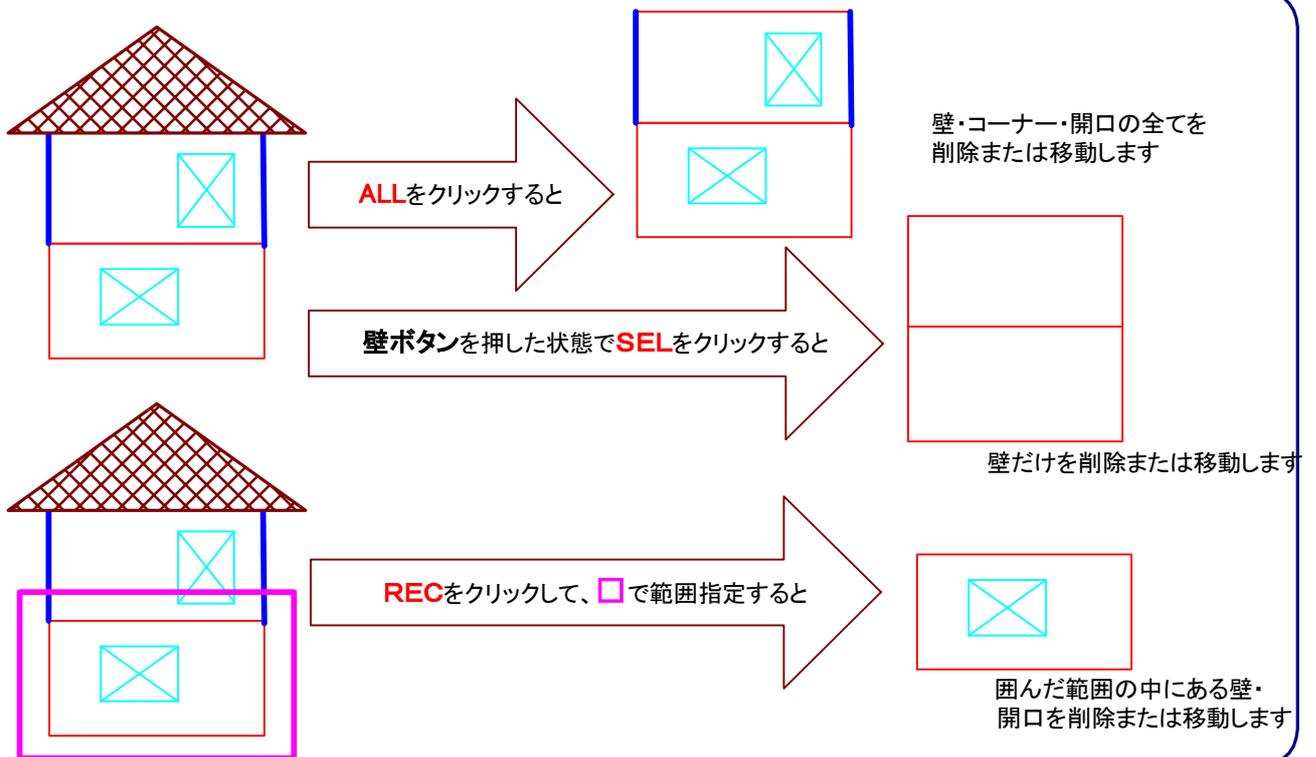
画面の移動・拡大縮小 UNDO・REDO



移動・削除



移動の場合、データ移動量画面が表示されますので X・Yの移動量 (mm) を入力してください。
マイナス方向への移動は、数値の前に - をつけます



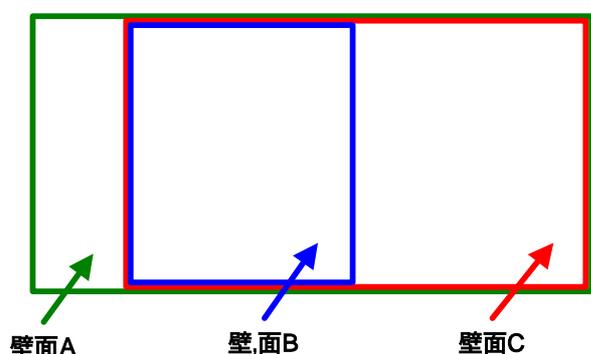
重複部の選択

重なり合った壁などではコピーや削除などを行う時、個々の壁面を指示することが難しい場合があります。



このような場合、入力画面右上の入力補助ボタンを利用します。
(左記のような状態になっています)

重なりあった壁部をクリックし、  のボタンをクリックすると重なったそれぞれの壁面を黄線で表示します。選択したい壁面が黄色表示された時  のボタンをクリックして壁面の選択を行います。



左記のような重なった壁面の場合、

  ボタンをクリックすると

壁面A 壁面B 壁面C



と順に黄色線で表示されます

立面情報

現在表示している立面の入力情報が表示されます。

立面情報	
総壁	30.819m ²
外壁	30.819m ²
ベランダ	0m ²
総コーナー	11.59m
出コーナー	11.59m
入コーナー	0m
木コーナー	0m
開口	7.38m ²
開口	28.03m
切欠き	0m ²

総壁・・・外壁とベランダ壁の合計の面積(単位m²)

外壁・・・入力した外壁から開口、切欠きを除いた面積(単位m²)

ベランダ・・・表裏割付をおこなうベランダ壁の面積(単位m²)

総コーナー・・・出隅コーナー・入隅コーナー・木口コーナーの合計長さ
(単位m)

出コーナー・・・出隅コーナーの合計長さ(単位m)

入コーナー・・・入隅コーナーの合計長さ(単位m)

木コーナー・・・木口コーナーの合計長さ(単位m)

開口・・・開口部の合計の面積(単位m²)

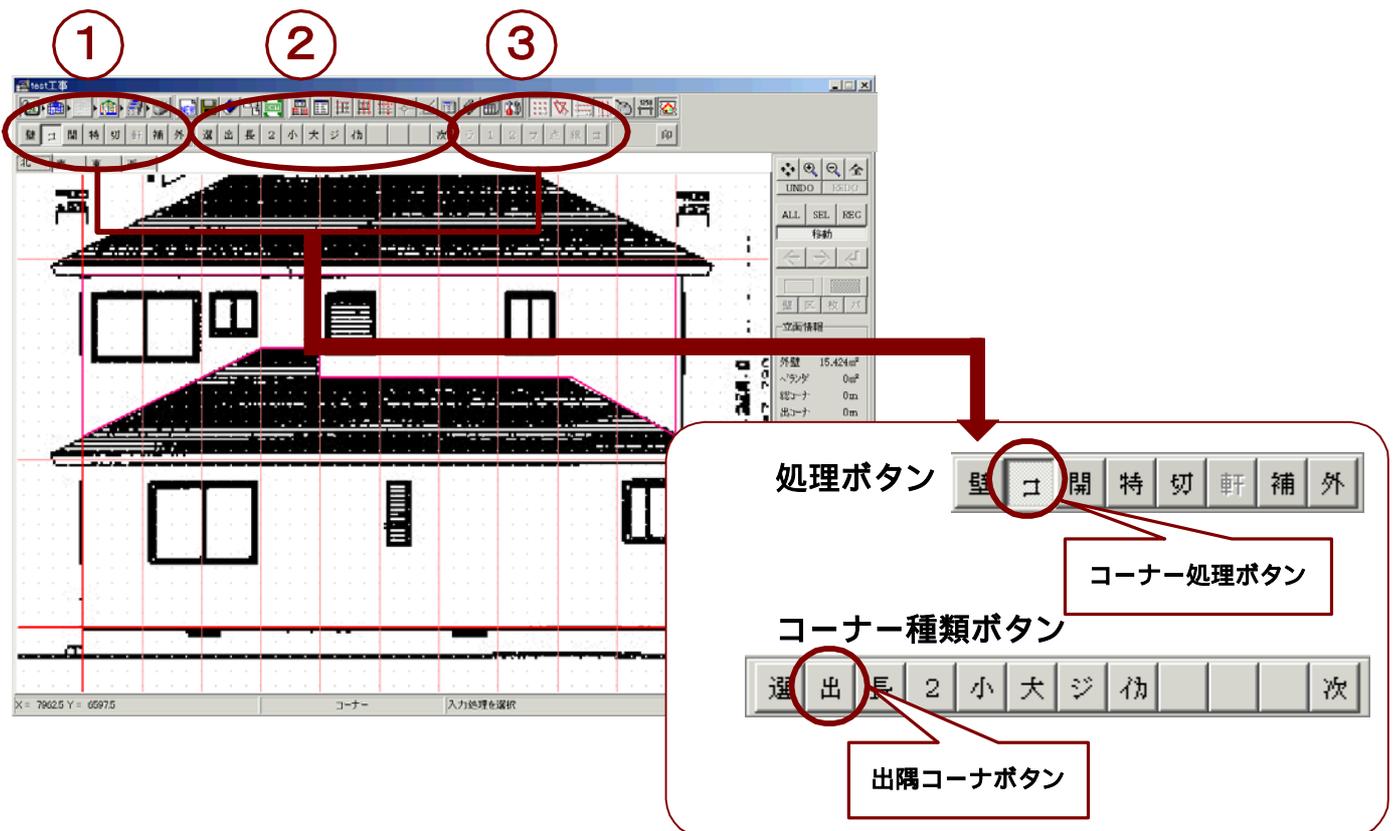
開口・・・開口部の合計外周の長さ(単位m)

切欠き・・・切欠き部の合計の面積(単位m²)

3-D 立面のコーナー処理

1 コーナーの入力

1. 入力した壁のコーナー材を入力してゆきます。
2. [コーナー処理]ボタンを選択（クリック）し、表示されたコーナー種類ボタンから入力するコーナーのボタンを選択します。コーナー種類ボタンは、【マスター設定】-立面【入力補助】-【コーナー】で最大20種まで登録することが可能です。
登録したコーナー名称の最初の1文字がボタン表示されています。（半角入力場合は2文字表示）
ここでは、初期値として登録されている[出隅コーナー]ボタンを選択します。
3. コーナー入力の3つの方法の中から適した入力方法を選択して、コーナーの入力をおこないます。



入力ボタン

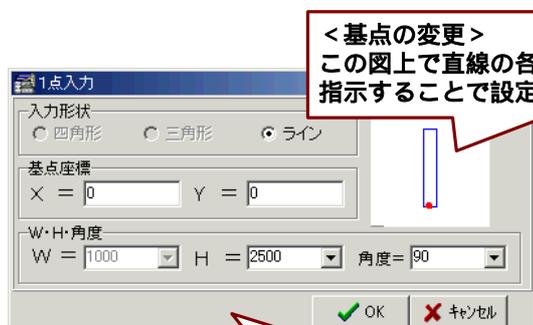


- ライン入力**・・・壁の辺（ライン）を指示すると、自動で長さを判断してコーナーの入力をおこないます。
ただし、辺（ライン）上に端点や交点がある場合は、そこまでの長さで止まって入力されます。
ライン入力は、端点や交点がない辺（ライン）でご利用下さい。
- 1点入力**・・・基点となる1点を指示し、寸法と角度を入力してコーナーを入力します
- 2点入力**・・・基点となる1点を端点とし、ラインの反対側端部の点との二つの点を指示し入力をおこないます。

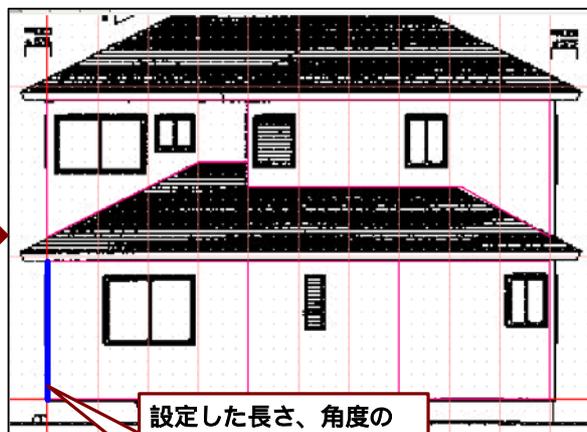
1点入力

基点となる点（入力するコーナー部の端点）を指示（クリック）すると下記のような1点入力画面が表示されます。基点座標・H寸法・角度を入力して[OK]ボタンをクリックします。

設定されたコーナーが青色で表示されます。（青色はこの場合の、出隅コーナーに指定された色です。色設定は【環境設定】-【表示】-表示色で設定が可能です。）



<W・Hのマスター登録>
1点入力で、よく利用するサイズのW・H寸法をマスターとして登録しておくことができます。（【マスター設定】-【共通】-【寸法】）



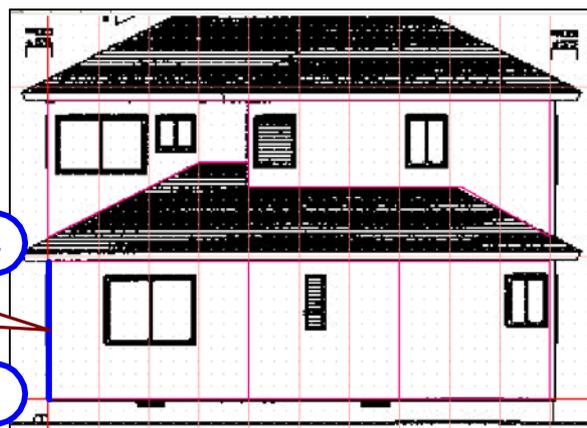
2点入力

入力するコーナー部の端点（始点）とその反対の端点（終点）を指示（クリック）します。

（始点となる1点目を指示すると、終点を指示するまで青線で線を表示します。）

設定されたコーナーが青色で表示されます。

で2点を指示

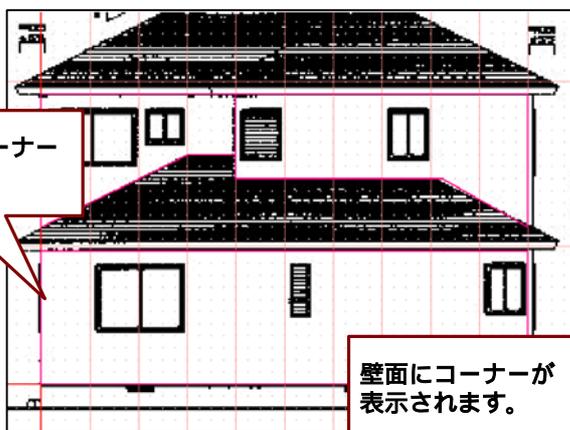


ライン入力

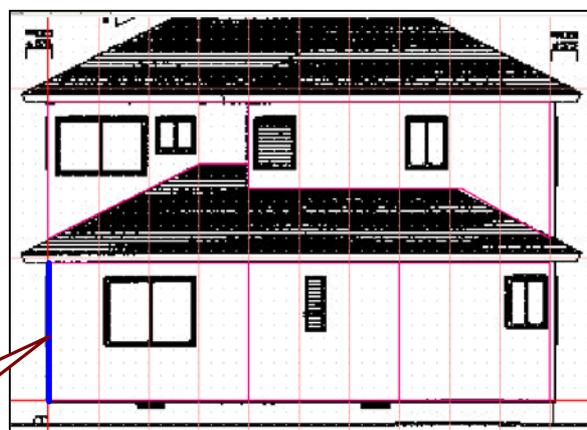
コーナーを入力したい壁の辺（ライン）上の1点を指示（クリック）します。

壁の情報から自動的に長さなどを判断してコーナーを設定し青色で表示します。

壁面のコーナー部を指示



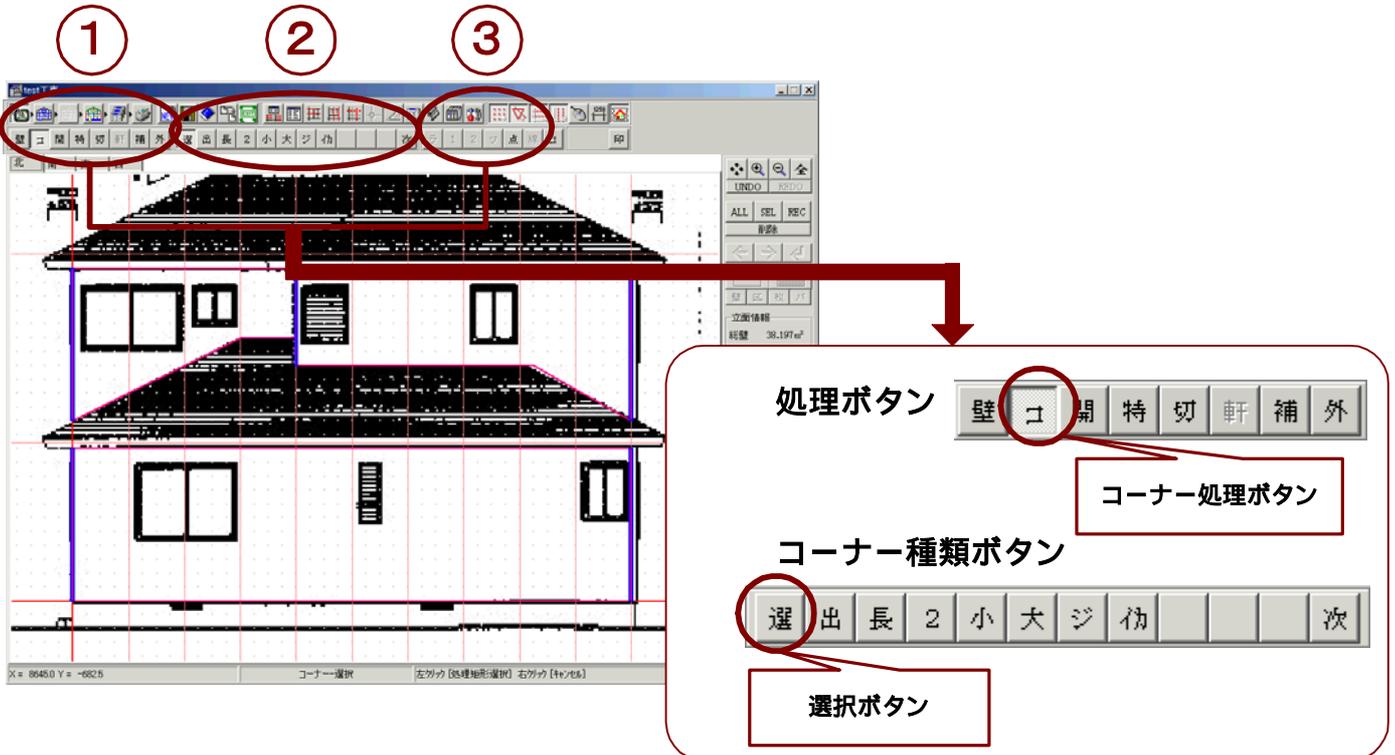
壁面にコーナーが表示されます。



注意！ 辺（ライン）上に端点や交点がある場合、ライン入力ではそこまでの長さで止まって入力します。
ライン入力は、端点や交点がない辺（ライン）でご利用下さい。

2 コーナーの修正

1. 入力したコーナーに修正を加える場合に使用します。
2. [コーナー処理]ボタンを選択(クリック)し、コーナー種類ボタンから[選択]ボタンをクリックします。
3. [点移動]・[コピー/移動]の2つのボタンが表示されます。
ボタン表示はされませんが、他に[削除]・[情報の確認変更]・[他面へのコピー]の機能があります。



入力ボタン



点移動ボタン・・・コーナーの端点の1点を指示し、その点の移動先の位置を指示します

コピー/移動ボタン・・・コピー元のコーナーを指示し、コピー先の位置を指示します。

(マウスでコピー先の位置を直接指示する方法と、コピーの角度やピッチを入力してコピー先を指示する方法があります)

コピー元のコーナーを削除する(=移動)ことも可能です。

点移動・コピー/移動それぞれの操作等は壁の場合と同様です。

POINT

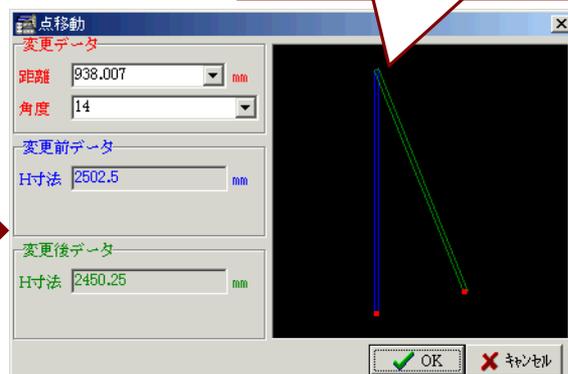
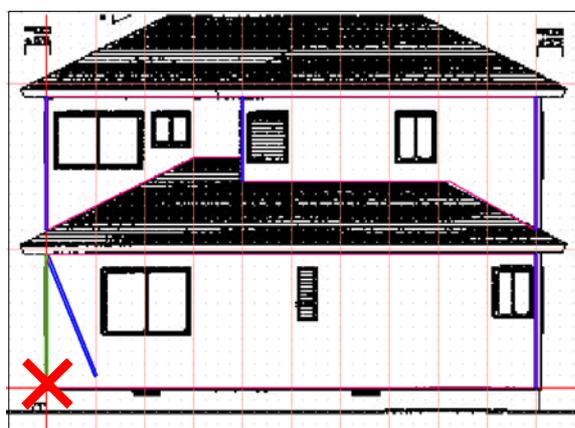
コーナー入力の際は、**東西南北の各面で四隅のコーナーの入力を行わないで下さい。**

四隅のコーナーが2重になりコーナー長も2重に加算してしまいます。

東西面で四隅のコーナーを入力するなどルールを定めて入力を行って下さい。

点移動

修正するコーナーの点を指示（クリック）し、その点の移動先の位置を指示します。
移動先の位置が指示されるまで、下図のように青線が表示されます。
移動先の位置が指示されると点移動画面が表示されます。
ここで移動距離・角度を入力しなおすことも可能です。

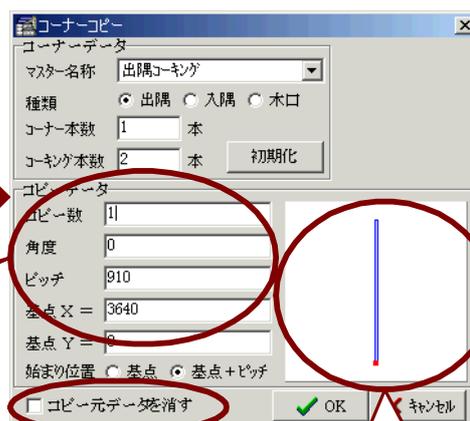
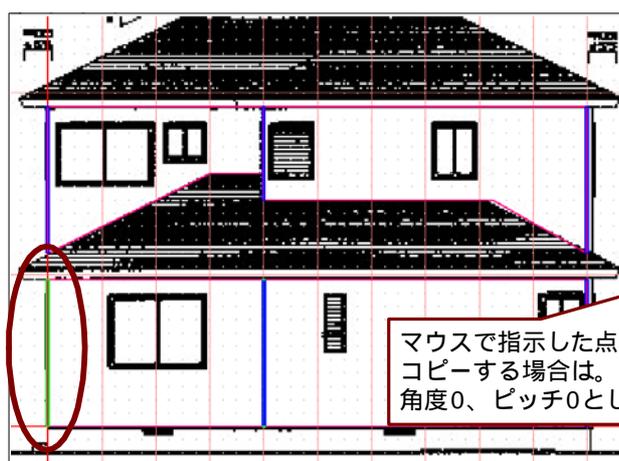


コピー/移動

コピーするコーナーを左クリックで指示します。
(このときに指示した点から一番近い端点を図形の基点とします。) 右記のようなコピー方法画面が表示されますので、コピーの方法を選択します。



<マウス>によるコピーを選択した場合、指示したコーナーと同じ形状のコーナー線が青線が表示されます。
コピー先の位置を指示（クリック）するとコーナーコピー画面が表示されます。(この2回目の指示点がコピーデータの基点の座標として表示されています。) コピー先のコーナー情報の設定や複数コピーの設定などをこの画面で行うことができます。



コピー元データを消す(移動)場合はここにチェックを入れます

<図形の基点の変更>
この図上で直線の端点を指示することで変更可能です。

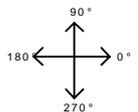
<ダイアログ>によるコピーを選択した場合、上記のコーナーコピー画面が表示されます。
コピー数・角度・ピッチ・基点座標・始まり位置の設定をおこないます。

コーナーコピー（移動）の設定詳細

コピー先のコーナーの設定をマスター設定したコーナーの中から選ぶことができます。またこの画面でコーナーの設定を変更することも可能です。
(参照【マスター】-【入力補助】-【コーナー】)

コピーする数量

コピー先への角度



複数コピーを配置するピッチ

コピー先の基点のXY座標

コピーの開始位置設定

コピー元データの削除



初期値に戻す

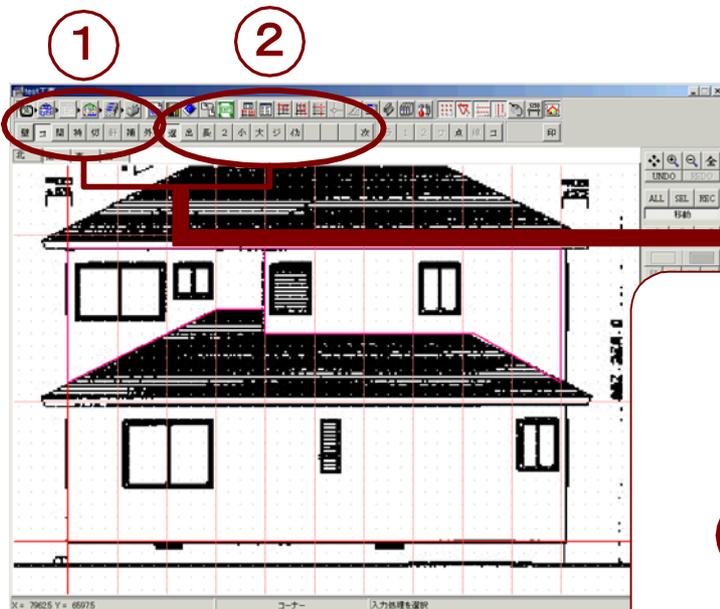
初期化

指示したコピー元のコーナー形状が表示されます。

赤点はコピー（移動）する際の図形の基点

ボタン表示のないコーナーの修正機能 [削除]・[情報の確認変更]・[他面へのコピー] について

1. ボタン表示の機能と同様に、入力したコーナーに修正を加える場合に使用します。
2. [コーナー処理]ボタンを選択（クリック）し、コーナー種類ボタンから[選択]ボタンをクリックします。
3. 修正作業をおこなうコーナーを選択（クリック）し、その後**右クリック**をおこないます。
下記のような**選択処理方法**画面が表示されます。
[削除]・[情報]・[コピー]から必要な機能の箇所をクリックして[OK]ボタンをおします。



処理ボタン



コーナー処理ボタン

コーナー種類ボタン



選択ボタン



コーナーを選択した後、右クリックすると選択処理方法画面が表示されます。処理方法を選択し（チェックを入れ）[OK]ボタンを押します。

削除

選択したコーナーを削除します。

情報

コーナー情報画面が表示されます。

コーナーの設定をマスター設定したコーナーの中から選ぶことができます。

またこの画面でコーナーの設定を変更することも可能です。

(参照【マスター】 - 【入力補助】 - 【コーナー】)

マスター名称	出隅コーキング
種類	<input checked="" type="radio"/> 出隅 <input type="radio"/> 入隅 <input type="radio"/> 木口
コーナー本数	1 本
コーキング本数	2 本
長さ	2.502 m

コピー

選択したコーナー面を他の立面へコピーします。

コピー先面名選択画面が表示されますので、コピー先の面の名称を選択します。

新規の面にコピーする場合は、新規を選択し、続いて表示する面データ入力画面に新規面の縮尺・ピッチの入力を行います。

新規作成立面にコーナーがコピーされます

コピー先面名選択

コピー先面名 新規

南
東
西
新規

面データ入力

データ名 南ベランダ面

縦縮尺 1/100

横縮尺 1/100

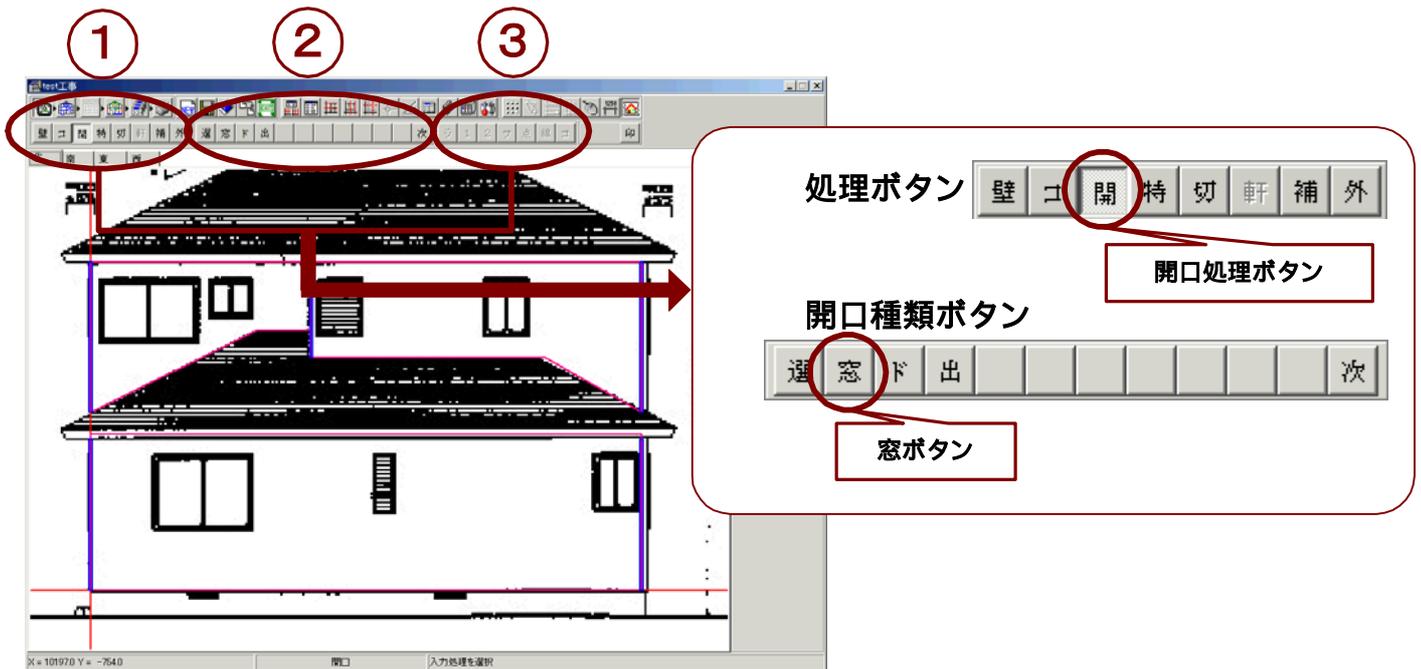
グリッドピッチ(X) 227.5

グリッドピッチ(Y) 227.5

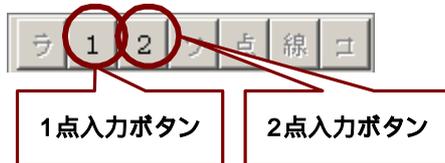
データ種類 立面

1 開口の入力

1. 入力した壁の開口を入力してゆきます。
2. [開口処理]ボタンを選択（クリック）し、表示された開口種類ボタンから入力する開口のボタンを選択します。開口種類ボタンは、【マスター設定】-立面【入力補助】-【開口】で最大20種まで登録することが可能です。登録した開口名称の最初の1文字がボタン表示されています。（半角入力場合は2文字表示）ここでは、初期値として登録されている[窓]ボタンを選択します。
3. 開口入力の2つの方法の中から適した入力方法を選択して、開口の入力をおこないます。



入力ボタン

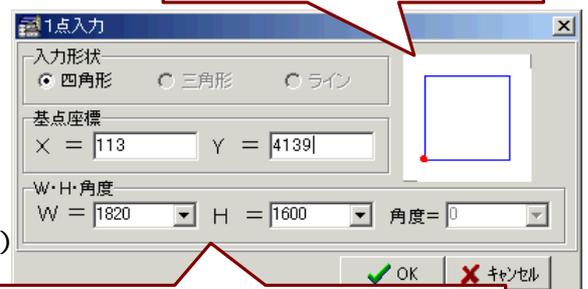


- 1点入力・・・基点となる1点を指示し、W寸法・H寸法を入力して開口を入力します
- 2点入力・・・基点となる1点と対角線上にある1点の二つの点を指示し、四角形を入力して開口領域を入力します。（矩形入力）

1点入力

基点となる点（入力する開口領域の左下の点）を指示（クリック）すると右記のような1点入力画面が表示されます。開口の基点座標・W寸法・H寸法を入力して[OK]ボタンをクリックします。
設定された開口が青色で表示されます。
（青色はこの場合の、窓開口に指定された色です。
色設定は【環境設定】-【表示】-表示色で設定が可能です。）

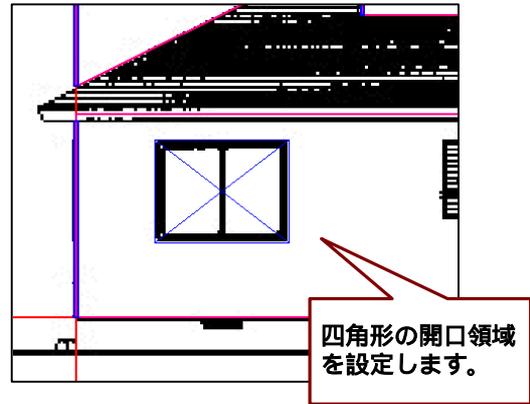
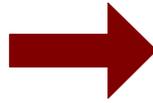
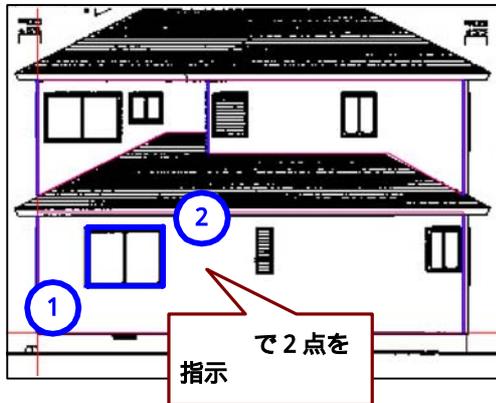
<基点の変更>
この図上で四角形の各頂点を指示することで設定可能です。



<W・Hのマスター登録>
1点入力で、よく利用するサイズのW・H寸法をマスターとして登録しておくことができます。
（【マスター設定】-【共通】-【寸法】）

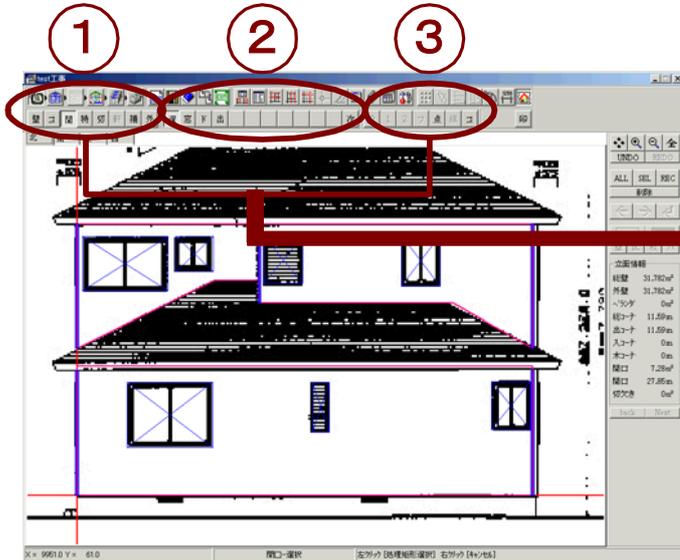
2点入力

基点となる点（始点）とその対角線上にある2点目（終点）を指示（クリック）します。
（始点となる1点目を指示すると、終点を指示するまで青線でエリアを表示します。）
設定された開口領域が青色で表示されます。



2 開口の修正

1. 入力した開口に修正を加える場合に使用します。
2. [開口処理]ボタンを選択（クリック）し、開口種類ボタンから[選択]ボタンをクリックします。
3. [点移動]・[コピー/移動]の2つのボタンが表示されます。
ボタン表示はされませんが、他に[削除]・[情報の確認変更]・[分割]・[他面へのコピー]の機能があります。



処理ボタン



開口処理ボタン

コーナー種類ボタン



選択ボタン

入力ボタン



コピー/移動ボタン

点移動ボタン

点移動ボタン・・・開口の四角形の頂点の1点を指示し、その点の移動先の位置を指示します
コピー/移動ボタン・・・コピー元の開口を指示し、コピー先の位置を指示します。

（マウスでコピー先の位置を直接指示する方法と、コピーの角度やピッチを入力してコピー先を指示する方法があります）コピー元開口の削除（=移動）も可能です。

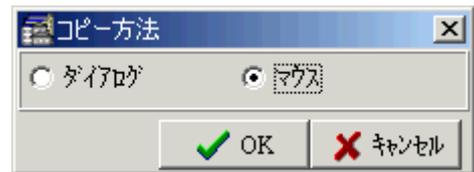
点移動

修正する開口の点を指示（クリック）し、その点の移動先の位置を指示します。
 移動先の位置が指示されるまで、下図のように四角形が青線で表示されます。
 移動先の位置が指示されると点移動画面が表示されます。ここで移動距離・角度の入力変更も可能です。

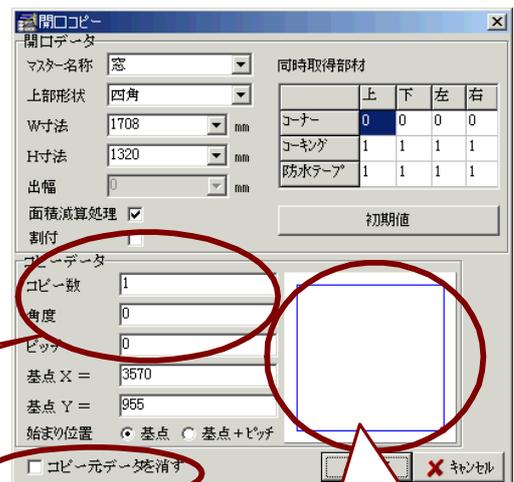
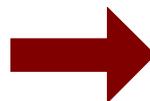
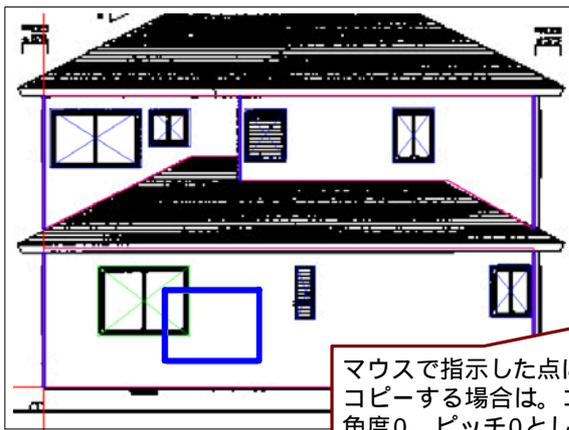


コピー / 移動

コピーする開口を左クリックで指示します。（この時に指示した点から一番近い四角形の頂点を図形の基点とします。）右記のようなコピー方法画面が表示されますので、コピーの方法を選択します。



<マウス>によるコピーを選択した場合、指示した開口と同じ形状の開口線が青線で表示されます。コピー先の位置を指示（クリック）すると開口コピー画面が表示されます。（この2回目の指示点がコピーデータの基点の座標として表示されています。コピー先の開口情報の設定や複数コピーの設定などをこの画面で行うことができます。



マウスで指示した点にそのままコピーする場合は、コピー数1、角度0、ピッチ0とします。

コピー元データを消す（移動）場合はここにチェックを入れます

**<図形の基点の変更>
 この図上で四角形の頂点を指示することで変更可能です。**

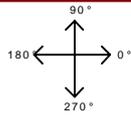
<ダイアログ>によるコピーを選択した場合、上記の開口コピー画面が表示されます。コピー数・角度・ピッチ・基点座標・始まり位置の設定をおこないます。

開口コピー（移動）の設定詳細

コピー先の開口の設定をマスター設定した開口の中から選ぶことができます。またこの画面で開口の設定を変更することも可能です。（参照【マスター】-【入力補助】-【開口】）

コピーする数量

コピー先への角度



複数コピーを配置するピッチ

基点（右絵の赤点位置）のXY座標

コピーの開始位置設定

コピー元データの削除

	上	下	左	右
コーナー	0	0	0	0
コーキング	1	1	1	1
防水テープ	1	1	1	1

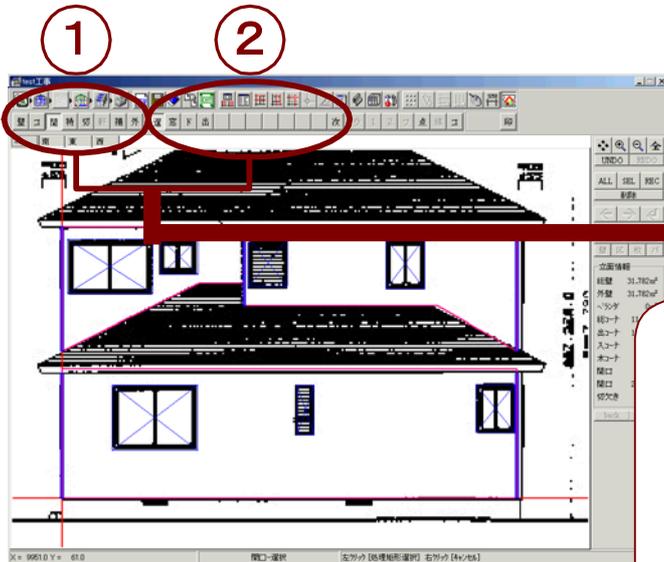
初期値に戻す

指示したコピー元の壁形状が表示されます。

赤点はコピー（移動）のする際の図形の基点

ボタン表示のない開口の修正機能 [削除]・[情報の確認変更]・[分割]・[他面へのコピー] について

1. ボタン表示の機能と同様に、入力した開口に修正を加える場合に使用します。
2. [開口処理]ボタンを選択（クリック）し、開口種類ボタンから[選択]ボタンをクリックします。
3. 修正作業をおこなう開口を選択（クリック）し、その後**右クリック**をおこないます。
下記のような**選択処理方法**画面が表示されます。
[削除]・[情報]・[分割]・[コピー]から必要な機能の箇所をクリックして[OK]ボタンをおします。



処理ボタン



開口処理ボタン

開口種類ボタン



選択ボタン

開口を選択した後、右クリックすると選択処理方法画面が表示されます。処理方法を選択し（チェックを入れ）[OK]ボタンを押します。

削除

選択した開口を削除します。

情報

開口情報画面が表示されます。開口の設定をマスター設定した開口の中から選ぶことができます。またこの画面で開口の設定を変更することも可能です。

(参照【マスター】 - 【入力補助】 - 【開口】)

選択している開口のW寸法・H寸法が表示されます。ここでWH寸法の変更が可能です。

<面積減算処理>
選択している開口の面積を、壁面積から減算します。減算しない場合は、チェックをはずしてください。(参照【環境】 - 【集計】)

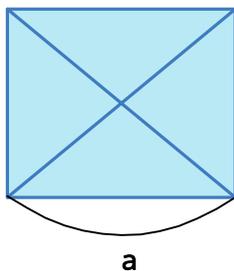
<割付>
チェックがついている場合、割付時に開口を無視して、割付をおこないます。



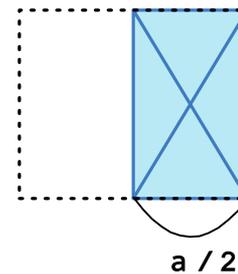
WH寸法変更の際の基点設定

開口情報を利用した開口の寸法変更について

w寸法=aの開口
w寸法を1/2に変更する

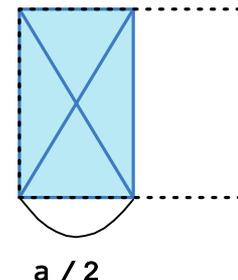
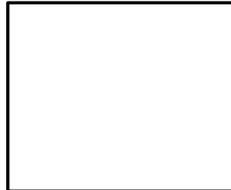


基点位置を右下点にする



右下点から
w寸法 a/2に

基点位置を左下点にする



左下点から
w寸法 a/2に

分割

分割処理方法画面が表示されます。

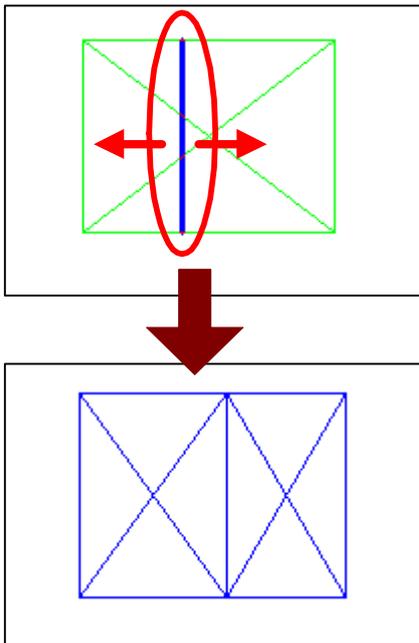
開口の2分割を行うことが可能で、その分割の方法として、縦・横の2つの設定があります。



縦分割

選択した開口の縦方向の線が表示されますので、分割位置を指示（クリック）します。

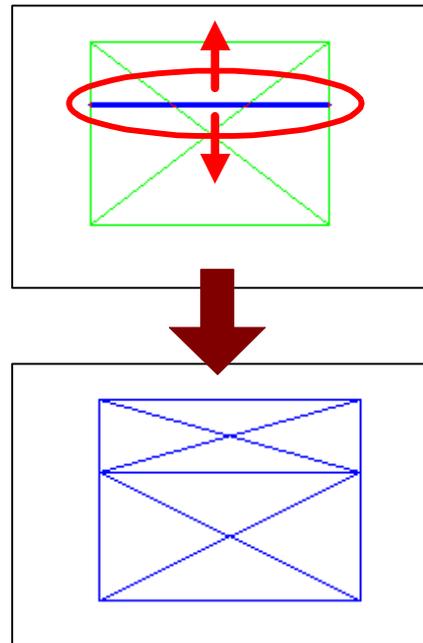
分割位置が決定するまで、青線で位置表示を行います。



横分割

選択した開口の横方向の線が表示されますので、分割位置を指示（クリック）します。

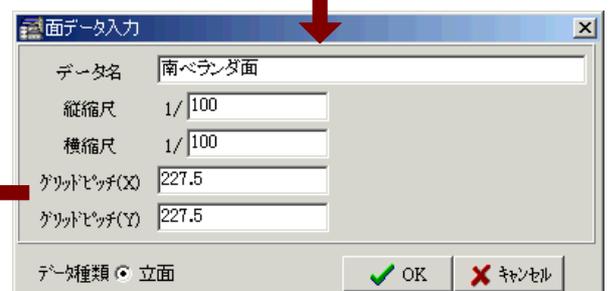
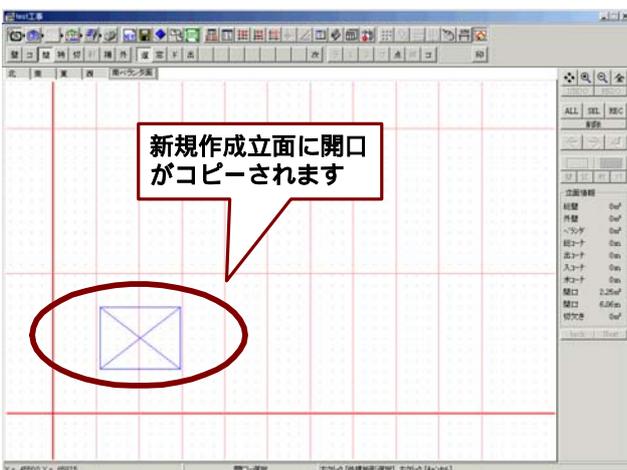
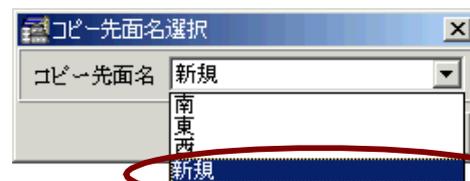
分割位置が決定するまで、青線で位置表示を行います。



コピー

選択した開口を他の立面へコピーします。

コピー先面名選択画面が表示されますので、コピー先の面の名称を選択します。新規の面にコピーする場合は、新規を選択し、続いて表示する面データ入力画面に新規面の縮尺・ピッチの入力を行います。



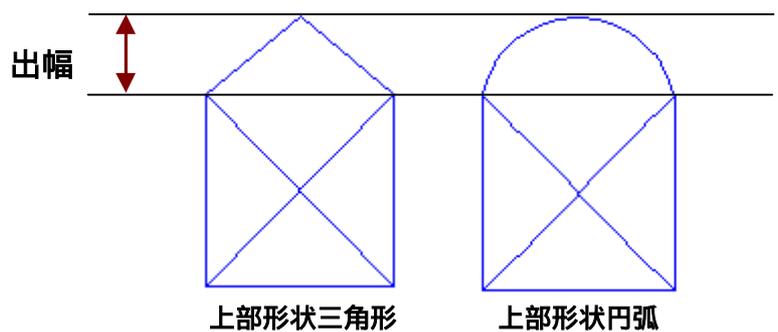
3 特殊開口の入力

通常の四角形の開口以外に、開口上部が三角形・円弧の形状をした特殊開口の入力が可能です。
入力・修正の方法は開口と同様の為、ここでは詳細説明を省略しています。

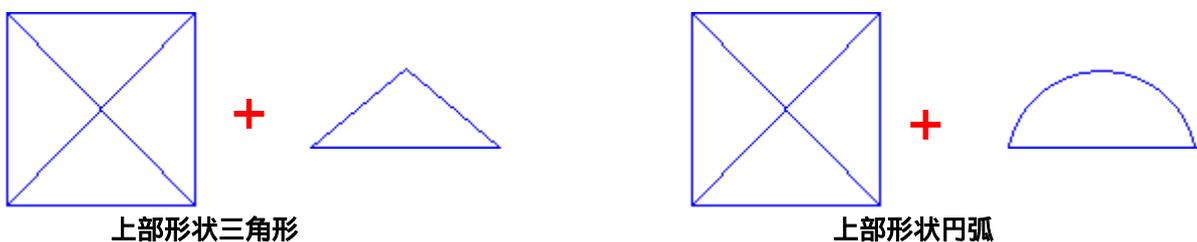
1. [特殊開口処理]ボタンを選択（クリック）し、表示された特殊開口種類ボタンから入力する特殊開口のボタンを選択します。特殊開口種類ボタンは、開口種類ボタンとおなじものが表示されます。
ここでは、初期値として登録されている[窓]ボタンを選択します。
2. 特殊開口入力の2つの方法の中から適した入力方法を選択して、特殊開口の入力をおこないます。

3. 開口の四角形を入力すると下記のような特殊開口上部画面が表示されます。
上部形状を選択し、出幅寸法を入力します

特殊開口の入力と出幅について



特殊開口の入力は、四角形部分を入力し、その上部に三角形や円弧の部分をつける形となります。1点入力・2点入力時の開口サイズは四角形部分となります。開口サイズ設定時にはご注意ください。



3-F その他の立面の入力処理

1 切欠き処理

開口以外に、入力した壁領域から除きたい部分をこの切欠き処理で入力します。
入力・修正の方法は壁と同様の為、ここでは詳細説明を省略しています。

- [切欠き処理]ボタンを選択（クリック）し、表示された切欠き種類ボタンから入力する切欠きのボタンを選択します。
切欠き種類ボタンには、[選択]・[外壁用切欠き]・[ベランダ用切欠き]が設定されています。
- 切欠き入力の3つの方法の中から適した入力方法を選択して、切欠きの入力をおこないます。

処理ボタン

切欠き処理ボタン

切欠き種類ボタン

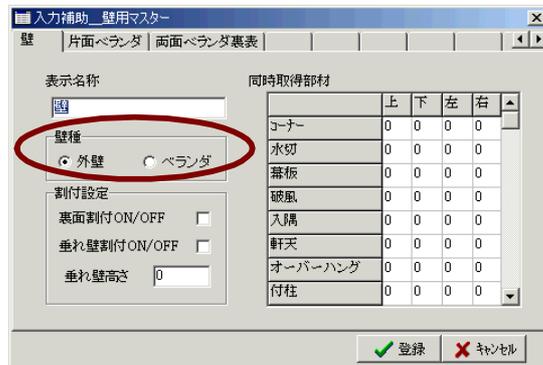
外壁用切欠きボタン ベランダ用切欠きボタン

入力ボタン

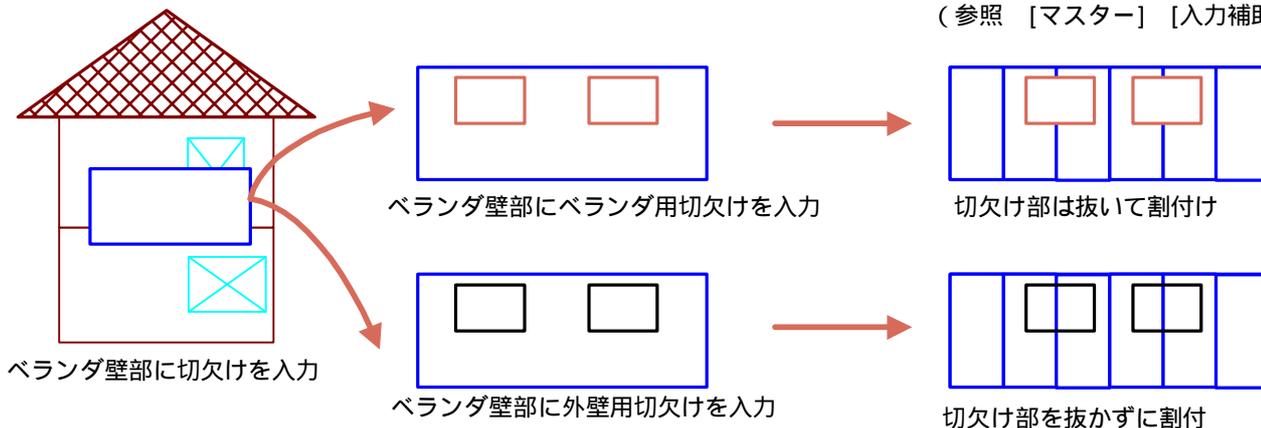
1点入力ボタン 2点入力ボタン フリー入力ボタン

POINT

切欠きには、外壁用切欠きとベランダ用切欠きが用意されています。
入力した壁の壁種が外壁なら外壁用切欠きを、ベランダならベランダ用切欠きを利用してください。
割付の際、切欠き部を割付ない設定にした場合、壁種と切り欠きがあていれば、切欠き部を抜いて割付をおこないます。



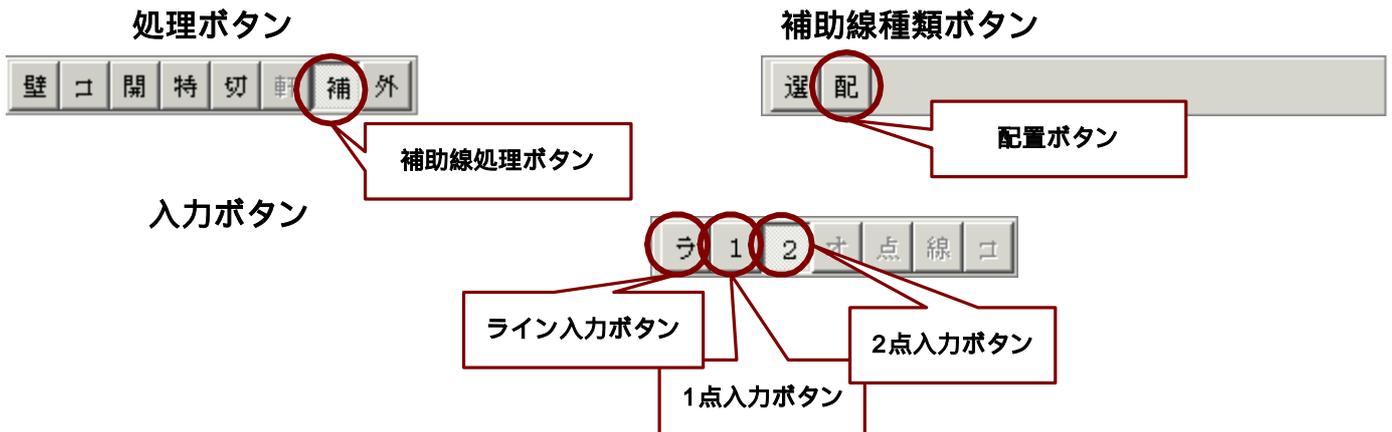
壁マスター設定画面
(参照 [マスター] [入力補助] [壁])



2 補助線の入力

入力の補助として、グリッドピッチや通り芯・柄変更高さなどがありましたが、それ以外に任意に入力できる補助線の機能があります。入力の方法はコーナー処理をご参照ください。

1. [補助線処理]ボタンを選択（クリック）し、[配置]ボタンを選択します。
2. 補助線入力の3つの方法の中から適した入力方法を選択して、補助線の入力をおこないます。



ライン入力ボタン・・・壁・開口など入力した多角形の辺（ライン）を指示すると、自動で長さを判断し補助線の入力をおこないます。辺（ライン）上に端点や交点がある場合は、そこまでの長さで止まって入力されます。

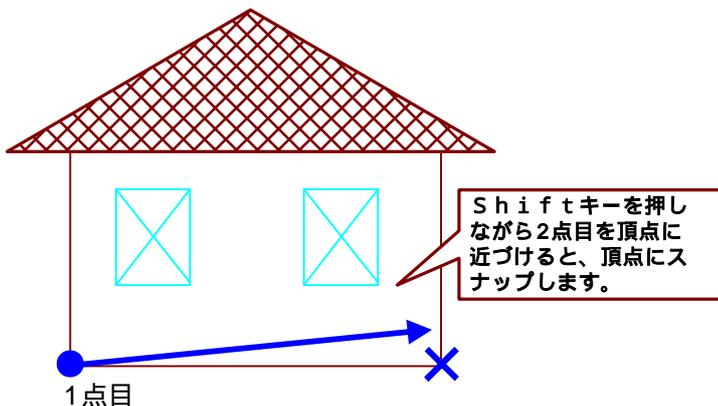
POINT（2点入力）

補助線やコーナーのようなラインを2点入力する場合、**Shiftキー・Ctrlキー**を押しながら操作をおこなうと、次のような機能があります。

<Shiftキー>

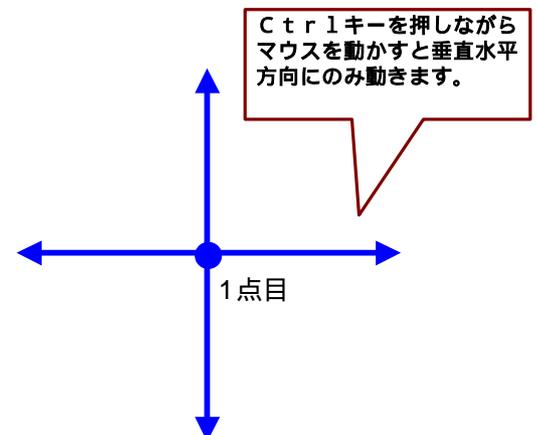
壁・開口など入力した多角形の頂点にスナップします。

スナップ・・・CAD入力の際に、マウスをその点に近づけると引き寄せられるようにその点を指示する機能



<Ctrlキー>

垂直・水平方向に固定して2点目を指示することができます。（斜め方向にはマウスが移動しません）

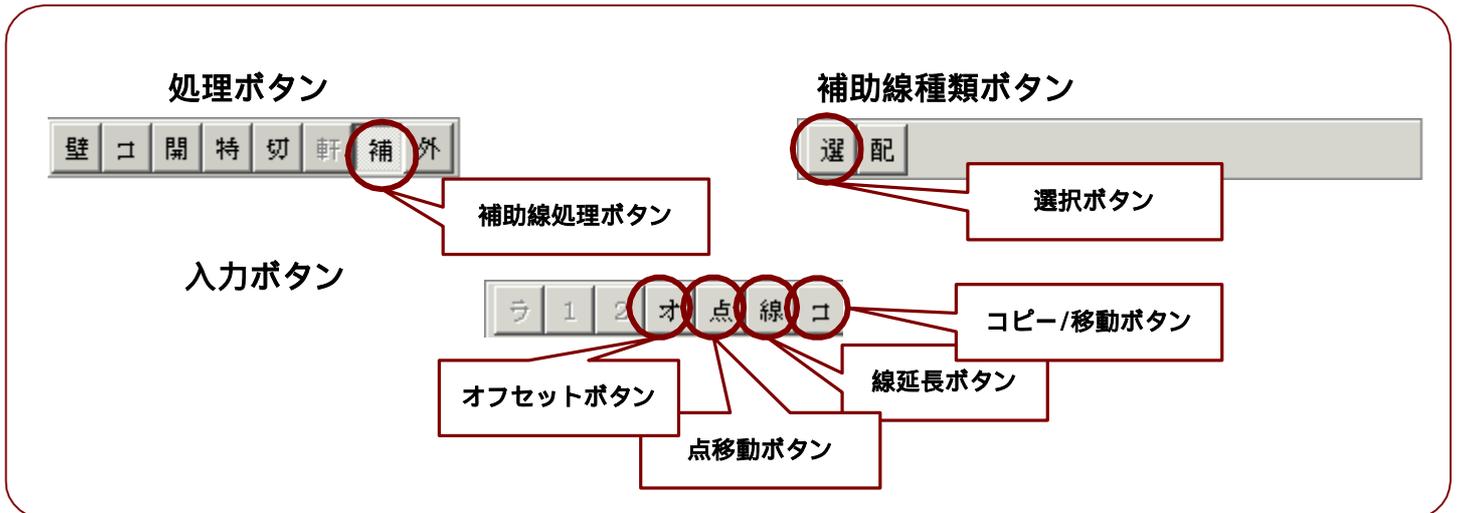


3

補助線の修正

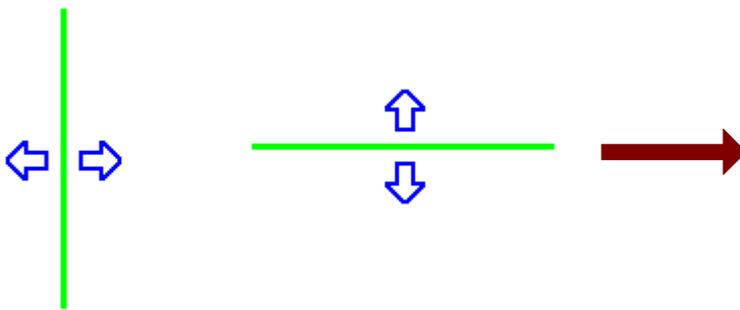
入力した補助線の修正機能として、[オフセット]・[点移動]・[線延長]・[コピー/移動]があります。
[点移動]・[コピー/移動]の詳細については、コーナーの修正をご参照ください。

1. [補助線処理]ボタンを選択（クリック）し、[選択]ボタンをクリックします。
2. [オフセット]・[点移動]・[線延長]・[コピー/移動]の4つのボタンが表示されます。
ボタン表示はされませんが、他に[削除]・[情報（補助線作図選択）]・[他面へのコピー]の機能があります。



オフセット

元となる補助線を指示（クリック）し、方向（左右・上下）と移動量（オフセット量）を指示することによって補助線のコピーを作成します。



補助線を指示すると、上記のような矢印が線の上下や左右に表示されます。
マウスでクリックして方向を指示します。

オフセット量設定画面が表示されます。
数値を入力すると、コピーされた補助線が表示されます。

線延長

補助線の端点を指示（クリック）し、延長する先の点をマウスで指示（クリック）して補助線の長さを変更します。（補助線を縮めることも可能です。）



ボタン表示のない補助線の修正機能 [削除]・[情報(補助線作図選択)]・[他面へのコピー] について [削除]・[他面へのコピー]はコーナーと同様の操作のため説明は省略しています。

補助線作図選択

補助線を割付図に作図する、しないの設定をおこなうことができます。
(初期値は作図する設定になっています。)

1. [補助線処理]ボタンを選択(クリック)し、補助線種類ボタンから[選択]ボタンをクリックします。
2. 設定をおこなう補助線を選択(クリック)し、その後**右クリック**をおこないます。
下記のような**選択処理方法画面**が表示されますので、[情報]をクリックして[OK]ボタンをおします。
3. 補助線作図選択画面が表示されます。<作図する・作図しない>の設定をおこない[OK]ボタンをおします。

処理ボタン



補助線処理ボタン

補助線種類ボタン



選択ボタン

補助線作図選択



初期値は<作図する>になっています

POINT (補助線作図)

補助線作図選択の初期値は<作図する>となっています。

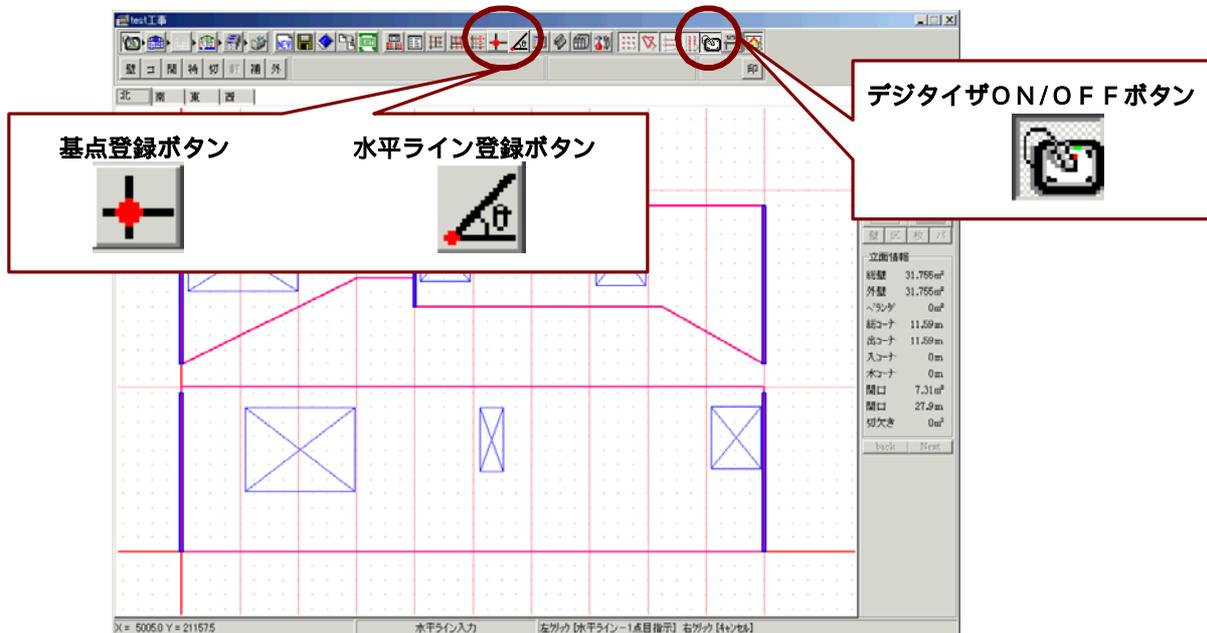
個々の補助線について<作図しない>設定にしない限り**補助線として入力した線はすべて作図**されますので、ご注意ください。

3-G その他の立面図入力

BMPファイルを利用して立面図を入力する方法については先に説明を行いました、ここではそれ以外のSDデザイナーの立面入力方法について簡単に説明を行います。

1 デジタイザーを利用した入力

1. あらかじめご使用のデジタイザーを接続し、ドライバーのインストールを行って下さい。
(デジタイザーの使用法、ドライバーのインストールについてはご使用のデジタイザーのマニュアルをご参照ください。)
2. [デジタイザON/OFF]ボタンをONにします。
3. 下絵となる図面をデジタイザーにセットし[基点登録]ボタンをONにして、専用ペンで基点設定を行います。
4. [水平ライン登録]ボタンをONにして、専用ペンで水平位置を指示します。
その後は、ビットマップ入力の場合と同様に、壁・コーナー・開口と順に専用ペンで入力をおこなってゆきます。



自動縮尺判定機能

図面上の寸法の分かっている箇所から自動で縮尺を計算します。
図面の縮尺が正確でない場合に利用します。

1. **[面データ変更]ボタン**を選択し、縦横の縮尺率を「0」にします。
初期値設定画面では縮尺を「0」にすることはできません。
2. 図面の基点・水平ラインを入力します。
3. <縦縮尺>を登録するために、縦方向の寸法が分かっている2点を指示します。
自動縮尺判定画面が表示されますので、指示した2点間の実寸法を入力します。
4. <横縮尺>も同様に登録します。



[面データ変更]ボタン



5. **[面データ変更]**で自動登録された実際の縦横の縮尺を確認します。

6. **[初期値データ変更]**ボタンを選択し、**初期値設定画面**で縦横の縮尺を修正し、**[コピー面設定]**ボタンで他面への面データのコピーをおこないます。



[初期値データ変更]ボタン

2 手入力

1. 下絵なしで手作業による入力も可能です。
2. 壁・コーナー・開口等の入力方法は前述と同じです。
通り芯・階高・補助線などをうまく利用して入力してゆきます。

3 DXFデータを利用した入力

BMPファイルの読み込みと同様にDXFデータを読み込み、下絵として利用することができます。

1. 立面の入力画面を表示します。
2. **[外部データ処理]**ボタンを選択(クリック)し、**[DXF読み込み]**ボタンを選択します。

処理ボタン



外部データ処理ボタン

外部データ処理種類ボタン



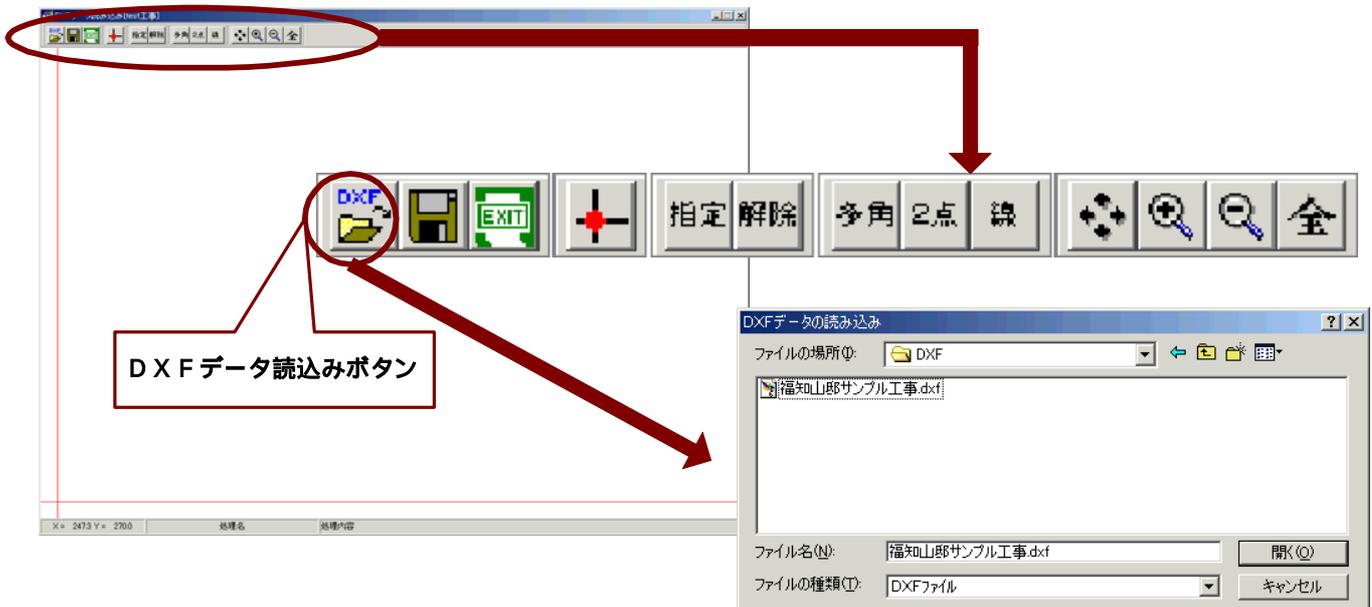
DXF読み込みボタン

注意！！

DXFデータとして立面に読み込んだ絵(線)は、すべて**補助線**として表示されます。

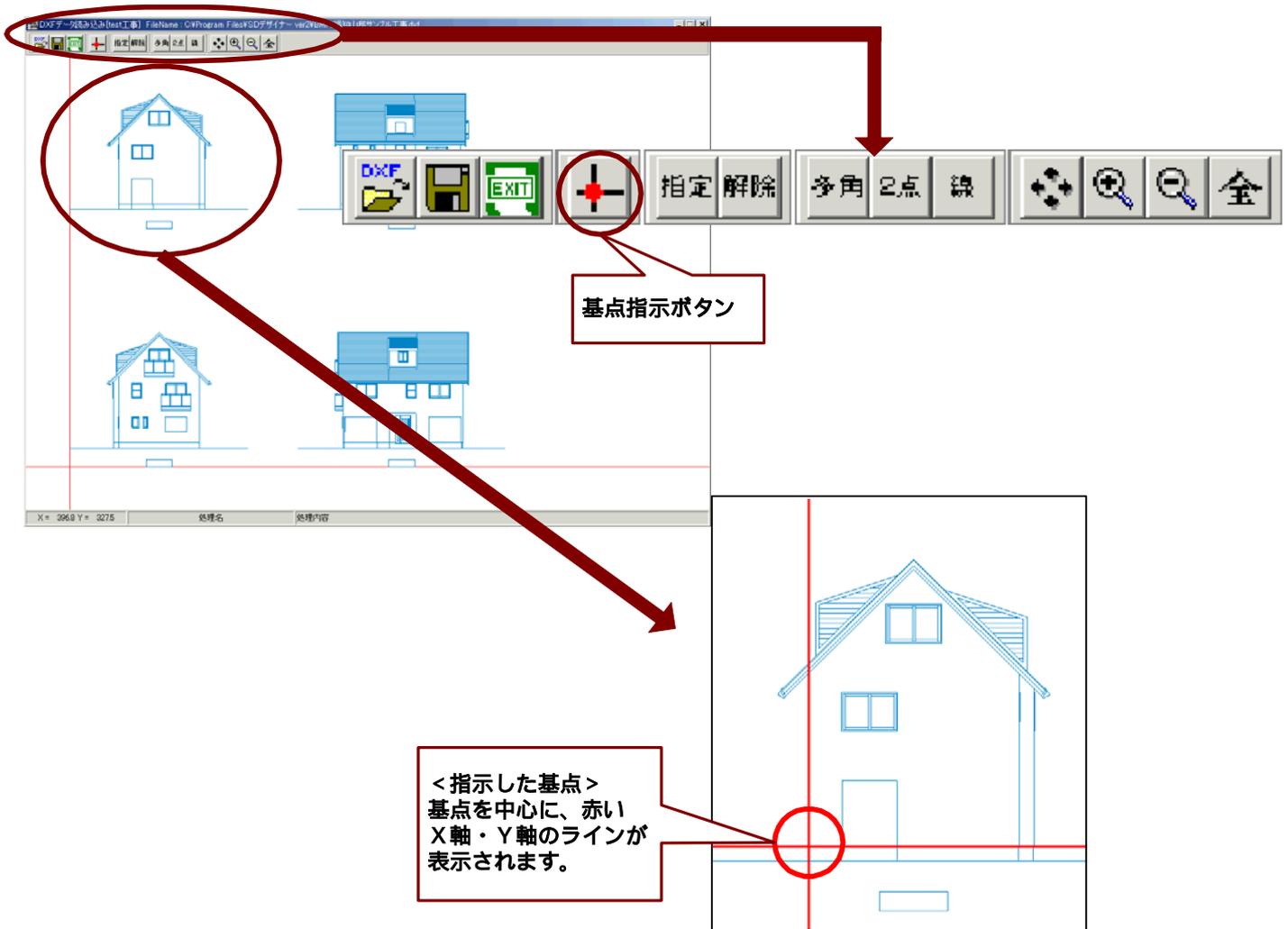
3. DXFデータ読み込み画面が表示されます。

4. [DXFデータ読み込み] ボタンを選択(クリック)し、あらかじめ保存してあったDXF形式ファイルを選択して開きます。



5. [基点指示] ボタンを選択(クリック)し、基点となる点を指示します。

基点は保存先立面画面の原点(0,0)に対応して表示されます。



6. 次に立面に保存するデータ範囲を指定します。

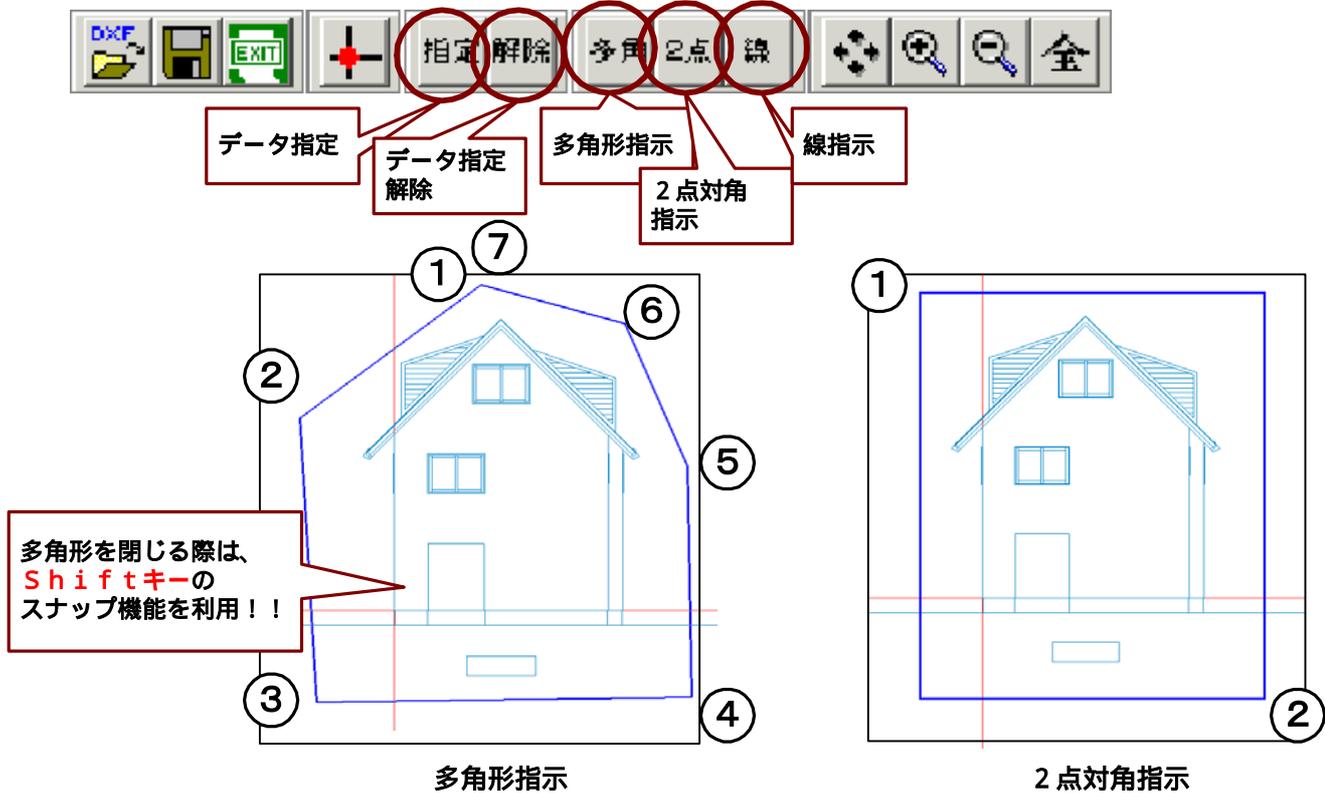
[データ指定] ボタンを選択(クリック)し、指定方法を選択しデータ範囲を指定します。

多角形指示・・・多角の頂点を指示して閉じた多角形を入力し、データ範囲を指定します。

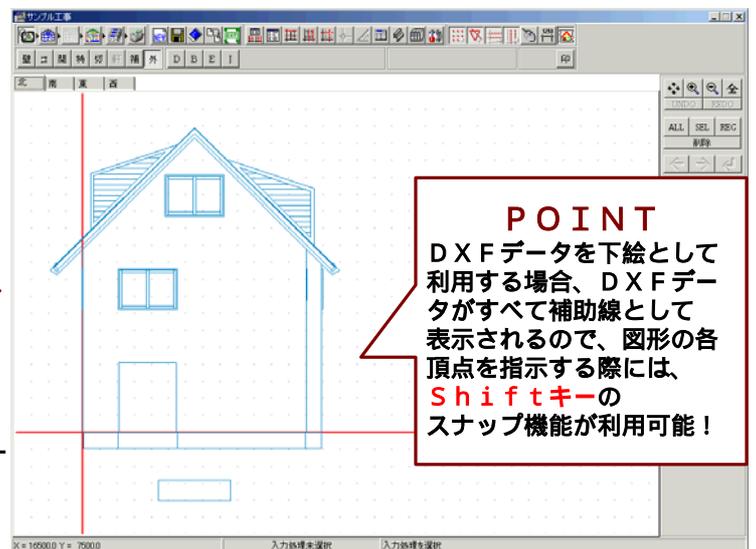
2点対角指示・・・始点・終点の2点を指示してその囲む四角の範囲をデータ範囲として指定します。

線指示・・・DXFデータの線を指示(クリック)してデータ範囲を指定します。

(多角形指示・2点対角指示では、始点となる1点をクリックすると、終点を決定するまで青線でエリアを表示します。終点を指示すると決定したデータ範囲が黄色表示されます。)



7. 必要なデータ範囲を指定した後、[データ保存] ボタンを選択し、DXFデータ変換画面で登録する立面名を選択してデータの保存をおこないます。



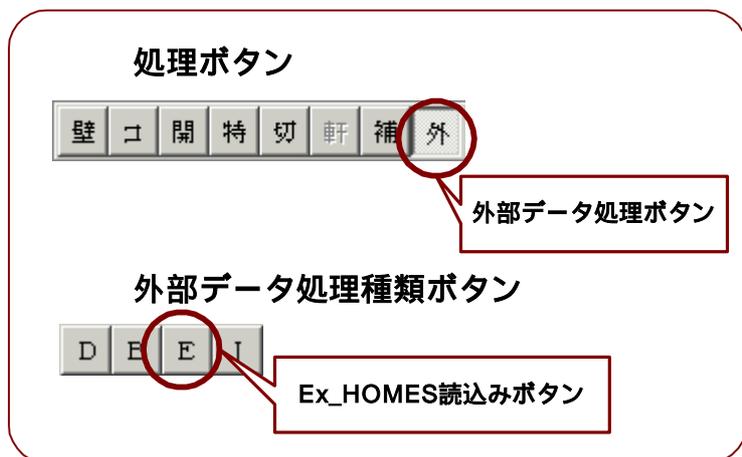
8. 立面に読込んだDXFデータを元に、壁・コーナー開口などを入力してゆきます。

4

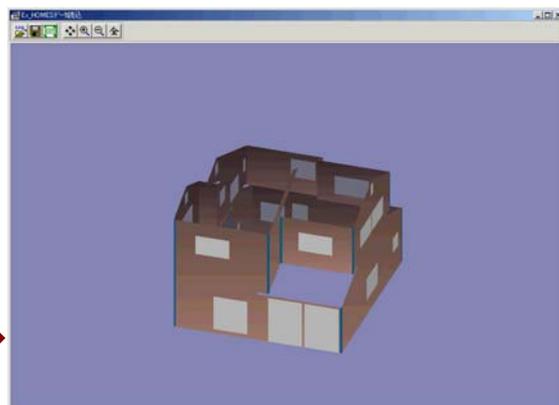
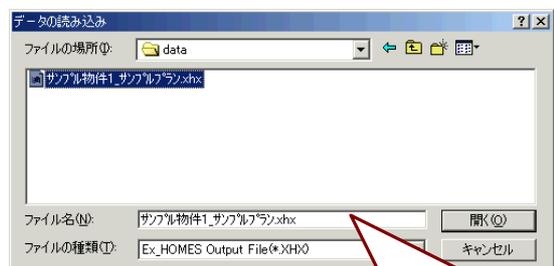
『Ex__HOMES』の出力データを利用した入力

BMP・DXFと同様に、当社の建材流通店向け積算CADソフト『Ex__HOMES』から出力したデータを読み込み、利用することができます。『Ex__HOMES』において既に入力がされている為、壁・コーナー・開口などを改めて入力する必要はありません。

1. 立面の入力画面を表示し、[外部データ処理]ボタンを選択、[Ex__HOMES読み込み]ボタンを選択します。

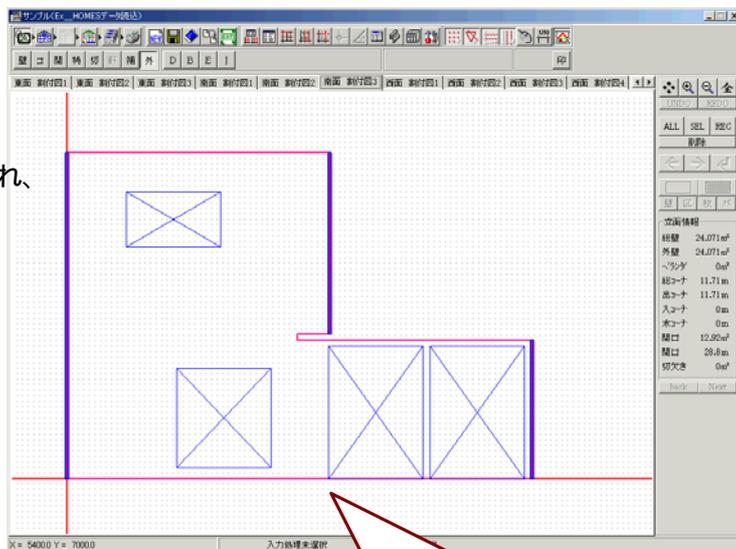


2. Ex__HOMES読み込み画面が表示されます。
[データ読み込み]ボタンを選択し、あらかじめ保存してあった『Ex__HOMES』出力ファイルを選択して開きます。
3. 『Ex__HOMES』データの3D画面が表示されます。

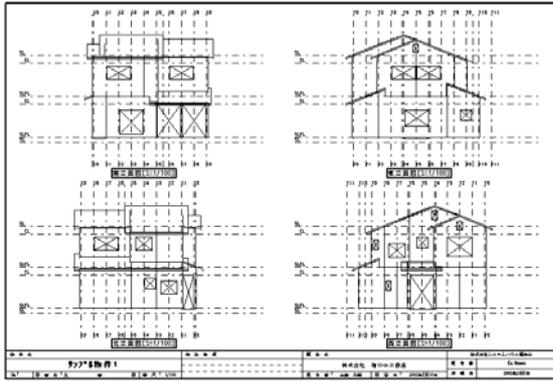


Ex__HOMES出力ファイルの拡張子は<.XHX>となります

4. データ保存を行い、立面を表示します。
『Ex__HOMES』で作成された各立面が表示され、壁・コーナー・開口などはすべて入力済みの状態となっています。
各面の内容を確認後、すぐに割付処理に移ることができます。



壁・コーナー・開口などはすべて入力済みの状態です



前頁データの立面図 (『Ex_HOMES』より)



前頁データの南面割付図 (『Ex_HOMES』より)

< 『Ex_HOMES』データの設定 >

『Ex_HOMES』から出力したデータを読み込む際の読み先データフォルダや壁・幕板・出隅などをSDデザイナーのどのマスターに対応させるかの設定は、
[環境設定 - Ex_HOMES設定]で行ないます。

参照 環境設定 P9-21



5 『実測くん』の出力データを利用した入力

当社のデジカメ距離測定&見積支援ソフト『実測くん』のデータを読み込み、利用することができます。
『実測くん』において壁・開口の情報が既に取り込まれている為、コーナー等の入力をするだけで割付処理を行うことができます。

1. 立面の入力画面を表示し、[外部データ処理] ボタンを選択、[実測くん読み込み] ボタンを選択します。
『実測くん』データ取込方法の設定画面が表示されます。

処理ボタン

壁 □ 開 特 切 軒 補 **外**

外部データ処理ボタン

外部データ処理種類ボタン

D B E **J**

実測くん読み込みボタン

初期値は
[自動取込]ボタンが
Onの状態になっています

実測くんデータ取込方法

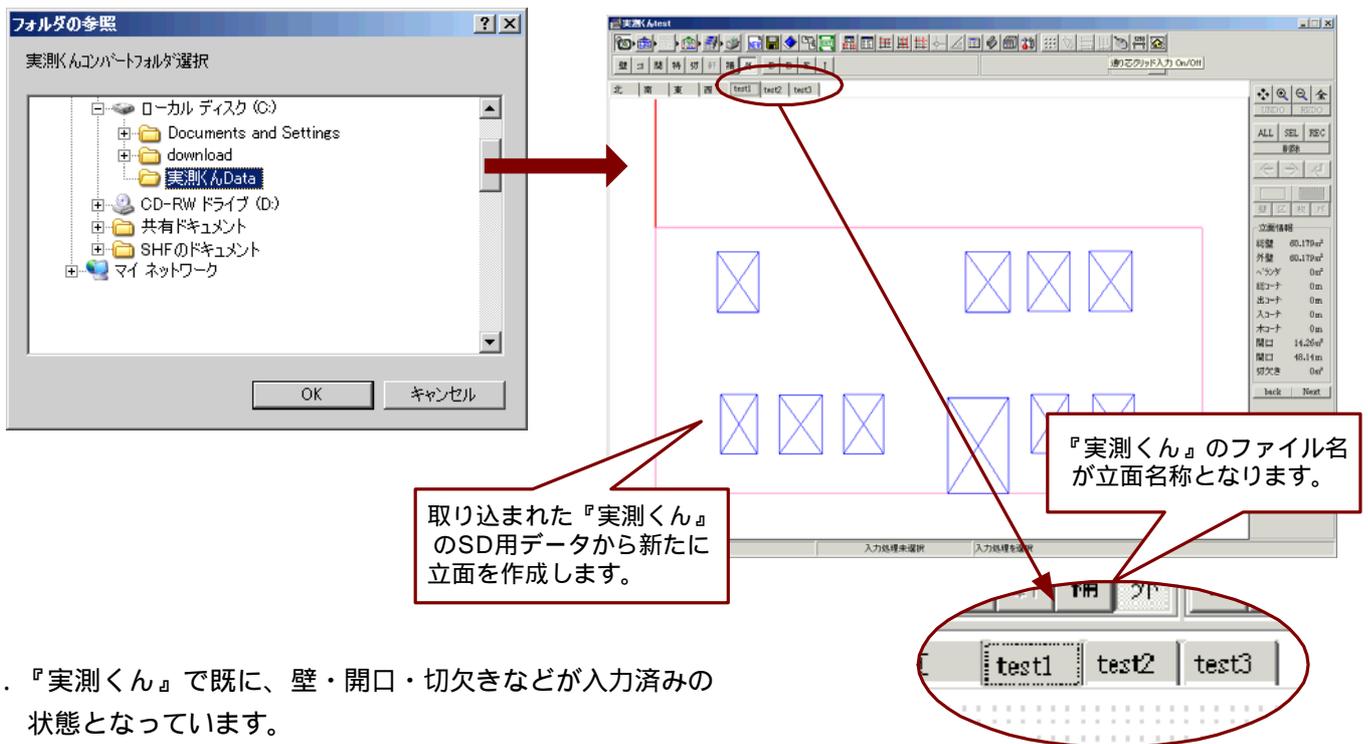
自動取込 手動取込

取込 キャンセル

自動取込の場合

『実測くん』データ取込方法画面で自動取込を選択した場合

- 『実測くん』データを取込するフォルダを選択します。
(ここでは、C:\実測くんData というフォルダをあらかじめ作成しておき、そこへ『実測くん』から出力したSD用データを保存しています。)
指定したフォルダ内にある『実測くん』のSD用データ全てを立面に起こして表示します。

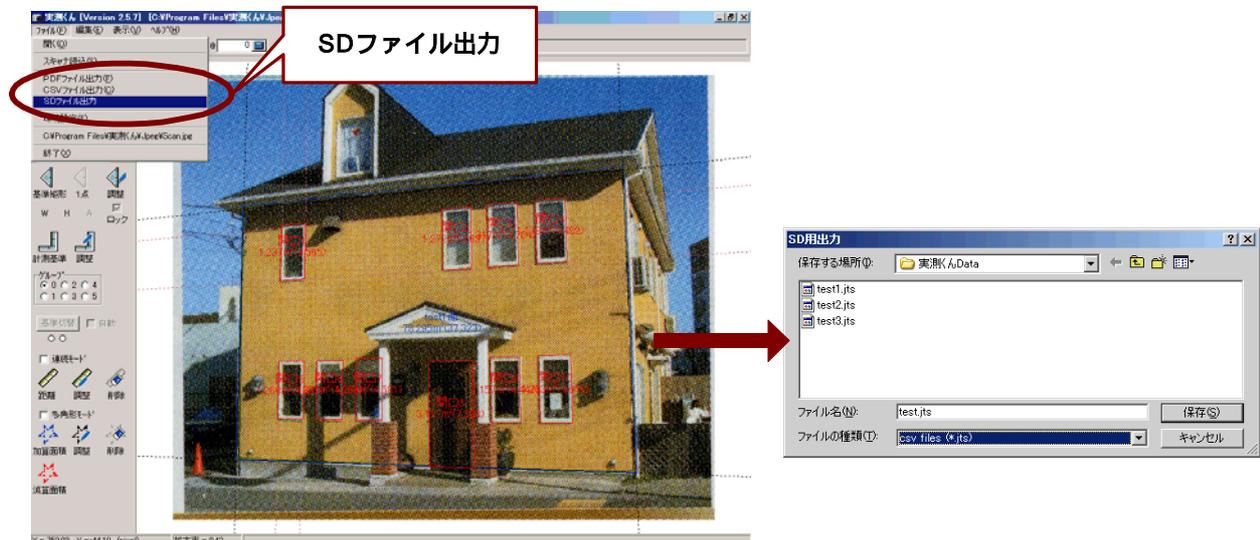


- 『実測くん』で既に、壁・開口・切欠きなどが入力済みの状態となっています。
コーナーなどを入力した後、すぐに割付処理に移ることができます。

< 『実測くん』からの『SDデザイナー』用データの出力 >

『実測くん』で壁・開口・切欠きの入力を行なった後、「ファイル - SDファイル出力」からSD用データを出力します。

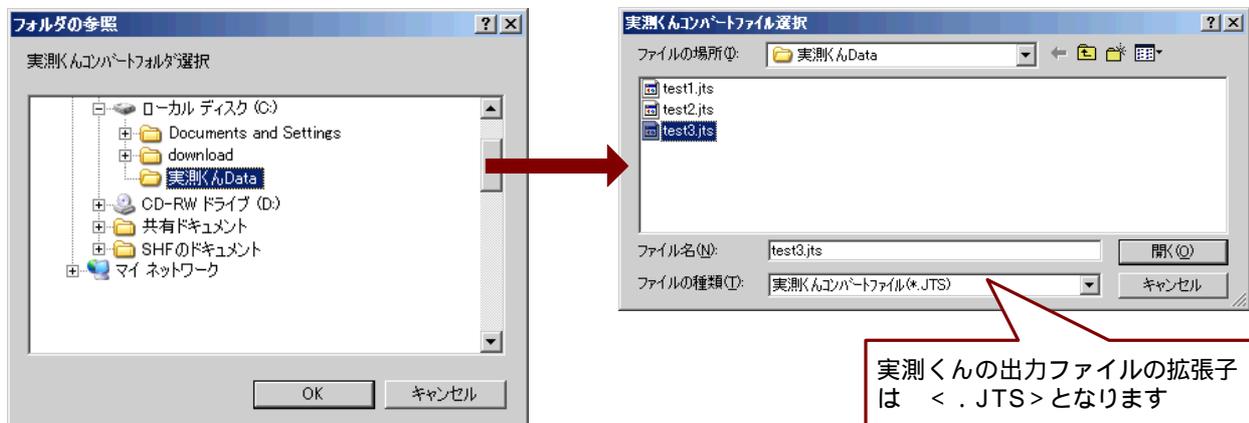
あらかじめSD用データの保存先フォルダを定めておき、そのフォルダにデータを保存します。



手動取込の場合

『実測くん』データ取込方法画面で手動取込を選択した場合

- 『実測くん』データを取込するフォルダを選択し、取込する『実測くん』のSD用データを選択します。

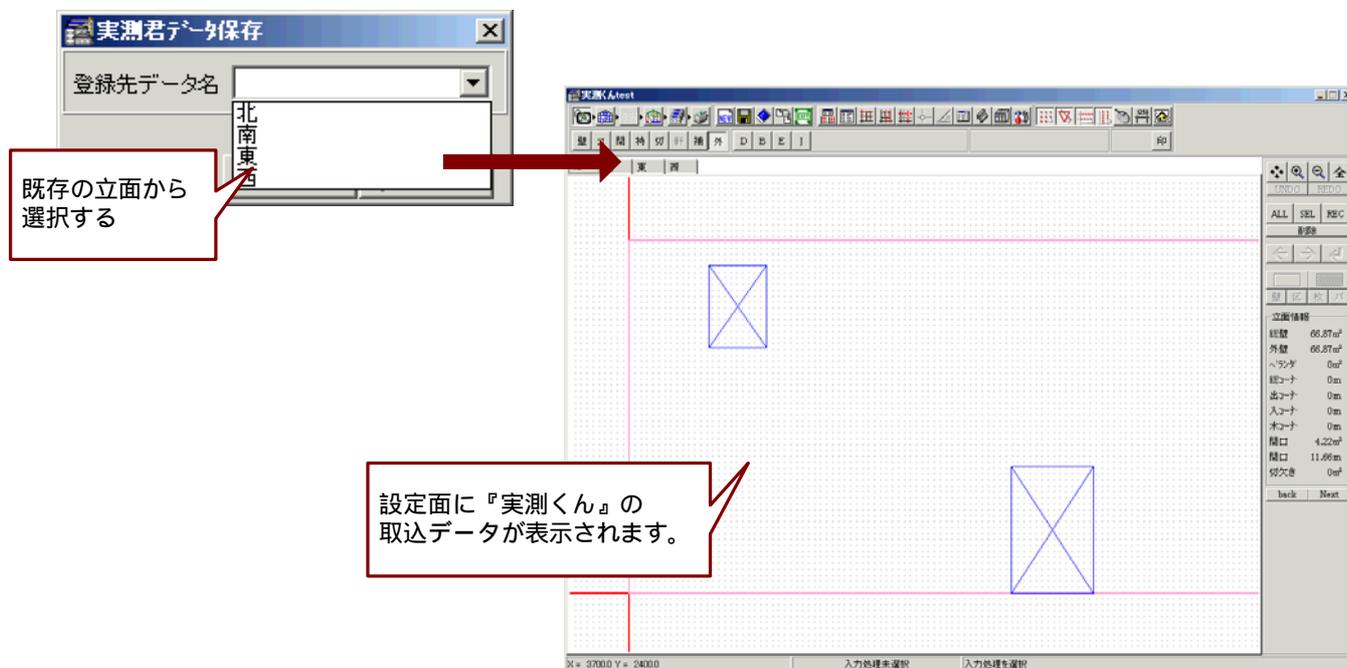


- 取込した『実測くん』データを表示する立面（データの保存先）を設定します。
既にある立面から選択する方法と手入力で立面を入力する方法があります。

設定した立面に取込した『実測くん』データが表示されます。

既に、壁・開口・切欠きなどが入力済みの状態となっていますので、コーナーなどを入力後、すぐに割付処理に移ることができます。

既存の立面に取込データの保存先を設定する場合



手入力で取込データの保存先を設定する場合

手入力で設定

確認
新規データ面を作成しますか?
はい(Y) いいえ(N)

面データ入力
データ名 test
縦縮尺 1/100
横縮尺 1/100
グリッドピッチ(X) 100
グリッドピッチ(Y) 100
データ種類・立面
OK キャンセル

作成する立面の情報を設定

作成面に『実測くん』の取込データが表示されます。

< 『実測くん』データの設定 >

『実測くん』から出力したデータを読み込む際の読み込み先データフォルダや壁・幕板・出隅などをSDデザイナーのどのマスターに対応させるかの設定は、

[環境設定 - 実測君設定]で行ないます。

参照 環境設定 P9-21



サマンサ

SD デザイナー

割 付

STEP 4

4-A 割付画面機能詳細

入力した壁面に外壁パネル材・コーナーパネル材の割付をおこないます。

割付方法には、【全】割付（全ての立面を一括で割付）・【面】割付（表示立面を割付）と壁ごとに割付ける方法があります。

まず、【全】割付が【面】割付の処理を行い、その後個々の壁に対して変更を行ってゆきます。

1 割付画面

1. 立面入力画面のシステム入力手順ボタンの[割付処理]ボタンをクリックします。
(メニューに戻っている場合は、SDデザイナー メインメニューから【割付】ボタンをクリックします。)
2. 下記のような割付画面が表示されます。

割付処理機能ボタン
割付処理画面で処理できる機能を示しています。
(壁処理・コーナー処理・立面図印刷)

入力処理の章で説明済みの各種アイコンと同じです

寸法 ON/OFF ボタン
入力時には寸法表示切替でしたが、割付時には板取番号表示 (ON) ・非表示 (OFF) の切替ボタンになります。

表示切替ボタン
外周色表示と網掛け、壁や区分の設定色など表示方法の切替をおこないます。

割付処理機能ボタンに応じて割付・目地などの設定方法のボタンが表示されます。

【全】・・・全立面の割付処理
【面】・・・表示立面の割付処理
【選】・・・処理壁の固定

東西南北等作成した各立面が、タグに分かれて表示されます。

割付表示エリア (拡大・縮小可能です)

マウスカーソルのある位置のXY座標を表示しています。

今選択している処理 (コマンド) とその処理方法を表示しています

パネル情報
割付パネルやコーナーの枚数・本数などの情報が表示されています。

壁-板	0枚
壁-区	0枚
総コーナー	0枚
出コーナー	0枚
入コーナー	0枚
木コーナー	0枚

X = 4095.0 Y = -6825

壁 割付処理を選択

POINT

新規データや、立面のデータを変更した場合など

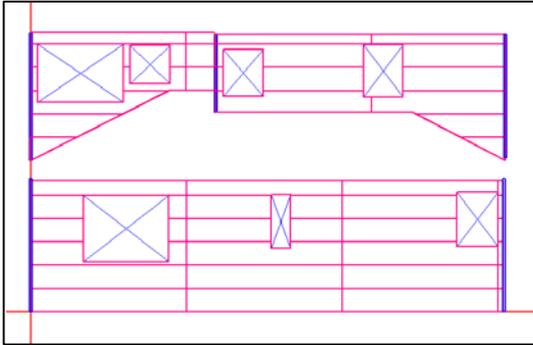
必ず 【全】割付または【面】割付を行って下さい。

2 画面詳細

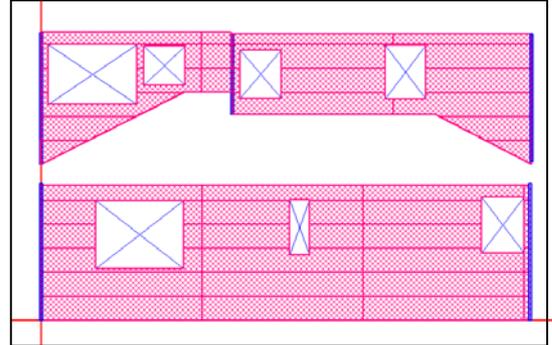
パネル表示切替（網掛有無）

パネル表示の切り替えを行います。

パネルの外周ラインのみ描画



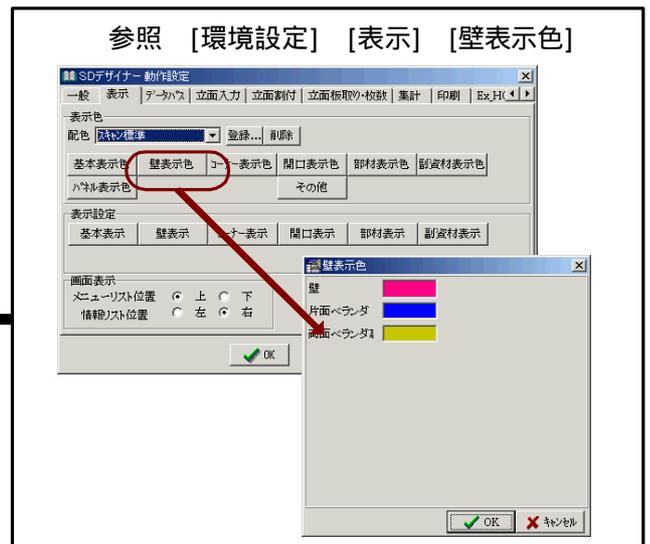
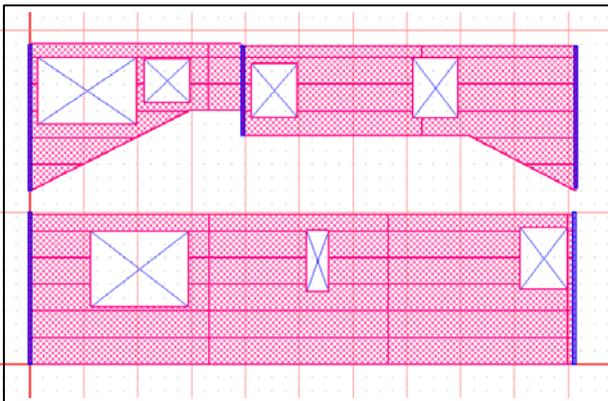
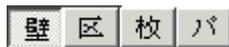
パネルの中を網掛けで描画



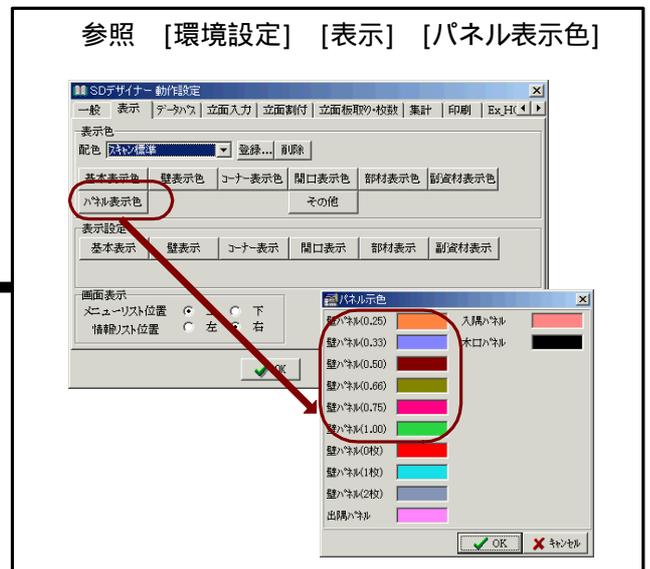
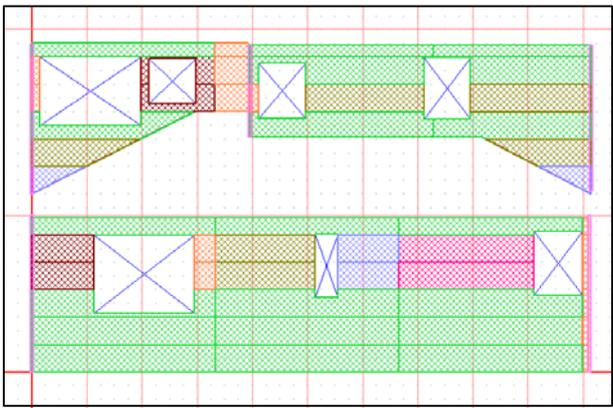
パネル表示切替（設定色）

パネル表示の切り替えを行います。

壁の設定色で描画

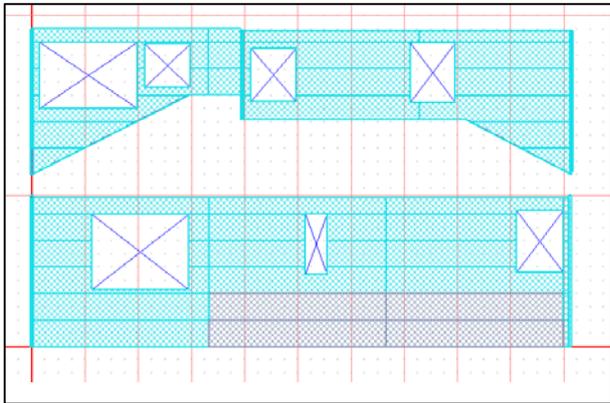


区分の設定色で描画

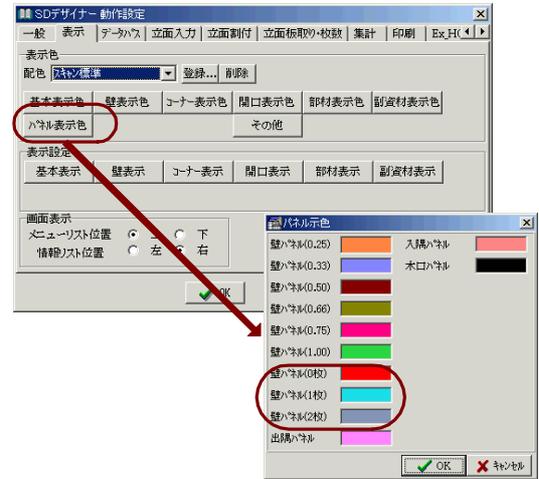


枚数の設定色で描画

壁 区 枚 パ

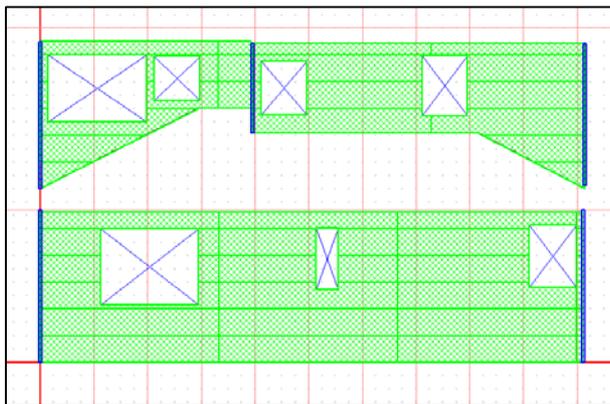


参照 [環境設定] [表示] [パネル表示色]

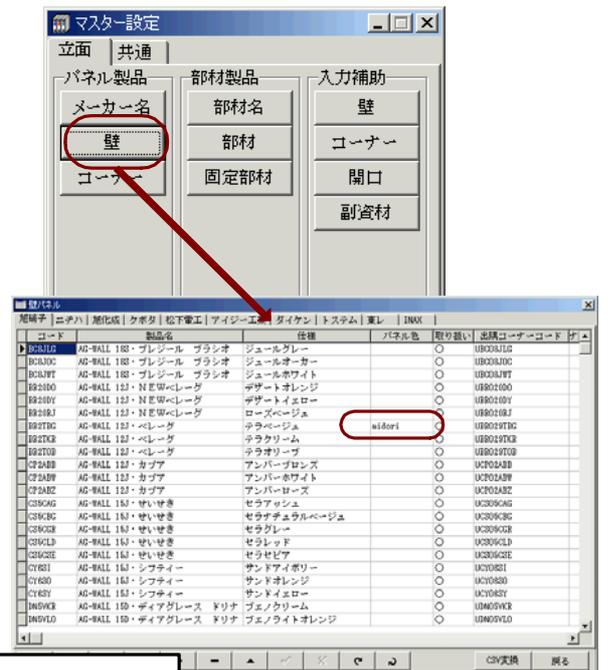


パネルの設定色で描画

壁 区 枚 パ



参照 [マスター設定] [立面] [パネル製品] [壁] [壁パネル] パネル色



[壁パネル] パネル色は、[マスター設定] [共通] [製品色]で登録されます



パネル情報

割付したパネルやコーナーの枚数・本数などの情報が表示されています。

[Next]ボタンで次の表示面に移り、[Back]ボタンで元の表示面に戻ります。

(全)は物件全体の各立面の各値の合計、(表)は表示されている立面の各値を表しています。

壁-板	150枚
壁-区	166枚
総コーナ	23枚
出コーナ	14枚
入コーナ	0枚
木コーナ	9枚

<(全)総パネル情報> . . . 複数のパネル製品を使用する場合、その総合計

- 壁-板 各立面の板取りしたパネル枚数の総合計
- 壁-区 各立面の区分取りしたパネル枚数の総合計
- 総コーナー 各立面のコーナーパネル枚数の総合計
(出隅コーナー・入隅コーナー・木口コーナーそれぞれの合計)
- 出コーナー 各立面の出隅コーナーパネル枚数の総合計
- 入コーナー 各立面の入コーナーパネル枚数の総合計
- 木コーナー 各立面の木口コーナーパネル枚数の総合計

壁-板	150枚
壁-区	166枚
0.25	74枚
0.33	40枚
0.50	24枚
0.66	0枚
0.75	13枚
1.00	112枚
半T/L	0枚
半D/R	0枚

<(全)壁*****> . . . 複数のパネル製品を使用する場合は、その製品ごとに表示面が作成されます。

- 壁-板 各立面でパネル*****を板取りしたパネル枚数の合計
- 壁-区 各立面でパネル*****を区分取りしたパネル枚数の合計
- 0.25 0.25 (1/4) 区分となった各立面のパネル*****の枚数の合計
- 0.33 0.33 (1/3) 区分となった各立面のパネル*****の枚数の合計
- 0.50 0.50 (2/4) 区分となった各立面のパネル*****の枚数の合計
- 0.66 0.66 (2/3) 区分となった各立面のパネル*****の枚数の合計
- 0.75 0.75 (3/4) 区分となった各立面のパネル*****の枚数の合計
- 1.00 1.00 (4/4) 区分となった各立面のパネル*****の枚数の合計
- 半T/L 各立面で半裁パネル (T/L 上部or左部) 指示をしたパネル*****の枚数の合計
- 半D/R 各立面で半裁パネル (D/R 下部or右部) 指示をしたパネル*****の枚数の合計

*****部には製品名称がはいります

壁-板	49枚
壁-区	37枚
0.25	13枚
0.33	13枚
0.50	11枚
0.66	0枚
0.75	1枚
1.00	23枚
半T/L	0枚
半D/R	0枚

<(表)総壁パネル> . . . 複数のパネル製品を使用する場合、その総合計

- 壁-板 表示されている立面の板取りしたパネル枚数の総合計
 - 壁-区 表示されている立面の区分取りしたパネル枚数の総合計
- 以下、表示されている立面における各区分のパネル枚数の総合計

壁-板	49枚
壁-区	37枚
0.25	13枚
0.33	13枚
0.50	11枚
0.66	0枚
0.75	1枚
1.00	23枚
半T/L	0枚
半D/R	0枚

<(表)壁*****> 複数のパネル製品を使用する場合は、その製品ごとに表示面が作成されます。

- 壁-板 表示されている立面でパネル*****を板取りしたパネル枚数の合計
 - 壁-区 表示されている立面でパネル*****を区分取りしたパネル枚数の合計
- 以下、表示されている立面における各区分のパネル*****のパネル枚数の合計

上記以外に、コーナーがある立面では

<(表)総コーナーパネル>の表示画面があります。

板取り・区分取りについては、P4-40 ~ 4-41 をご参照ください。

4-B 壁の割付処理

1 【全】割付

全ての立面の外壁に一括で外壁材・コーナー材の割付をおこないます。
割付条件は全て同一で処理を行います。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[全面割付]ボタンを選択（クリック）します。
下記のようなパネル割付設定画面が表示されます。
3. 壁パネル・目地・コーナーなど各設定を行い[OK]ボタンを選択（クリック）します。
設定に応じて、全ての立面の外壁が割付けられます。

The image shows a software interface for wall layout. The top part displays a grid-based wall layout with blue and pink lines. A toolbar at the top contains buttons for '割目製区枚半板情' and '全面選'. A red arrow points from the '全面選' button to a callout box containing a zoomed-in view of the toolbar buttons, with '全面選' circled and labeled '全面割付ボタン'. Below this, another red arrow points to the 'パネル割付設定' dialog box. The dialog box has several sections: '壁パネル' (Wall Panel) with settings for direction (横割り), method (下から上へ), and joint (目地) settings; '割付用目地設定' (Joint Settings for Allocation) with checkboxes for vertical and horizontal joints; and three sections for '出隅コーナー' (Out Corner), '入隅コーナー' (In Corner), and '水口コーナー' (Water Mouth Corner), each with joint and product settings. The bottom part of the image shows the same wall layout after processing, with the '全面選' button highlighted in the toolbar.

パネル割付処理詳細

割付
割付けの方向（横割り・縦割り）と割付方法の設定

目地
縦・横の目地寸法と目地位置の設定方法の設定

出隅コーナー
目地寸法・目地位置設定方法・出隅コーナー製品の設定

入隅コーナー
目地寸法・目地位置設定方法・入隅コーナー製品の設定

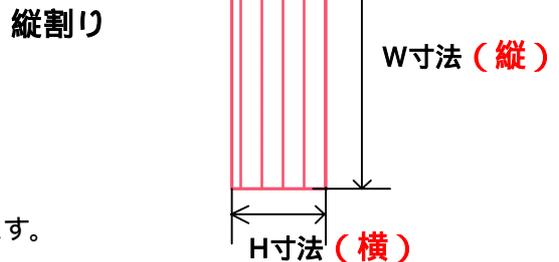
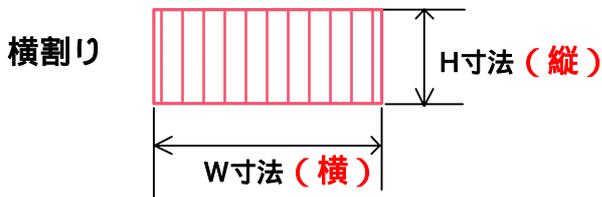
木口コーナー
目地寸法・目地位置設定方法・木口コーナー製品の設定

割付用目地設定
割付時に、目地設定した部分を有効にするかどうかの設定。<縦目地使用>・<横目地使用>それぞれチェックを入れると設定有効になります

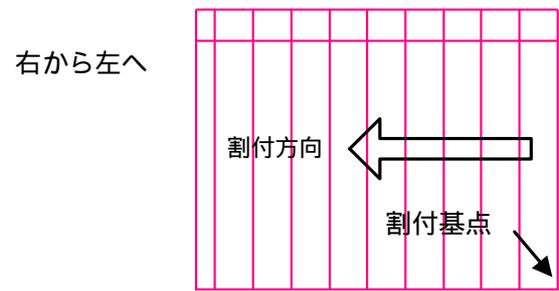
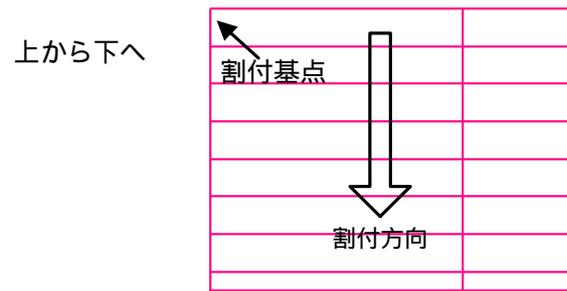
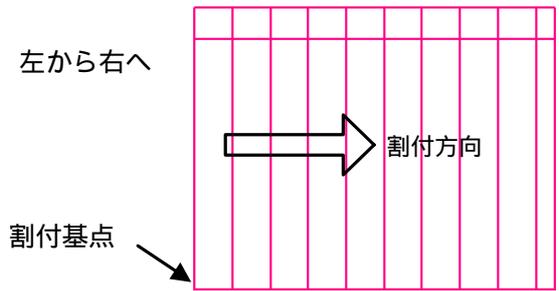
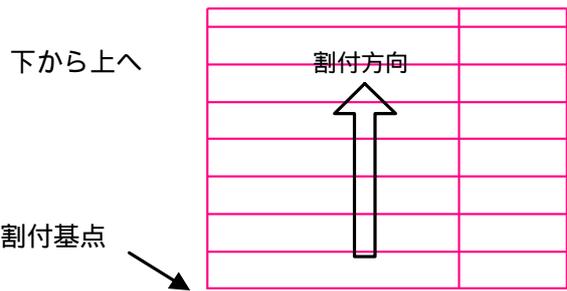
製品
割付をおこなうサイディング材製品の設定をおこないます。登録されたマスターからデータを参照して入力が可能です。

割付

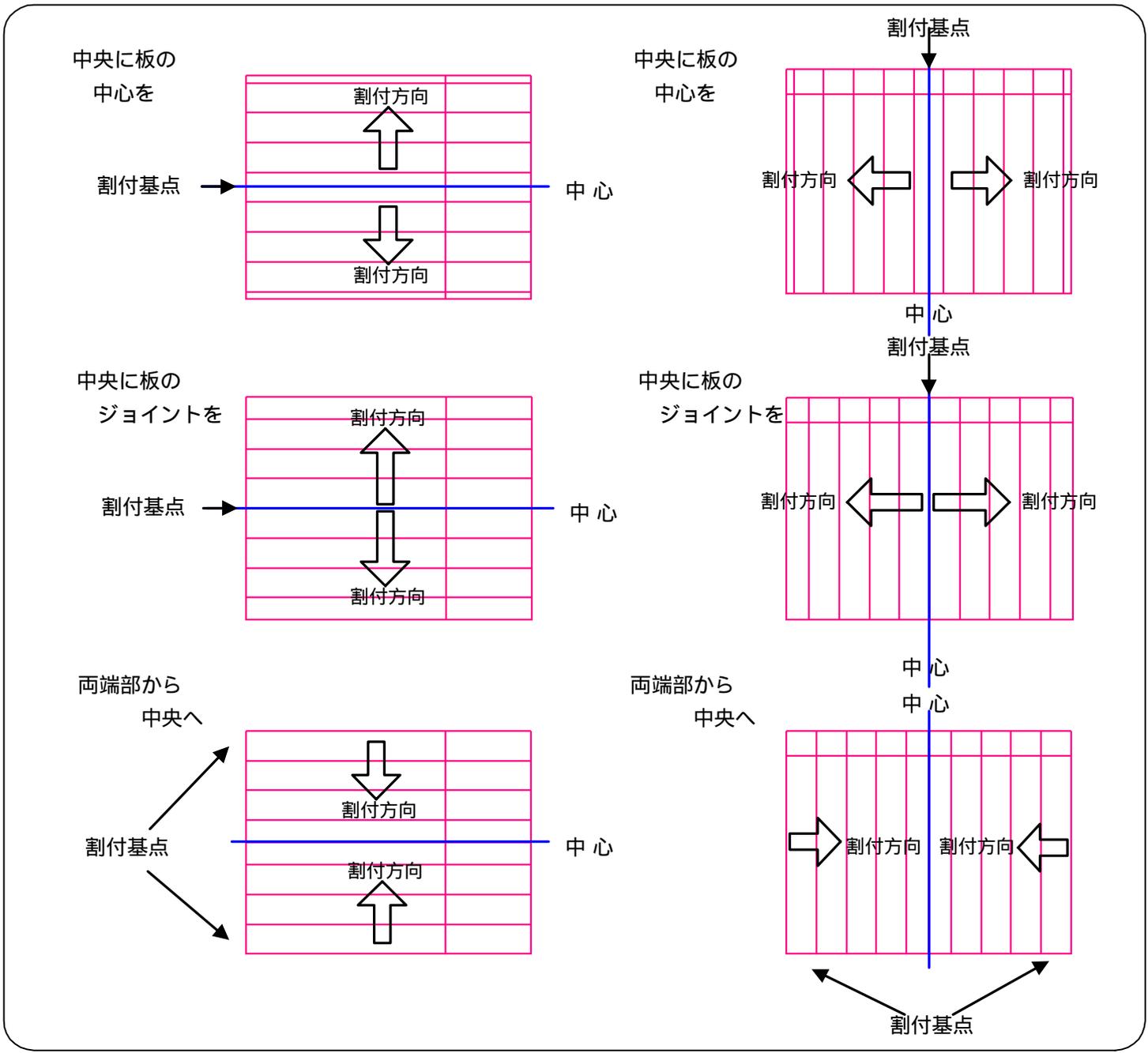
割付を行う材の割付ける板方向を設定します。部材のW寸法・H寸法をそれぞれ横・縦として割付ける設定（横割り）と縦・横として割付ける設定（縦割り）の二つの設定があります。



縦割り・横割りのそれぞれの場合の割付方法の設定を図示します。割付方法の設定は材のH寸法の方向を設定します。



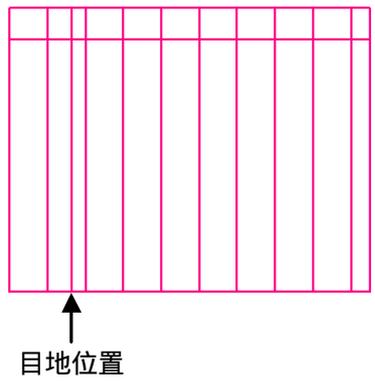
この例示での目地位置設定は <下から上へ(左から右へ)>となっています。



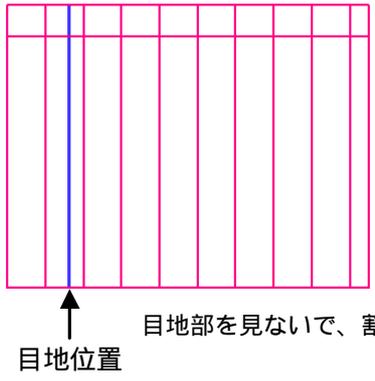
割付用目地設定

板の割付時に、チェックをいれた目地設定部分が有効になります。

縦目地使用にチェックを入れた場合

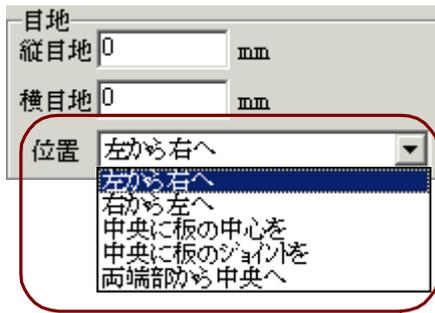


縦目地使用にチェックを入れない場合



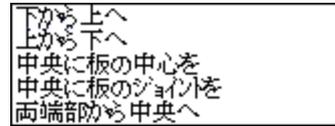
目地部を見ないで、割付けをおこないます。

目地



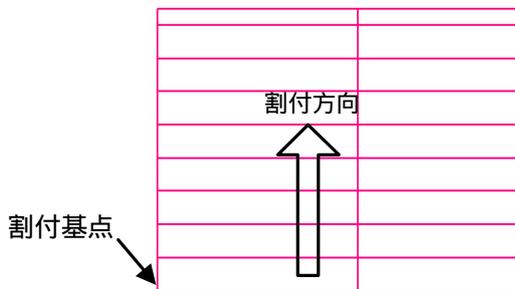
縦横の目地の寸法を入力し、目地位置の設定をおこないます。
割付 の設定が材のH寸法の方を設定していたのに対して目地位置の設定は**W寸法の方を設定**します。

目地位置のプルダウンメニューは、パネル方向によって変わります。左記はパネル方向<横割り>の場合、下記は<縦割り>の場合です。

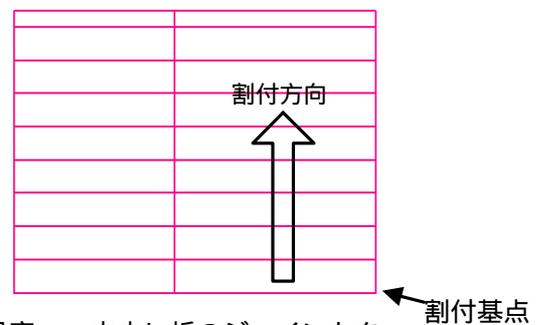


例として、
パネル方向 <横割り> 割付方向 <下から上へ>の設定で目地位置設定を考えます。

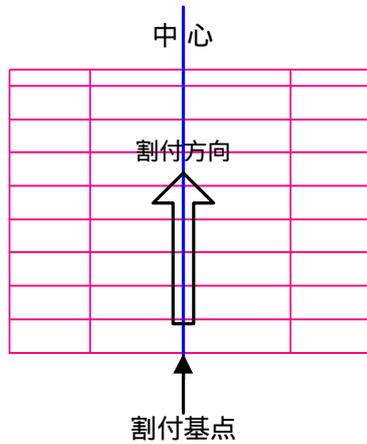
目地設定 左から右へ



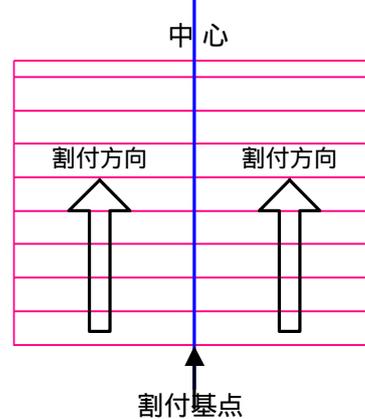
目地設定 右から左へ



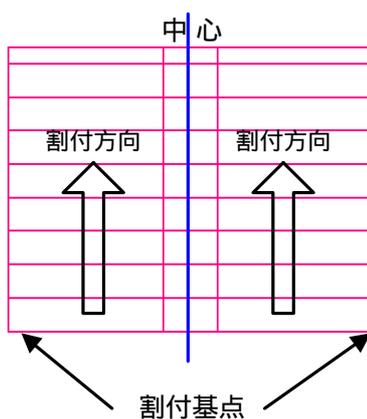
目地設定 中央に板の中心を



目地設定 中央に板のジョイントを



目地設定 両端部から中央へ



製品

割付を行うサイディング材の製品を設定します。
あらかじめマスター登録したデータから選択することで、メーカー・製品コード
長さ・幅の入力を行うことができます。

1. メーカーを選択します。

参照 [マスター設定] [立面]
[パネル製品] [メーカー名]

番号	名称	番号	名称
1	旭硝子	11	
2	ニチハ	12	
3	旭化成	13	
4	クボタ	14	
5	松下電工	15	
6	INAX	16	
7	アイジー工業	17	
8	ダイケン	18	
9	トステム	19	
10	東レ	20	

コード手入力
マスターに登録されていない
製品コードを手入力することは
できません。

2. 製品のコードを入力します。

マスター参照して製品コードを入力することも可能です。

[マスター参照]ボタンをクリックすると、選択したメーカーの製品マスターが表示されます。
製品を選択すると、そのマスター登録されている長さ寸法・幅寸法が自動表示されます。

コード	製品名	仕様
BR2LJG	AG-WALL 185-ガラス	ジュエルグレー
BR2JOC	AG-WALL 185-ガラス	ジュエルホワイト
BR2JMT	AG-WALL 185-ガラス	ジュエルオレンジ
BR2JDO	AG-WALL 123-NEW	デザートオレンジ
BR2JUY	AG-WALL 123-NEW	デザートイエロー
BR2JRJ	AG-WALL 123-NEW	ローズベージュ
BR2TBG	AG-WALL 123-NEW	クラシック
BR2TFK	AG-WALL 123-NEW	クラシック
BR2TOB	AG-WALL 123-NEW	クラシック
CP2ABH	AG-WALL 123-ガラス	アンバーローズ
CP2ABW	AG-WALL 123-ガラス	アンバーホワイト
CP2ABZ	AG-WALL 123-ガラス	アンバーローズ
CS2CAG	AG-WALL 153-せいせき	セラッシュ
CS2CDG	AG-WALL 153-せいせき	セラッシュ
CS2CGR	AG-WALL 153-せいせき	セラッシュ
CS2CLD	AG-WALL 153-せいせき	セラッシュ
CS2GSE	AG-WALL 153-せいせき	セラッシュ
CY6S1	AG-WALL 153-セラフィー	サンドアイボリー
CY6S0	AG-WALL 153-セラフィー	サンドオレンジ
CY6S7	AG-WALL 153-セラフィー	サンドイエロー
DNBVKR	AG-WALL 150-ディアグレース	ヴェルクリム
DNBVLO	AG-WALL 150-ディアグレース	ヴェルクリム
DNBVMK	AG-WALL 150-ディアグレース	ヴェルクリム
DF502R+	AG-WALL EX-150	ビュアレッド

参照 [マスター設定] [立面]
[パネル製品] [壁]

コード	製品名	仕様	パネル色	取り違い	名称	コーナーコード	サイズ
BR2LJG	AG-WALL 185-ガラス	ジュエルグレー				UBR2LJG	
BR2JOC	AG-WALL 185-ガラス	ジュエルホワイト				UBR2JOC	
BR2JMT	AG-WALL 185-ガラス	ジュエルオレンジ				UBR2JMT	
BR2JDO	AG-WALL 123-NEW	デザートオレンジ				UBR2JDO	
BR2JUY	AG-WALL 123-NEW	デザートイエロー				UBR2JUY	
BR2JRJ	AG-WALL 123-NEW	ローズベージュ				UBR2JRJ	
BR2TFK	AG-WALL 123-NEW	クラシック				UBR2TFK	
BR2TOB	AG-WALL 123-NEW	クラシック				UBR2TOB	
BR2TDR	AG-WALL 123-NEW	クラシック				UBR2TDR	
CP2ABH	AG-WALL 123-ガラス	アンバーローズ				UCP2ABH	
CP2ABW	AG-WALL 123-ガラス	アンバーホワイト				UCP2ABW	
CP2ABZ	AG-WALL 123-ガラス	アンバーローズ				UCP2ABZ	
CS2CAG	AG-WALL 153-せいせき	セラッシュ				UCS2CAG	
CS2CDG	AG-WALL 153-せいせき	セラッシュ				UCS2CDG	
CS2CGR	AG-WALL 153-せいせき	セラッシュ				UCS2CGR	
CS2CLD	AG-WALL 153-せいせき	セラッシュ				UCS2CLD	
CS2GSE	AG-WALL 153-せいせき	セラッシュ				UCS2GSE	
CY6S1	AG-WALL 153-セラフィー	サンドアイボリー				UCY6S1	
CY6S0	AG-WALL 153-セラフィー	サンドオレンジ				UCY6S0	
CY6S7	AG-WALL 153-セラフィー	サンドイエロー				UCY6S7	
DNBVKR	AG-WALL 150-ディアグレース	ヴェルクリム				UDNBVKR	
DNBVLO	AG-WALL 150-ディアグレース	ヴェルクリム				UDNBVLO	

POINT

製品の長さ・幅は、手入力で数値を入力
することができます。

この長さは、**割付けの基準長さ**
となります。

入隅コーナー

割付を行う入隅コーナー材の目地寸法・目地位置や製品の設定をします。製品の設定は、あらかじめマスター登録したデータから選択することで、メーカー・製品コード・長さの入力を行うことができます。

設定の方法等については、出隅コーナーと同様の為、省略しています。

木口コーナー

割付を行う木口コーナー材の目地寸法・目地位置や製品の設定をします。製品の設定は、あらかじめマスター登録したデータから選択することで、メーカー・製品コード・長さの入力を行うことができます。

設定の方法等については、出隅コーナーと同様の為、省略しています。

2 【面】割付

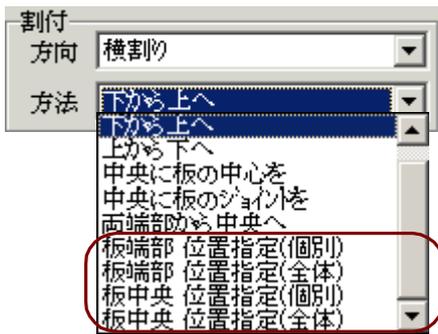
表示している立面にのみ外壁材・コーナー材の割付をおこないます。（面単位の割付け処理）

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[面割付]ボタンを選択（クリック）します。
下記のようなパネル割付設定画面が表示されます。
3. 壁パネル・目地・コーナーなど各設定を行い[OK]ボタンを選択（クリック）します。
設定に応じて、表示している立面の外壁が割付けられます。

The screenshot shows the software interface with a grid-based wall layout. A toolbar at the top contains various icons, with '面割付' (Face Cutting) circled in red. A callout box points to this button. Below the toolbar, a dialog box titled 'パネル割付設定' (Panel Cutting Setting) is open. In this dialog, the '方法' (Method) is set to '下から上へ' (Bottom to Top) and the '位置' (Position) is set to '左から右へ' (Left to Right), both circled in red. The dialog also shows settings for '壁パネル' (Wall Panel), '出隅コーナー' (Out Corner), and '木口コーナー' (Wood Mouth Corner), including fields for '目地' (Joint), 'メーカー' (Manufacturer), '長さ' (Length), and 'コード' (Code).

パネル割付設定画面の詳細は、<【全】割付>の場合とほぼ同じです。
壁パネル<方法>・目地<位置>の設定に追加されている項目があります。
<【面】割付け>の場合のパネル割付設定画面について、<【全】割付>に追加されている項目に関しては次ページをご参照ください。

割 付



<【面】割付> の割付方法に関して

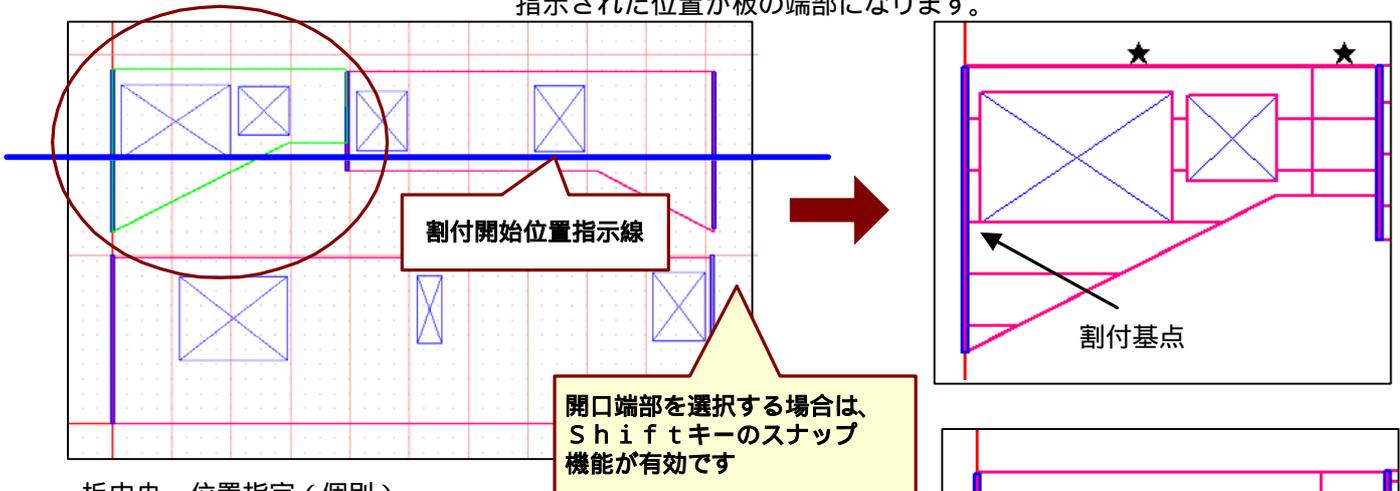
板端部 位置指定(個別)・板端部 位置指定(全体)
板中央 位置指定(個別)・板中央 位置指定(全体)
が <【全】割付> に追加されています。

それぞれ、板の割付位置を任意に指定して割付けを行う設定となります。

それぞれの設定で[OK]ボタンをクリックすると、割付開始位置指定の青線が表示されます。
割付開始位置を指定(クリック)すると、それぞれの条件に合わせて板の割付を行います。

板端部 位置指定(個別)

表示している立面のそれぞれの壁ごとに、割付開始位置を指示します。指示された位置が板の端部になります。

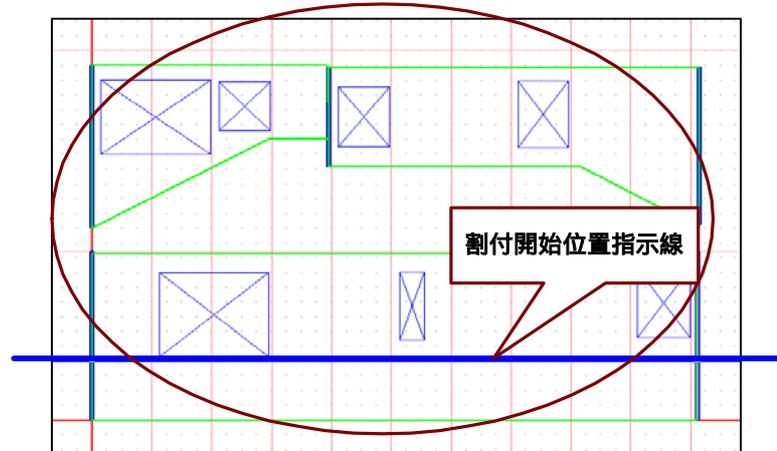


板中央 位置指定(個別)

表示している立面のそれぞれの壁ごとに、割付開始位置を指示します。指示された位置が板の中央になります。

板端部 位置指定(全体)

表示している立面の壁全体に、ひとつの割付開始位置を指示します。指示された位置が板の端部になります。



板中央 位置指定(全体)

表示している立面の壁全体に、ひとつの割付開始位置を指示します。指示された位置が板の中央になります。

POINT

割付を行った際に、画面上に 印で表示される部分は、板寸法が規定外で加工が不可能な板を表しています。

参照 <エラーサイズパネル>

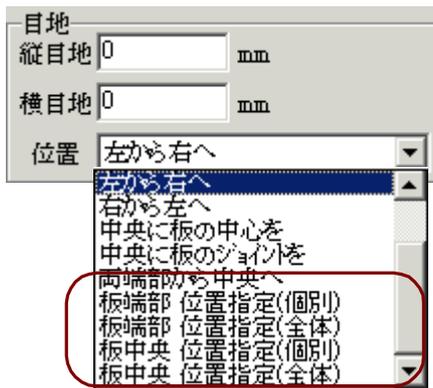
[環境設定] [立面割付]

最小パネルサイズ設定

P9-9 ~ 9-10

この例示での目地位置設定は
<左から右へ>となっています。

目地



<【面】目地> の位置設定に関して

板端部 位置指定(個別)・板端部 位置指定(全体)
板中央 位置指定(個別)・板中央 位置指定(全体)
が <【全】目地> に追加されています。

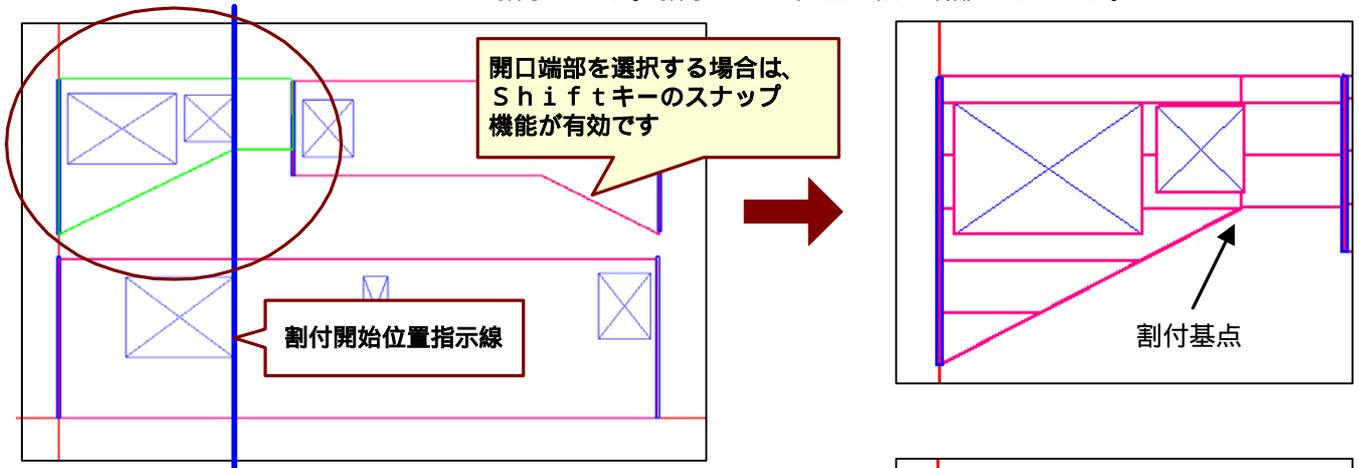
それぞれ、目地位置を任意に指定して割付けを行う設定となります。

それぞれの設定で[OK]ボタンをクリックすると、割付開始位置指定の青線が表示されます。

目地位置(割付開始位置)を指定(クリック)すると、それぞれの条件に合わせて板の割付を行います。

板端部 位置指定(個別)

表示している立面のそれぞれの壁ごとに、目地位置(割付開始位置)を指示します。指示された位置が板の端部になります。

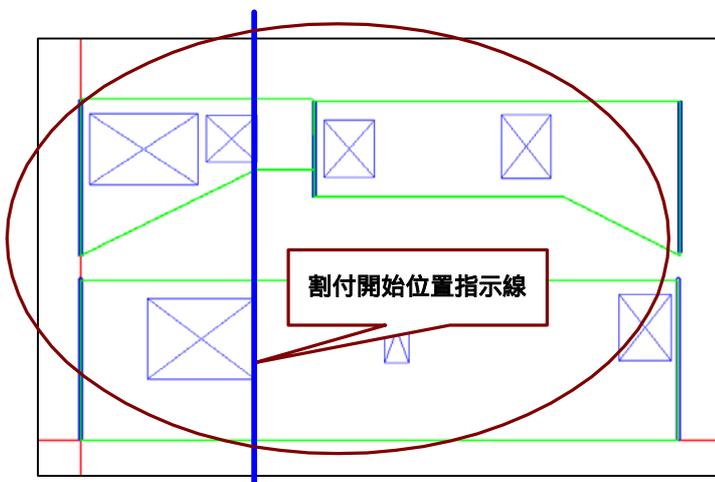


板中央 位置指定(個別)

表示している立面のそれぞれの壁ごとに、目地位置(割付開始位置)を指示します。指示された位置が板の中央になります。

板端部 位置指定(全体)

表示している立面の壁全体に、ひとつの目地位置(割付開始位置)を指示します。指示された位置が板の端部になります。



板中央 位置指定(全体)

表示している立面の壁全体に、ひとつの目地位置(割付開始位置)を指示します。指示された位置が板の中央になります。

この例示では、パネル方向 <横割り>
割付方向 <下から上へ>の設定で考えています。

3 個々の壁の割付

表示している立面の個々の壁に外壁材の割付をおこないます。
(この方法では外壁材のみを割付け、コーナー材の割付けは行いません。)

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択(クリック)します。
2. 表示されたボタンから、[割付処理]ボタンを選択(クリック)します。
下記のような入力処理ボタンが表示されます。
3. [割付]ボタンを選択(クリック)し、割付けを行う壁を指示(クリック)します。
4. 指示した壁の外周が緑色に変わります。その壁上で**右クリック**をおこないます。
下記のようなパネル割付設定画面が表示されます。割付・目地・製品など各設定を行い[OK]ボタンを選択(クリック)します。設定に応じて、選択した壁が割付けられます。

割付けを行う壁を選択して
右クリック

割目製区枚半板情

入消点割

割付処理ボタン

割付ボタン

パネル割付設定

割付用目地設定
方向 横割付
方法 下から上へ
目地 縦目地 0 mm
横目地 0 mm
位置 左から右へ
製品 メーカー 旭硝子 長さ 3030 mm
コード BR2TBG 幅 455 mm
マスター参照

出隅コーナー 壁パネルと運動
目地 mm
メーカー
長さ mm
位置
コード
マスター参照

入隅コーナー 壁パネルと運動
目地 mm
メーカー
長さ mm
位置
コード
マスター参照

木口コーナー 壁パネルと運動
目地 mm
メーカー
長さ mm
位置
コード
マスター参照

OK キャンセル

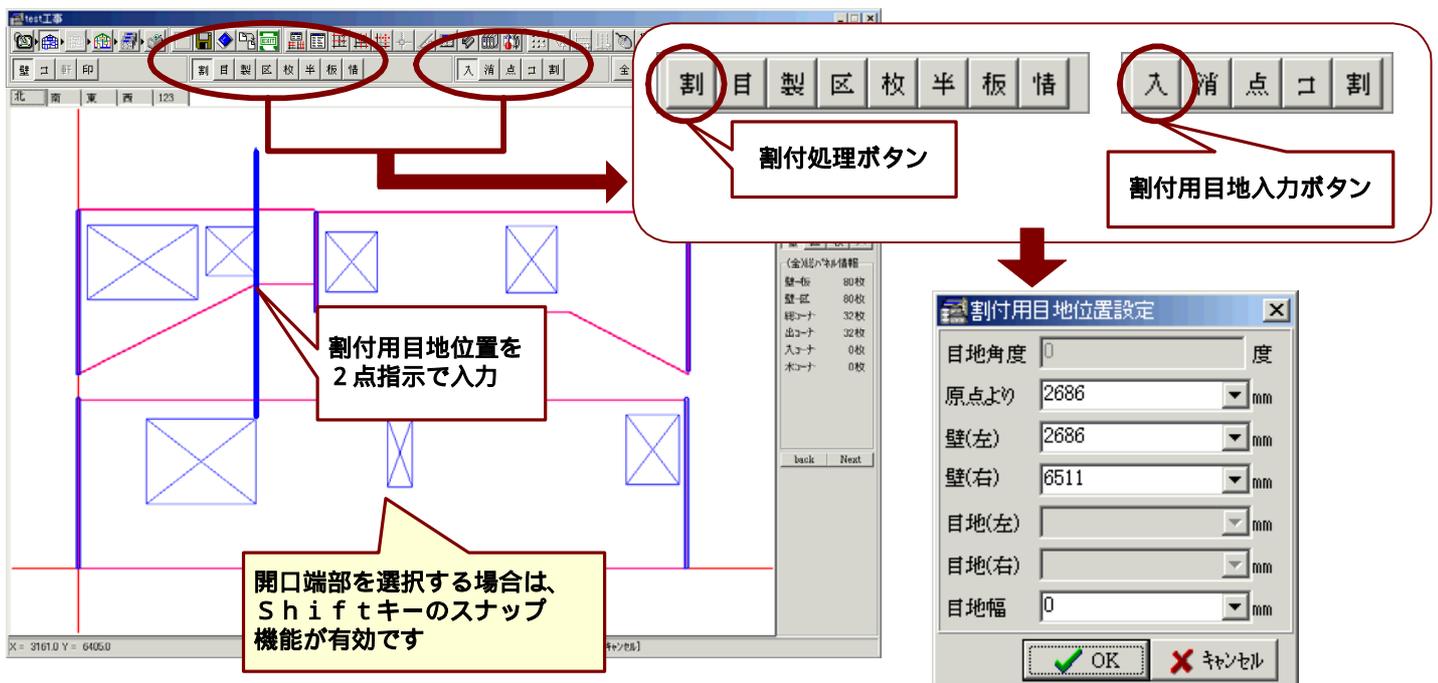
選択した壁だけが
割付けられます

この方法では、コーナーの割付はできませんので、パネル割付設定画面の各コーナーの設定は入力できなくなっています。

4 個々の壁に対する割付用目地の設定

個々の壁に対して割付用目地の設定をおこなうことができます。(割付前に設定します。)

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択(クリック)します。
2. 表示されたボタンから、[割付処理]ボタンを選択(クリック)します。
3. [割付用目地入力]ボタンを選択(クリック)し、目地入力位置の1点目(始点)を指示(クリック)します。
4. 目地入力位置の2点目(終点)を指示(クリック)すると、下記のような割付用目地位置設定画面が表示されます。(終点を指示するまで青線で線を表示します。)
5. 各項目を確認し[OK]ボタンを選択(クリック)すると、壁上に目地が表示されます。
(目地の表示色は、【環境設定】【表示】-その他 割付用目地 で設定できます。)

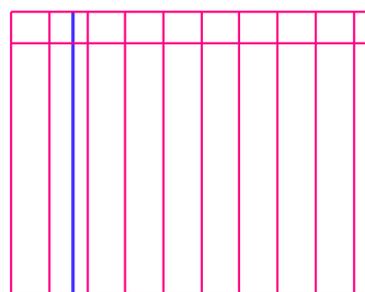


割付用目地と割付用目地設定

割付用目地を入力しても、パネル割付設定の<割付用目地設定>にチェックが入らない場合、目地設定を無視してパネルの割付を行います。



縦目地使用にチェックを入れない場合



目地部を見ないで、割付けをおこないます。

割付用目地位置設定詳細

上記表示は縦目地の場合の割付用目地位置設定画面です。
横目地の場合は上から順に
目地角度・原点より・壁(上)・壁(下)
目地(上)・目地(下)・目地幅
となります。

目地角度

目地入力時の1点目と2点目の角度 (0度:縦目地 90度:横目地)

原点より

目地を入力した1点目の位置の原点(0,0)からの距離
(縦目地ならX方向・横目地ならY方向の値)

壁(左)・壁(上)

目地を入力した位置から左側の壁(上側の壁)の端部までの距離
(表示する立面上に入力されている全ての壁の中でもっとも遠い端部)
壁(右・下)や目地(左・右・上・下)と連動

壁(右)・壁(下)

目地を入力した位置から右側の壁(下側の壁)の端部までの距離
(表示する立面上に入力されている全ての壁の中でもっとも遠い端部)
壁(左・上)や目地(左・右・上・下)と連動

目地(左)・目地(上)

入力した目地から、その最近位置の左側目地(上側目地)までの距離
(入力した目地以外に目地が入力されていない場合は、表示されません)

目地(右)・目地(下)

入力した目地から、その最近位置の右側目地(下側目地)までの距離
(入力した目地以外に目地が入力されていない場合は、表示されません)

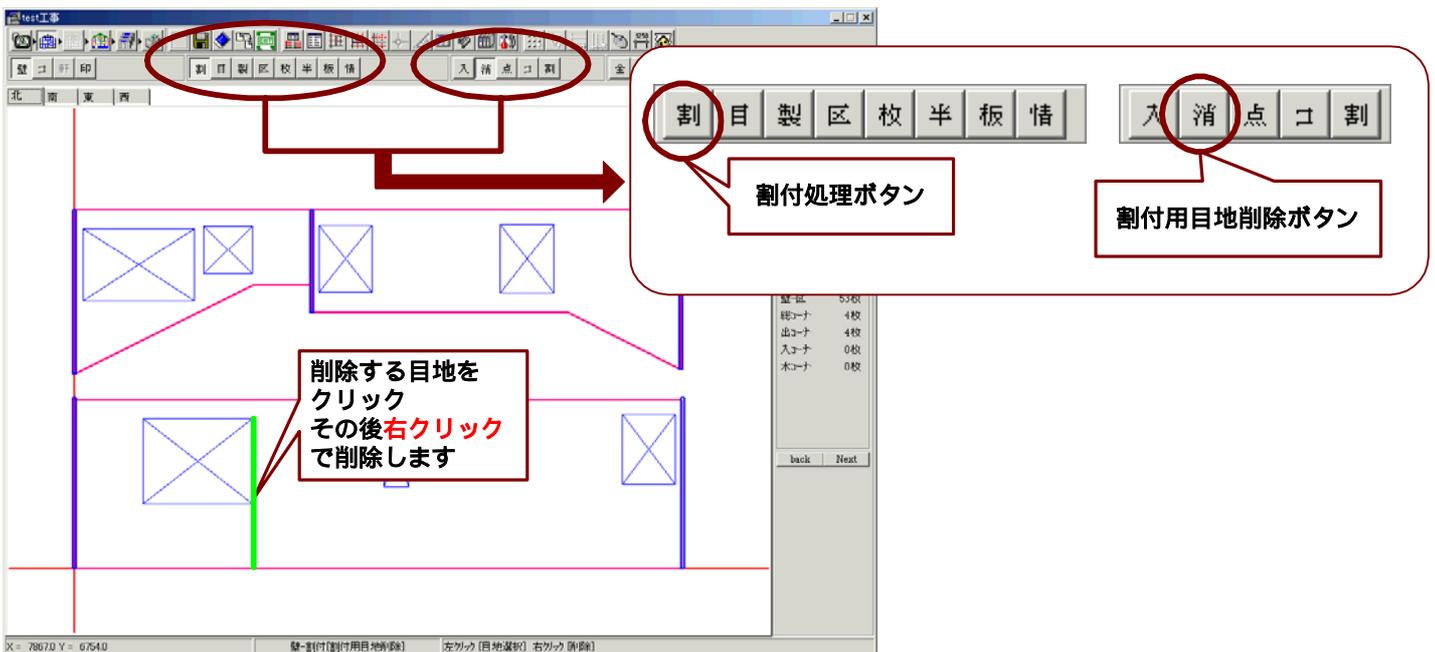
目地幅

入力した目地の幅寸法を入力

5 割付用目地の削除

入力した割付用目地の削除をおこないます。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択(クリック)します。
2. 表示されたボタンから、[割付処理]ボタンを選択(クリック)します。
3. [割付用目地削除]ボタンを選択(クリック)し、削除する目地を指示(クリック)します。
4. 指示した目地が緑色に表示されます。そこで**右クリック**すると指示した目地が削除されます。

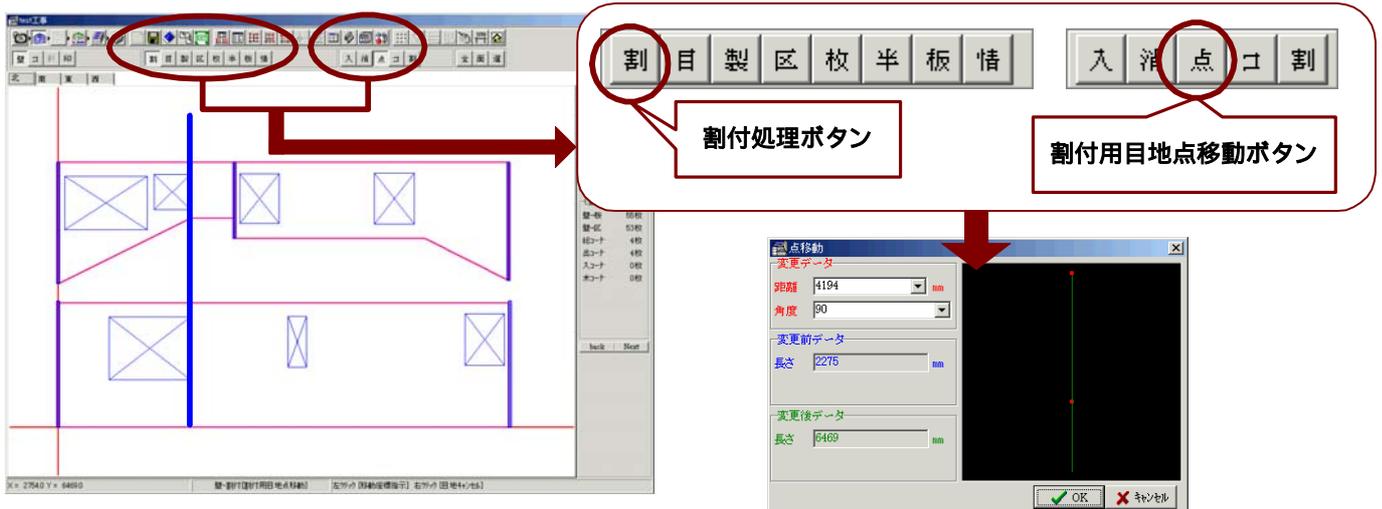


6 割付用目地の移動とコピー

割付用目地の移動とコピーについては、コーナーの移動・コピーと同様の操作方法となります。 参照 P3-27

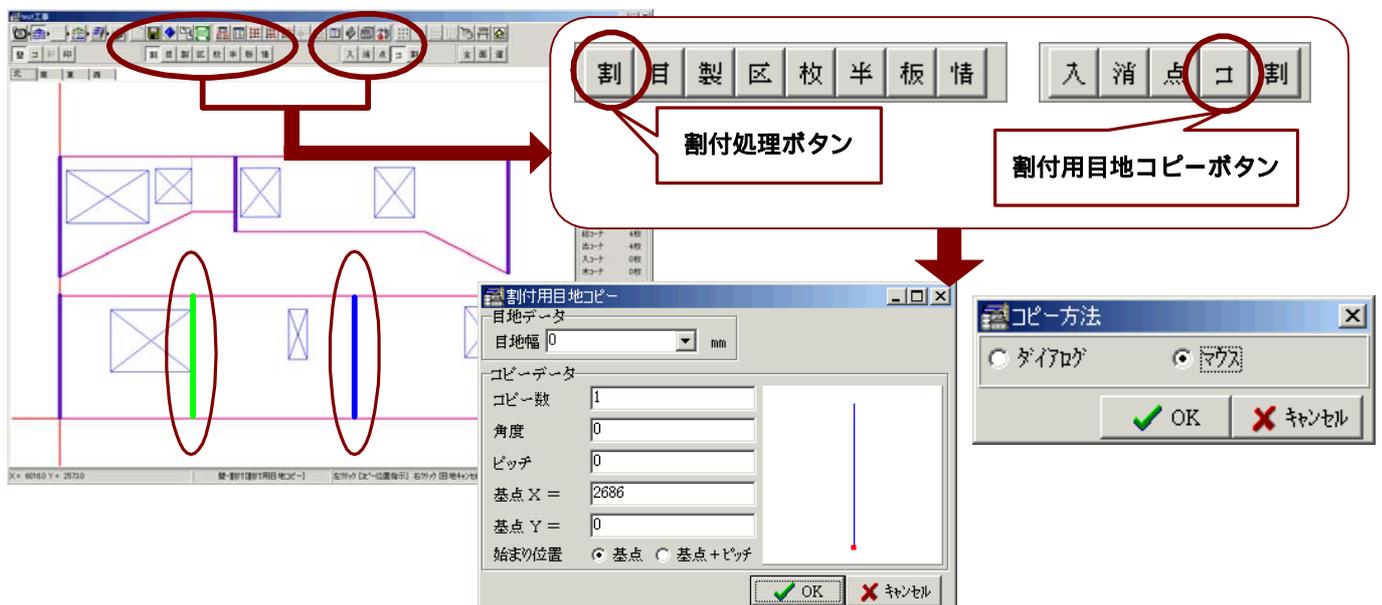
入力した割付用目地の点移動をおこないます。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタン、[割付処理]ボタンを選択(クリック)します。
2. [割付用目地点移動]ボタンを選択(クリック)し、移動する目地の点を指示(クリック)します。
3. 移動先位置を指示すると下記のような点移動画面が表示されます。[OK]ボタンを選択すると移動先に目地が移動します。目地は移動先の位置が指示されるまで青線で表示されます。



入力した割付用目地のコピーをおこないます。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタン、[割付処理]ボタンを選択(クリック)します。
2. [割付用目地コピー]ボタンを選択(クリック)し、コピーする目地を指示(クリック)します。
3. 下記のようなコピー方法画面が表示されます。<マウス>によるコピーを選択すると、指示した目地と同じ形状の目地線が青線で表示されます。コピー先の位置を指示すると割付用目地コピー画面が表示されます。[OK]ボタンを選択すると指示先に目地がコピーされます。
4. <ダイアログ>によるコピーを選択すると、割付用目地コピー画面が表示されます。各設定を行い[OK]ボタンを選択すると設定先に目地がコピーされます。



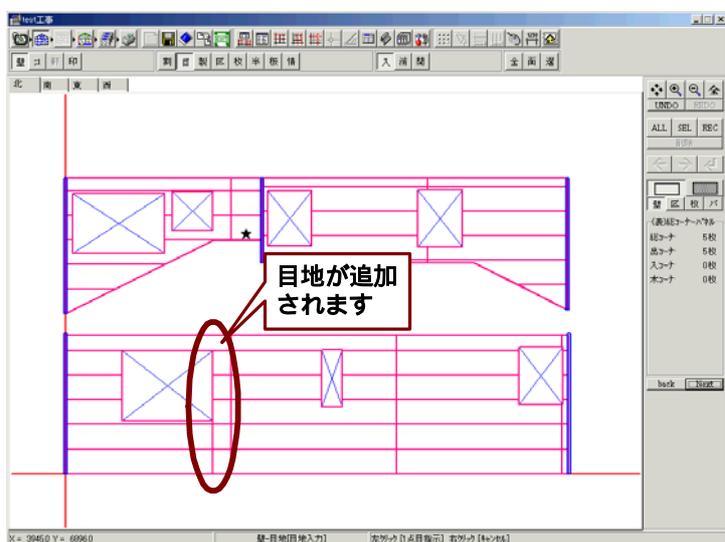
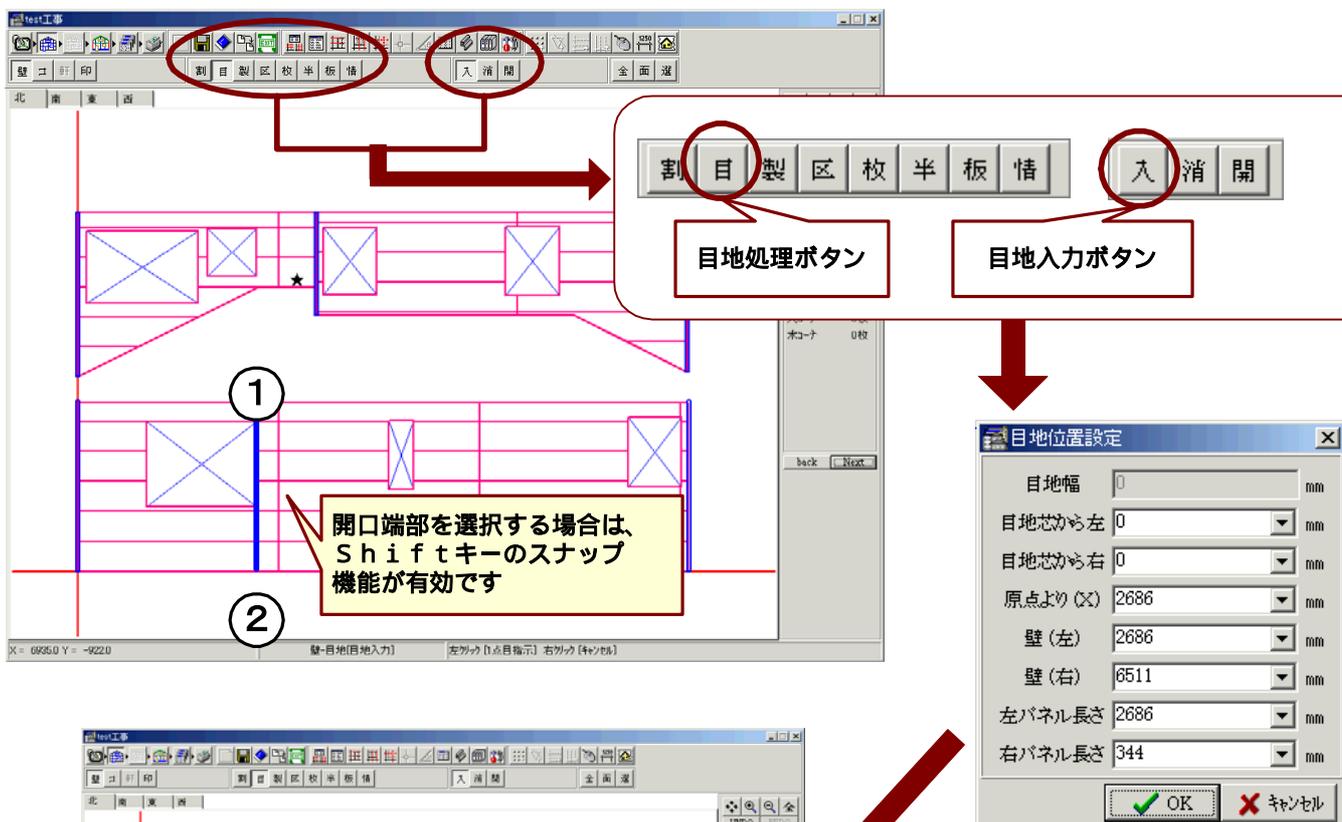
4-C 壁割付の修正処理

割付をした壁に修正をおこないます。
目地の追加・製品の変更・区分の変更・半裁パネルの設定などを行うことができます。

1 目地処理（割付後）

目地入力・・・壁の割付後に割付目地の入力をおこないます。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[目地処理]ボタンを選択（クリック）します。
下記のような入力処理ボタンが表示されます。
3. [目地入力]ボタンを選択（クリック）し、2点入力で目地位置を指示（クリック）します。
4. 下記のような目地位置指定画面が表示されます。各設定を行い[OK]ボタンを選択します。
設定に応じて目地が配置されます。



目地位置設定詳細

上記表示は縦目地の場合の目地位置設定画面です。
横目地の場合は上から順に
目地幅・目地芯から上・目地心から下・原点より(Y)
壁(上)・壁(下)・上パネル長さ・下パネル長さ
となります。

目地幅

入力された目地の幅寸法
(下記の目地芯から左・右の合計値が自動入力されます)

目地芯から左・目地芯から上

目地寸法を目地芯から左側(上側)にどれだけとるのかを入力します

目地芯から右・目地芯から下

目地寸法を目地芯から右側(下側)にどれだけとるのかを入力します

原点より(X)・原点より(Y)

目地を入力した1点目の位置の原点(0,0)からの距離

壁(左)・壁(上)

目地を入力した位置から左側の壁(上側の壁)の端部までの距離
(表示する立面上に入力されている全ての壁の中でもっとも遠い端部)
壁(右・下)や左・右(上・下)パネル長さで連動

壁(右)・壁(下)

目地を入力した位置から右側の壁(下側の壁)の端部までの距離
(表示する立面上に入力されている全ての壁の中でもっとも遠い端部)
壁(左・上)や左・右(上・下)パネル長さで連動

左パネル長さ・上パネル長さ

目地入力された壁パネルの目地から左側(上側)の長さ
壁(左・右・上・下)や右・下パネル長さで連動

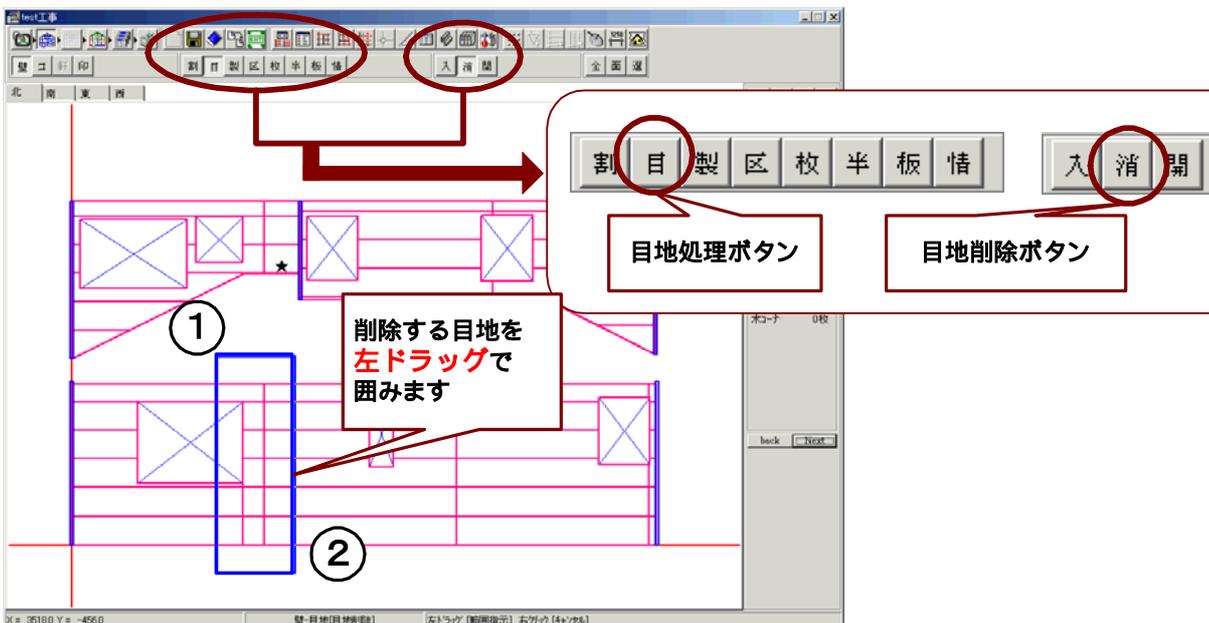
左パネル長さ・上パネル長さ

目地入力された壁パネルの目地から左側(上側)の長さ
壁(左・右・上・下)や右・下パネル長さで連動

目地削除・・・壁の割付後に割付目地の削除をおこないます。

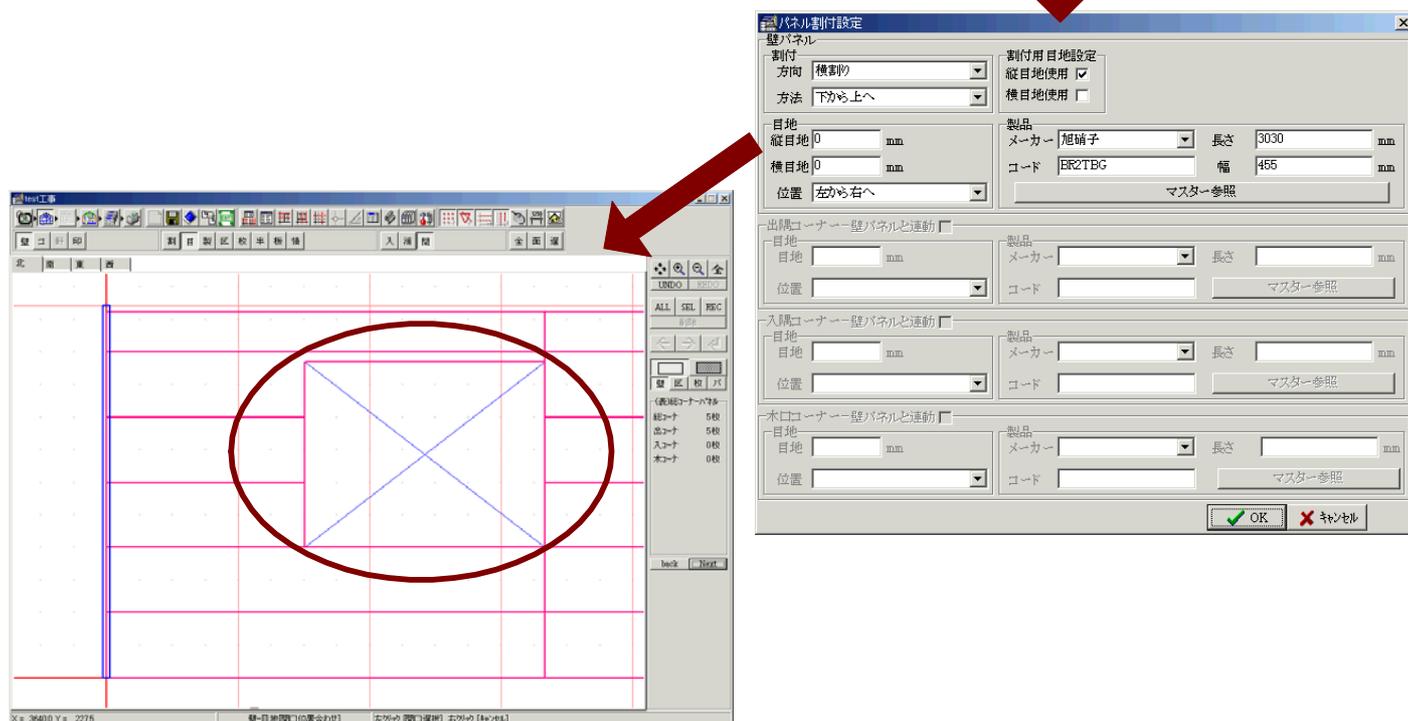
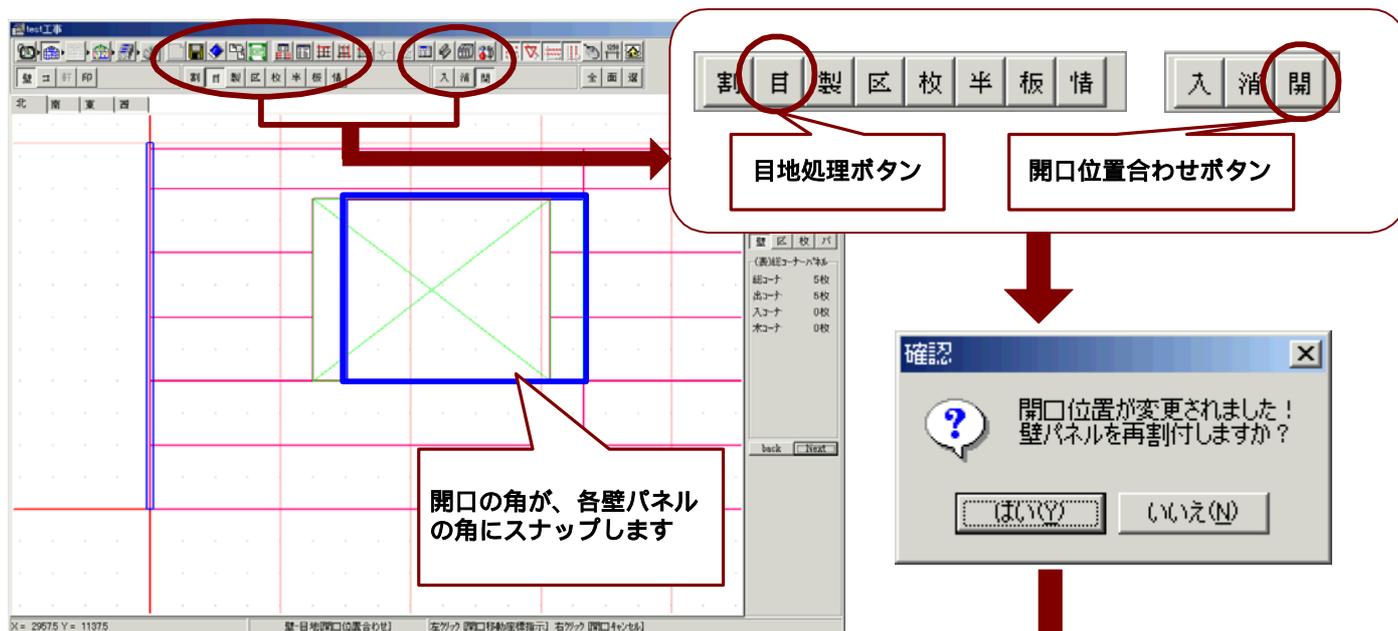
【全】割付や【面】割付で作成された目地の削除も可能です。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択(クリック)します。
2. 表示されたボタンから、[目地処理]ボタンを選択(クリック)します。
下記のような入力処理ボタンが表示されます。
3. [目地削除]ボタンを選択(クリック)します。
4. 削除する目地を**左ドラッグ**で囲んで範囲指定を行うと、その範囲内の目地が削除されます。



開口位置合わせ・・・壁の割付後に目地位置に合わせて開口の位置あわせを行うことができます。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[目地処理]ボタンを選択（クリック）します。
下記のような入力処理ボタンが表示されます。
3. [開口位置合わせ]ボタンを選択（クリック）し、位置合わせを行う開口を指示（クリック）します。
開口を指示した位置から一番近い角が、壁パネルの角にスナップします。
位置合わせをしたい開口の角を指示してください。
4. 指示した開口が移動する位置を指示（クリック）すると、開口が移動します。
5. 開口位置の移動に伴い、下記のような確認画面が表示されます。壁パネルを再割付する場合は、続けて表示されるパネル割付設定画面で割付の設定を行います。



2 製品変更

個別指定・・・壁の割付後に、個々のパネル1枚ごとに壁パネル製品の変更を行うことができます。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[製品処理]ボタンを選択（クリック）します。
下記のような入力処理ボタンが表示されます。
3. [個別指定]ボタンを選択（クリック）し、製品変更を行うパネルを指示（クリック）します。
4. 指示したパネルの色が緑色に変わりますので、そこで右クリックを行います。
下記のような製品選択画面が表示されます。変更後の製品のメーカー・コードを入力して[OK]ボタンを選択します。マスター参照を利用して入力することも可能です

製品変更をおこなう壁パネルをクリックその後右クリック

製品処理ボタン

個別指定ボタン

製品選択

メーカー名 旭硝子
コード 旭硝子
ニチハ
旭化成
クボタ
松下電工
アイシー工業
ダイケン
トステム
東レ
INAX

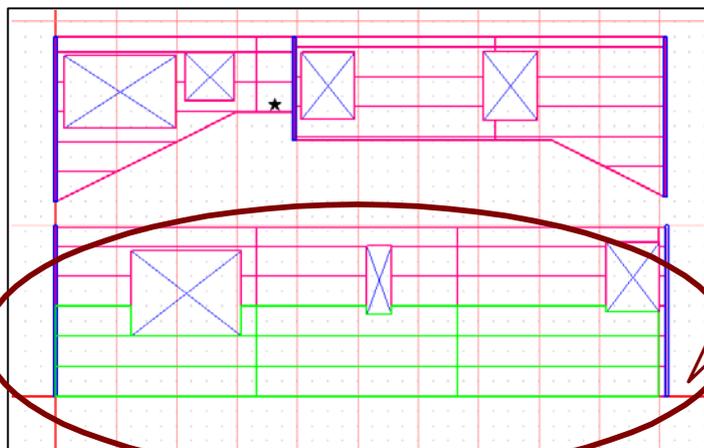
製品選択

メーカー名 旭硝子
コード ER2TBG
マスター参照
OK キャンセル

コード	製品名	仕様
BC8ILG	AG-WALL 185・プレジール プラチオ	ジュールグレー
BC8JOC	AG-WALL 185・プレジール プラチオ	ジュールオーカー
BC8JWJ	AG-WALL 185・プレジール プラチオ	ジュールホワイト
ER20DO	AG-WALL 12J・NEW・レング	デザートオレンジ
ER20DY	AG-WALL 12J・NEW・レング	デザートイエロー
ER20RJ	AG-WALL 12J・NEW・レング	ローズベージュ
ER2TBG	AG-WALL 12J・レング	テラベージュ
ER2TKR	AG-WALL 12J・レング	テラクリーム
ER2TOB	AG-WALL 12J・レング	テラオリブ
CP2ABB	AG-WALL 12J・カブア	アンバーローズ
CP2ABW	AG-WALL 12J・カブア	アンバーホワイト
CP2ABZ	AG-WALL 12J・カブア	アンバーローズ
CS6CAG	AG-WALL 15J・せいせき	セラッシュ
CS6CBG	AG-WALL 15J・せいせき	セラナチュラルベージュ
CS6CGR	AG-WALL 15J・せいせき	セラグレー
CS6CLD	AG-WALL 15J・せいせき	セラレッド
CS6CSE	AG-WALL 15J・せいせき	セラセピア
CY6SI	AG-WALL 15J・シフティ	サンドアイボリー
CY6SO	AG-WALL 15J・シフティ	サンドオレンジ
CY6SY	AG-WALL 15J・シフティ	サンドイエロー
DNBVKR	AG-WALL 15D・ディアグレース ドリナ	フェノクリーム
DNBVLO	AG-WALL 15D・ディアグレース ドリナ	フェノライトオレンジ
DNBVMR	AG-WALL 15D・ディアグレース ドリナ	フェノマルーン
DP602R+	AG-WALL EX・ビュアJストーン	ビュアレッド

複数パネルの選択

個別指定を選択している場合には
下記の2つの方法で複数のパネルを一度に選択することができます。



Shiftキーを押しながらパネルを選択（クリック）すると複数のパネルを一度に選択することができます。

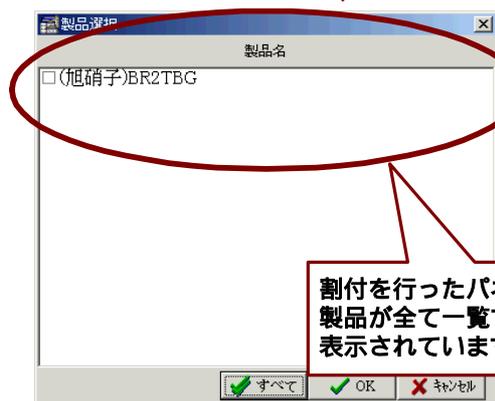
ドラッグで囲むように範囲指定すると、囲んだ範囲内の複数のパネルを一度に選択することができます。

Shiftキーを押しながら、それぞれのパネルをクリック！
または、**ドラッグで囲んで範囲指定**

製品変更の場合だけでなく、区分変更、枚数変更などでも同様の操作で複数パネルを選択することができます。

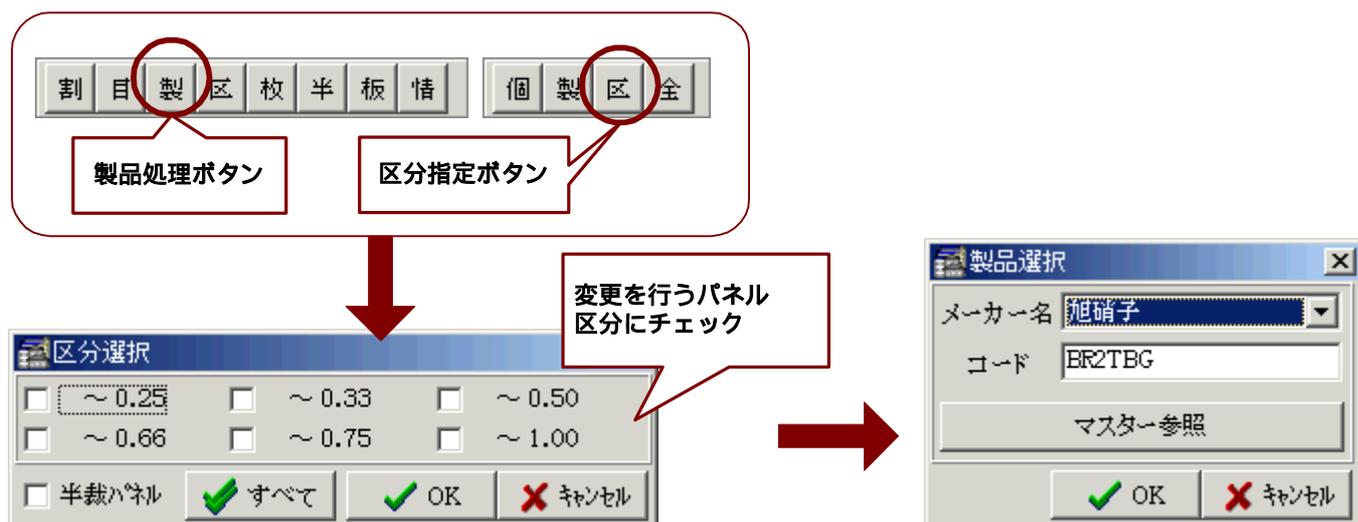
製品指定・・・壁の割付後に、割付した製品ごとにパネル製品の変更を行うことができます。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[製品処理]ボタンを選択（クリック）します。
下記のような入力処理ボタンが表示されます。
3. [製品指定]ボタンを選択（クリック）すると、下記のような画面が表示されます。
ここには割付を行ったパネル製品が全て一覧となって表示されます。
4. 変更を行う製品にチェックを入れ[OK]ボタンを選択すると、製品選択画面が表示されます。
変更後の製品のメーカー・コードを入力して[OK]ボタンを選択します。マスター参照の利用も可能です。



区分指定・・・壁の割付後に、割付したパネル区分ごとにパネル製品の変更を行うことができます。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[製品処理]ボタンを選択（クリック）します。
下記のような入力処理ボタンが表示されます。
3. [区分指定]ボタンを選択（クリック）すると、下記のような区分選択画面が表示されます。
4. 変更を行うパネル区分にチェックを入れ[OK]ボタンを選択すると、製品選択画面が表示されます。
変更後の製品のメーカー・コードを入力して[OK]ボタンを選択します。マスター参照の利用も可能です。



全体指定・・・壁の割付後に、割付したパネル全てのパネル製品を一括して変更することができます。

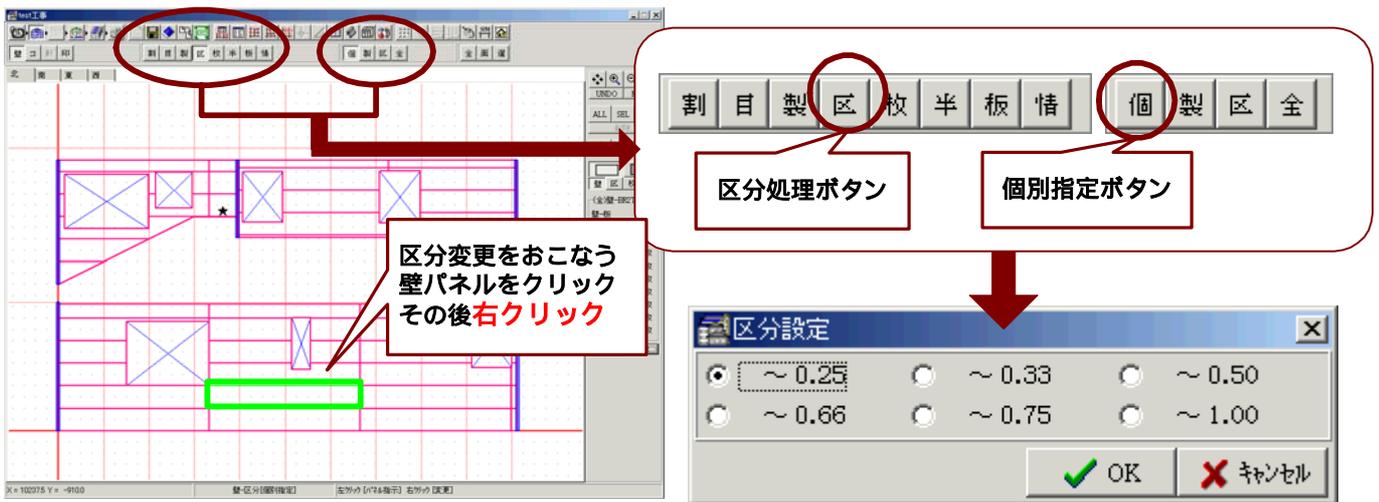
1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[製品処理]ボタンを選択（クリック）します。
下記のような入力処理ボタンが表示されます。
3. [全体指定]ボタンを選択（クリック）すると、下記のような製品選択画面が表示されます。
変更後の製品のメーカー・コードを入力して[OK]ボタンを選択します。マスター参照の利用も可能です。



3 パネル区分変更

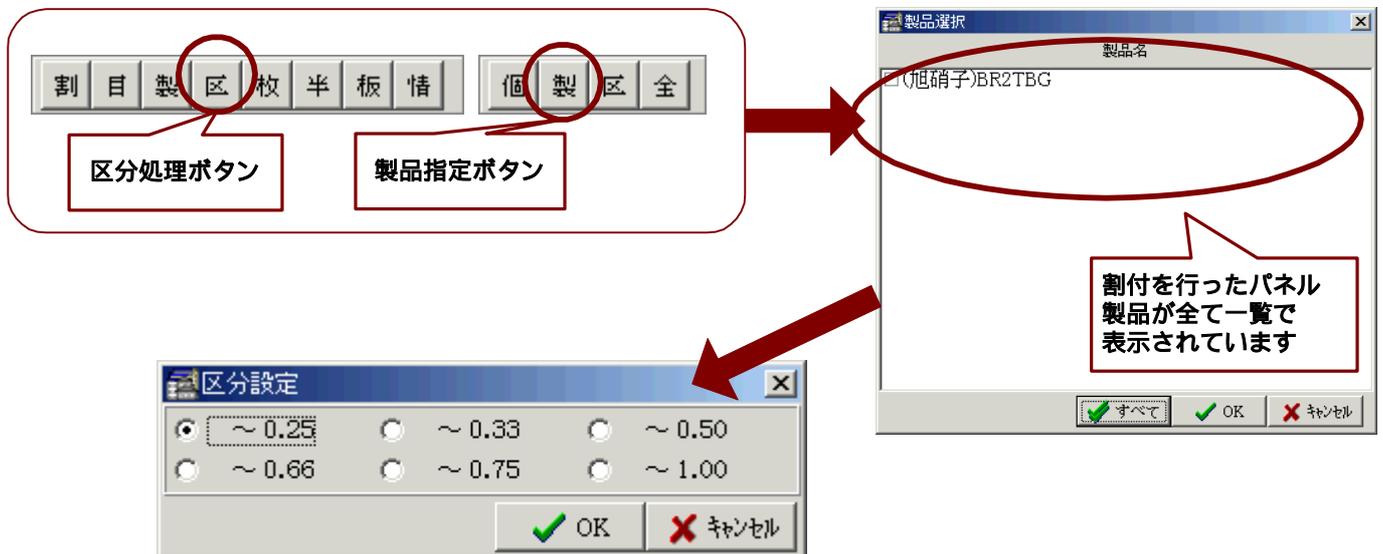
個別指定・・・壁の割付後に、個々のパネル1枚ごとにパネル区分の変更を行うことができます。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[区分処理]ボタンを選択（クリック）します。
3. [個別指定]ボタンを選択（クリック）し、パネル区分変更を行うパネルを指示（クリック）します。
4. 指示したパネルの色が緑色に変わりますので、そこで右クリックを行います。
下記のような区分設定画面が表示されます。変更後のパネル区分にチェックを入れ[OK]ボタンを選択します。



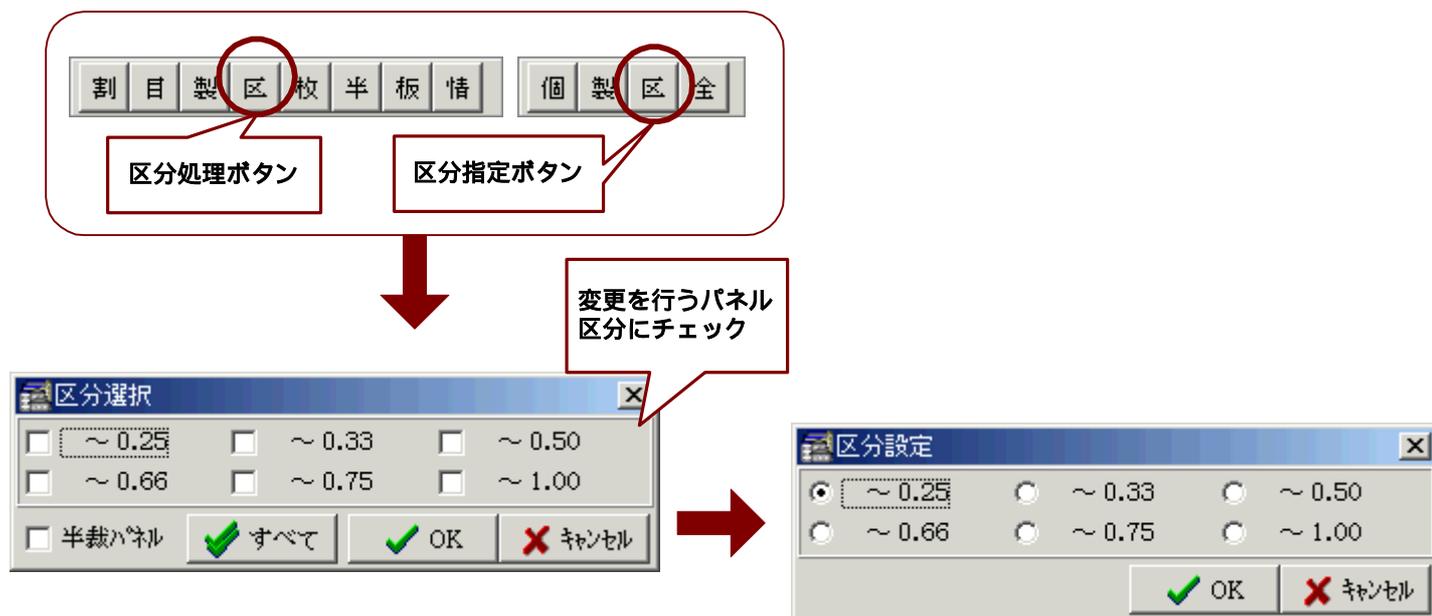
製品指定・・・壁の割付後に、割付した製品ごとにパネル区分の変更を行うことができます。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[区分処理]ボタンを選択（クリック）します。
3. [製品指定]ボタンを選択（クリック）すると、下記のような画面が表示されます。
ここには割付を行ったパネル製品が全て一覧となって表示されます。
4. 変更を行う製品にチェックを入れ[OK]ボタンを選択すると、区分設定画面が表示されます。
変更後のパネル区分にチェックを入れ[OK]ボタンを選択します。



区分指定・・・壁の割付後に、割付したパネル区分ごとにパネル区分の変更を行うことができます。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[区分処理]ボタンを選択（クリック）します。
3. [区分指定]ボタンを選択（クリック）すると、下記のような区分選択画面が表示されます。
4. 変更を行うパネル区分にチェックを入れ[OK]ボタンを選択すると、区分設定画面が表示されます。
変更後のパネル区分にチェックを入れ[OK]ボタンを選択します。



全体指定・・・壁の割付後に、割付したパネル全てのパネル区分を一括して変更することができます。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[区分処理]ボタンを選択（クリック）します。
3. [全体指定]ボタンを選択（クリック）すると、下記のような区分設定画面が表示されます。
変更後のパネル区分にチェックを入れ[OK]ボタンを選択します。

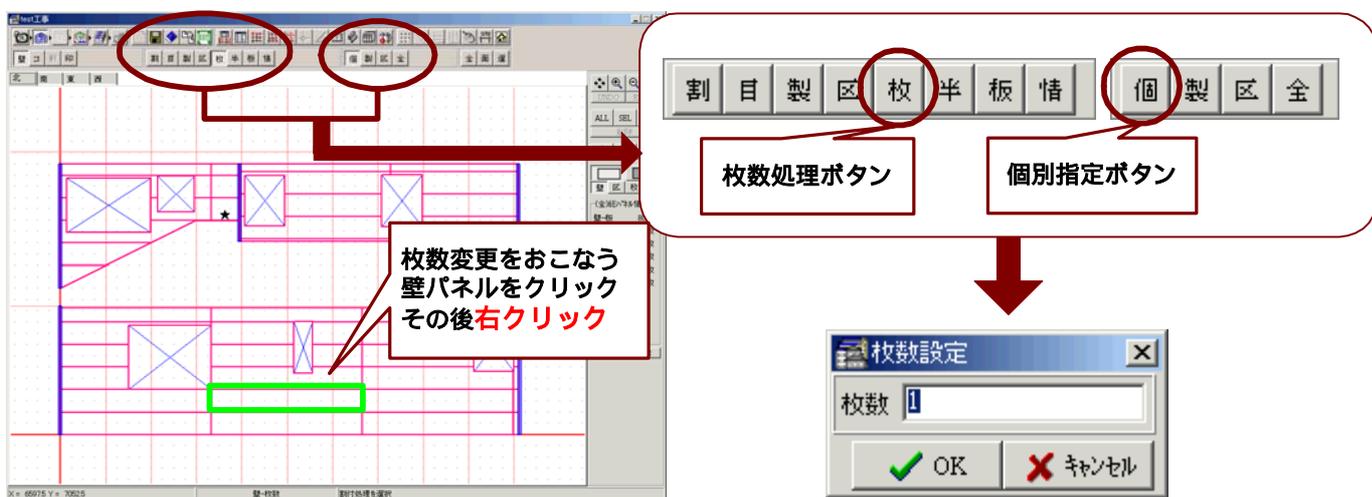


4 パネル枚数変更

通常では、パネル割付け枚数は1枚ですが、ベランダ表裏など同位置に2枚以上複数のパネルを割付ける場合に、このパネル枚数処理機能を利用して手動で複数枚となるパネルを指示します。

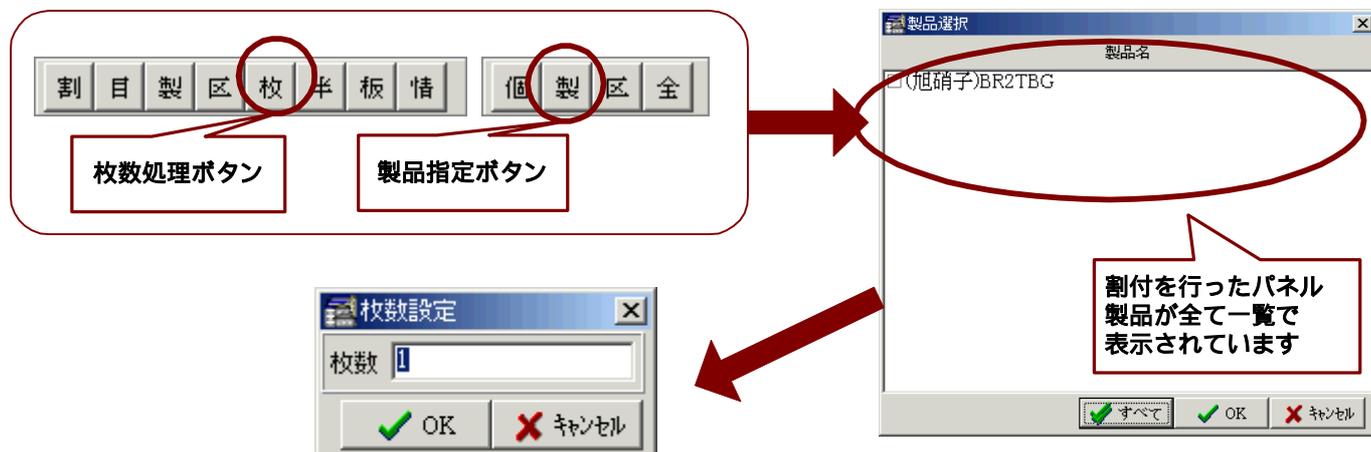
個別指定・・・壁の割付後に、個々のパネル1枚ごとにパネル枚数の変更を行うことができます。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[枚数処理]ボタンを選択（クリック）します。
3. [個別指定]ボタンを選択（クリック）し、パネル枚数変更を行うパネルを指示（クリック）します。
4. 指示したパネルの色が緑色に変わりますので、そこで右クリックを行います。
下記のような枚数設定画面が表示されます。変更後のパネル枚数を入力し[OK]ボタンを選択します。



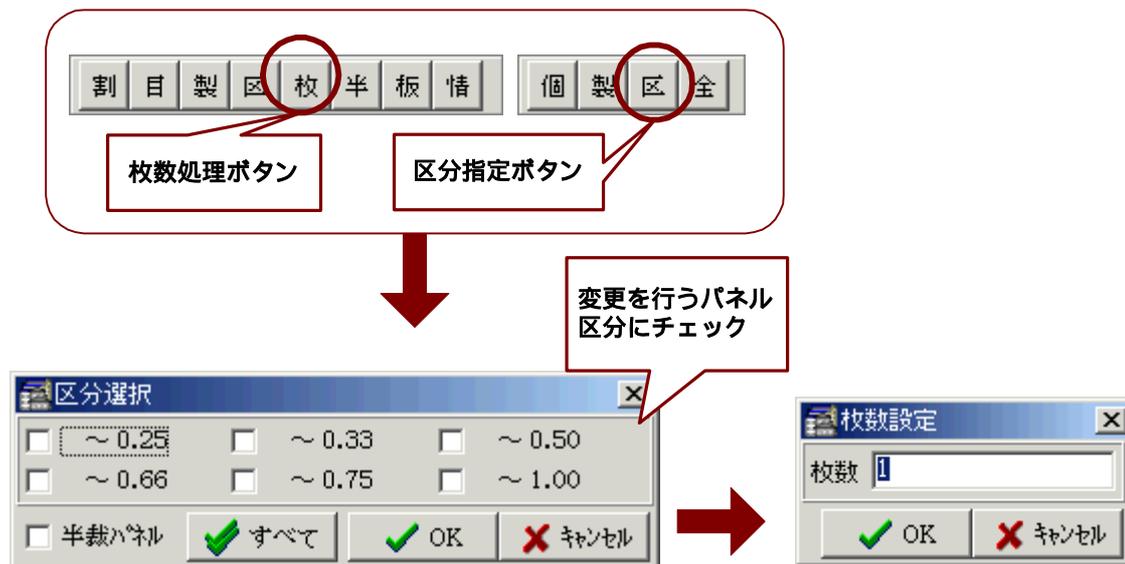
製品指定・・・壁の割付後に、割付した製品ごとにパネル枚数の変更を行うことができます。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[枚数処理]ボタンを選択（クリック）します。
3. [製品指定]ボタンを選択（クリック）すると、下記のような画面が表示されます。
ここには割付を行ったパネル製品が全て一覧となって表示されます。
4. 変更を行う製品にチェックを入れ[OK]ボタンを選択すると、枚数設定画面が表示されます。
変更後のパネル枚数を入力して[OK]ボタンを選択します。



区分指定・・・壁の割付後に、割付したパネル区分ごとにパネル枚数の変更を行うことができます。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[枚数処理]ボタンを選択（クリック）します。
3. [区分指定]ボタンを選択（クリック）すると、下記のような区分選択画面が表示されます。
4. 変更を行うパネル区分にチェックを入れ[OK]ボタンを選択すると、枚数設定画面が表示されます。
変更後のパネル枚数を入力して[OK]ボタンを選択します。



全体指定・・・壁の割付後に、割付したパネル全てのパネル枚数を一括して変更することができます。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[枚数処理]ボタンを選択（クリック）します
3. [全体指定]ボタンを選択（クリック）すると、下記のような枚数設定画面が表示されます。
変更後のパネル枚数を入力して[OK]ボタンを選択します。



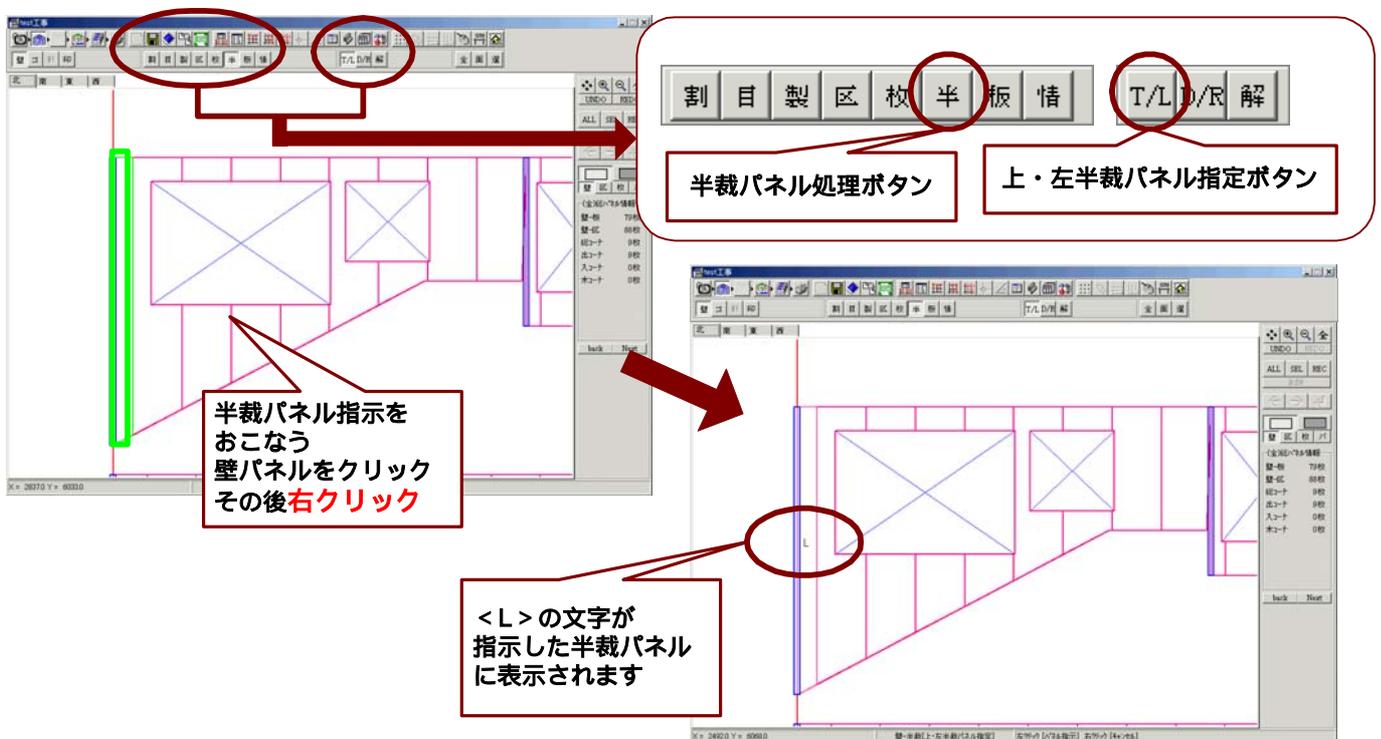
5

半裁パネル処理

SDデザイナーでは、長さ方向について自動的にパネルの取回しを行います。
幅方向についての取回しは、必要に応じてこの半裁処理機能を利用して手動で指示を行います。

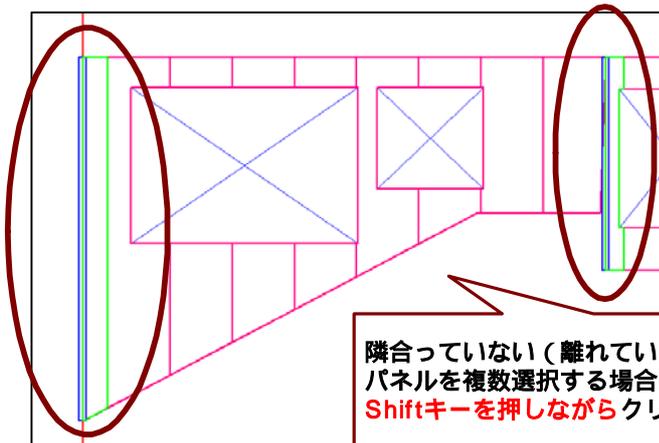
上(左)半裁パネル指定・・・幅方向の取回し可能な製品について、横割りの場合の上側・縦割りの場合の左側で使用されている半裁パネルを指示します。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択(クリック)します。
2. 表示されたボタンから、[半裁パネル処理]ボタンを選択(クリック)します。
3. [上・左半裁パネル指定]ボタンを選択(クリック)し、半裁パネル指示を行うパネルを指示(クリック)します。
4. 指示したパネルの色が緑色に変わりますので、そこで右クリックを行います。
指示したパネルが横割りの場合の上側の時、<T>の文字が表示されます。(縦割りの場合の左側の時は <L>)



複数パネルの選択

半裁パネル処理の場合も複数パネルの選択は次の2つの方法で行うことができます。



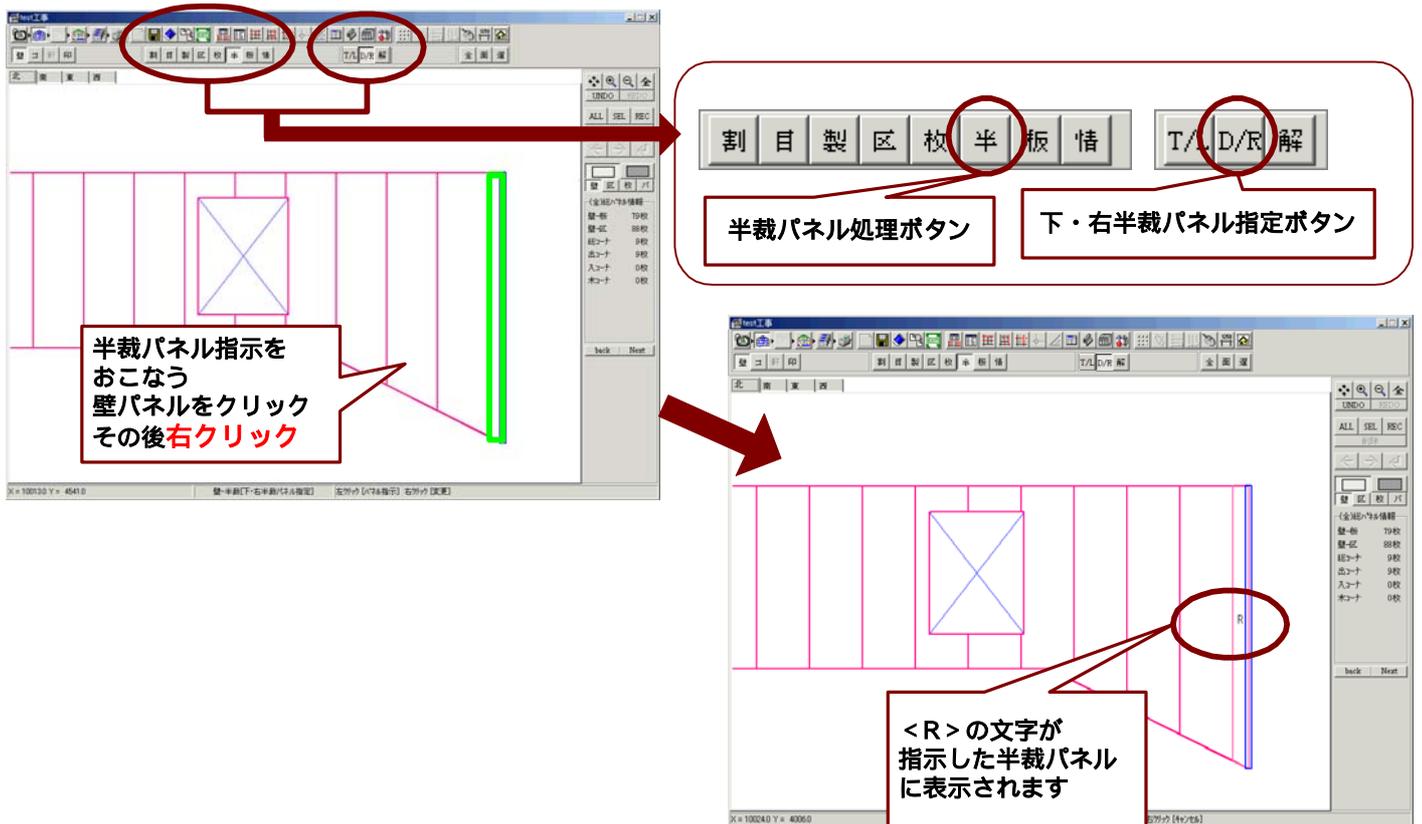
隣合っていない(離れている)パネルを複数選択する場合は、Shiftキーを押しながらクリック

Shiftキーを押しながらパネルを選択(クリック)すると複数のパネルを一度に選択することができます。

ドラッグで囲むように範囲指定すると、囲んだ範囲内の複数のパネルを一度に選択することができます。

下（右）半裁パネル指定・・・幅方向の取回し可能な製品について、横割りの場合の下側・縦割りの場合の右側で使用されている半裁パネルを指示します。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[半裁パネル処理]ボタンを選択（クリック）します。
3. [下・右半裁パネル指定]ボタンを選択（クリック）し、半裁パネル指示を行うパネルを指示（クリック）します。
4. 指示したパネルの色が緑色に変わりますので、そこで右クリックを行います。
指示したパネルが横割りの場合の下側の時、<D> の文字が表示されます。（縦割りの場合の左側の時は <R>）



半裁パネル指定の解除・・・パネルの半裁パネル指定を解除します。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[半裁パネル処理]ボタンを選択（クリック）します。
3. [半裁パネル指定解除]ボタンを選択（クリック）し、指定解除する半裁パネルを指示（クリック）します。
4. 指示した半裁パネルの色が緑色に変わりますので、そこで右クリックを行います。
パネルに表示されていた <T> <D> <L> <R> の文字表示が消去します。



6 板取り処理

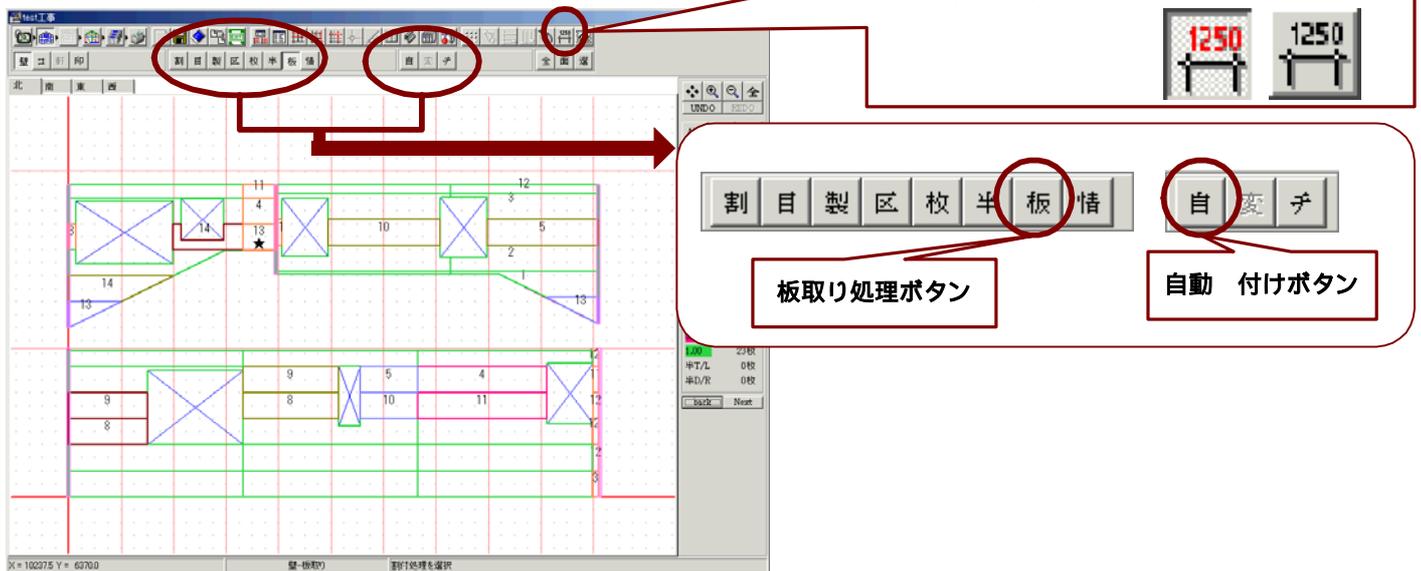
SDデザイナーでは、割付けを行った際は自動的に板取り処理を行っています。
割付け後、修正を加えたり、板取番号の変更を行った場合など、この板取機能を利用して再処理を行います。

自動 付け・・・板取りの再処理を自動で行います。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[板取り処理]ボタンを選択（クリック）します。
3. [自動 付け]ボタンを選択（クリック）します。

板取りナンバーがそれぞれのパネルに再付与され表示されます。

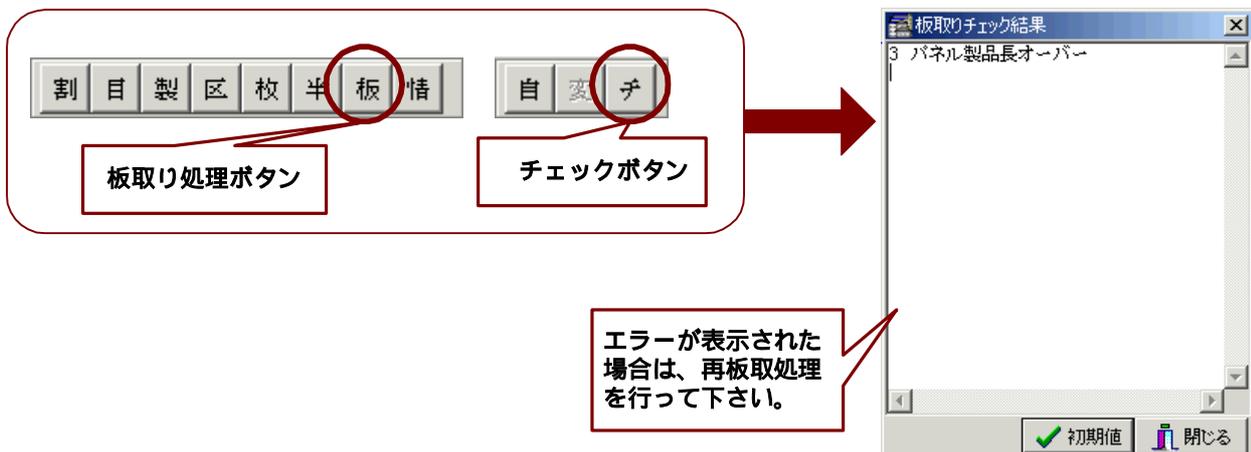
寸法 ON/OFF ボタン
割付時には板取番号表示（ON）
非表示（OFF）の切替ボタン



チェック・・・板取りのチェック処理を行い、チェック結果が不都合な場合、エラー表示をします。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[板取り処理]ボタンを選択（クリック）します。
3. [チェック]ボタンを選択（クリック）します。

板取りチェックを行い、下記のような板取りチェック結果画面を表示します。
チェックの結果が不都合な場合、不都合な板取りナンバーを表示します。



7 パネル情報の表示

パネル情報・・・割付けをした個々のパネルの情報を表示して確認や修正を行うことができます。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[パネル情報]ボタンを選択（クリック）します。
3. パネル情報を表示したいパネルを指示（クリック）します。
4. 指示したパネルの色が緑色に変わり、同時に下記のような壁パネル情報画面が表示されます。
表示の上部は割付けられたパネル自身の情報、下部は割付けられたパネル製品の情報が表示されています。
5. それぞれの項目について変更を行うことができます。変更を行った場合、下記のような板取の再処理を促す確認画面が表示されます。

パネル情報の表示をおこなう壁パネルをクリック

パネル情報ボタン

パネル個々の情報が表示されます

パネル製品の情報が表示されます

情報の変更を行った場合は、必ず板取処理の再処理を行って下さい。

種類	外壁
方向	横向き
区分	Auto
半裁	指定無し
枚数	1
幅	455 mm
長さ	1941 mm
メーカー	旭硝子
コード	BR2TBG
製品幅	455 mm
製品長	3030 mm
マスター参照	
板取り番号	- - 10

確認

？ 板取り処理の設定が変更されました。板取り処理の再処理しますか？

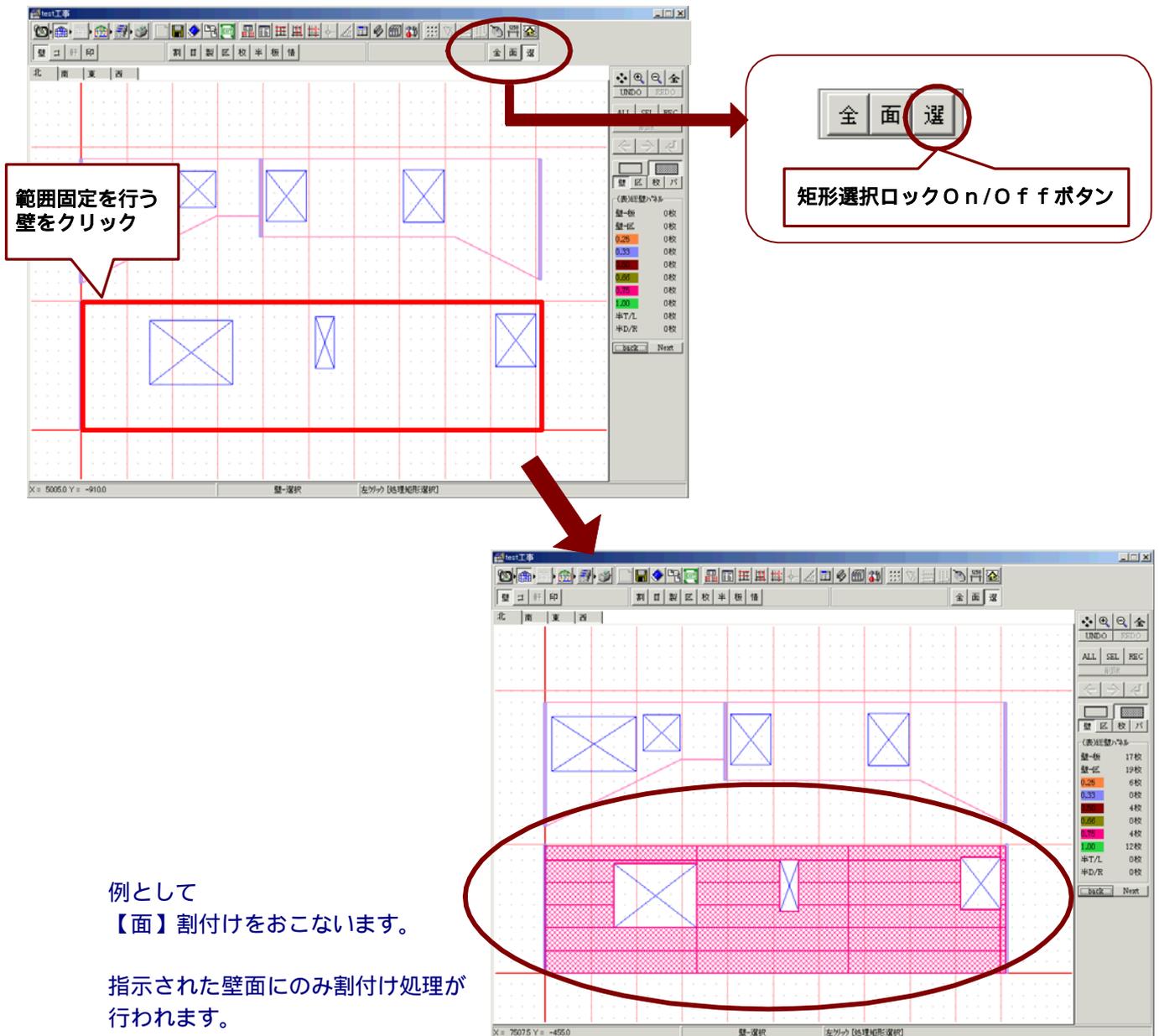
はい(Y) いいえ(N)

8

処理範囲の固定

表示立面の中で処理を行う壁を固定することができます。
壁の割付処理や割付後の修正処理のどの処理についても利用することが可能です。
コーナーの割付や割付後の処理についても利用することが可能ですが、ここでは壁処理について説明を行います。

1. 割付画面を表示して、[壁処理]ボタンを選択(クリック)します。
2. [矩形選択ロックOn/Off]ボタンをOnの状態にします。
＜注意＞壁処理の中の各処理(割付処理・目地処理・製品処理など)を選択した状態では、この[矩形選択ロックOn/Off]ボタンをOnの状態にすることは出来ません。
3. 表示されている立面の中から、範囲固定をする壁を指示(クリック)します。
指示された壁面は赤線で囲んで表示されます。
4. 割付処理や修正処理を行います。指示された壁面にもみ処理が行われます。

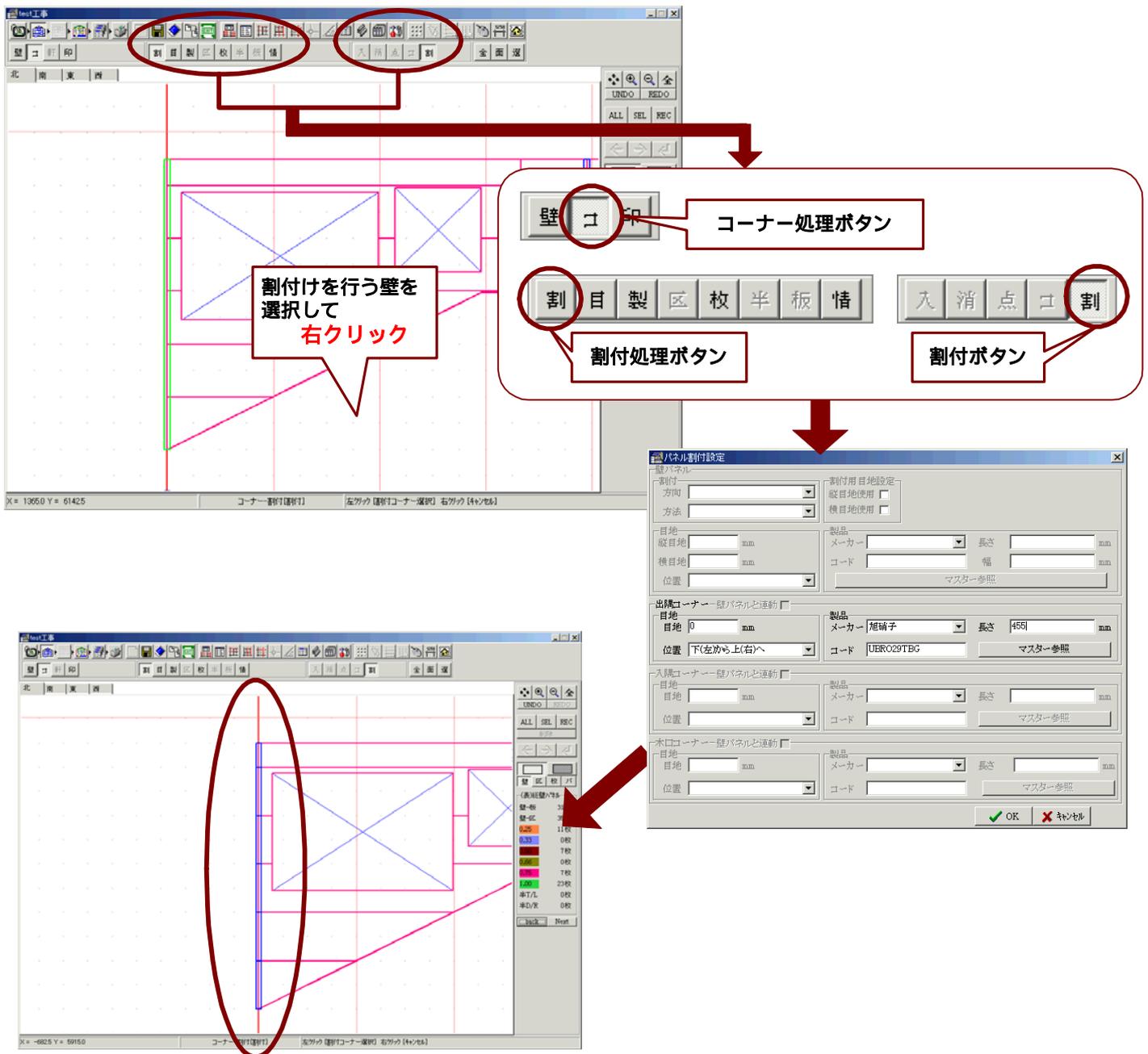


4-D コーナー割付処理

【全】割付（全面割付）や【面】割付（面単位割付）の処理では、壁とコーナーを同時に割付けを行うことができたが、壁単位の割付では壁パネルのみの割付を行います。
このような、コーナーの割付が行われていない壁に対してコーナー材のみを割付することができます。

1 個々のコーナーの割付

1. 割付画面を表示して、[コーナー処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[割付処理]ボタンを選択（クリック）します。
3. [割付]ボタンを選択（クリック）し、割付けを行うコーナーを指示（クリック）します。
4. 指示したコーナーの外周が緑色に変わります。そのコーナー上で**右クリック**をおこないます。
下記のようなパネル割付設定画面が表示されます。目地寸法・目地位置・製品など各設定を行い[OK]ボタンを選択（クリック）します。設定に応じて、コーナーが割付けられます。



4-E コーナー割付の修正処理

割付をしたコーナーに修正をおこないます。
目地の追加・製品の変更・枚数の変更の設定などを行うことができます。
処理方法は壁割付の修正処理と同様です。

1 目地処理（割付後）

目地入力・・・コーナーの割付後に割付目地の入力をおこないます。

1. 割付画面を表示して、[コーナー処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[目地処理]ボタンを選択（クリック）します。
3. [目地入力]ボタンを選択（クリック）し、2点入力で目地位置を指示（クリック）します。
4. 下記のような目地位置指定画面が表示されます。各設定を行い[OK]ボタンを選択します。
設定に応じて目地が配置されます。

開口端部を選択する場合は、Shiftキーのスナップ機能が有効です

目地幅	0	mm
目地芯から上	0	mm
目地芯から下	0	mm
原点より(Y)	4074	mm
コーナー(上)	-1474	mm
コーナー(下)	4074	mm
上パネル長さ	248.5	mm
下パネル長さ	206.5	mm

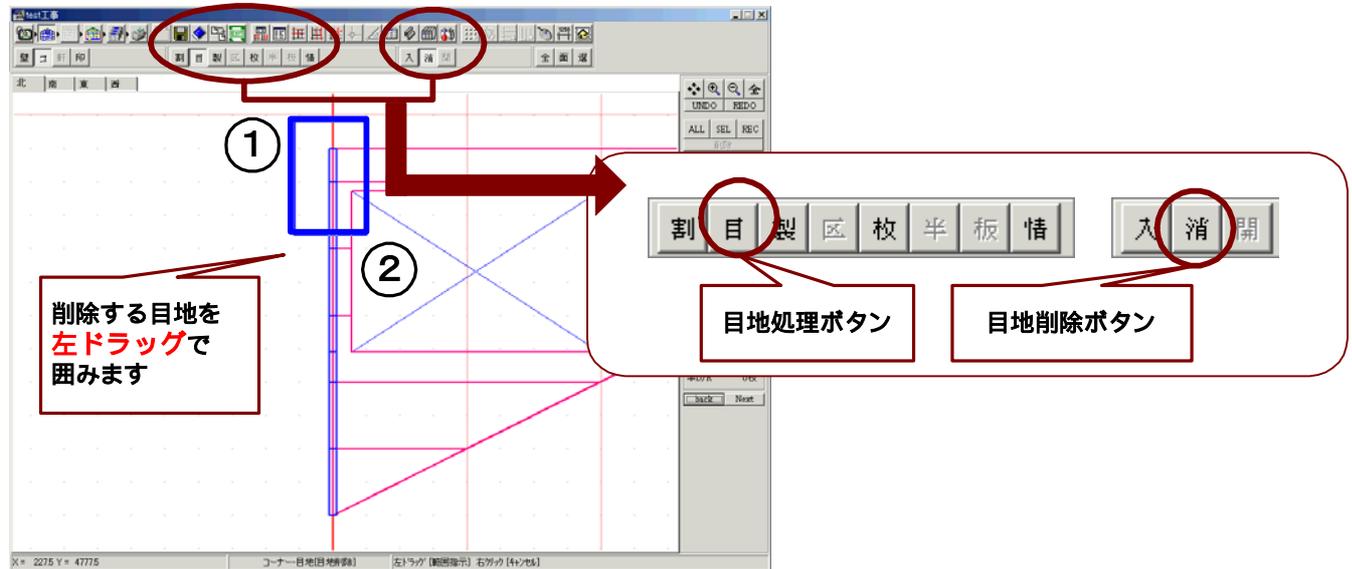
指示位置に目地が追加されます

目地位置設定画面の詳細は、
[壁割付の修正処理] [目地処理]を
ご参照ください。

目地削除・・・コーナーの割付後に割付目地の削除をおこないます。

【全】割付や【面】割付で作成された目地の削除も可能です。

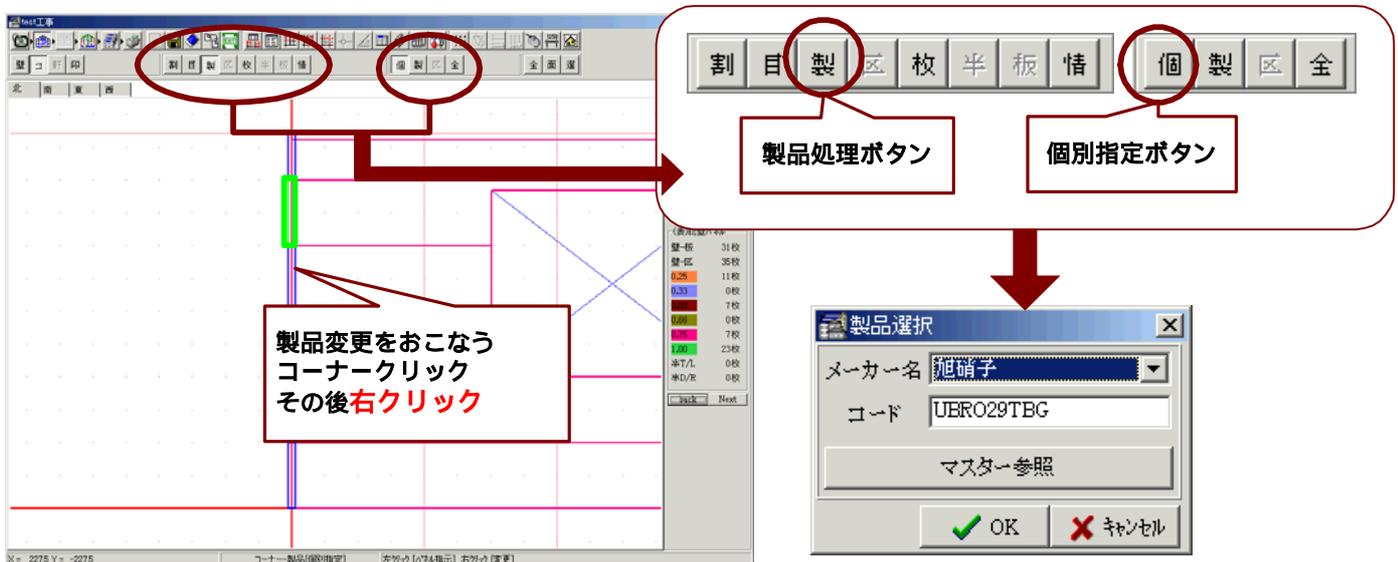
1. 割付画面を表示して、[コーナー処理]ボタンを選択(クリック)します。
2. 表示されたボタンから、[目地処理]ボタンを選択(クリック)し、[目地削除]ボタンを選択(クリック)します。
3. 削除する目地を**左ドラッグ**で囲んで範囲指定を行うと、その範囲内の目地が削除されます。



2 製品変更

個別指定・・・コーナーの割付後に、個々のコーナー材ごとに製品の変更を行うことができます。

1. 割付画面を表示して、[コーナー処理]ボタンを選択(クリック)します。
2. 表示されたボタンから、[製品処理]ボタン、[個別指定]ボタンを選択(クリック)し、製品変更を行うコーナーを指示(クリック)します。
3. 指示したコーナーの色が緑色に変わりますので、そこで右クリックを行います。
下記のような製品選択画面が表示されます。変更後の製品のメーカー・コードを入力して[OK]ボタンを選択します。マスター参照を利用して入力することも可能です



製品指定・・・コーナーの割付後に、コーナー製品ごとに製品の変更を行うことができます。

1. 割付画面を表示して、[コーナー処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[製品処理]ボタン、[製品指定]ボタンを選択（クリック）すると、下記のような画面が表示されます。ここには割付を行ったコーナー製品が全て一覧となって表示されます。
3. 変更を行う製品にチェックを入れ[OK]ボタンを選択すると、製品選択画面が表示されます。
変更後の製品のメーカー・コードを入力して[OK]ボタンを選択します。マスター参照の利用も可能です。



全体指定・・・コーナーの割付後に、コーナー全ての製品を一括して変更することができます。

1. 割付画面を表示して、[コーナー処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[製品処理]ボタン、[全体指定]ボタンを選択（クリック）すると、下記のような製品選択画面が表示されます。
変更後の製品のメーカー・コードを入力して[OK]ボタンを選択します。マスター参照の利用も可能です。

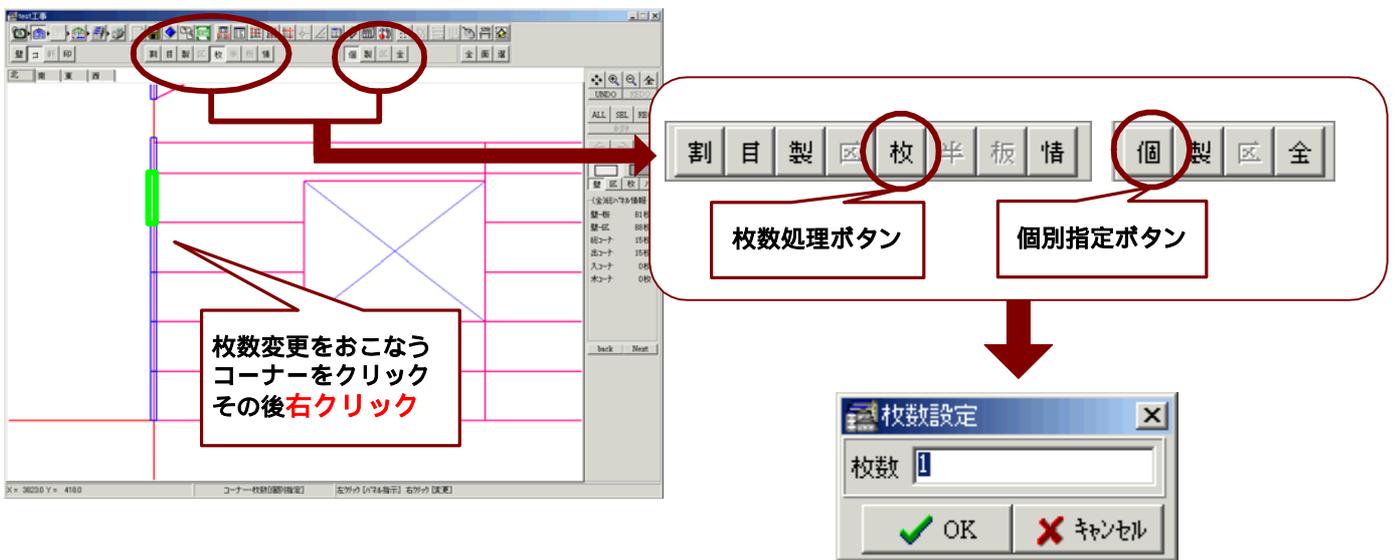


3 枚数変更

通常では、コーナー割付け枚数は1枚ですが、同位置に2枚以上複数のパネルを割付ける場合に、このコーナー枚数処理機能を利用して手動で複数枚となるコーナーを指示します。

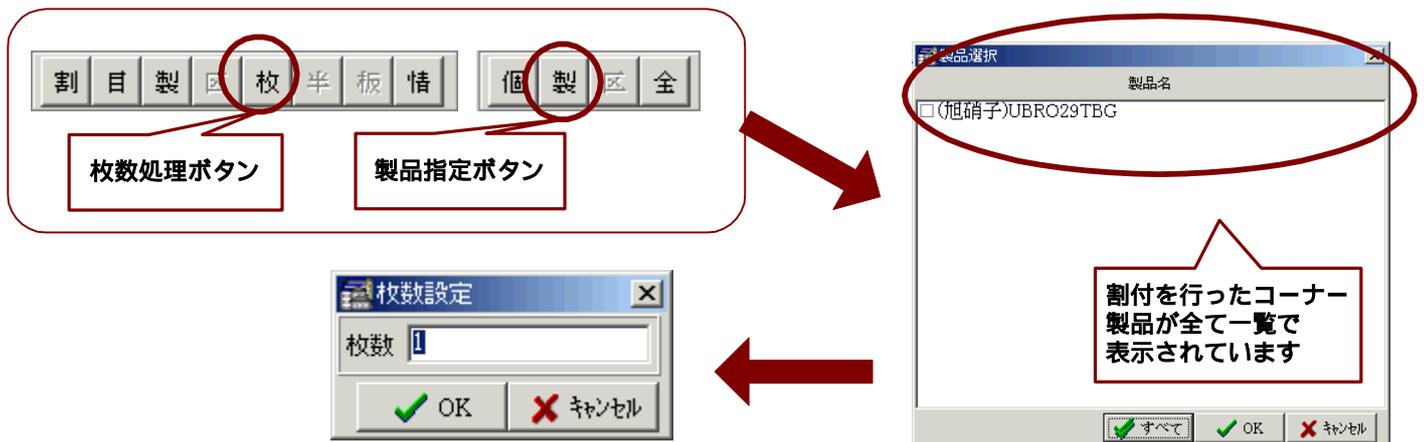
個別指定・・・コーナーの割付後に、個々のコーナー1枚ごとに枚数の変更を行うことができます。

1. 割付画面を表示して、[コーナー処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[枚数処理]ボタン、[個別指定]ボタンを選択（クリック）し、枚数変更を行うコーナーを指示（クリック）します。
3. 指示したコーナーの色が緑色に変わりますので、そこで右クリックを行います。
下記のような枚数設定画面が表示されます。変更後の枚数を入力し[OK]ボタンを選択します。



製品指定・・・コーナーの割付後に、製品ごとにコーナー枚数の変更を行うことができます。

1. 割付画面を表示して、[コーナー処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[枚数処理]ボタン、[製品指定]ボタンを選択（クリック）すると、下記のような画面が表示されます。ここには割付を行ったコーナー製品が全て一覧となって表示されます。
3. 変更を行う製品にチェックを入れ[OK]ボタンを選択すると、枚数設定画面が表示されます。
変更後の枚数を入力して[OK]ボタンを選択します。



全体指定・・・コーナーの割付後に、割付した全てのコーナー枚数を一括して変更することができます。

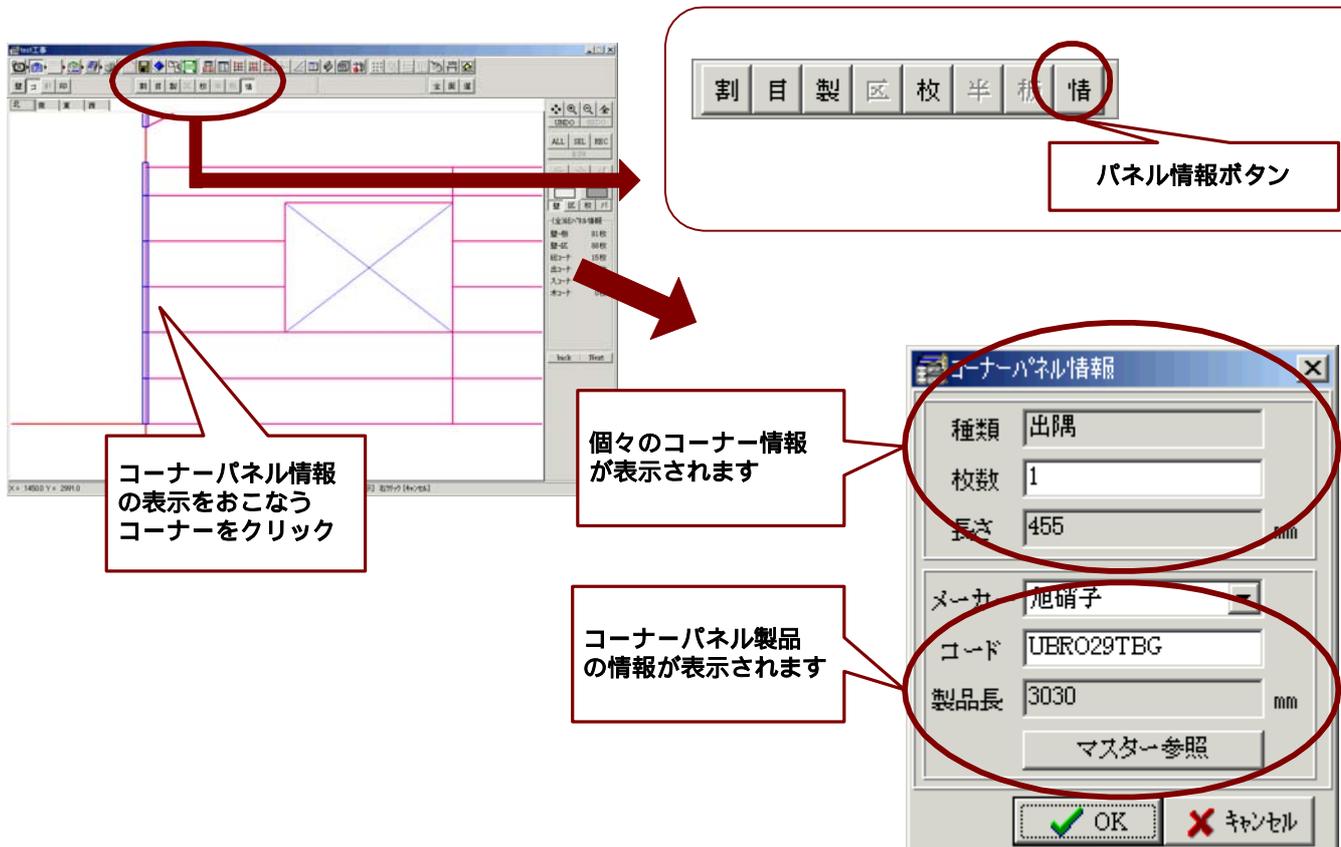
1. 割付画面を表示して、[コーナー処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[枚数処理]ボタン、[全体指定]ボタンを選択（クリック）すると、下記のような枚数設定画面が表示されます。変更後のパネル枚数を入力して[OK]ボタンを選択します。



4 コーナーパネル情報の表示

コーナー情報・・・割付けをした個々のコーナーの情報を表示して確認や修正を行うことができます。

1. 割付画面を表示して、[コーナー処理]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、[パネル情報]ボタンを選択（クリック）します。
3. パネル情報を表示したいコーナーを指示（クリック）します。
4. 指示したコーナーの色が緑色に変わり、同時に下記のようなコーナーパネル情報画面が表示されます。表示の上部は割付けられたコーナーパネル自身の情報、下部は割付けられたコーナーパネル製品の情報が表示されています。それぞれの項目について変更を行うことができます。

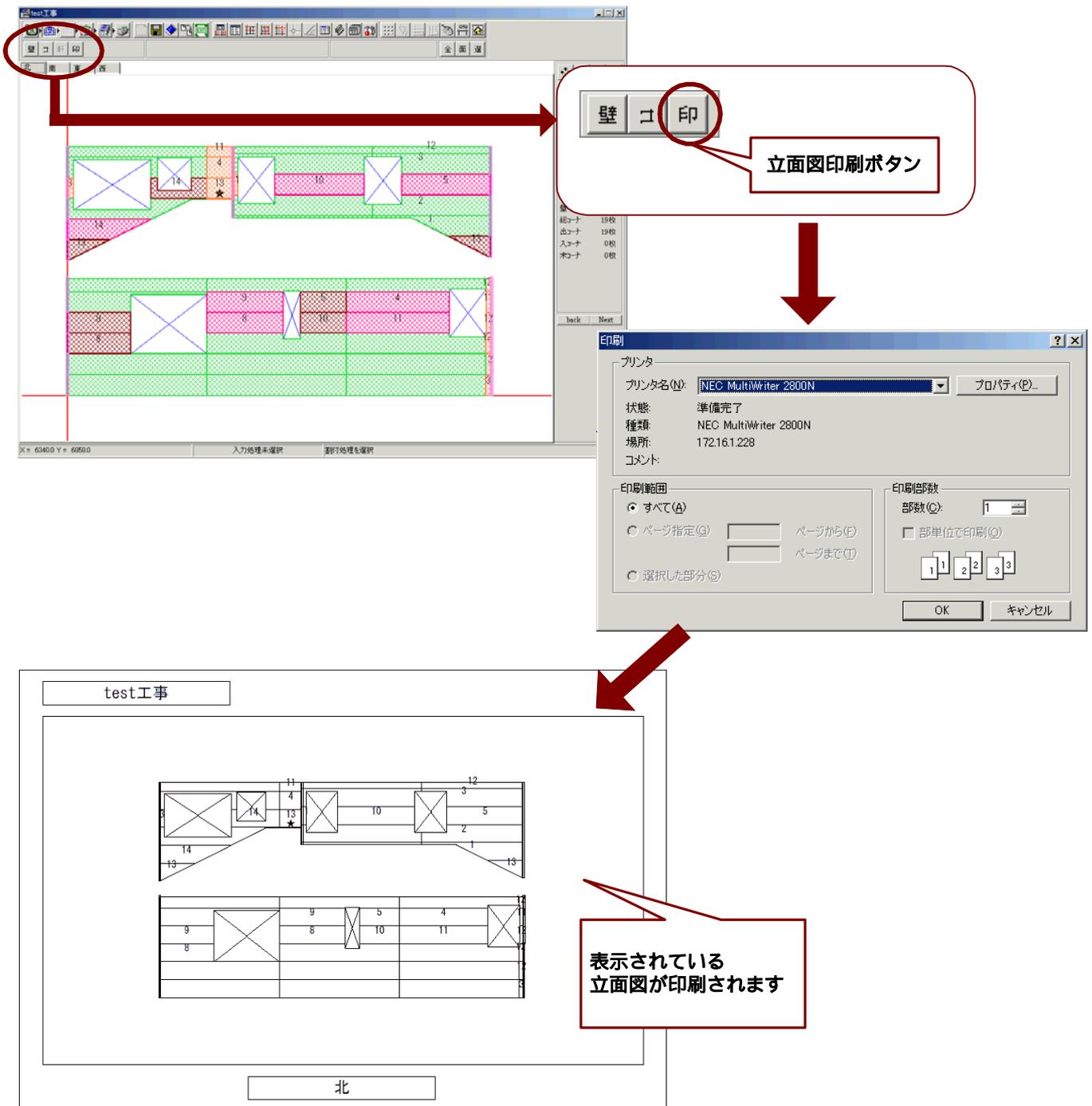


4-F 立面図の印刷

表示されている立面の割付図を印刷します。
割付画面以外、積算画面や印刷画面からでも立面図印刷を行うことができます。

1 立面図印刷処理

1. 割付画面を表示して、[立面図印刷]ボタンを選択（クリック）します。
2. 下記のような印刷画面が表示されます。印刷を行うプリンタの設定を行い[OK]ボタンを選択するとプリンタへの出力が行われます。



板取りと区分取り

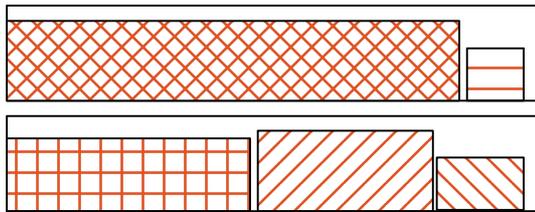
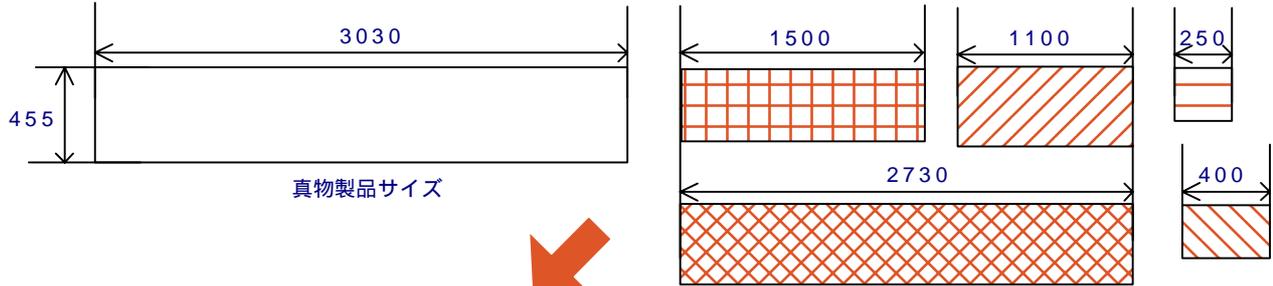
SDデザイナーでは、割付した部材の実数長さを、そのまま製品の定尺長さに当てはめて枚数換算を行うのではなく、取りまわしを考慮して本数（枚数）換算を行います。取り回しの考え方には、板取りと区分取りがあります。

板取り

パネル材の横方向（長手方向）を基準に取り直しをおこないます。

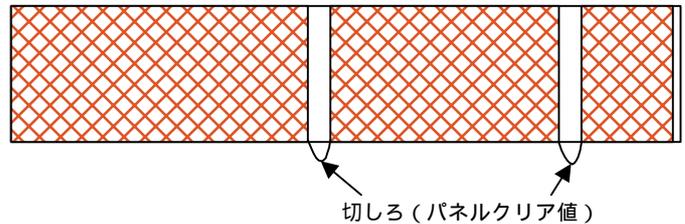
板取りの基本の考えかた

基本の考え方としては、出来る限り残パネルが少なく、カット数が少ないように板取りをおこないます。割付を行ったそれぞれのパネルの横方向の長さを、製品の長さ（横方向長さ）に当てはめます。



必要総数 2枚

割付長さ + パネル切しろ（パネルクリア値） + 割付長さ・・・
と順に当てはめます。

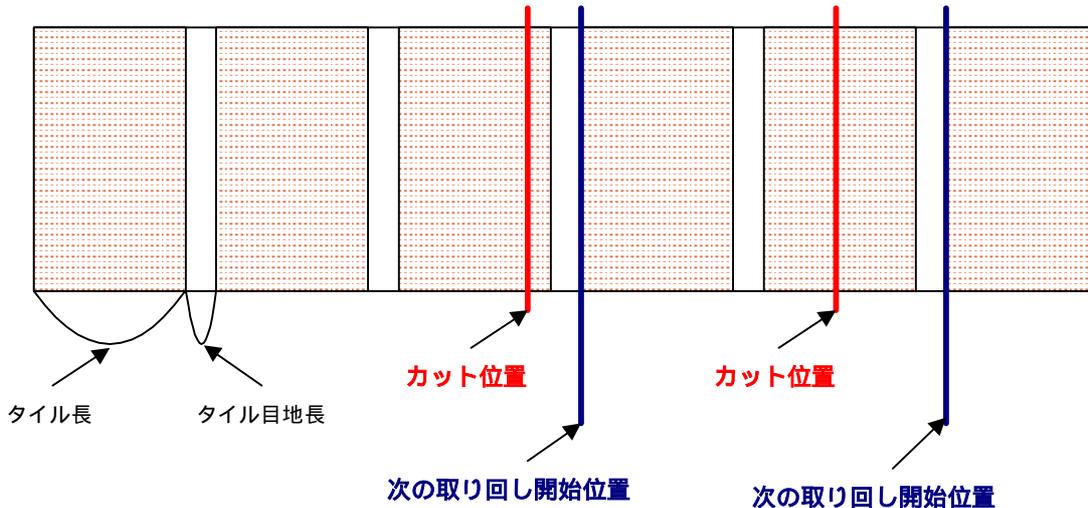


板取り設定の条件は環境設定をご参照ください
参照 【環境設定】 - 【立面板取り・枚数】

柄入りパネルの板取りの考えかた

柄入りのパネル製品の板取りの場合は、上記の考え方にプラスして柄の長さ（タイル長）と目地長さ（タイル目地長）を当てはめます。

パネルの取り直し開始位置が必ず柄の開始位置になるように計算して板の取り直しを行います。

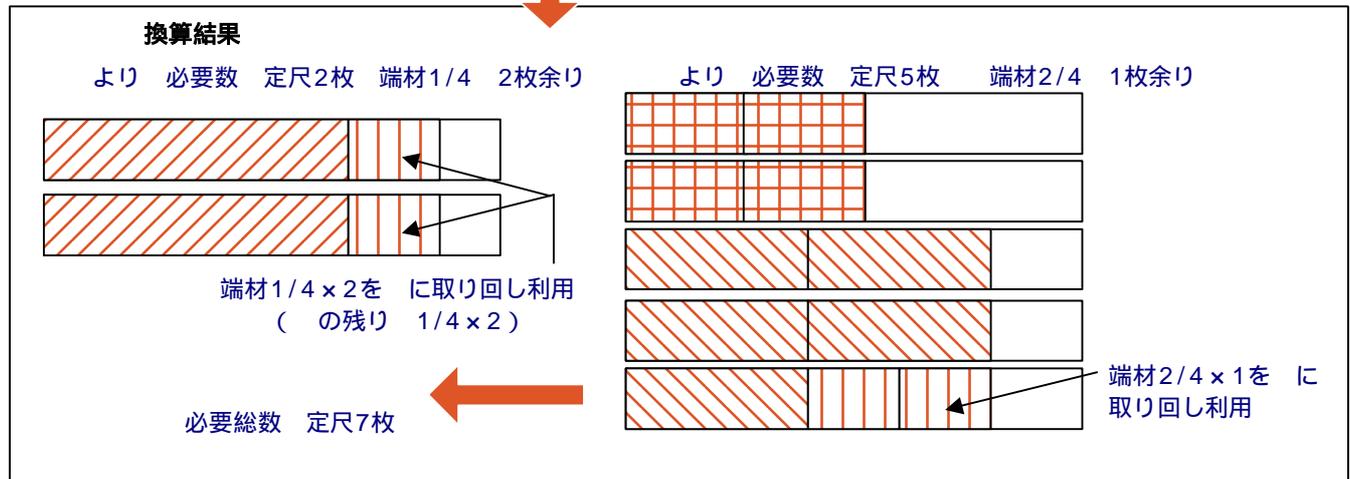
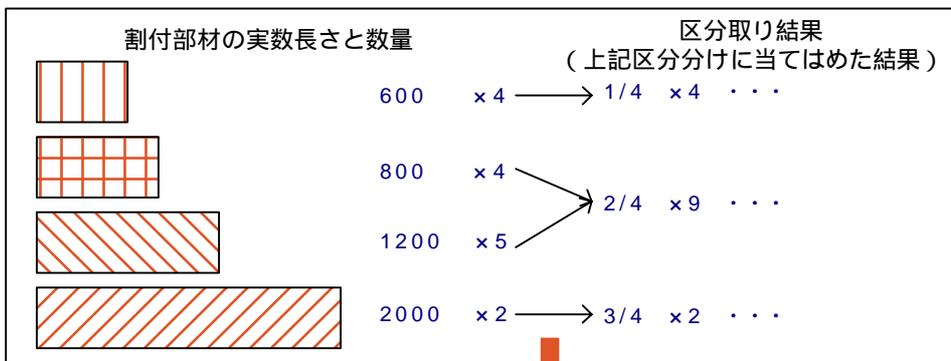
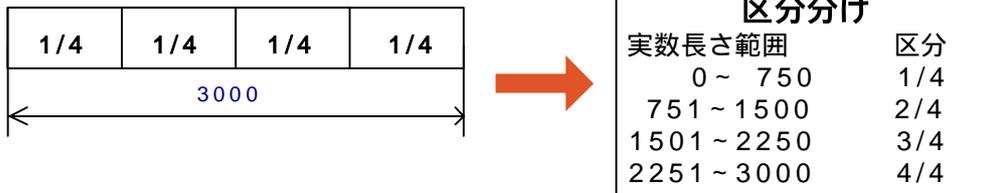


区分取り

実際の部材の取りまわしに応じて、割付部材の実数長さを区分分けし、製品の枚数を算出します。
 区分は1/3・1/4・全部(1/3と1/4をあわせた区分)の3つのパターンから選択できます。
 (区分の設定 【環境設定】 - 【立面板取り・枚数】)

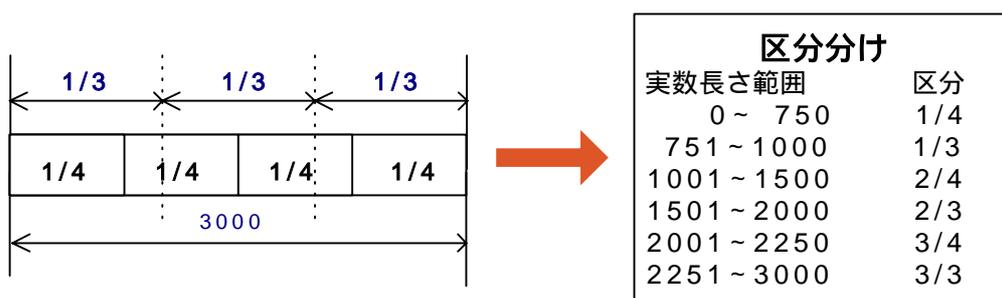
<区分設定が1/4の場合の算出方法>

区分設定が1/4・定尺長さが3000、割付部材の実数長さが下記の場合の
 必要製品数の求め方は次のような仕組みで考えられます。



<区分設定が全部(1/3 & 1/4)の場合の算出方法>

分割数が1/3と1/4、定尺長さが3000とします。この場合の区分分けは下記のように考えられます。



サマンサ

SD デザイナー

副資材入力

STEP 5

5-A 副資材入力画面

入力した壁面に副資材の入力を行います。

パネル材・コーナー材以外の部材を副資材と呼び、あらかじめ設定されている[固定部材]とマスターで設定を行う[設定部材]があります。

入力方法には、【全】処理（全ての立面を一括処理）・【面】処理（表示立面を処理）の自動拾いによる入力と手入力による個々の入力があります。まず【全】処理が【面】処理を行い、その後手入力による入力や修正を行います。

1 副資材入力画面

1. 立面入力画面のシステム入力手順ボタンの[副資材入力処理]ボタンをクリックします。
(メニューに戻っている場合は、SDデザイナー メインメニューから【副資材】ボタンをクリックします。)
2. 下記のような副資材入力画面が表示されます。



副資材入力処理機能ボタン
副資材入力処理画面で処理できる機能を示しています。
(固定部材処理・設定部材処理・副資材印刷)

入力処理の章で説明済みの各種アイコンと同じです

【全】・・・
全ての立面を一度に処理
【面】・・・
表示立面だけを処理

副資材入力処理機能ボタンに応じて目地・コーナーなどの設定方法のボタンが表示されます。

部材・コーキング情報
それぞれの副資材部材・コーキングの長さの情報が表示されています。

連続入力
副資材を手入力する際表示されます

表示エリア
(拡大・縮小可能です)

マウスイカーソルのある位置のXY座標を表示しています。

今選択している処理(コマンド)とその処理方法を表示しています

東西南北等作成した各立面が、タグに分かれて表示されます。

SHF住宅

固部印 目コ版開切 コ 選ラ12点コ 全面

西面 割付図 東面 割付図 南面 割付図 北面 割付図 南面ベランダ面

コーキング(設定1)情報	
水切	10.98m
幕板	2.08m
破風	0m
入隅	0m
軒天	0m
オーバ	0m
付柱	0m
見切縁	0m
中間水	0m
バルコ	0m

back Next

連続入力

X = 13345.0 Y = 8420.0

POINT

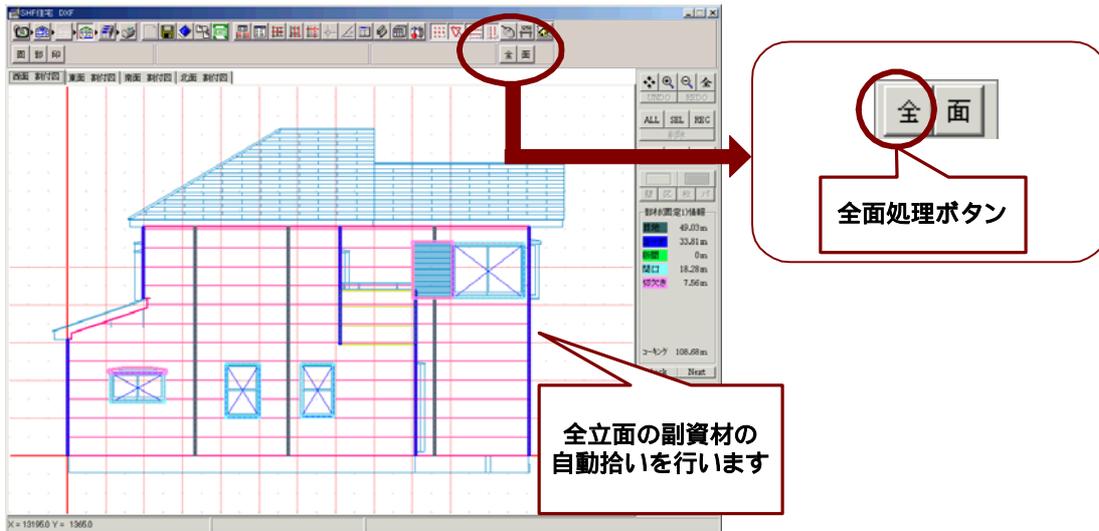
新規データや、立面のデータ・割付処理を変更した場合など
必ず【全】処理または【面】処理を行って下さい。

5-B 副資材の入力

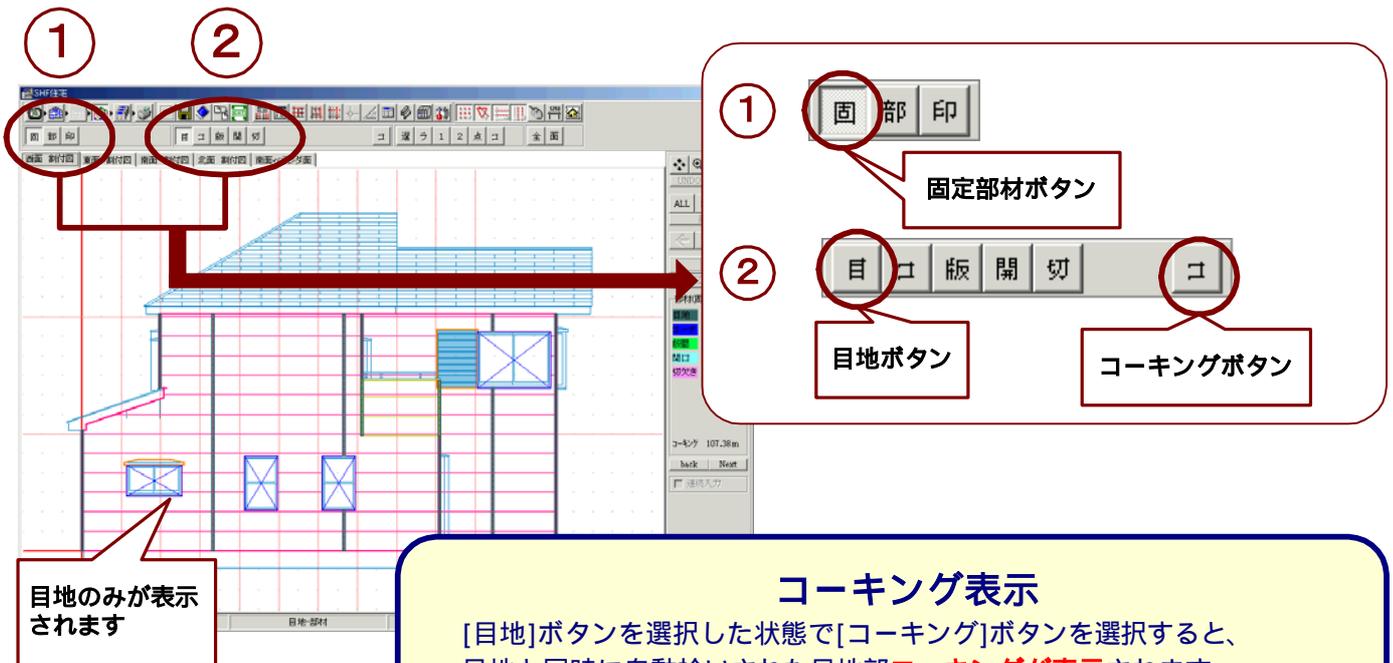
1 副資材の【全】処理

全ての立面の外壁に一括で副資材の入力を行います。
あらかじめマスターで自動拾い出しを行う副資材が設定されています。
(固定部材、設定部材どちらにも自動拾いの設定があります。)

1. 副資材入力画面を表示して、[全処理]ボタンを選択(クリック)します。
2. 全立面の自動拾い設定された副資材(固定部材&設定部材)を自動で拾います



3. 自動拾いの結果を部位ごとに表示することができます。
例えば、固定部材<目地>を表示する場合、[固定部材]ボタンを選択し[目地]ボタンを選択すると、自動拾いされた目地部のみが表示されます。



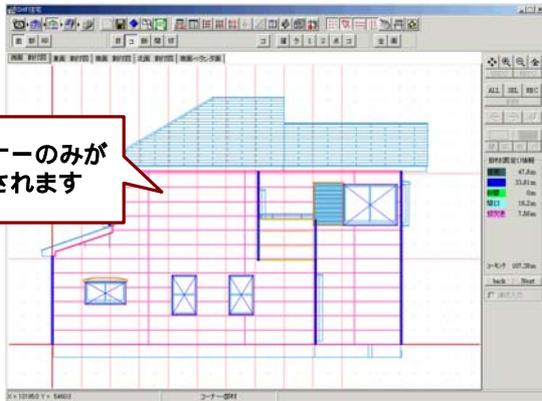
コーキング表示
[目地]ボタンを選択した状態で[コーキング]ボタンを選択すると、目地と同時に自動拾いされた目地部**コーキング**が表示されます。他の固定部材や設定部材のコーキングについても同様の操作で表示することが可能です。

コーナー表示

コーナーボタン



コーナーのみが表示されます

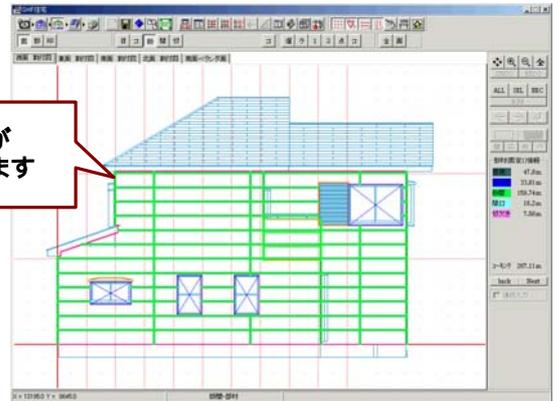


版間表示

版間ボタン



版間のみが表示されます

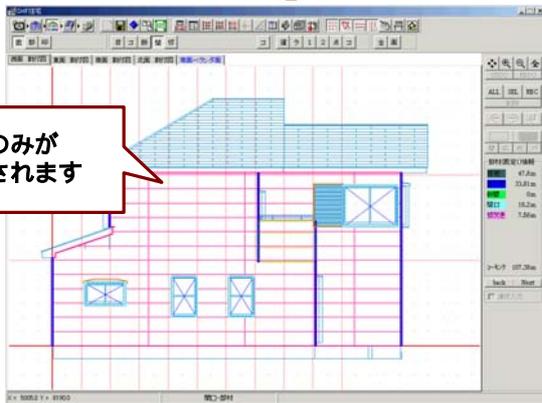


開口表示

開口ボタン



開口のみが表示されます

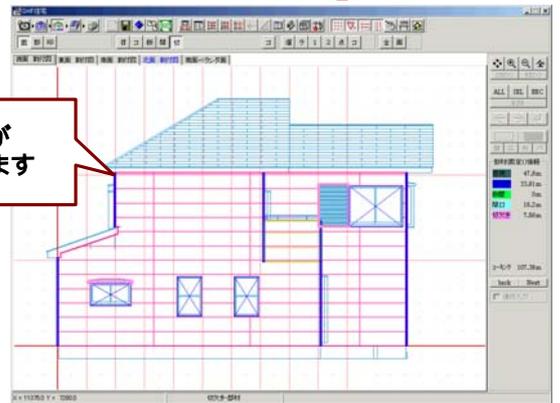


切欠表示

切欠ボタン



切欠のみが表示されます

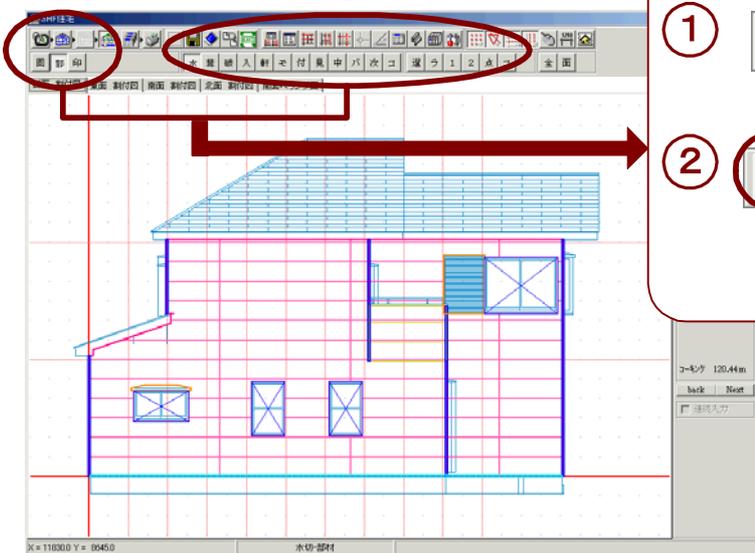


4. 設定部材の場合は、[設定部材]ボタンを選択し、設定部材のボタンを選択して表示します。

例えば、設定部材<水切>を表示する場合、[設定部材]ボタンを選択し[水切]ボタンを選択すると、自動拾いされた水切部のみが表示されます。

①

②



①



設定部材ボタン

②



水切ボタン

参照

【マスター設定】 - 【立面】 - 【部材名】
マスターで設定された部材名は、入力した名称の始めの1文字がボタン表示されています。

固定部材

自動で拾いを行う固定部材は、【マスター設定】 - 【副資材】 - 【固定部材】で設定を行うことができます。

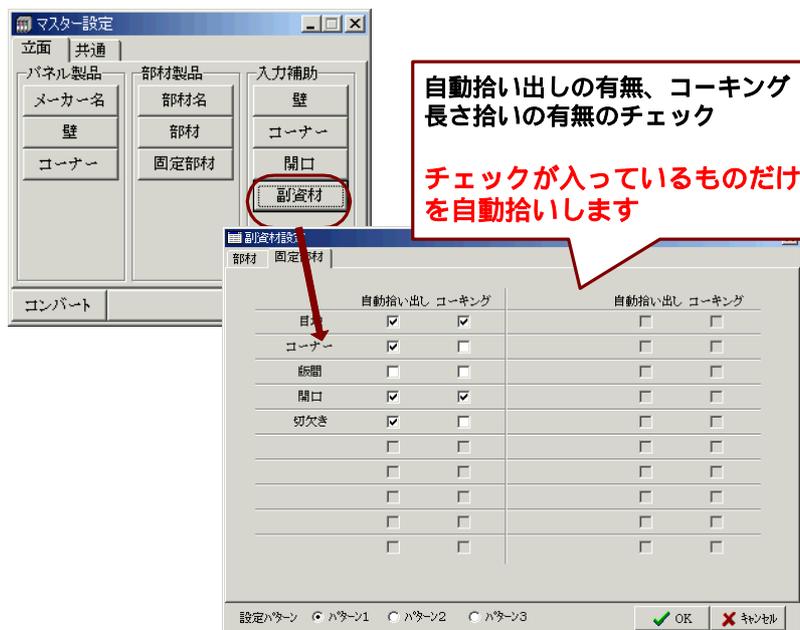
目地・・・割付られた壁パネルの短辺方向の目地の長さ・コーキングの長さを拾い出します。

コーナー・・・コーナーの長さ・コーキングの長さを拾い出します。

版間・・・壁パネル間の長さ・コーキングの長さを拾い出します。

開口・・・開口部周囲の長さ・コーキングの長さを拾い出します。

切欠・・・切欠部周囲の長さ・コーキングの長さを拾い出します。



< 副資材設定画面 >

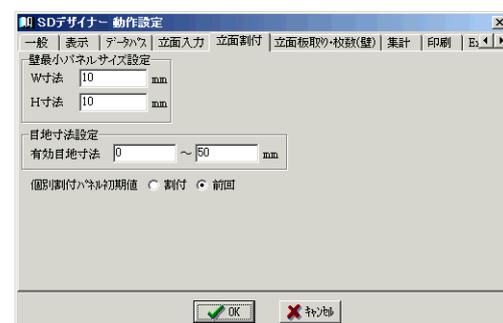
参照 【マスター設定】 - 【立面】 - 【副資材】

< 目地 >

< 目地 >として自動拾いを行うのは、有効目地寸法の範囲の目地だけです

参照 有効目地寸法

【環境設定】 - 【立面割付】 - 目地寸法設定



設定部材

設定部材はマスターで任意に登録することができます。

(参照 【マスター設定】 - 【部材製品】 - 【部材名】 最大20部材 登録可能)

登録した部材名称の1文字目が入力画面のボタンとして表示されます。

あらかじめマスターや入力時の壁情報で指示された < 同時取得部材 > の設定部材を、自動で拾い出します。



< 部材名設定画面 >

参照

【マスター設定】 - 【立面】 - 【部材名】



< 立面用部材画面 >

設定部材の製品マスター登録

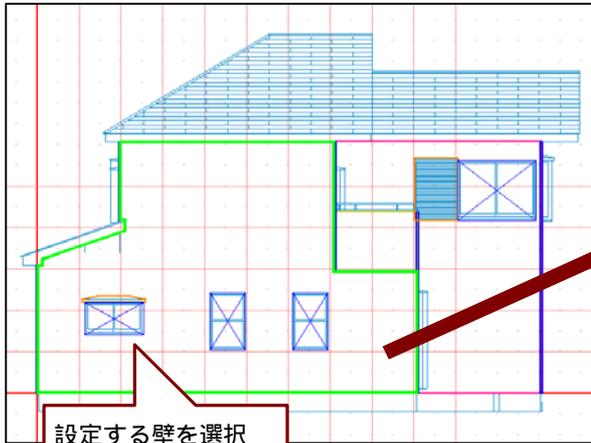
参照

【マスター設定】 - 【立面】 - 【部材】

同時取得部材の設定

自動で拾いを行う設定部材を同時取得部材として設定する方法は、次の2つの方法があります。
 立面入力時のそれぞれの壁情報に同時取得部材として取得本数を設定する。(参照 P3-20)
 壁用マスター設定時に同時取得部材として取得本数を設定する

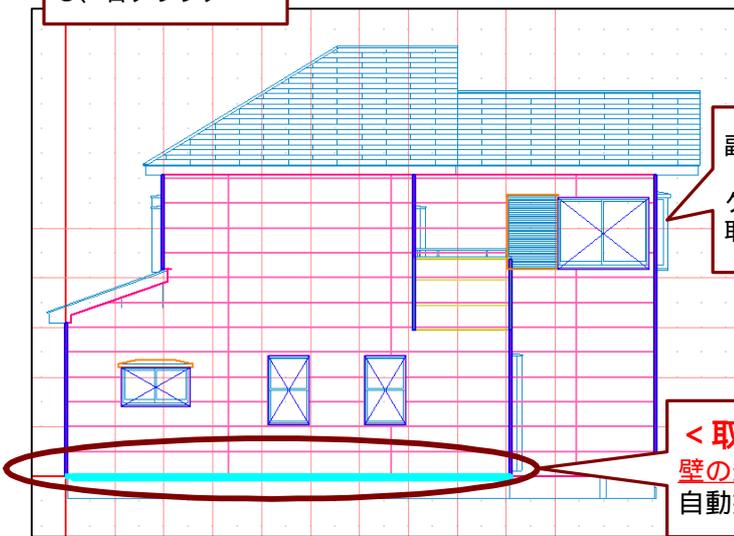
壁情報での設定



設定する壁を選択し、右クリック

壁情報		同時取得部材			
壁	壁種	上	下	左	右
	コーナ	0	0	0	0
	水切	0	1	0	0
	幕板	0	0	0	0
	破風	0	0	0	0
	入隅	0	0	0	0
	軒天	0	0	0	0
	オーバーハンダ	0	0	0	0
	付柱	0	0	0	0

表示した壁情報画面で同時取得部材の位置(上下左右)と配置本数を設定



副資材入力画面で、【全】(or【面】)ボタンをクリックすると設定した同時取得部材が自動拾いされます

<取付位置(上下左右)> 壁の最も外側の上下左右の位置に自動拾いを行います。

マスターでの設定

【マスター設定】 - 【入力補助】 - 各壁マスター に同時取得部材として取得本数を設定します。

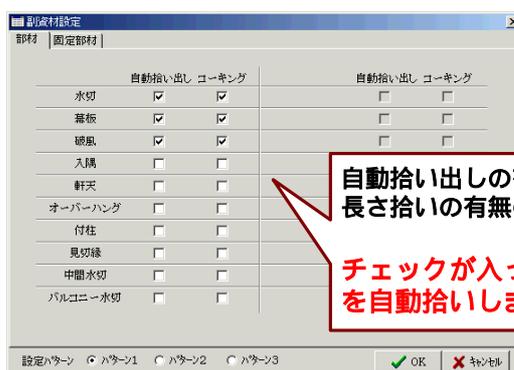
入力補助_壁用マスター		同時取得部材			
壁	壁種	上	下	左	右
	コーナ	0	0	0	0
	水切	0	1	0	0
	幕板	0	0	0	0
	破風	0	0	0	0
	入隅	0	0	0	0
	軒天	0	0	0	0
	オーバーハンダ	0	0	0	0
	付柱	0	0	0	0

表示した壁用マスター画面で同時取得部材の位置(上下左右)と配置本数を設定

POINT

壁情報・壁マスターどちらの設定の場合も、マスター設定の副資材設定において自動拾い設定にチェックが入ってない時は、副資材の自動拾いは行いません。
同時取得部材の設定をする場合、必ずマスターの自動拾い設定の確認をして下さい。

<副資材設定画面>
 (参照 【マスター設定】 - 【立面】 - 【入力補助】 - 【副資材】)

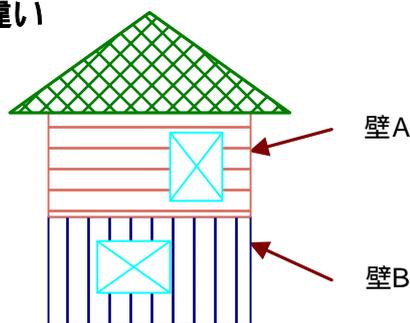


自動拾い出しの有無、コーキング長さ拾いの有無のチェック

チェックが入っているものだけを自動拾います

壁情報と壁マスターでの設定の違い

右記のような壁A・壁Bがともに同じ壁マスターで入力されている場合



壁Bに壁情報で土台水切として、壁下に同時取得部材<水切>を設定

マスター設定で、壁下に同時取得部材<水切>を設定

壁情報を設定した壁だけを自動拾います

マスター設定した壁として入力されている壁全てを自動拾います

壁Bの下部だけに自動拾いで水切を拾います

壁A・壁Bの両方の下部に自動拾いで水切を拾います

2 副資材の【面】処理

表示されている立面の外壁に副資材の入力を行います。
 【全】処理の場合と同様に、設定された副資材を自動で拾い出します。

1. 副資材入力画面を表示して、[面処理]ボタンを選択(クリック)します。
2. 表示立面の自動拾い設定された副資材(固定部材&設定部材)を自動で拾います



部材・コーキング情報

副資材の固定部材・設定部材それぞれの部材情報・コーキングの長さの情報が表示されています。

[Next]ボタンで次の表示面に移り、[Back]ボタンで元の表示面に戻ります。

表示立面ごとに示されています。(立面全体としての情報の表示はされていません。)

部材(固定1)情報	
目地	47.8m
コーナ	33.81m
版間	0m
開口	18.2m
切欠き	7.56m
コーキング 267.11m	
back	Next

<部材(固定1)情報>・・・マスター登録されている固定部材のうち拾い出されたそれぞれの部材長さ

- 目地・・・・・・・・表示立面の目地長さ(パネルの短辺方向の目地の長さ)合計
- コーナ・・・・・・・・表示立面のコーナ長さ合計
- 版間・・・・・・・・表示立面のパネル間長さ合計
- 開口・・・・・・・・表示立面の開口部周囲の長さ合計
- 切欠・・・・・・・・表示立面の切欠部周囲の長さ合計
- コーキング・・・・・表示立面の上記部材に設定されたコーキング長さ合計

部材(設定1)情報	
水切	10.92m
幕板	10.14m
破風	2.02m
入隅	0m
軒天	0m
オーバ	0m
付柱	0m
見切縁	0m
中間水	0m
バルコ	0m
back	Next

<部材(設定1)情報>・・・マスター登録されている設定部材のうち拾い出されたそれぞれの部材長さ

- 水切・・・・・・・・表示立面の水切長さ合計
- 幕板・・・・・・・・表示立面の幕板長さ合計
- 破風・・・・・・・・表示立面の破風長さ合計

設定部材は、マスターで自由に登録が可能です。(最大登録数20)
ここでは初期登録されているものの一部を示します。

コーキング(固定1)情報	
目地	47.8m
コーナ	33.81m
版間	159.74m
開口	18.2m
切欠き	7.56m
back	Next

<コーキング(固定1)情報>・・・マスター登録されている固定部材のうち拾い出されたそれぞれの部材のコーキング長さ

- 目地・・・・・・・・表示立面の目地コーキング長さ合計
- コーナ・・・・・・・・表示立面のコーナコーキング長さ合計
- 版間・・・・・・・・表示立面のパネル間コーキング長さ合計
- 開口・・・・・・・・表示立面の開口部周囲のコーキング長さ合計
- 切欠・・・・・・・・表示立面の切欠部周囲のコーキング長さ合計

コーキング(設定1)情報	
水切	10.98m
幕板	2.08m
破風	0m
入隅	0m
軒天	0m
オーバ	0m
付柱	0m
見切縁	0m
中間水	0m
バルコ	0m
back	Next

<コーキング(設定1)情報>・・・マスター登録されている設定部材のうち拾い出されたそれぞれの部材のコーキング長さ

- 水切・・・・・・・・表示立面の水切コーキング長さ合計
- 幕板・・・・・・・・表示立面の幕板コーキング長さ合計
- 破風・・・・・・・・表示立面の破風コーキング長さ合計

3 副資材の手動入力・修正（固定部材）

1. 基本的に固定部材は自動拾いで処理を行います。自動拾いで対応が出来ない場合などに手動で入力・修正を行います。副資材入力画面を表示して、[固定部材]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、手動入力する固定部材のボタンを選択（クリック）します。
ここでは、目地を例にとるので[目地]ボタンを選択（クリック）します。
3. 入力・修正の5つの方法の中から適した方法を選択して、固定部材<目地>の入力・修正を行います。
(目地以外の固定部材の入力・修正については、同様の方法の為説明は省略しています。)

① 固定部材ボタン

② 目地ボタン

注意！

副資材の手動入力・修正を行った後で、【全】ボタンや【面】ボタンを押して自動入力処理を行うと、手動入力したデータが削除されますのでご注意ください。

入力ボタン
修正ボタン

③

入力・修正ボタン

通

ラ

1

2

点

コ

ライン入力ボタン

1点入力ボタン

2点入力ボタン

点移動ボタン

コピーボタン

ライン入力・・・壁や開口などの辺（ライン）を指示すると、自動で長さを判断して目地の入力を行います。
ただし、辺（ライン）上に端点や交点がある場合は、そこまでの長さで止まって入力されます。

1点入力・・・基点となる1点を指示し、寸法と角度を入力して目地を入力します

2点入力・・・基点となる1点を端点とし、ラインの反対側端部の点との二つの点を指示し入力をおこないます。

点移動ボタン・・・目地（ライン）の端点を指示し、その点の移動先の位置を指示します

コピーボタン・・・コピー元の目地（ライン）を指示し、コピー先の位置を指示します。
(マウスでコピー先の位置を直接指示する方法と、コピーの角度やピッチを入力してコピー先を指示する方法があります)

1点入力

基点となる点（入力する目地部の端点）を指示（クリック）すると下記のような副資材入力画面が表示されます。基点座標・H寸法・角度などを入力して[OK]ボタンをクリックします。

設定された色で目地ラインが表示されます。（参照 【環境設定】-【表示】-表示色）

<線種>

直線と円弧の選択が可能です。円弧の場合、出幅の入力を行います。

<副資材・コーキング情報>

副資材、コーキングそれぞれの配置有無・枚数・コードの入力修正を行います。コード入力は、マスター参照の利用も可能です。

2点入力

入力するコーナー部の端点（始点）とその反対の端点（終点）を指示（クリック）します。（始点となる1点目を指示すると、終点を指示するまで青線で線を表示します。）

右記のような副資材入力画面が表示されます。

始点・終点座標などを確認・修正することが出来ます。

[OK]ボタンをクリックすると、設定された色で目地ラインが表示されます。

ライン入力

目地を入力したい壁や開口の辺（ライン）上の1点を指示（クリック）します。

壁や開口の情報から自動的に長さなどを判断して右上のような副資材入力画面が表示されます。

始点・終点座標などを確認・修正することが出来ます。

[OK]ボタンをクリックすると、設定された色で目地ラインが表示されます。

注意！ 辺（ライン）上に端点や交点がある場合、ライン入力ではそこまでの長さで止まって入力されます。ライン入力は、端点や交点がない辺（ライン）でご利用下さい。

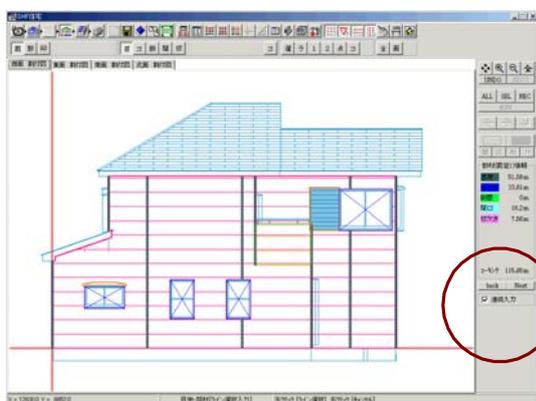
副資材の手入力は、立面入力画面のコーナーの入力・修正とほぼ同じ操作手順となっています。

（参照 P3-24 ~ P3-29）

連続入力の設定

副資材を手入力する際、連続入力の設定が表示されます。一度入力を行うと自動的に連続入力設定にチェックが入ります。まったく同じ部材を入力する場合は、そのまま連続で入力を行います。

異なった部材を入力する際は**必ず連続入力のチェックを外して**入力を行って下さい。



点移動

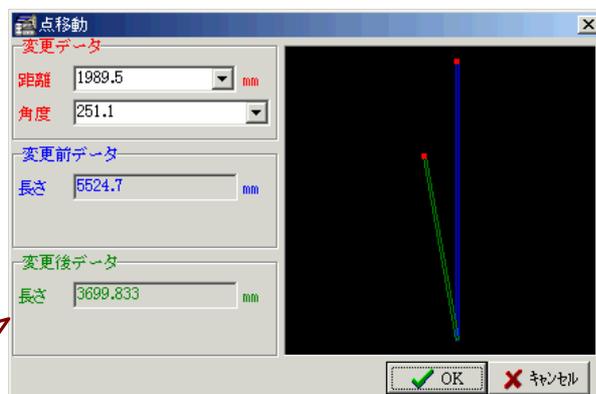
修正する目地ラインの端点を指示（クリック）し、その点の移動先の位置を指示します。

移動先の位置が指示されるまで青線が表示されます。

移動先の位置が指示されると点移動画面が表示されます。

ここで移動距離・角度を入力し直すことも可能です。

選択した点を含むコーナーが表示されます。青線がもとの線、緑線が点移動後の線です。

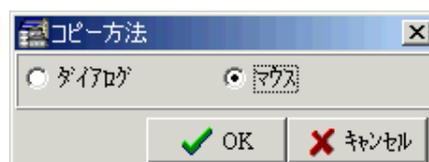


コピー

コピーする目地ライン左クリックで指示します。

右記のようなコピー方法画面が表示されますので、

コピーの方法を選択します。



<マウス>によるコピーを選択した場合、指示した目地ラインと同じ形状の青線が表示されます。

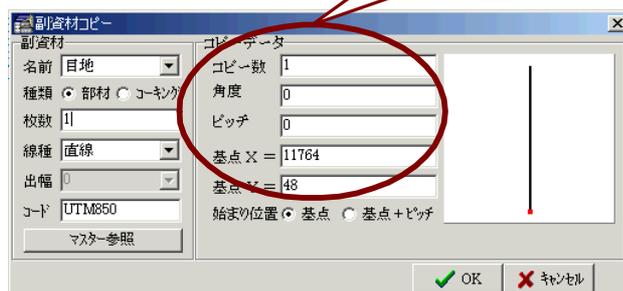
コピー先の位置を指示（クリック）すると副資材コピー画面が表示されます。コピー先の副資材情報の設定や複数コピーの設定などをこの画面で行うことができます。

<ダイアログ>によるコピーを選択した場合、上記の

副資材コピー画面が表示されます。

コピー数・角度・ピッチ・基点座標・始まり位置の設定をおこないます。

マウスで指示した点にそのままコピーする場合は、コピー数1、角度0、ピッチ0とします。



4 副資材の手動入力・修正（設定部材）

1. 副資材入力画面を表示して、[設定部材]ボタンを選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、手動入力する設定部材のボタンを選択（クリック）します。
ここでは、水切を例にとるので[水切]ボタンを選択（クリック）します。
3. 入力・修正の5つの方法の中から適した方法を選択して、設定部材<水切>の入力・修正を行います。
設定部材は、マスターで自由に登録が可能です。
（最大登録数20 参照【マスター設定】-【立面】-【部材名】）
（ここでは初期登録されているものの一つの<水切>を取り上げています。設定部材の入力・修正は、固定部材の手入力と同様の為説明は省略しています。）

注意！
副資材の手動入力・修正を行った後で、【全】ボタンや【面】ボタンを押して自動入力処理を行うと、手動入力したデータが削除されますのでご注意ください。

入力ボタン 修正ボタン

③ 入力・修正ボタン

- ライン入力・・・壁や開口などの辺（ライン）を指示すると、自動で長さを判断して入力を行います。
ただし、辺（ライン）上に端点や交点がある場合は、そこまでの長さで止まって入力されます。
- 1点入力・・・基点となる1点を指示し、寸法と角度を指示して入力を行います。
- 2点入力・・・基点となる1点を端点とし、ラインの反対側端部の点との二つの点を指示し入力を行います。
- 点移動ボタン・・・ラインの端点を指示し、その点の移動先の位置を指示します
- コピーボタン・・・コピー元のラインを指示し、コピー先の位置を指示します。
（マウスでコピー先の位置を直接指示する方法と、コピーの角度やピッチを入力してコピー先を指示する方法があります）
- 連続入力の設定についても固定部材の場合と同様です

5

コーキングの手動入力

自動拾いで副資材と一緒にコーキングを拾う以外に手入力で部材別にコーキングを入力することができます。コーキングのみを手入力する方法と副資材と一緒にコーキングを入力する方法があります。

コーキングのみを手入力する

1. 副資材入力画面を表示して、[固定部材]ボタン（または[設定部材]ボタン）を選択（クリック）します。
2. 表示されたボタンから、コーキングを入力する副資材の部材ボタンを選択（クリック）します。
ここでは、目地のコーキングを例にとるので[目地]ボタンを選択（クリック）します。
3. [コーキング]ボタンも一緒に選択し、前述のように適した方法を選択して<目地>の入力を行います。
4. 下記のような副資材入力画面が表示されます。

このとき <副資材・コーキング情報>は、「**コーキング配置する**」「**副資材配置しない**」になっています。始点・終点座標を確認し[OK]ボタンをクリックすると、目地ラインが表示されます。ラインは表示されていますが目地は「副資材配置しない」設定の為その長さの拾いは行われていません。

1 固定部材ボタン

2 目地ボタン コーキングボタン

3 ライン入力ボタン 1点入力ボタン 2点入力ボタン

部材・コーキング情報
コーキングのみ長さが拾われ表示されています。

部材(固定1)情報		コーキング(固定1)情報	
目地	0m	目地	2.53m
コーナ	0m	コーナ	0m
版間	0m	版間	0m
開口	0m	開口	0m
切欠き	0m	切欠き	0m

コーキング 2.53m

<副資材・コーキング情報>
コーキング・・・配置する
副資材・・・配置しない

マスター参照によるコード入力が可能です

始点座標 X = 9415.5 Y = -29
終点座標 X = 9415.5 Y = 2502.5
線種 直線
出幅 000
副資材 コーキング
配置する
枚数 1
コード ****
マスター参照

OK キャンセル

副資材とコーキングを同時に手入力する

1. 副資材入力画面を表示して、[固定部材]ボタン（または[設定部材]ボタン）を選択（クリック）します。
2. コーキングを入力する副資材の部材ボタンと[コーキング]ボタンを一緒に選択し、副資材の部材の入力を行います。
3. 下記のような副資材入力画面が表示されます。

このとき <副資材・コーキング情報>を、「**コーキング配置する**」「**副資材配置する**」に変更します。

[OK]ボタンをクリックすると、副資材のラインが表示されます。

副資材・コーキングともに長さの拾いが行われます。



<副資材・コーキング情報>
コーキング・・・配置する
副資材・・・配置する

部材・コーキング情報

部材・コーキング両方の長さが拾われ表示されています。

部材(固定1)情報		コーキング(固定1)情報	
目地	2.53m	目地	2.53m
コーナ	0m	コーナ	0m
板間	0m	板間	0m
開口	0m	開口	0m
切欠き	0m	切欠き	0m
コーキング 2.53m			

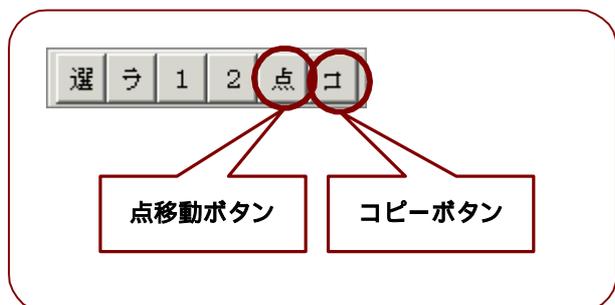
6 コーキングの手動修正

入力されたコーキングの長さ変更などの修正やコピーを行うことができます。

操作方法は副資材の修正と同様です。

入力の場合と異なり**修正やコピーの場合は、副資材と一緒に処理は出来ません。**

副資材・コーキングそれぞれ個々に修正・コピーを行って下さい。

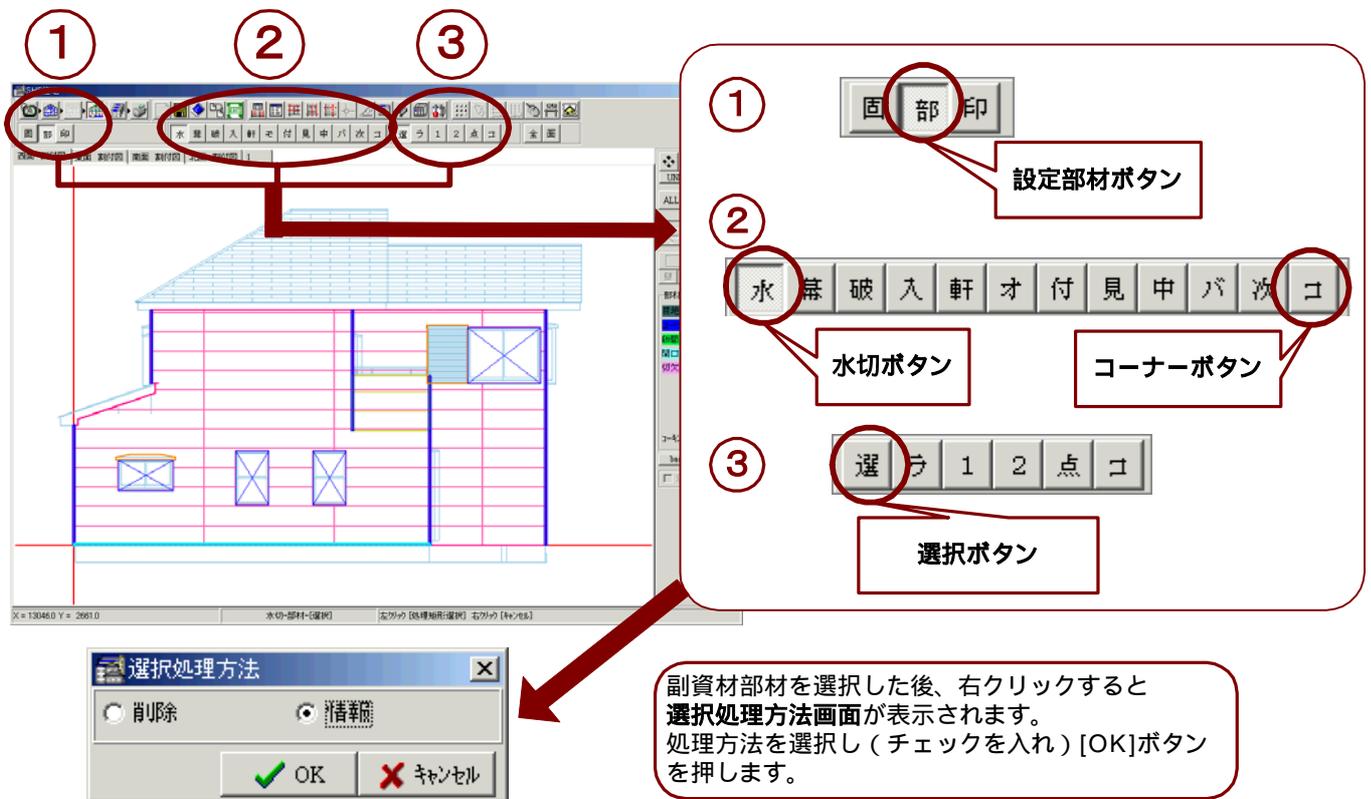


5-C 副資材のその他機能

ボタン表示のない副資材の修正機能 [削除]・[情報の確認変更] について

1 副資材のその他の機能（固定部材・設定部材共通）

1. 入力した副資材に修正を加える場合に使用します。
2. [固定部材]ボタン（または[設定部材]ボタン）を選択（クリック）し、修正を行う副資材を選びます。コーキングの修正を行う場合は、副資材のボタンに加えて[コーキング]ボタンをクリックします。
3. [選択]ボタンをクリックします。
4. 修正作業をおこなう副資材を選択（クリック）し、その後**右クリック**をおこないます。下記のような**選択処理方法画面**が表示されます。必要な機能の箇所をクリックして[OK]ボタンをおします。



削除

選択した副資材を削除します。

情報

右記のような副資材情報画面が表示されます。
他部材への変更や種類（部材orコーキング）・拾い出し枚数
線種の設定を行うことができます。
また、副資材製品コードの設定を変更することも可能です。
（マスター参照によるコード入力が可能です）

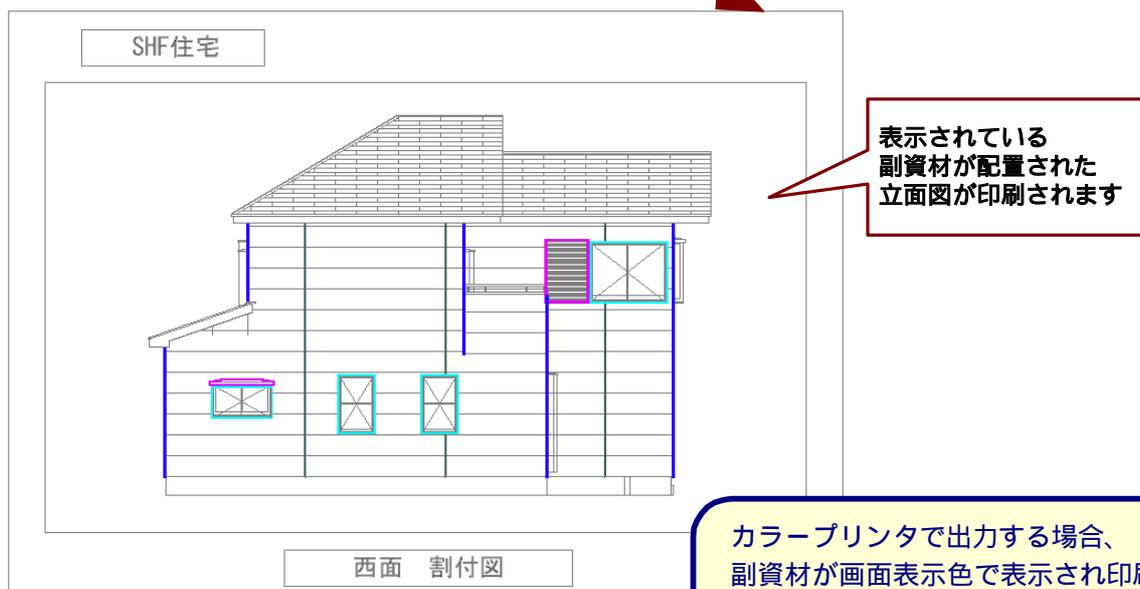
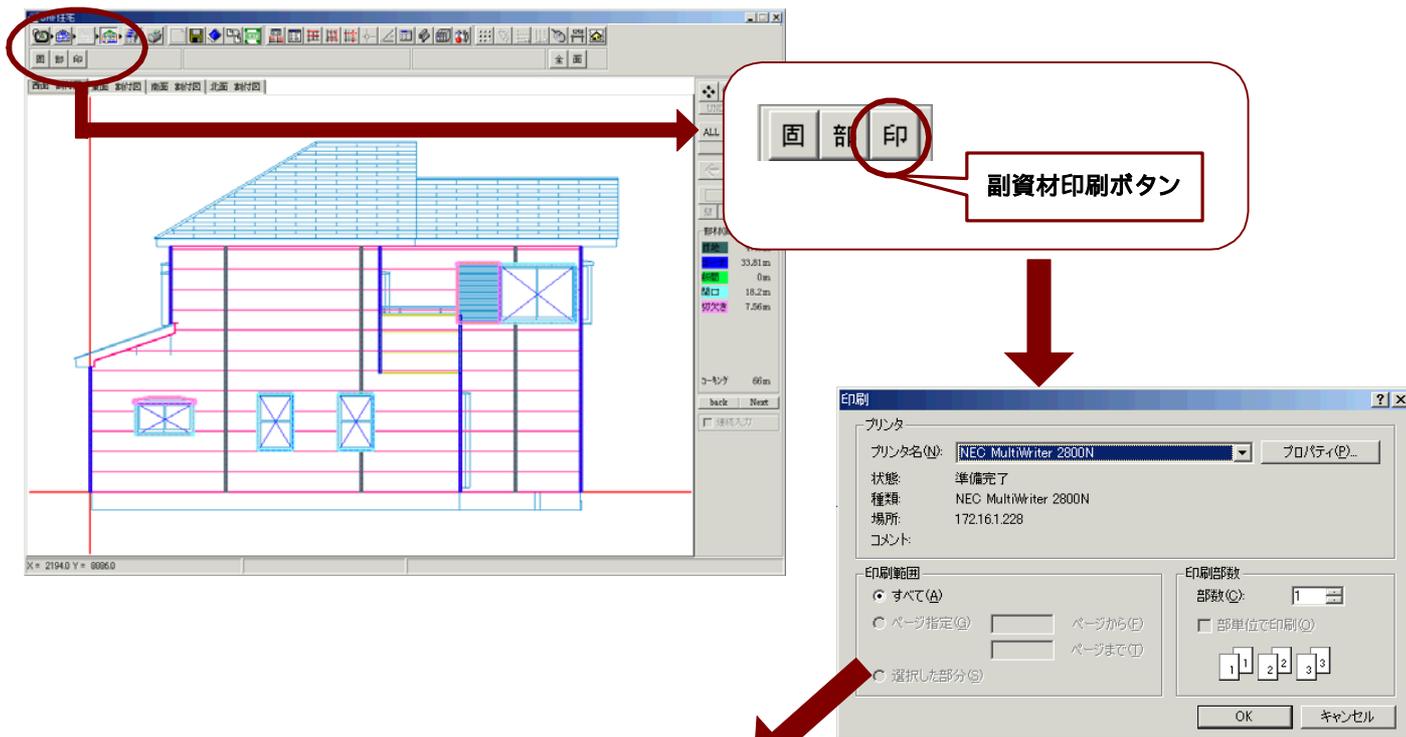


5-D 副資材印刷

表示されている立面の副資材を印刷します。

1 副資材印刷

1. 副資材画面を表示して、[副資材印刷]ボタンを選択(クリック)します。
2. 下記のような印刷画面が表示されます。印刷を行うプリンタの設定を行い[OK]ボタンを選択するとプリンタへの出力が行われます。



カラープリンタで出力する場合、副資材が画面表示色で表示され印刷されます。
注意！
印刷設定の印刷色をカラーに設定してください
(参照 【環境設定】 - 【印刷】 - 【作図用紙設定】印刷色)

サマンサ

SD デザイナー

集計

STEP 6

6-A 集計画面機能詳細

立面入力・割付・副資材入力を行ってきた建物の各部位の集計を行います。

1 集計処理画面

1. 立面入力画面のシステム入力手順ボタンの[集計処理]ボタンをクリックします。
(メニューに戻っている場合は、SDデザイナー メインメニューから【集計】ボタンをクリックします。)
2. 下記のような集計処理画面が表示されます。

集計データ印刷ボタン

入力処理の章で説明済みの各種アイコンと同じです

表示切替ボタン
総合・副資材・コーキング・パネル
それぞれのデータの切替ボタン

【全】・・・
全立面の集計処理
【面】・・・
表示立面の集計処理

東西南北等作成した各立面が、タグに分かれて表示されます。各立面の合計を表示するタグが追加されます

	名称	単位	実数	増減率	増減量	合計
総数	面積(数有り)	m ²	52.29	0	0	52.29
総数		m	16.9	0	0	16.9
総数		m	16.9	0	0	16.9
総数		m	0	0	0	0
総数		m	0	0	0	0
総数		m ²	52.3	0	0	52.3
総数	[長さ]	m	17.06	0	0	17.06
総数		m	17.06	0	0	17.06
総数	出隅パネル[長さ]	m	0	0	0	0
総数	木口パネル[長さ]	m	0	0	0	0
総数	壁パネル枚数[振取り]	枚	56	0	0	56
総数	壁パネル枚数[区分]	枚	49	0	0	49
総数	コーナーパネル[枚数]	枚	40	0	0	40
総数	出隅パネル[枚数]	枚	40	0	0	40
総数	入隅パネル[枚数]	枚	0	0	0	0
総数	木口パネル[枚数]	枚	0	0	0	0
総数	コーキング	m	66.01	0	0	66.01
総数	開口面積	m ²	5.12	0	0	5.12
総数	防水テープ	m	0	0	0	0
総数	壁面積(庇無し)	m ²	58.84	0	0	58.84
総数	開口周長(全)	m	18.2	0	0	18.2
総数	開口周長(上)	m	4.53	0	0	4.53
総数	開口周長(下)	m	4.53	0	0	4.53
総数	開口周長(左)	m	4.57	0	0	4.57
総数	開口周長(右)	m	4.57	0	0	4.57

集計値表示エリア
一度も集計をしてない場合は白紙の状態が表示されます。

POINT

集計画面を開いた時点では、以前の集計結果を表示しています。

(新規データで未集計の場合は白紙で表示されます。)

立面のデータ・割付・副資材など入力データの変更有る場合は、

必ず 再集計を行って下さい。

1 集計処理

1. 集計処理画面を表示します。
2. すべてのタグ（各立面と立面合計）を集計する場合は、[全面処理]ボタンを選択（クリック）します。
それぞれのタグすべてに自動で集計処理が行われ結果が表示されます。
（集計結果値は <実数> 欄に表示されます。）
3. 各表示立面ごとに集計する場合は、タグを変更してそれぞれの立面ごとに[面処理]ボタンを選択（クリック）します。表示している立面のみで自動で集計処理が行われ結果が表示されます。

名称
集計項目の名称

実数
集計結果の数値

増減量
集計結果に対する増減値(手入力)

増減率
集計結果に対する増減の割合(手入力 単位%)

単位
集計項目の単位

合計
実数に増減率・増減量を加えた結果値(自動計算)

	名称	単位	実数	増減率	増減量	合計
総数	壁面種(既有り)	m ²	52.29	0	0	52.29
総数	コーナーm数	m	16.9	0	0	16.9
総数	出隅コーナーm数	m	16.9	0	0	16.9
総数	入隅コーナーm数	m	0	0	0	0
総数	木口コーナーm数	m	0	0	0	0
総数	壁パネル面積	m ²	52.3	0	0	52.3
総数	コーナーパネル[長さ]	m	17.06	0	0	17.06
総数	出隅パネル[長さ]	m	17.06	0	0	17.06
総数	入隅パネル[長さ]	m	0	0	0	0
総数	木口パネル[長さ]	m	0	0	0	0
総数	壁パネル枚数[板取り]	枚	56	0	0	56
総数	壁パネル枚数[区分]	枚	49	0	0	49
総数	コーナーパネル[枚数]	枚	40	0	0	40
総数	出隅パネル[枚数]	枚	40	0	0	40
総数	入隅パネル[枚数]	枚	0	0	0	0
総数	木口パネル[枚数]	枚	0	0	0	0
総数	コーキング	m	66.01	0	0	66.01
総数	開口面積	m ²	5.12	0	0	5.12
総数	防水テープ	m	0	0	0	0
総数	壁面種(既無し)	m ²	58.84	0	0	58.84
総数	開口周長(全)	m	18.2	0	0	18.2
総数	開口周長(上)	m	4.53	0	0	4.53
総数	開口周長(下)	m	4.53	0	0	4.53
総数	開口周長(左)	m	4.57	0	0	4.57
総数	開口周長(右)	m	4.57	0	0	4.57

全面処理ボタン **面処理ボタン**

増減率と増減量は連動
一方を入力すると他方は自動計算されます

4. 各立面の集計結果、立面合計の集計結果を確認します。
集計結果値の<実数>に対して、増減率・増減量を加える場合は、入力したい増減率・増減量の欄をクリックして直接数値を入力します。
入力した数値が確定した時点で、自動的に合計欄の数値が計算されます。
（増減率と増減量は連動しており、一方を入力すると他方も自動的に値が表示されます。）

トータル値など自動計算して集計値を表示している欄の増減率・増減量の入力はありません。
マウスでクリックして値の数値が青変する箇所の増減率増減量のみ入力・変更が可能です。

2 表示切替による集計確認

- 集計処理結果詳細をそれぞれの部材ごとに表示し、確認・増減率（増減量）入力を行うことができます。
表示分類は、総合データ 副資材データ コーキングデータ パネルデータ に分かれています。
（初期値として 総合データを表示しています。）
- 集計処理を行い、表示したい表示分類のボタンを選択（クリック）します。
それぞれの分類での画面表示は下記のようになります。

総合データ 表示



壁・コーナー・開口・コーキングなどについての面積・長さ・枚数の集計値が表示されます

名称	単位	実数	増減率	増減量	合計
結数	結床積(床有り)	m ²	52.29	0	52.29
結数	コーナー-m数	m	16.9	0	16.9
結数	開口コーナー-m数	m	16.9	0	16.9
結数	入隅コーナー-m数	m	0	0	0
結数	木口コーナー-m数	m	0	0	0
結数	壁パネル面積	m ²	52.3	0	52.3
結数	コーナーパネル(長さ)	m	17.06	0	17.06
結数	出隅パネル(長さ)	m	17.06	0	17.06
結数	入隅パネル(長さ)	m	0	0	0
結数	木口パネル(長さ)	m	0	0	0
結数	壁パネル枚数(板有り)	枚	56	0	56
結数	壁パネル枚数(部分)	枚	49	0	49
結数	コーナーパネル(枚数)	枚	40	0	40
結数	出隅パネル(枚数)	枚	40	0	40
結数	入隅パネル(枚数)	枚	0	0	0
結数	木口パネル(枚数)	枚	0	0	0
結数	コーキング	m	66.01	0	66.01
結数	開口面積	m ²	5.12	0	5.12
結数	防雨テープ	m	0	0	0
結数	遮断積(遮断無し)	m ²	58.84	0	58.84
結数	開口間長(全)	m	18.2	0	18.2
結数	開口間長(左)	m	4.57	0	4.57
結数	開口間長(右)	m	4.57	0	4.57
結数	開口間長(全)	m	4.57	0	4.57
結数	開口間長(右)	m	4.57	0	4.57

増減率・増減値を入力することができます

副資材データ 表示



副資材の部材ごとの長さの集計値が表示されます

名称	単位	実数	増減率	増減量	合計
副資材	首地口-枠	m	47.8	0	47.8
副資材	首地口(TT4850)	m	47.8	0	47.8
副資材	コーナー-枠	m	33.81	0	33.81
副資材	開口-枠	m	18.21	0	18.21
副資材	切欠き-枠	m	7.58	0	7.58

増減率・増減値を入力することができます

コーキングデータ 表示



部位ごとのコーキングの長さの集計値が表示されます

名称	単位	実数	増減率	増減量	合計
コーキング	コーキング(VSL3000E)	m	18.21	0	18.21
コーキング	コーキング(Daibond)	m	47.8	0	47.8
コーキング	首地口-枠	m	47.8	0	47.8
コーキング	首地口(枠)	m	47.8	0	47.8
コーキング	開口-枠	m	18.21	0	18.21
コーキング	開口(VSL3000E)	m	18.21	0	18.21

増減率・増減値を入力することができます

パネルデータ 表示



割付けられたパネル製品・コーナー製品ごとの数量・長さの集計値が表示されます

名称	単位	実数	増減率	増減量	合計
壁パネル(面積)	パネル番号JC35VAG3030	m ²	52.3	0	52.3
壁パネル(板有り)	パネル番号JC35VAG3030	枚	56	0	56
壁パネル(部分枚数)	パネル番号JC35VAG3030	枚	49	0	49
出隅パネル(長さ)	パネル番号JC0208VAG	m	17.06	0	17.06
入隅パネル(枚数)	パネル番号JC0208VAG	枚	40	0	40

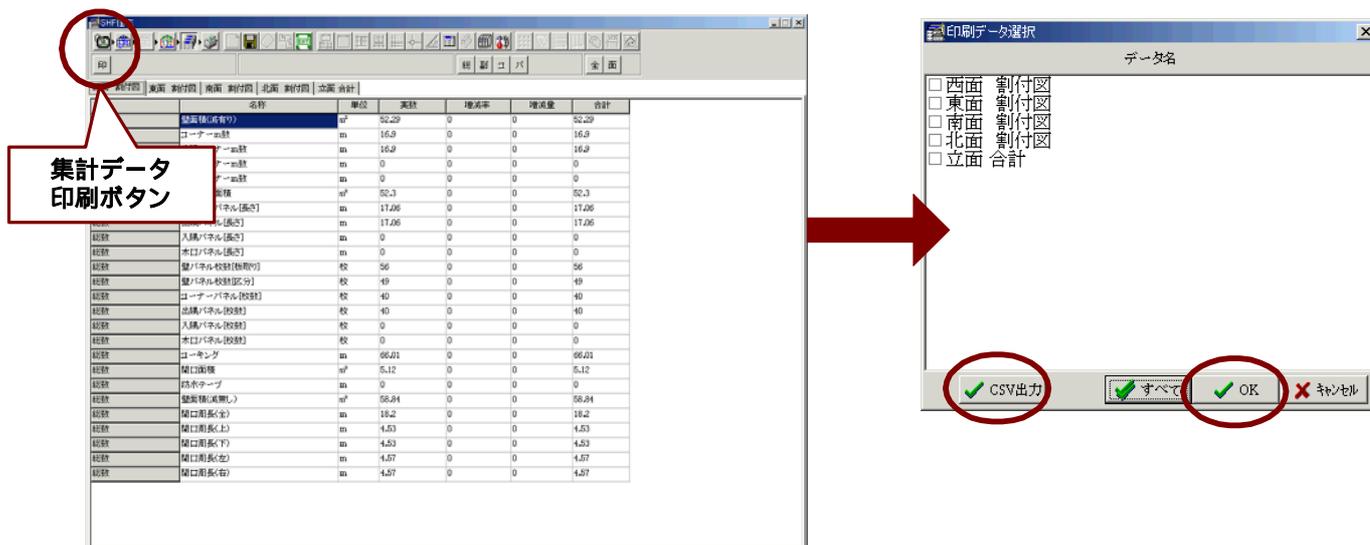
増減率・増減値を入力することができます

注意！

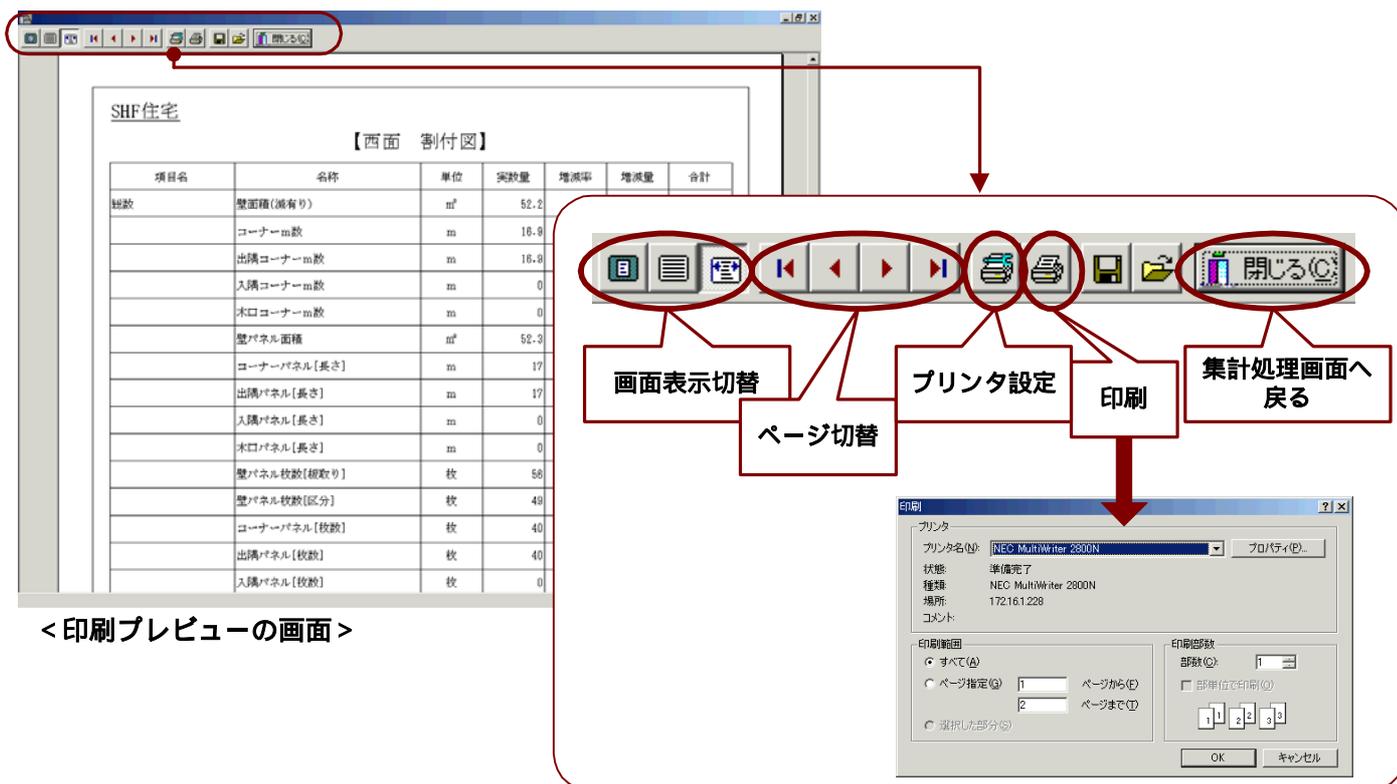
増減率・増減値を入力した後で、【全】ボタンや【面】ボタンを押して再集計した場合は、**入力した増減率・増減値は削除され、集計結果が元の状態に戻ります**のご注意ください。

1 集計画面の印刷

- 集計処理した結果を印刷することができます。
直接用紙へ印刷する方法と、CSVファイルへのデータ出力の2種類の出力が可能です。
- 集計処理画面を表示して、[集計データ印刷]ボタンを選択(クリック)します。
- 下記のような印刷データ選択画面が表示されます。直接印刷をする場合は、集計データを印刷する立面を選択し(チェックをつけ)[OK]ボタンを選択します。
印刷プレビューの画面が表示されます。画面での出力内容確認・プリンタ設定を行い集計データを印刷します。
- CSVファイルへのデータ出力をする場合は、集計データを出力する立面を選択し[CSV出力]ボタンを選択します。
データ出力の確認メッセージが表示され、データフォルダ内にCSVファイルが出力されます

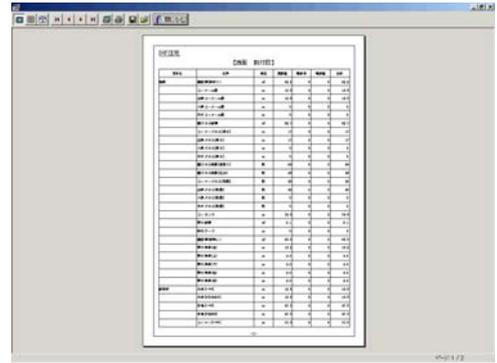


直接出力する場合

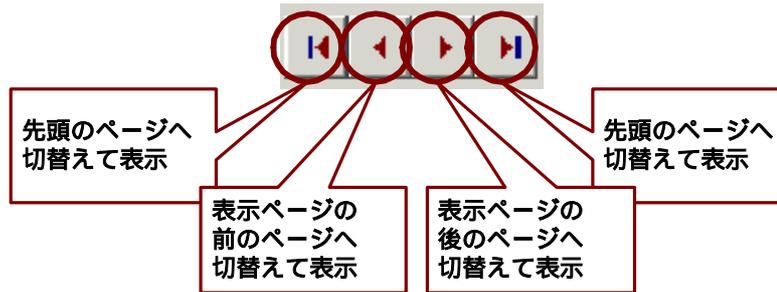


<印刷プレビューの画面>

画面表示切替



ページ切替



ページ表示

C S V出力する場合

下記のようなデータ出力の確認メッセージが表示されると、データフォルダ内にC S Vファイルが出力されます。

右図は、出力したC S VファイルをE X C E Lで読み込み表示したものです。



項目名	名称	単位	実数量	増減率	増減量	合計
1	総数	名称				
2	総数	壁面積(減有り)	m ²	161.108	0	161.108
3	総数	コーナーm数	m	43.99	0	43.99
4	総数	出隅コーナーm数	m	35.2	0	35.2
5	総数	入隅コーナーm数	m	8.79	0	8.79
6	総数	木口コーナーm数	m	0	0	0
7	総数	壁パネル面積	m ²	161.008	0	161.008
8	総数	コーナーパネル[長さ]	m	43.99	0	43.99
9	総数	出隅パネル[長さ]	m	35.2	0	35.2
10	総数	入隅パネル[長さ]	m	8.79	0	8.79
11	総数	木口パネル[長さ]	m	0	0	0
12	総数	壁パネル枚数[板取り]	枚	139	0	139
13	総数	壁パネル枚数[区分]	枚	153	0	153
14	総数	コーナーパネル[枚数]	枚	16	0	16
15	総数	出隅パネル[枚数]	枚	16	0	16
16	総数	入隅パネル[枚数]	枚	4	0	4
17	総数	木口パネル[枚数]	枚	0	0	0
18	総数	コーキング	m	769.35	0	769.35
19	総数	開口面積	m ²	23.84	0	23.84
20	総数	防水テープ	m	0	0	0
21	総数	壁面積(減無し)	m ²	193.303	0	193.303
22	総数	開口周長(全)	m	75.659	0	75.659
23	総数	開口周長(上)	m	18.408	0	18.408
24	総数	開口周長(下)	m	18.408	0	18.408
25	総数	開口周長(左)	m	19.422	0	19.422
26	総数	開口周長(右)	m	19.422	0	19.422
27	副資材	目地[1-別]	m	119.495	0	119.495
28	副資材	目地[UT M850]	m	119.495	0	119.495
29	副資材	コーナー[1-別]	m	88.04	0	88.04
30	副資材	板間[1-別]	m	453.621	0	453.621
31	副資材	板間[2]	m	453.621	0	453.621
32	副資材	開口[1-別]	m	72.23	0	72.23

サマンサ

SD デザイナー

積算・印刷

STEP 7

7-A 積算・印刷画面機能詳細

立面入力・割付・副資材入力のデータや集計結果に基づいて、設定された積算条件に従って自動で積算処理を行います。積算結果をもとに見積書や内訳書の出力を行います。

1 積算・印刷処理画面

1. 立面入力画面のシステム入力手順ボタンの[積算・印刷処理]ボタンをクリックします。
(メニューに戻っている場合は、SDデザイナー メインメニューから【積算・印刷】ボタンをクリックします。)
2. 下記のような積算・印刷処理画面が表示されます。

印刷ボタン
表・・・見積書(表紙)印刷
内・・・内訳書印刷
図・・・データ作図(立面図印刷)
板・・・板組み合わせ一覧表作図

レコード(行)編集ボタン
レコードの追加・削除、レコード(行)の上下移動の指示ボタン

入力処理の章で説明済みの各種アイコンと同じです

立面用種別表示 On/Offボタン

【全】・・・全帳票の積算処理
【面】・・・表示帳票の積算処理

設定された帳票ごとにタグに分かれて表示されます。

名称	メーカー名	コード	寸法・仕様	種別	計算方法	実数量	単位	ロス率	付加値	数量
外壁サイディング	ニチハ	JEY41155	モエンエクストラード16・ミラーズシリーズII・ノベルス	総壁パネル面積	換算	115.14	m ²	0	0	116
同質出隅	ニチハ	JEY44155	モエンエクストラード16・ミラーズシリーズII・ノベルス	各出隅コーナーパネル	m	78.13		0	0	79
防水シート			透湿防水シート	総壁面積	100	1.58	m ²	0	0	2
土台水切		JF1288E	土台水切	各水切	m	1.14		0	0	2
ジョイナー	ニチハ	JF1509	16切用ハット型ジョイナー	各目地	m	8.31		0	0	9
コーキング		VSL300SE	コーキング	各コーキング	m	3.5		0	0	4
材料処置費				指定なし	通常	0	式	0	1	1
運賃及び諸経費				指定なし	通常	0	式	0	1	1
				空白行		0		0	0	0

物件登録の際に設定した単価掛率が表示されます

積算結果の合計金額が表示されます

積算値表示エリア
一度も積算をしてない場合は白紙の状態が表示されます。

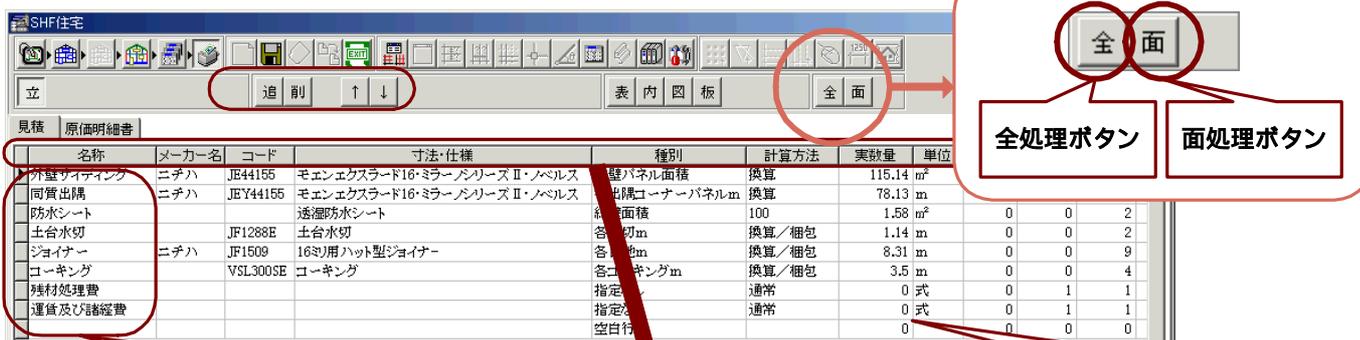
単価掛率 = 100 % 合計金額 ¥1164800

POINT

積算・印刷画面を開いた時点では、以前の積算結果を表示しています。
(新規データで未積算の場合は白紙で表示されます。)
立面のデータ・割付・副資材・再集計などデータの変更がある場合は、**必ず再積算**を行って下さい。

1 積算処理

1. 積算・印刷処理画面を表示します。
2. 各帳票全てを積算する場合は、[全処理]ボタンを選択（クリック）します。
それぞれのタグに分かれた帳票すべてに自動で積算処理が行われ結果が表示されます。
（積算結果値は <実数量> 欄に表示されます。）
3. 各表示帳票ごとに積算する場合は、タグを変更してそれぞれの帳票ごとに[面処理]ボタンを選択（クリック）します。表示している帳票のみに自動で積算処理が行われ結果が表示されます。



帳票のマスターで設定された積算項目名が表示されます
(参照 【マスター設定】 - 【共通】
- 【帳票】各帳票の<内訳>)

注意！
<種別>項目が、[総壁パネル面積]・[総コーナーパネルm]など[総*****]の場合、複数の製品の合計となる為、価格の表示は行われません

積算画面表示項目

- 名称・・・積算項目名称（マスター設定の帳票設定で登録されています）
- メーカー名・・・積算する製品のメーカー名（製品マスターにより製品コードと連動表示されています）
- コード・・・積算する製品のコード
- 寸法・仕様・・・積算する製品の寸法・仕様（製品マスターにより製品コードと連動表示されています）
- 種別・・・積算項目によって設定される拾い条件（マスター設定の帳票設定で登録されています）
- 計算方法・・・積算結果をだすための計算方法（マスター設定の帳票設定で登録されています）
計算方法は次の5つの方法があります。
通常計算 換算値方式 梱包値方式 換算値/梱包方式 換算値/梱包×梱包方式
- 実数量**・・・**積算結果の値**（自動計算の為、修正不可）
- 単位・・・実数量の単位（マスター設定の帳票設定で登録されています）
- ロス率**・・・**見積の際の実数量に対する加減の割合値（単位 %）**
$$\text{数量} = \text{実数量} \times \left[\frac{(\text{ロス率} + 100)}{100} \right]$$
- 付加値**・・・**見積の際の実数量に対してする加減する実数**
$$\text{数量} = \text{実数量} + \text{付加値}$$
- 数量**・・・**積算結果の実数量に対して、ロス率・付加値を加減した数量**
（自動計算の為、修正不可。小数点以下を**切上げ処理**して表示します）
- 単価・・・積算された製品の単価（マスター設定の帳票設定で登録されています）
- 掛け率・・・見積の際の金額（数量×単価）に対する加減の割合値（単位 %）
- 金額**・・・**見積金額 = (数量×単価) × (掛け率/100)**
（自動計算の為、修正不可。小数点以下を**切上げ処理**して表示します）
- 適用・・・積算する製品の備考（製品マスターにより製品コードと連動表示されています）
計算方法等の各詳細については、次章の<マスター設定>をご参照ください。

2 積算結果データの編集

- 各帳票の積算結果に対してデータの編集（変更・削除など）を行うことができます。
但し、<実数量>・<数量>・<金額>など自動計算によって値が表示されているものは編集できません。
- <種別>・<計算方法>・<単位>・<単価>については、プルダウンメニューより選択して変更することが可能です。<種別>・<計算方法>を変更すると<実数量>の値が変化します。
<単価>については、手入力でも数値入力することも可能です。
- <名称>・<メーカー名>・<コード>・<寸法・仕様>・<ロス率>・<付加値>・<掛け率>・<適用>の項目については手入力による変更が可能です。変更箇所にはカーソルを合わせクリックすると、表示されている文字や数字が青変しますので変更する文字や数字を入力してください。

注意！ 手入力による変更の際UNDO機能はありませんので十分注意して入力してください。

プルダウンメニューによる変更

見種	原価明細書	名称	メーカー名	コード	寸法・仕様	種別	計算方法	実数量	ロス率	付加値	数量	単位	単価	掛け率	金額	適用
▶		外壁サイディング	ニチハ	JE44155	モエンエクステード16	壁パネル枚数(板取り)	換算	105.22	0	0	106	m ²	5800	100	¥614,800	
		同質出隅	ニチハ	JEY44155	モエンエクステード	見出し	通常	88.88	0	0	89	m	2600	100	¥231,400	
		長尺出隅	ニチハ	AYR2105L		値引き	梱包	26.92	0	0	27	m	1980	100	¥53,460	
		防水シート				空白行	換算/梱包	173.93	0	0	174	m ²	0	100	¥0	
		ジョイナー		JF1509	16mm用ハット型ジョ	指定なし	換算/梱包	150.63	0	0	151	個	7000	100	¥1,057,000	10本/梱

種別
項目ごとの拾い条件（マスター設定参照）

立面用種別表示On/Offボタン

Onの場合 右記のような種別選択項目がプルダウンメニューに表示されます

立

Offの場合 下記のような種別選択項目がプルダウンメニューに表示されます

立

見出し
値引き
空白行
指定なし

単位
単位マスターで登録した項目値から選択
(参照 【マスター設定】 - 【共通】 - 【単位】)

単価
製品マスターで登録した項目値から選択
(参照 【マスター設定】 - 【立面】パネル製品・部材製品の各マスター)

手入力も可能です

計算方法
通常 換算 梱包
換算/梱包 換/梱×梱
から選択

手入力による変更

計算方法	実数量	ロス率	付加値	数量	単位	単価	掛け率	金額
換算	105.22	0	0	106	m ²	5800	100	¥614,800
換算	88.88	0	0	89	m	2600	100	¥231,400
換算	26.92	0	0	27	m	1980	100	¥53,460

変更箇所をクリック
(値が青変します)

計算方法	実数量	ロス率	付加値	数量	単位	単価	掛け率	金額
換算	105.22	10	0	116	m ²	5800	100	¥672,800
換算	88.88	0	0	89	m	2600	100	¥231,400
換算	26.92	0	0	27	m	1980	100	¥53,460

ロス率を加えた数量
になります
(自動計算)

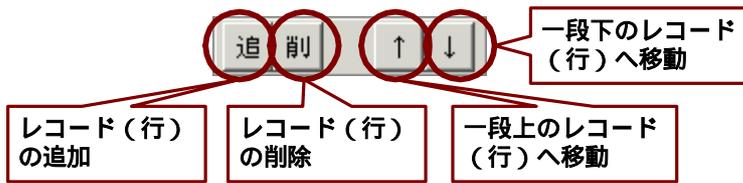
ロス率を加えた金額
になります
(自動計算)

注意！！

データの編集を行った後で、【全】ボタンや【面】ボタンを押して再積算処理を行った場合は、編集前の状態に戻りますのでご注意ください。

3

レコード（行）の編集



1. 各帳票の積算結果に対してレコード（行）の追加・削除・移動を行うことができます。
2. 追加・削除・移動を行うレコード（行）にカーソルを合わせそれぞれの処理ボタンをクリックします。

注意！ レコード（行）の編集の際も、UNDO機能はありませんので十分注意して入力してください。

レコード（行）の追加

見積	原価明細書				
	名称	メーカー名	コード	寸法・仕様	種別
	外壁サイディング	ニチハ	JE44155	モエンエクスラード16	総壁パネル面積
	同質出隅	ニチハ	JEY44155	モエンエクスラード16	各出隅コーナーパネ
	▶ 防水シート			透湿防水シート	総壁面積
	土台水切		JF1288E	土台水切	各水切m
	ジョイナー	ニチハ	JE44155	16ミリ用ハット型ジョイナー	各目地m
	コーキング		VSL300SE	コーキング	各コーキングm
	残材処理費				指定なし
	運賃及び諸経費				指定なし
					空白行

行を追加する行にカーソルを合わせ、〔データ追加〕ボタンをクリックします

積算データ追加

名称

寸法・仕様

種別

計算方法

ロス率

付加値

単位

単価

掛け率

適用

立

積算データ追加画面が表示されます。追加する行の情報を入力し〔OK〕ボタンをクリックします

見積	原価明細書				
	名称	メーカー名	コード	寸法・仕様	種別
	外壁サイディング			モエンエクスラード16	総壁パネル枚数(板取)
	同質出隅	ニチハ	JEY44155	モエンエクスラード16	各出隅コーナーパネ
	長尺出隅	ニチハ	AYR2105L		各木口コーナーパネ
	防水シート			透湿防水シート	総壁面積
	▶ 留め付けネジ		JE301	モエンエクセラード16mm	留め付けネジ(板取り)
	ジョイナー		JF1509	16ミリ用ハット型ジョイナー	各目地m
	コーキング		VSL300SE	コーキング	各コーキングm
	残材処理費				指定なし
	運賃及び諸経費				指定なし
					空白行

指示した行の下に、行が追加されます。

レコード（行）の削除

名称	メーカー名	コード	寸法・仕様	種別
外壁サイディング	ニチハ	JE44155	モエンエクスラード16	総壁パネル面積
同質出隅	ニチハ	JEY44155	モエンエクスラード16	各出隅コーナーパネ
▶ 防水シート			透湿防水シート	総壁面積
土台水切		JF1288E	土台水切	各水切m
ジョイナー	ニチハ			地m
コーキング				コーキングm
残材処理費				なし
運賃及び諸経費				指定なし
				空白行

削除する行にカーソルを合わせ、
〔データ削除〕ボタンをクリック
します



注意！！

レコード（行）の削除には、**UNDO機能はありません。**
レコードの削除の際はご注意ください。

レコード（行）の移動

名称	メーカー名	コード	寸法・仕様	種別
外壁サイディング			モエンエクスラード16	総壁パネル枚数(板取
同質出隅	ニチハ	JEY44155	モエンエクスラード16	各出隅コーナーパネ
長尺出隅	ニチハ	AYR2105L		各木口コーナーパネ
防水シート			透湿防水シート	総壁面積
▶ ジョイナー		JF1509	163リ用ハット型ジョイナー	各目地m
コーキング	VSL3005E		コーキング	各コーキングm
残材処理費				指定なし
運賃及び諸経費				指定なし
				空白行

移動する行にカーソルを合わせ、
〔データ上へ移動〕ボタン、又は
〔データ下へ移動〕ボタンを
クリックします

名称	メーカー名	コード	寸法・仕様	種別
外壁サイディング			モエンエクスラード16	総壁パネル枚数(板取
同質出隅	ニチハ	JEY44155	モエンエクスラード16	各出隅コーナーパネ
長尺出隅	ニチハ	AYR2105L		各木口コーナーパネ
▶ ジョイナー		JF1509	163リ用ハット型ジョイナー	各目地m
防水シート			透湿防水シート	総壁面積
コーキング	VSL3005E		コーキング	各コーキングm
残材処理費				指定なし
運賃及び諸経費				指定なし
				空白行

指示した行が上へ
移動します。

指示した行が下へ
移動します。

名称	メーカー名	コード	寸法・仕様	種別
外壁サイディング	ニチハ	JEY44155	モエンエクスラード16	総壁パネル枚数(板取
同質出隅	ニチハ	AYR2105L	モエンエクスラード16	各出隅コーナーパネ
防水シート			透湿防水シート	総壁面積
コーキング	VSL3005E		コーキング	各コーキングm
▶ ジョイナー		JF1509	163リ用ハット型ジョイナー	各目地m
残材処理費				指定なし
運賃及び諸経費				指定なし
				空白行

注意！！

レコード（行）の編集を行った後で、【全】ボタンや【面】ボタンを押して
再積算処理を行った場合は、編集前の状態に戻りますのでご注意ください。

7-C 積算結果の印刷

積算したデータを見積書・原価内訳書など物件データ登録時に設定した帳票に印刷します。
CSVファイルへの出力も可能です。

1 見積書（表紙）の印刷

1. 積算・印刷処理画面を表示して、[見積書（表紙）]ボタンを選択（クリック）します。
2. 下記のような印刷データ選択画面が表示されます。直接印刷をする場合は、印刷する帳票を選択し（チェックをつけ）[OK]ボタンを選択します。
3. 見積書表紙設定画面が表示されます。見積書表紙に記載する各項目を入力します。
手入力も可能ですが、あらかじめ登録しておいたマスターから選択して入力することができます。
項目内容の入力が終了したら、[OK]ボタンを選択します。
4. 印刷プレビューの画面が表示されます。画面での出力内容確認・プリンタ設定を行い見積書表紙を印刷します。
5. CSVファイルへのデータ出力をする場合は、出力する帳票を選択し（チェックをつけ）、[CSV出力]ボタンを選択します。直接出力の場合と同様に見積書表紙設定画面が表示されます。
内容の入力が終了したら、[OK]ボタンを選択します。
データ出力の確認メッセージが表示され、データフォルダ内にCSVファイルが出力されます。

印刷データ選択

データ名

見積
 原価明細書

CSV出力 すべて OK キャンセル

見積書表紙設定

名前1 (株)システムハウス福知山 マスター

名前2

言葉 下記の通り見積書申し上げますので何卒ご用命の程お願い申し上げます。 マスター

納期 お打ち合わせの上。 マスター

支払条件 従来どおり。 マスター

受渡場所 貴社指定場所。 マスター

有効期限 1ヶ月。 マスター

備考・注意

シート工事、玄関ポーチ柱は、見積りに入っていません。別途工事になります。
この御見積金額には、消費税5%は含まれておりません。
この御見積書は4車が入庫可能であることを基準としています。
現場条件により、追加工事代金を申し受けます。
2車積替え搬入の場合、別途運賃30,000円申し受けます。

日付 2008/08/22

OK キャンセル

表内図板 板組合せ一覧表 作図ボタン

見積書（表紙）ボタン

データ作図ボタン

内訳書 作図ボタン

[マスター] ボタンをクリックするとそれぞれのマスターに登録された項目値が表示されます。

入力するマスターの値の箇所でダブルクリックすると、それぞれの項目に値がはいります。

見積書（表紙）のマスターについては次章の【マスター設定】をご参照ください

見積書（表紙）・内訳書の文字サイズの変更はできません

直接出力する場合

印刷プレビューの画面の各ボタン操作は集計画面の場合と同様です

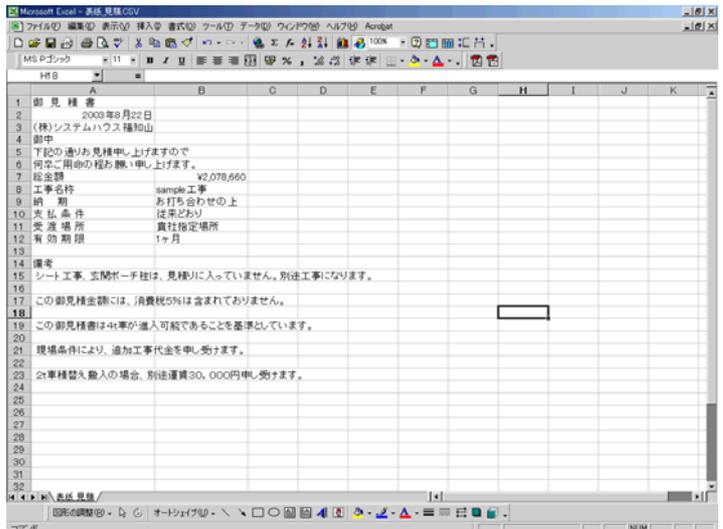
画面表示切替 ページ切替 プリント設定 印刷 積算処理画面へ戻る

<印刷プレビューの画面>

CSV出力する場合

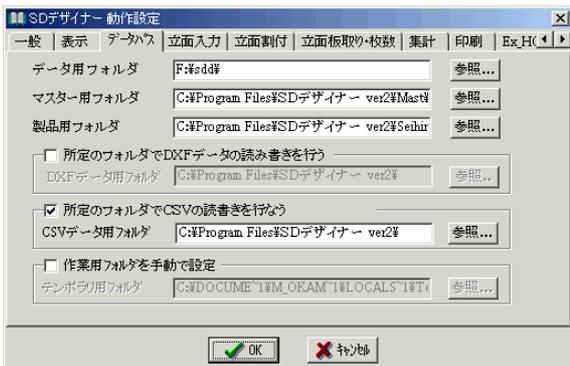
下記のようなデータ出力の確認メッセージが表示されると、設定されているデータフォルダ内にCSVファイルが出力されます。

右図は、出力したCSVファイルをEXCELで読み込み表示したものです。



参照 CSVファイル出力先

【環境設定】 - 【データパス】 - CSVデータ用フォルダ



参照 印刷設定

【環境設定】 - 【印刷】



見積書表紙詳細

見積書表紙設定画面・見積書表紙印刷イメージとそれぞれのマスターとの関係は下記のようになっています。

< 見積書表紙設定画面 >

見積書[得意先]マスター
参照【マスター設定】-【共通】-【得意先】

見積書[言葉]マスター
参照【マスター設定】-【共通】-【言葉】

見積書[条件_納期]マスター
参照【マスター設定】-【共通】-【条件】納期

見積書[条件_支払条件]マスター
参照【マスター設定】-【共通】-【条件】支払条件

見積書[条件_受渡場所]マスター
参照【マスター設定】-【共通】-【条件】受渡場所

見積書[条件_有効期限]マスター
参照【マスター設定】-【共通】-【条件】有効期限

見積書[備考・注意]マスター
参照【マスター設定】-【共通】-【備考・注意】

日付
工事概要の日付

< 見積書表紙印刷イメージ >

< 名前1 > 記載名が
上段、< 名前2 > 記載
名が下段に印刷され
ます

見積書[自社データ]マスター
参照【マスター設定】-【共通】-【自社データ】

2 内訳書の印刷

1. 見積書（表紙）の場合とほぼ同じ処理で印刷を行います。
積算・印刷処理画面を表示して、[内訳書]ボタンを選択（クリック）します。
2. 下記のような印刷データ選択画面が表示されます。
直接印刷をする場合は、印刷する帳票を選択し（チェックをつけ）[OK]ボタンを選択すると、印刷プレビューの画面が表示されます。
画面での出力内容確認・プリンタ設定を行い見積書表紙を印刷します。
3. CSVファイルへのデータ出力をする場合は、出力する帳票を選択し（チェックをつけ）、[CSV出力]ボタンを選択すると、データ出力の確認メッセージが表示され、データフォルダ内にCSVファイルが出力されます。



直接出力する場合

印刷プレビューの画面の各ボタン操作は集計画面の場合と同様です

<印刷プレビューの画面>

CSV出力する場合

下記のようなデータ出力の確認メッセージが表示されると、設定されているデータフォルダ内にCSVファイルが出力されます。

右図は、出力したCSVファイルをEXCELで読み込み表示したものです。



右図は印刷項目のみがCSV出力されていますが、内訳項目全てをCSV出力することも可能です。

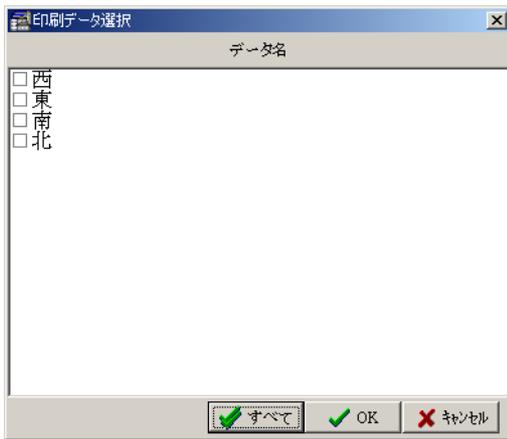
参照 印刷設定
【環境設定】 - 【印刷】 帳票CSV印刷設定

見種	名称	コード	寸法・仕様	数量	単位	単価	金額	適用
1	sample工事							
2	見種							
3	外壁サイディング	JE44155	モエンエクスタード16・ミラー・シリーズⅡ	116	枚	5800	¥672,800	適用
4	同質出隅	JEV44155	モエンエクスタード16・ミラー・シリーズⅡ	79	m	¥2,600	¥205,400	
5	長尺出隅	AYR2105L	モエンアート・石積小割隅 オチュールプラ	49	本	¥1,800	¥88,200	¥3,600 1m×100m/巻
6	防水シート		透湿防水シート	2	巻	¥32,000	¥64,000	10本/巻
7	コーキング	VSL300SE	コーキング	4	ケース	¥2,000	¥8,000	25本/1ケース
8	預材処理費			1	式	¥50,000	¥50,000	
9	運賃及び雑経費			1	式	¥100,000	¥100,000	
10								
11								
12	合計金額							
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								

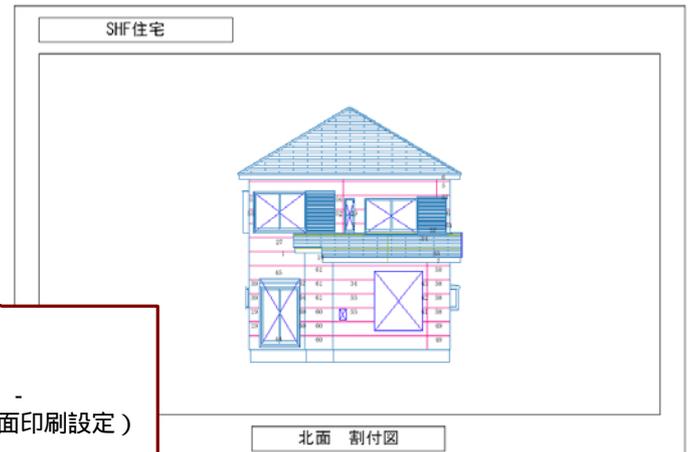
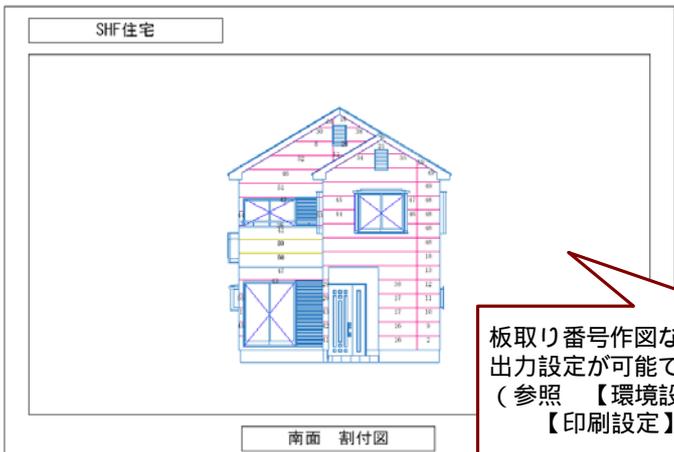
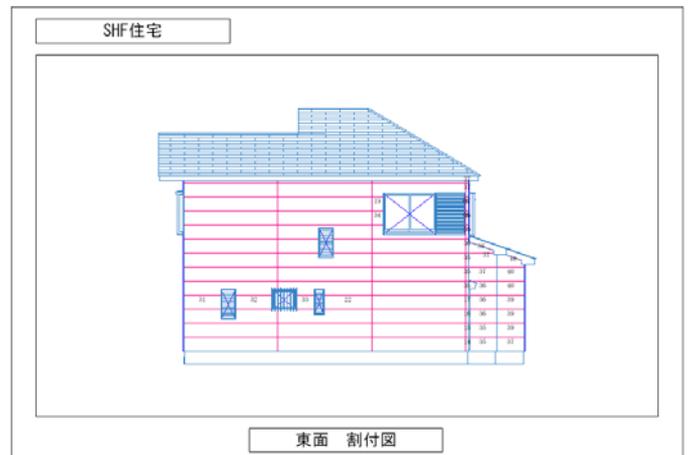
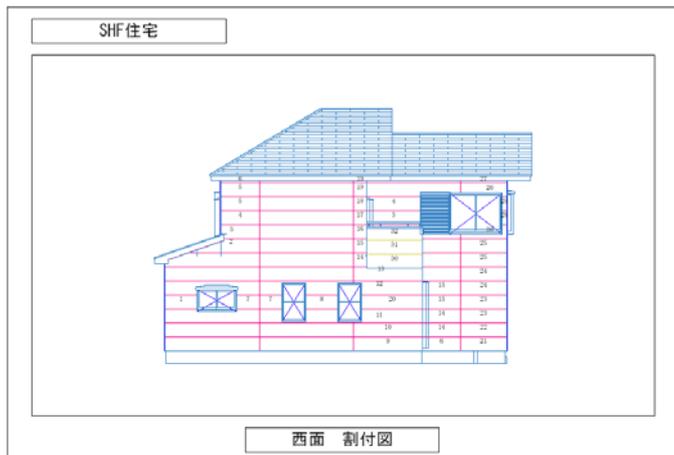
3 立面図印刷

見積書や内訳書のほかに立面図の印刷を行うことができます。

1. 積算・印刷処理画面を表示して、[データ作図]ボタンを選択（クリック）します。
2. 下記のような印刷データ選択画面が表示されます。印刷する立面図を選択し（チェックをつけ）[OK]ボタンを選択すると、印刷画面が表示されます。
出力プリンタの設定を行い選択した立面図を印刷します。



出力サンプル



板取り番号作図など
出力設定が可能です
(参照 【環境設定】 -
【印刷設定】-立面印刷設定)

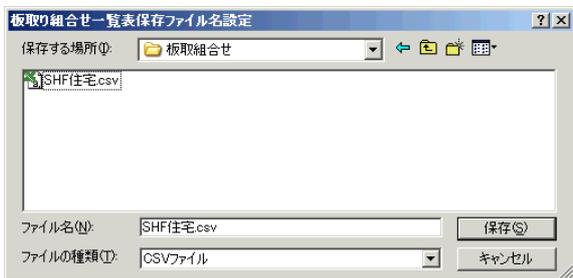
4 板取り組合せ一覧表出力

その他の印刷機能として板取りしたパネルの組合せ一覧表のCSV出力を行うことができます。

1. 積算・印刷処理画面を表示して、[板組合せ一覧表]ボタンを選択（クリック）します。
2. 下記のような板取り組合せ一覧表保存ファイル名設定画面が表示されます。

保存先、保存ファイル名称を設定し[OK]ボタンを選択すると、CSVファイルが出力されます。

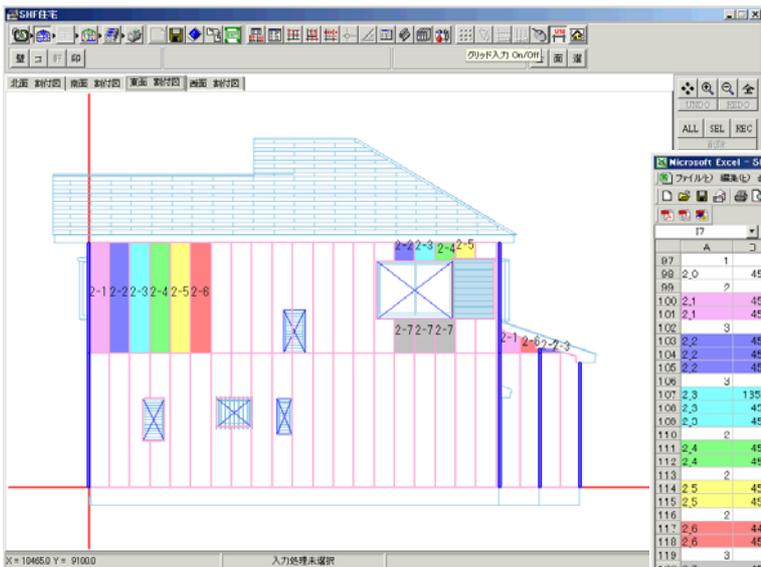
下右図は、出力したCSVファイルをEXCELで読み込み表示したものです。



行	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	SHF住宅															
2	ET46154	455	3030	16	0	0	136	01								
3		1	0	0												
4		0	455	3024	7	南面	割付図									
5		1	0	0												
6		0	79	2494	7	東面	割付図									
7		1	0	0												
8		0	455	2494	7	東面	割付図									
9		3	0	0												
10		1	455	150	北面	割付図										
11		1	455	2818	6	北面	割付図									
12		1	145	8	51	西面	割付図									
13		2	0	0												
14		10	455	521	8	東面	割付図									
15		10	455	2494	7	東面	割付図									
16		2	0	0												
17		11	455	465	南面	割付図										
18		11	455	2494	7	西面	割付図									
19		2	0	0												
20		12	455	465	南面	割付図										
21		12	455	2494	7	西面	割付図									
22		2	0	0												
23		13	455	465	南面	割付図										
24		13	455	2494	7	西面	割付図									
25		2	0	0												
26		14	455	457	3	南面	割付図									
27		14	455	2494	7	西面	割付図									
28		3	0	0												
29		15	455	427	南面	割付図										
30		15	455	96	南面	割付図										
31		15	455	2494	7	西面	割付図									
32		3	0	0												

参照 立面板取り設定
【環境設定】 - 【立面板取り・枚数（壁）】

板取組合せ一覧の例



上記例では、壁パネルを面ごとに板取しています。
(組合せられたパネルを同色表示しています)

行	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
97	1	0	0												
98	2,0	455	2494	7	東面	割付図									
99		3	0	0											
100	2,1	455	521	8	東面	割付図									
101	2,1	455	2494	7	東面	割付図									
102		3	0	0											
103	2,2	455	108	6	東面	割付図									
104	2,2	455	2494	7	東面	割付図									
105	2,2	455	408	7	東面	割付図									
106		3	0	0											
107	2,3	135	8	47	5	東面	割付図								
108		3	0	0											
109		3	0	0											
110		2	0	0											
111	2,4	455	408	7	東面	割付図									
112	2,4	455	2494	7	東面	割付図									
113		2	0	0											
114	2,5	455	2494	7	東面	割付図									
115	2,5	455	371	7	東面	割付図									
116		2	0	0											
117	2,6	445	382	5	東面	割付図									
118	2,6	455	2494	7	東面	割付図									
119		3	0	0											
120	2,7	455	705	東面	割付図										
121	2,7	455	705	東面	割付図										
122	2,7	455	705	東面	割付図										
123		1	0	0											
124	3,0	455	5941	3	南面	割付図									
125		1	0	0											
126	3,0	455	3024	7	南面	割付図									
127		3	0	0											
128	3,1	455	350	南面	割付図										

サマンサ

SD デザイナー

マスター設定

STEP 8

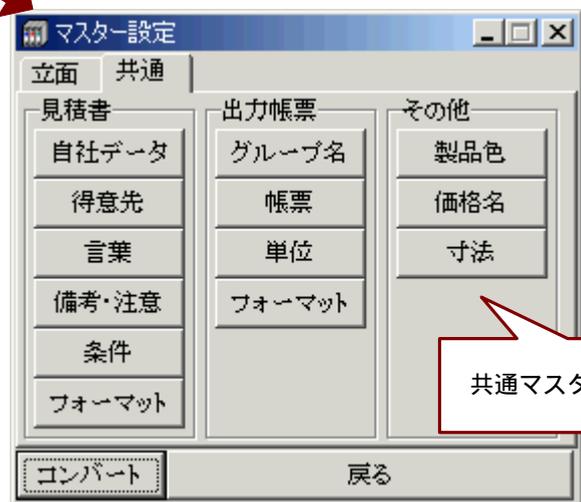
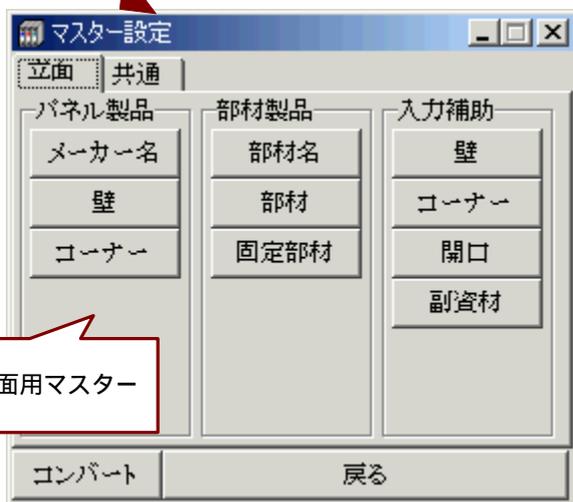
8-A マスター設定概要

SDデザイナーのマスター設定は、大きく立面部と共通部に分かれています。
それぞれの概要は下記の通りです。

- 立面・・・パネル製品・・・壁材・コーナー材の登録
部材製品・・・副資材の登録
入力補助・・・壁・コーナー・開口・副資材それぞれの部位入力時の詳細設定登録
 - 共通・・・見積書・・・見積書（表紙）に関する情報の登録
出力帳票・・・帳票ごとの詳細設定登録
その他・・・その他マスター設定時や入力時に利用する設定登録
- コンバート・・・壁材・コーナー材などの部材データの読み込みに利用

1 マスター設定画面

1. SDデザイナー メインメニューから【マスター】ボタンをクリックします。
(立面入力画面・割付画面等の[マスター変更]ボタンからでもマスター設定画面を表示することができます。)
2. 下記のようなマスター設定画面が表示されます。



8-B 立面マスター設定 (パネル製品)

1 製品メーカー名の設定

1. マスター設定画面の【立面】タグ・パネル製品分類の【メーカー名】ボタンを選択 (クリック) します。
2. 右記のようなパネルメーカー名設定画面が表示されます。
3. 最大20社まで、メーカー名の登録を行うことができます。
4. 新規にメーカー名を登録する場合は、登録したい番号欄にカーソルを合わせて名称を入力します。
5. 既に入力されているメーカー名を変更する場合は、変更する番号欄にカーソルを合わせて名称を変更入力します。同様に名称を削除することもできます。



2 壁パネルの登録・変更

1. マスター設定画面の【立面】タグの【壁】ボタンを選択 (クリック) します。
2. 下記のような壁パネル画面が表示されます。
3. 上記で登録したメーカーがタグに分かれて表示されます。
4. 各項目の値を入力します。データ入力を終了する際は必ず【データ更新】ボタンを選択 (クリック) して下さい。

レコード(行)編集

壁パネル	
旭硝子 ニチハ 旭化成 クボタ 松下電工 ア	
コード	
AY1101	モエンアート・鉄平石
AY1104	モエンアート・鉄平石
	モエンアート・石積小
	モエンアート・石積小

表示モード
(移動の際もこの表示
となります)

壁パネル	
旭硝子 ニチハ 旭化成 クボタ 松下電工 ア	
コード	
AY1101	モエンアート・鉄平石
AY1104	モエンアート・鉄平石
	モエンアート・石積小
	モエンアート・石積小

編集モード
(レコードの編集中は
この表示となります)

レコード(行)の編集の際は、その編集する行の先頭に左記のような表示が付きま

WT887	モエンアート・鉄平石
WY58144	モエンアート・鉄平石
WY58145	モエンアート・鉄平石
*AY1101	モエンアート・鉄平石

追加モード
(レコードの追加や
コピーの際にこの
表示となります)

CSV変換

[CSV変換]ボタンを選択すると、下記のような製品データCSVファイル変換処理画面が表示されます。ファイルの保存先を設定し、[変換]ボタンを選択すると、設定されているデータフォルダ内にパネル製品の全てのデータがCSVファイル形式で出力されます。

製品データCSVファイル変換処理

登録ファイル名 C:\Program Files\SDデザイナー ver2\Seihin\壁.csv 参照...

変換

閉じる

CSVファイルの出力先とそのファイル名称を設定します

壁パネルマスター設定画面に戻ります

製品データCSVファイル変換処理

登録ファイル名 C:\Program Files\SDデザイナー ver2\Seihin\壁.csv 参照...

70%

変換

閉じる

変換処理中は上記のような変換処理%を表示します。変換終了の確認メッセージは表示されません

右図は、出力したCSVファイルをEXCELで読み表示したものです。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32		
コー	ナ	ー	コード	製品名	仕様	パネル色	取付	取付	取付	取付	取付	取付	取付	取付	取付	取付	取付	取付	取付	取付	取付	取付	取付	取付	取付	取付	取付	取付	取付	取付			
2	旭硝子	BOB	AG-WALL 185	プレジール プラント	ジュエルグレー	○	UBC08	AG																									
3	旭硝子	BOB	AG-WALL 185	プレジール プラント	ジュエルホワイト	○	UBC08	AG																									
4	旭硝子	BOB	AG-WALL 185	プレジール プラント	ジュエルホワイト	○	UBC08	AG																									
5	旭硝子	BR200D	AG-WALL 12.0	NEWレラージュ	デザートオレンジ	○	UBR000D																										
6	旭硝子	BR200Y	AG-WALL 12.0	NEWレラージュ	デザートイエロー	○	UBR000Y																										
7	旭硝子	BR200J	AG-WALL 12.0	NEWレラージュ	ローズベージュ	○	UBR000J																										
8	旭硝子	BR21EG	AG-WALL 12.0	レラージュ	オリーブ	○	UBR0021EG																										
9	旭硝子	BR21TR	AG-WALL 12.0	レラージュ	オリーブ	○	UBR0021TR																										
10	旭硝子	BR21OB	AG-WALL 12.0	レラージュ	オリーブ	○	UBR0021OB																										
11	旭硝子	CP2ABB	AG-WALL 12.0	カリア	アンバーブロンズ	○	UCP02ABB																										
12	旭硝子	CP2ABW	AG-WALL 12.0	カリア	アンバーホワイト	○	UCP02ABW																										
13	旭硝子	CP2ABZ	AG-WALL 12.0	カリア	アンバーローズ	○	UCP02ABZ																										
14	旭硝子	CS5CAG	AG-WALL 15.0	せいせき	セラフィク	○	UCS05CAG																										
15	旭硝子	CS5CBG	AG-WALL 15.0	せいせき	セラフィク	○	UCS05CBG																										
16	旭硝子	CS5CGR	AG-WALL 15.0	せいせき	セラフィク	○	UCS05CGR																										
17	旭硝子	CS5CGLD	AG-WALL 15.0	せいせき	セラフィク	○	UCS05CGLD																										
18	旭硝子	CS5CSE	AG-WALL 15.0	せいせき	セラフィク	○	UCS05CSE																										
19	旭硝子	CV8S1	AG-WALL 15.0	シフォン	サンドアイボリー	○	UCV08S1																										
20	旭硝子	CV8S2	AG-WALL 15.0	シフォン	サンドアイボリー	○	UCV08S2																										
21	旭硝子	CV8S3	AG-WALL 15.0	シフォン	サンドアイボリー	○	UCV08S3																										
22	旭硝子	D8EVR	AG-WALL 150	ディアグレース	ドリナ	○	UDN08EVR																										
23	旭硝子	D8EVL	AG-WALL 150	ディアグレース	ドリナ	○	UDN08EVL																										
24	旭硝子	D8EVR	AG-WALL 150	ディアグレース	ドリナ	○	UDN08EVR																										
25	旭硝子	DP500R	AG-WALL EX	デュアルストーン	デュアルレッド	○	UEDP500R																										
26	旭硝子	DP500Y	AG-WALL EX	デュアルストーン	デュアルイエロー	○	UEDP500Y																										
27	旭硝子	DV500CH	AG-WALL EX	デュアルストーン	デュアルチャーム	○	UEDV500CH																										
28	旭硝子	DV500CB	AG-WALL EX	デュアルストーン	デュアルチャーム	○	UEDV500CB																										
29	旭硝子	DV500SE	AG-WALL EX	デュアルストーン	デュアルチャーム	○	UEDV500SE																										
30	旭硝子	DV500SG	AG-WALL EX	デュアルストーン	デュアルチャーム	○	UEDV500SG																										
31	旭硝子	FD0FJ	AG-WALL 12.0	フェデリック	FDベージュ	○	UFD00FJ																										
32	旭硝子	FD0FO	AG-WALL 12.0	フェデリック	FDオレンジ	○	UFD00FO																										

壁材マスター項目詳細

コード・・・壁パネル製品の品番

重複登録は出来ません

製品名・・・壁パネル製品の名称

仕様・・・壁パネル製品の仕様

パネル色・・・壁パネル製品の色

取り扱い・・・製品のマスターとして使用するかどうかの設定

----- 割付時に製品マスターとして表示する
(参照マスターで表示する)

x ----- 割付時に製品マスターとして表示しない
(参照マスターで表示しない)

出隅コーナーコード

・・・壁パネルと連動する出隅コーナー材の品番

入隅コーナーコード

・・・壁パネルと連動する入隅コーナー材の品番

木口コーナーコード

・・・壁パネルと連動する木口コーナー材の品番

厚み・・・壁パネル製品の厚み(単位 mm)

幅・・・壁パネル製品の幅(単位 mm)

長さ・・・壁パネル製品の長さ(単位 mm)

タイル長・・・壁パネル製品の柄ピッチ(単位 mm)

タイル目地長

・・・壁パネル製品の柄の目地ピッチ(単位 mm)

ネジ・・・壁パネル製品1枚当たりのネジ個数

釘・・・壁パネル製品1枚当たりの釘個数

換算値・・・積算時に枚数計算に利用する値

壁パネルの場合通常

(幅×長さ) / 1,000,000

梱包値・・・壁パネル製品の1梱包当たりの数量

価格1

~ 価格10・・・壁パネル製品の見積価格 ~

見積書に記載する価格を10パターン登録しておくことができます。

価格名は、分かりやすいように各々名称を変えて登録しておくことができます。

(参照 【マスター】 - 【共通】 -

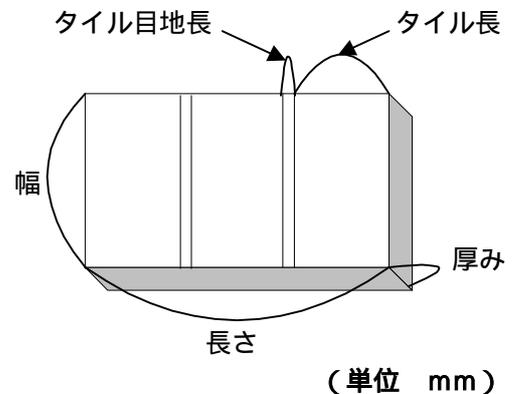
【その他】 - 【価格名】)

備考・・・備考欄記載事項

見積書印刷時の摘要欄に表示されます

コード	製品名	仕様	パネル色	取り扱い	出隅コーナーコード
AY1101	モエンアート・鉄平石調	タテラジライン		○	AYD1101
AY1104	モエンアート・鉄平石調	ナチュラルイエロー		○	AYD1104
AY2102	モエンアート・石積小割調	イエローベージュ		○	AYD2102

< パネル割付設定画面 >



< 換算値による計算の例 >

幅 455 (mm) 長さ 3030 (mm) の
パネル製品の場合

$$\begin{aligned} \text{換算値} &= (455 \times 3030) \div 1,000,000 \\ &= 1.37865 \\ &= 1.378 \text{ (少数点5桁以下切り捨て)} \end{aligned}$$

壁パネル割付面積 126㎡ の場合

$$\begin{aligned} \text{パネル枚数} &= 126 \div 1.378 \\ &= 91.4368 \dots \\ &= 92 \text{ 枚 (少数点以下切り上げ)} \end{aligned}$$

3 コーナーパネルの登録・変更

1. マスター設定画面の【立面】タグの【コーナー】ボタンを選択（クリック）します。
2. 下記のようなコーナーパネル画面が表示されます。表示項目は壁パネルの場合とほぼ同じです。
3. 登録したメーカーがタグに分かれて表示されます。
4. 各項目の値を入力します。データ入力を終了する際は必ず【データ更新】ボタンを選択（クリック）して下さい。

登録したメーカーごとにタグに分かれて表示されます

入力されたレコード（行）は、自動的にコード名称でソートされ表示されます

データの更新

CSV変換
コーナーパネルのマスターを
CSVファイルに出力します
方法は壁パネルの場合と同様です

コーナー材マスター項目詳細

- コード・・・コーナーパネル製品の品番
- 製品名・・・コーナーパネル製品の名称
- 仕様・・・コーナーパネル製品の仕様
- パネル色・・・コーナーパネル製品の色
- 取り扱い・・・製品マスターとして使用するかどうかの設定
 - 割付時に製品マスターとして表示する
(参照マスターで表示する)
 - x----- 割付時に製品マスターとして表示しない
(参照マスターで表示しない)
- 形状・・・コーナー形状の登録
出隅・入隅・木口のいずれかを入力
- 厚み・・・コーナーパネル製品の厚み（単位 mm）
- 幅・・・コーナーパネル製品の幅（単位 mm）
- 長さ・・・コーナーパネル製品の長さ（単位 mm）
- タイル長・・・コーナーパネル製品の柄ピッチ（単位 mm）
- タイル長・・・コーナーパネル製品の柄ピッチ（単位 mm）
- ネジ・・・コーナーパネル製品1枚当たりのネジ個数
- 釘・・・コーナーパネル製品1枚当たりの釘個数
- 金具・・・コーナーパネル製品1枚当たりの金具個数

換算値・・・積算時に枚数計算に利用する値

コーナーパネルの場合通常
長さ/1,000

梱包値・・・コーナーパネル製品の1梱包当たりの数量
価格1～価格10

・・・コーナーパネル製品の見積価格

備考・・・備考欄記載事項

見積書印刷時の摘要欄に表示されます

<換算値による計算の例>

幅 70 (mm) 長さ455 (mm) の
コーナー製品の場合

$$\text{換算値} = 455 \div 1,000$$

$$= 0.455$$

コーナーパネルm 35.55m の場合

$$\text{コーナーパネル枚数} = 35.55 \div 0.455$$

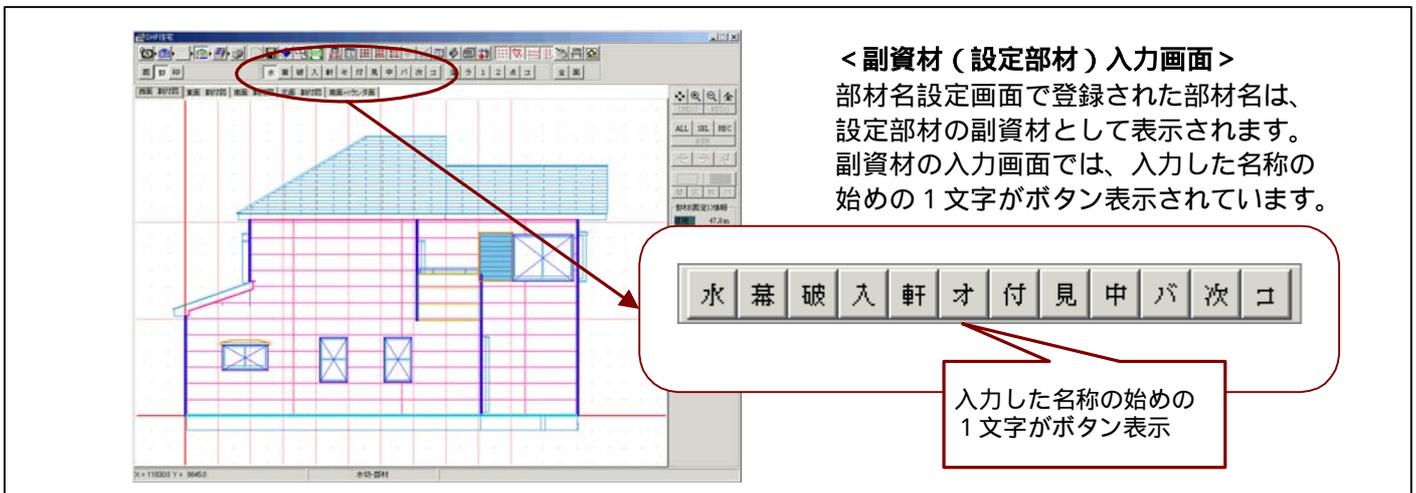
$$= 78.1318 \dots$$

$$= 79 \text{ 枚 (少数点以下切り上げ)}$$

8-C 立面マスター設定 (部材製品)

1 部材名の設定

1. マスター設定画面の【立面】タグ・部材製品分類の【部材名】ボタンを選択 (クリック) します。
2. 右記のような部材名設定画面が表示されます。
3. 最大20部材の名称を登録することが出来ます。
ここでは固定部材 (目地・コーナー・版間・開口・切欠) 以外に拾いを行う副資材部材の名称を登録します。
4. 新規に部材名を登録する場合は、登録したい番号欄にカーソルを合わせて名称を入力します。
5. 既に入力されている部材名を変更する場合は、変更する番号欄にカーソルを合わせて名称を変更入力します。
同様に名称を削除することもできます。

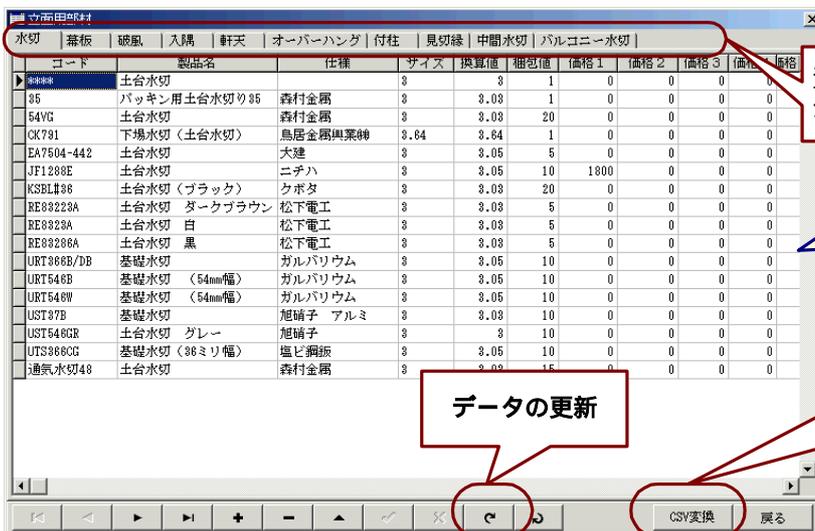


<副資材 (設定部材) 入力画面>

部材名設定画面で登録された部材名は、設定部材の副資材として表示されます。副資材の入力画面では、入力した名称の最初の1文字がボタン表示されています。

2 部材の登録・変更

1. マスター設定画面の【立面】タグの【部材】ボタンを選択 (クリック) します。
2. 下記のような立面用部材画面が表示され、上記で登録した部材がタグに分かれて表示されます。
3. 各項目の値を入力します。データ入力を終了する際は必ず【データ更新】ボタンを選択 (クリック) して下さい。



登録した部材ごとにタグに分かれて表示されます

入力されたレコード (行) は、自動的にコード名称でソートされ表示されます

CSV変換
部材のマスターをCSVファイルに出力します

方法は壁パネルの場合と同様です

部材マスター項目詳細

コード・・・部材製品の品番

製品名・・・部材製品の名称

仕様・・・部材製品の仕様

サイズ・・・部材製品の長さ（単位 m）

換算値・・・積算時に本数計算に利用する値

部材の場合通常 製品長さを換算値とします

（部材により小数点以下切り捨てにする場合があります）

梱包値・・・部材製品の1梱包当たりの数量

価格1～価格10

・・・部材製品の見積価格 ～

備考・・・備考欄記載事項

見積書印刷時の摘要欄に表示されます

<換算値による計算の例>

サイズ 3.03 (m) の部材

土台水切の場合

換算値 = 3.03

各水切m 34.86m の場合

土台水切本数 = $34.86 \div 3.03$

= 11.5049・・・

= 12本（少数点以下切り上げ）

3 固定部材の登録・変更

1. マスター設定画面の【立面】タブの【固定部材】ボタンを選択（クリック）します。
2. 下記のような立面用固定部材画面が表示され、部材ごとにタブに分かれて表示されます。
3. 各項目の値を入力します。項目詳細は設定部材の場合と同様です。

データ入力を終了する際は必ず[データ更新]ボタンを選択（クリック）して下さい。

部材ごとにタブに分かれて表示されます

入力されたレコード（行）は、自動的にコード名称でソートされ表示されます

データの更新

CSV変換
固定部材のマスターを
CSVファイルに出力します
方法は壁パネルの場合と同様です

コード	製品名	仕様	サイズ	換算値	梱包値	値
EA5945-26	ダイケン真打Aシリーズ			630	1	0
EA5945-38	ダイケン真打Aシリーズ			630	1	0
JE301	モエンエクセラード18mm	ワンタッチビス		50	1	0
JE500C	モエンエクセラード18mm	ワンタッチビス		12	1	0
JE505	モエンエクセラード18mm	ワンタッチビス		50	1	0
JE800C	モエンエクセラード18mm	ワンタッチビス		12	1	0
JE806	モエンエクセラード26、18mm	ワンタッチビス		50	1	0
RY7452H	金具（中間18mm）	ワンタッチビス		70	1	0
RY7452S	金具（スターター18mm）	ワンタッチビス		50	1	0
RY7452SC	金具（出隅18mm）	ワンタッチビス		10	1	0
YMSG	金具	ワンタッチビス		100	1	0
YMSGN	金具	ワンタッチビス		100	1	0
YTPN16S	金具留付ビス	ワンタッチビス		600	1	0
WVWV201	金具（S16スター）	ワンタッチビス		50	1	0
WVWV202	金具（S16中間）	ワンタッチビス		50	1	0
WVWV203	金具（S15スター）	ワンタッチビス		50	1	0
WVWV204	金具（S15中間）	ワンタッチビス		50	1	0
WVWV205	金具（S15スター、15mm）	ワンタッチビス		0	0	0
WVWV206	金具（S15中間、15mm）	ワンタッチビス		0	0	0
ZA	金具18mm（中間）	ワンタッチビス		0	0	0
ZAS	金具18mm（スターター、出隅）	ワンタッチビス		1	0	0

固定部材

SDデザイナーでは、初期設定として自動で拾いを行う副資材を固定部材といい、次の5つの部材があります。

（自動拾いの設定は別にマスターがあります。参照 【マスター設定】 - 【立面】 - 入力補助【副資材】）

目地・・・割付られた壁パネルの短辺方向の目地の長さ・コーキングの長さを拾い出します。

コーナー・・・コーナーの長さ・コーキングの長さを拾い出します。

版間・・・壁パネル間の長さ・コーキングの長さを拾い出します。

開口・・・開口部周囲の長さ・コーキングの長さを拾い出します。

切欠・・・切欠部周囲の長さ・コーキングの長さを拾い出します。

<目地>

<目地>として自動拾いを行うのは、
【環境設定】 - 【立面割付】 - 【目地寸法設定】
で定めている有効目地寸法の範囲の目地のみです

8-D 立面マスター設定 (入力補助)

1 壁入力マスターの設定

1. マスター設定画面の【立面】タグ・入力補助分類の【壁入力マスター】ボタンを選択 (クリック) します。
2. 下記のような入力補助_壁用マスター画面が表示されます。
3. ここでは入力する壁をパターンに分けて最大20の壁を登録することが出来ます。
壁の表示名称・壁種・裏面割付などの設定を行い、壁と同時に拾い出しを行う副資材の部材 (同時取得部材) の設定を行うことができます。

登録した壁パターンごとにタグに分かれて表示されます

最大20パターンの壁が登録可能です

<壁入力画面>
入力補助_壁用マスター画面で登録された壁名称の最初の1文字が、壁の入力画面壁のボタンとして表示されています。

入力した名称の最初の1文字がボタン表示

壁用マスターの登録

登録するまでは、タグに壁名称は表示されません

新規に壁用マスターを登録する場合は、登録したいタグを開き、壁の表示名称と壁種などの設定を入力し、[登録]ボタンを押します。いったんマスター設定画面に戻りますが、もう一度【壁】ボタンを選択して壁用マスター画面を表示すると、入力した壁が登録されています。

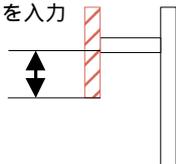
壁用マスターの詳細

表示名称 任意に登録可能な壁名称
壁入力時に1文字目がボタン表示されますので区別のしやすい名称を登録して下さい

壁種 壁の種類の設定
(外壁 or ベランダ壁)

割付設定 ベランダ壁の割付時の設定
(**ベランダ壁のみに有効**)
裏面割付On/Off・・・ベランダなど壁の表裏面両方割付を行う場合にチェックを入れます
垂壁割付On/Off・・・垂壁の場合に壁の表裏面両方割付を行う場合にチェックを入れます
垂壁高さ・・・・・・垂壁高さ寸法を入力

垂壁高さ



同時取得部材の設定

同時取得部材	上	下	左	右
コーナー	0	0	1	2
水切り	0	1	0	0
幕板	0	0	0	0
破風	0	0	0	0
入隅	0	0	0	0
軒長	0	0	0	0
モール	0	0	0	0
付柱	0	0	0	0

壁を入力すれば同時に拾い出しを行う副資材の部材数を入力します。

登録する壁の上下左右の位置に取得部材数を入力します。

但し、コーナーについては、上下左右の位置につくコーナーのマスターの番号を設定します。

コーナーの本数はそれぞれのコーナーマスターの設定本数に従って配置されます。

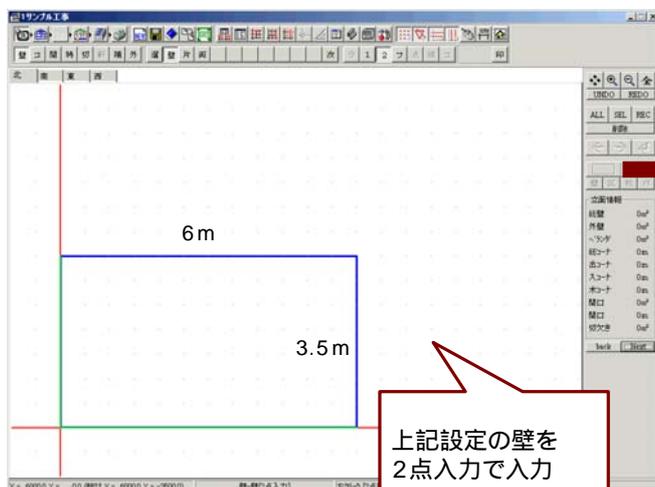
左記の例では、

水切り・・・水切りを1本壁下に配置

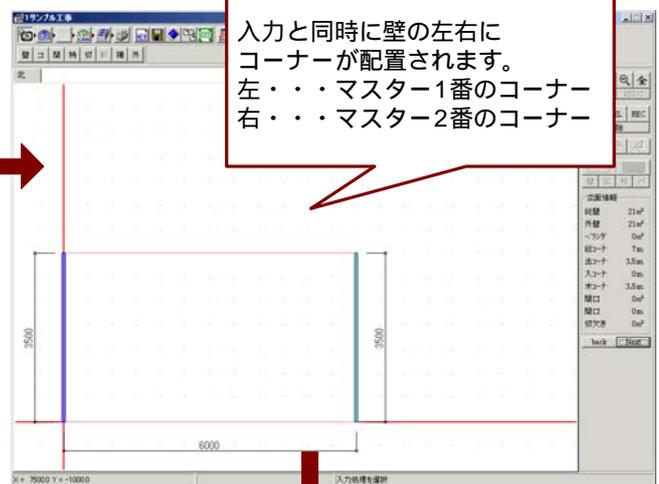
コーナー・・・1番目のコーナーマスターを壁左に配置

2番目のコーナーマスターを壁右に配置

上記の設定で壁を入力



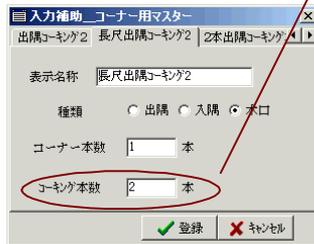
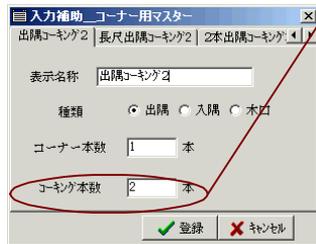
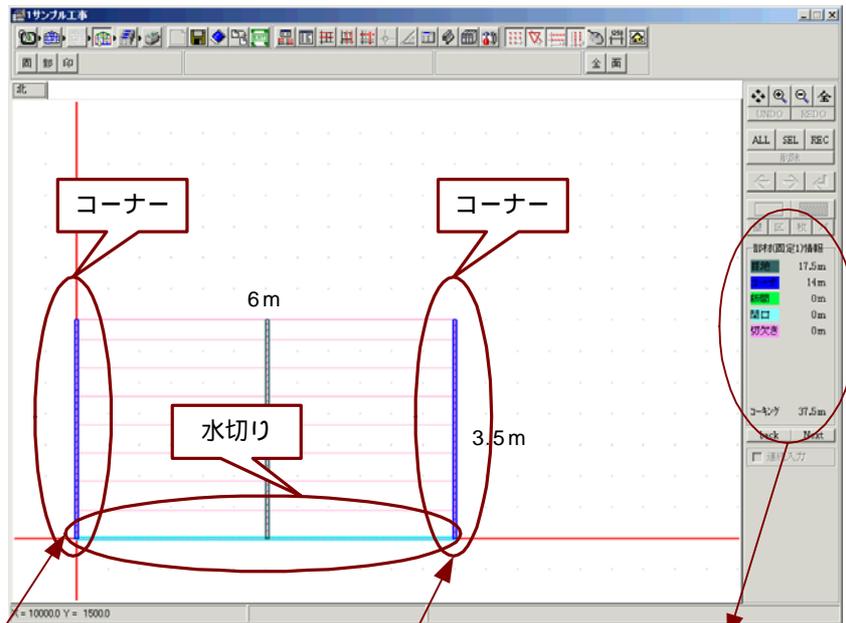
入力と同時に壁の左右にコーナーが配置されます。
左・・・マスター1番のコーナー
右・・・マスター2番のコーナー



副資材入力画面で、入力した壁を【全】処理
(又は【面】処理)を行いません。

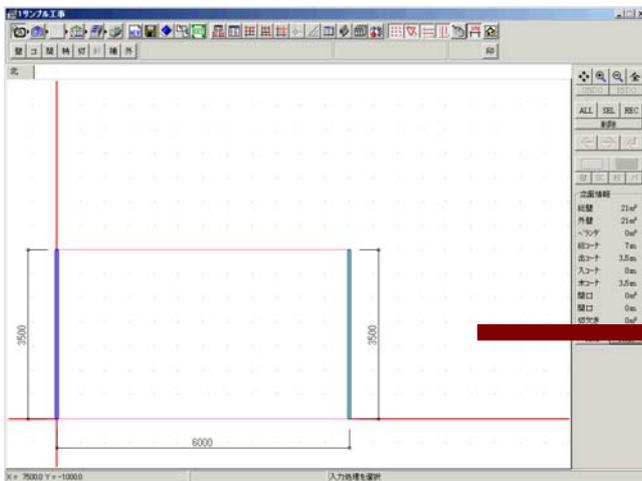
固定部材・部材の自動拾い出しの
チェックが入っている場合
下記のように副資材を拾い出します。
水切り・・・壁下に1本

6m
コーナー・・・壁左にマスター1番目の
コーナー 2本
3.5m x 2
壁右にマスター2番目の
コーナー 2本
3.5m x 2
合計 14m



部材(固定1)情報		部材(設定1)情報	
目地	17.5m	水切	6m
コーナ	14m	幕板	0m
版間	0m	破風	0m
開口	0m	入隅	0m
切欠き	0m	軒長	0m
		モール	0m
		付柱	0m
		風切縁	0m
		中間水	0m
		パネル	0m
コーキング	37.5m		

壁情報で確認すると下記のようにマスター設定と同じ内容が表示されます



2 コーナー入力マスターの設定

1. マスター設定画面の【立面】タグ・入力補助分類の【コーナー入力マスター】ボタンを選択（クリック）します。
2. 下記のような入力補助_コーナー用マスター画面が表示されます。
3. ここでは入力するコーナーをパターンに分けて最大20のコーナーを登録することができます。

コーナーの表示名称・種類・コーナー本数・コーキング本数の設定を行います。

表示名称
任意に登録可能なコーナー名称
壁入力時に1文字目がボタン表示されます

種類 コーナー種類を登録
(出隅 Or 入隅 Or 木口)

コーナー本数
1本の入力に対して拾い出す
コーナーパネルの割付本数を
入力します

コーキング本数
1本の入力に対して拾い出す
コーナーコーキングの数量を
入力します

副資材のコーナー部では
この値を配置本数とします。

登録したコーナーパターン
ごとにタグに分かれて表示
されます

最大20パターンのコーナー
が登録可能です

<コーナー入力画面>
入力補助_コーナー用マスター画面で登録されたコーナー名称の始めの1文字が、コーナーの入力画面のボタンとして表示されています。

入力した名称の始めの1文字がボタン表示

3 開口入力マスターの設定

1. マスター設定画面の【立面】タグ・入力補助分類の【開口入力マスター】ボタンを選択（クリック）します。
2. 右記のような入力補助_開口用マスター画面が表示されます。
3. ここでは入力する開口をパターンに分けて最大20の開口を登録することができます。

開口の表示名称と同時取得部材設定を行います。

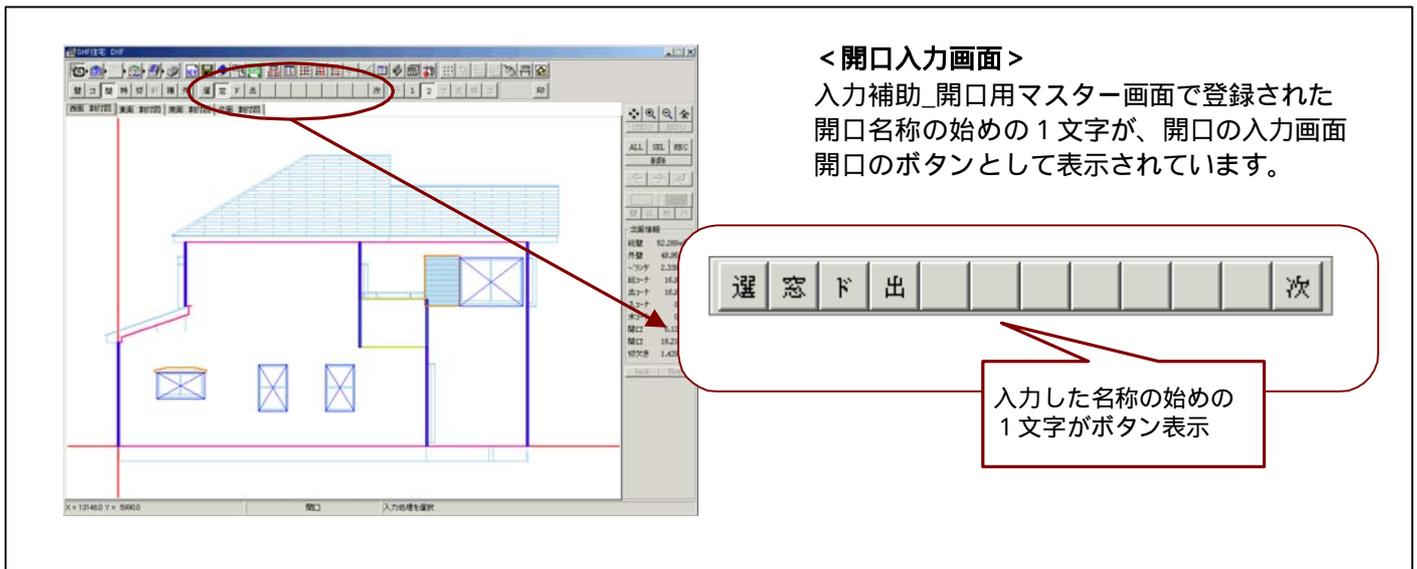
<同時取得部材>

壁と同様に、開口を入力すれば同時に拾い出しを行う副資材（コーナー・コーキング・防水テープ）の部材数を、開口の上下左右の位置に入力します。
右記の例では、開口の上下左右にコーキング・防水テープが各1本拾い出しされます。

登録した開口パターンごとに
タグに分かれて表示されます

最大20パターンの開口が
登録可能です

同時取得部材	上	下	左	右
コーナー	0	0	0	0
コーキング	1	1	1	1
防水テープ	1	1	1	1



4 副資材の設定

1. マスター設定画面の【立面】タグ・入力補助分類の【副資材】ボタンを選択（クリック）します。
2. 下記のような副資材設定画面が表示されます。
3. ここではそれぞれの副資材の自動拾い出しのOn/Offとその副資材のコーキングの自動拾い出しのOn/Offを設定します。それぞれチェックをつけると副資材入力の【全】処理（全立面自動処理）や【面】処理（表示面自動処理）の際に、自動で拾い出しを行います。
 固定部材・設定部材それぞれで3パターンの設定を行うことができます。

設定部材の自動拾い出し設定

部材名設定を行った副資材のそれぞれについて自動拾い出しとコーキングの自動拾い出しの設定を行います

固定部材の自動拾い出し設定

副資材固定部材のそれぞれについて自動拾い出しとコーキングの自動拾い出しの設定を行います

設定パターン パターン1 パターン2 パターン3

固定部材・設定部材それぞれについて3パターンづつ登録が可能です

	自動拾い出し		コーキング	
	自動拾い出し	コーキング	自動拾い出し	コーキング
水切	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
幕板	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
破風	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
入隅	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
軒天	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オーバーハング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
付柱	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
見切縁	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
中間水切	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バルコニー水切	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

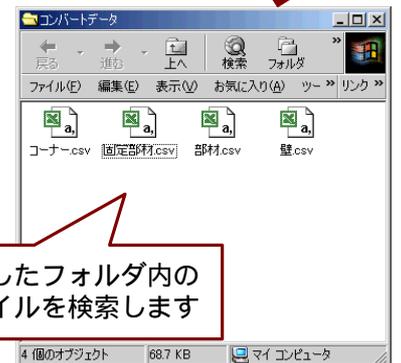
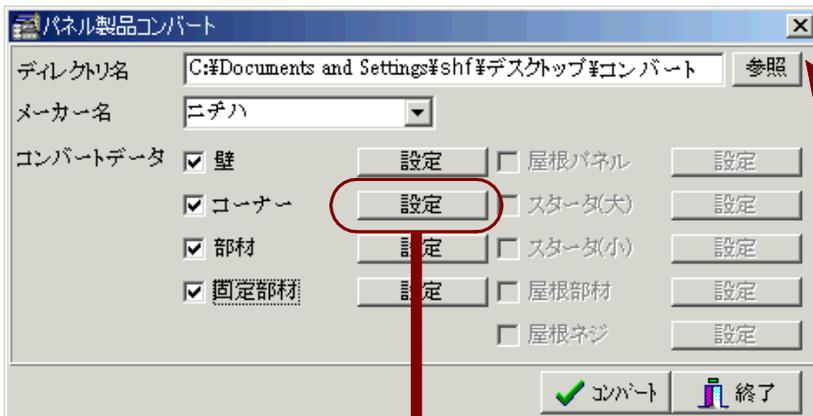
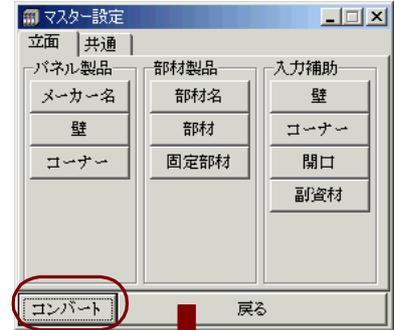
	自動拾い出し		コーキング	
	自動拾い出し	コーキング	自動拾い出し	コーキング
目地	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コーナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
版間	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
開口	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
切欠き	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

設定パターン パターン1 パターン2 パターン3

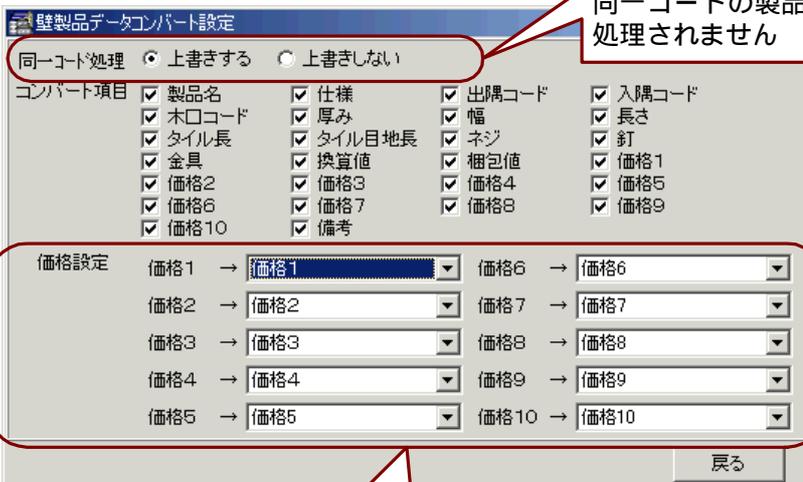
8-E データコンバート

C S Vファイル形式の外部データをS Dデザイナーの製品マスターへコンバートして取り込むことが出来ます。壁・コーナー・設定部材・固定部材について製品データのコンバートが可能です。

1. マスター設定画面の【コンバート】ボタンを選択 (クリック) します。
2. 右記のようなパネル製品コンバート画面が表示されます。
読み込みを行うC S Vファイルデータのフォルダを設定します。
3. 設定したフォルダ内にあるC S Vデータを検索しコンバートが可能な部材が表示されます。
(コンバートする為のC S Vファイル名称は次の通りでないといコンバートできません。
壁.csv・コーナー.csv・部材.csv・固定部材.csv)
4. コンバートするデータのメーカー名を選択し、コンバートする項目にチェックをいれます。
項目ごとの[設定]ボタンをクリックして、コンバートの詳細設定を行います。



指定したフォルダ内のファイルを検索します



上書きしない の設定の場合、同一コードの製品はコンバート処理されません

コンバート元の価格 から価格までを、マスターの価格設定に個々に引き当てることができます

< CSVファイルのデータ順 >

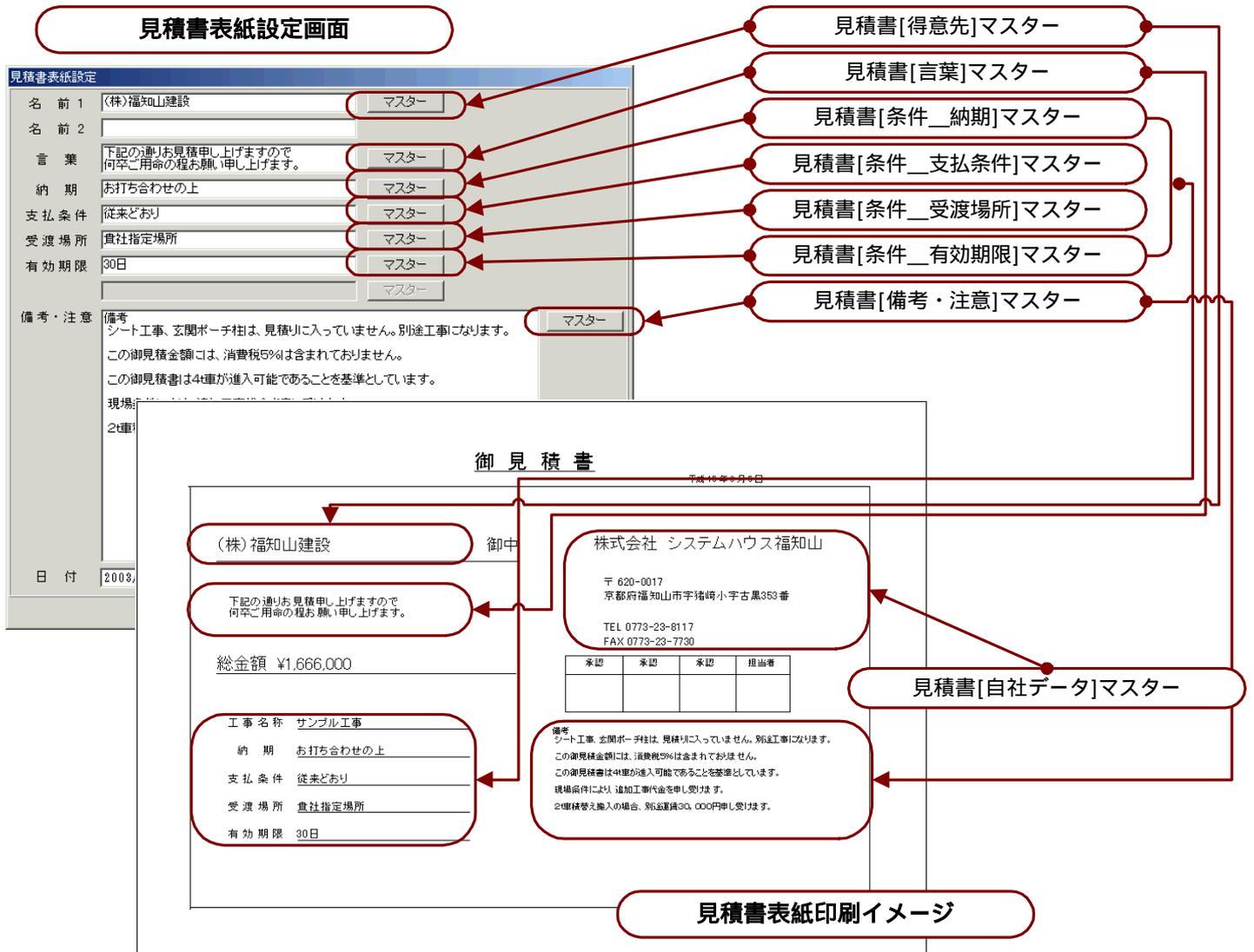
データコンバートを行うCSVファイルのデータの並び順は、それぞれ規定されています。
CSV変換でファイルに保存されるデータ並び順と同じとなります。

例えば<コーナー>のデータ並び順
コード・製品名・仕様・形状・厚み・幅
長さ・タイル長・タイル目地長・ネジ釘
金具・換算値・梱包値・価格1・価格2
価格3・価格4・価格5・価格6・価格7
価格8・価格9・価格10・備考

8-F 共通マスター設定（見積書）

見積書（表紙）に記載する情報のマスター登録を行います。

見積書表紙設定画面・見積書表紙印刷イメージとそれぞれのマスターとの関係は下記のようになっています。



1 自社データの登録・変更

1. マスター設定画面の【共通】タグ・見積書分類の【自社データ】ボタンを選択（クリック）します。
2. 右記のような見積書-自社データ画面が表示されます。
3. 自社の情報を登録・変更することができます。
社名1・社名2・郵便番号・住所1・住所2
TEL・FAX の各項目を入力して[登録]ボタンを選択（クリック）します。

見積書-自社データ

社名1 株式会社 システムハウス福知山

社名2 サイディング事業部

郵便番号 620-0017

住所1 京都府福知山市宇猪崎小字古黒363番

住所2 *****ビル

TEL 0773-23-8117

FAX 0773-23-7730

登録 キャンセル

2 得意先マスターの設定

1. マスター設定画面の【共通】タグ・見積書分類の【得意先】ボタンを選択（クリック）します。
2. 右記のような顧客マスター画面が表示されます。
3. 得意先の情報を登録・変更することができます。
顧客名・担当者・郵便番号・住所・電話番号
FAX番号 の各項目を入力して[登録]ボタンを選択（クリック）します。

見積書表紙には顧客名のみが印刷されます。

顧客名	担当者	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号
株式会社システムハウス福知山	***	620-0017	京都府福知山市字猪崎小字吉黒363番	0773-23-8117	0773-23-7730
株式会社システムハウス福知山 東京営業所	***	108-0073	東京都港区三田4-1-7 広栄ビル3F	03-6400-6940	03-6400-6941

3 見積書（言葉）の登録・変更

1. マスター設定画面の【共通】タグ・見積書分類の【言葉】ボタンを選択（クリック）します。
2. 右記のような見積書－言葉画面が表示されます。
3. 見積書表紙に印刷する慣用句などの言葉を登録・変更することができます。
1～5までの5パターンの言葉が登録可能です。

1 下記の通りお見積申し上げますので
何卒ご用命の程お願い申し上げます。

2

3

4

5

登録 キャンセル

4 見積書（備考・注意）の登録・変更

1. マスター設定画面の【共通】タグ・見積書分類の【備考・注意】ボタンを選択（クリック）します。
2. 右記のような見積書－備考・注意画面が表示されます。
3. 見積書表紙に印刷する備考・注意の語句を登録・変更することができます。
1～5までの5パターンの語句が登録可能です。

1	2	3	4	5
シート工事、玄関ポーチ柱は、見積りに入っていません。別途工事になります。 この御見積金額には、消費税5%は含まれておりません。 この御見積書は4車が入庫可能であることを基準としています。 現場条件により、追加工事代金を申し受けます。 2車積替え搬入の場合、別途運賃30,000円申し受けます。				

登録 キャンセル

5つのパターンはタグの切替で表示します

5 見積書（条件）の登録・変更

1. マスター設定画面の【共通】タグ・見積書分類の【条件】ボタンを選択（クリック）します。
2. 下記のような見積書一条件画面が表示されます。
3. 見積書表紙に印刷する[納期]・[支払条件]・[受渡場所]・[有効期限]の語句を登録・変更することができます。それぞれ1～5までの5～5までの5パターンの語句が登録可能です。

< 見積書（条件）納期 登録画面 >

< 見積書（条件）受渡場所 登録画面 >

< 見積書（条件）支払条件 登録画面 >

< 見積書（条件）有効期限 登録画面 >

6 見積書フォーマットの登録・変更

1. マスター設定画面の【共通】タグ・見積書分類の【フォーマット】ボタンを選択（クリック）します。
2. 下記のような見積書フォーマット設定画面が表示されます。
3. 見積書表紙のフォーマットを登録・変更することができます。白抜きとなった箇所はそれぞれ名称を変更することができます。（濃いグレイ部分は変更できません。）

日付記入 On/Off
日付の作図有無のチェックをいれます（日付は工事概要日付を引用します）

BMP添付 On/Off
BMPファイルの添付有無のチェックをいれます

印鑑欄作図 On/Off
印鑑欄の作図有無のチェックをいれます

BMPファイルの添付

見積書表紙の自社データ印刷部分に、会社ロゴなどの絵（**bmp形式ファイル**）を添付して印刷を行うことができます。

bmp形式ファイルのサイズは下記の通りです。

出力用紙 A4サイズ・・・115mm×27mm以下

出力用紙 B5サイズ・・・88mm×24mm以下

BMP添付にチェックを入れ、bmpファイルの場所を設定します。

ストレッチ On/Off

BMPファイル表示基点

ストレッチ On/Off

On (チェック入り) の場合、
表示可能なエリア全体に bmp ファイルを
拡大縮小して表示します。

御見積書 平成 15 年 8 月 5 日

御中

SHF
SYSTEM HOUSE FUKUCHIYAMA
株式会社システムハウス福知山

〒 620-0017
京都府福知山市宇猪崎小字古黒353番

TEL 0773-23-8117
FAX 0773-23-7730

承認	承認	承認	担当者

Off (チェック無し) の場合、
表示エリアの基点 (エリア左上) に bmp
ファイルの基点を合わせて、拡大縮小無し
でそのまま表示します。

御見積書 平成 15 年 8 月 5 日

御中

SHF
SYSTEM HOUSE FUKUCHIYAMA
株式会社システムハウス福知山

〒 620-0017
京都府福知山市宇猪崎小字古黒353番

TEL 0773-23-8117
FAX 0773-23-7730

承認	承認	承認	担当者

見積書フォーマットと条件項目

見積書表紙フォーマット画面の【条件】の項目の名称は、【条件】マスターの項目名（タグに表示される名称）とリンクしています。見積書フォーマット画面で名称を変更すると【条件】マスターの名称も変更されます。

また、【条件】マスターは合計5パターンの項目が登録可能です。

初期状態として登録されている[納期]・[支払条件]・[受渡場所]・[有効期限]に別途マスターを追加することができます。

8-G 共通マスター設定（出力帳票）

1 帳票グループ名の登録・変更

1. マスター設定画面の【共通】タグ・出力帳票分類の【グループ名】ボタンを選択（クリック）します。
2. 右記のような帳票グループ名設定画面が表示されます。
3. 帳票のグループ名称を登録・変更することができます。登録・変更したい番号欄にカーソルを合わせ名称入力を行い、[登録]ボタンを選択（クリック）します。10グループの帳票名称が可能です。

番号	名称	番号	名称
1	サイディング	6	取引 先6
2	取引 先2	7	取引 先7
3	取引 先3	8	取引 先8
4	取引 先4	9	取引 先9
5	取引 先5	10	取引 先10

内訳書の項目や価格、付加値などの異なる提出先ごとに帳票を設定（グループを設定）して利用することができます。

2 各帳票の登録・変更

1. マスター設定画面の【共通】タグ・出力帳票分類の【帳票】ボタンを選択（クリック）します。
2. 下記のような帳票設定画面が表示されます。
3. 各グループの帳票名称の登録・変更とそれぞれの帳票の内訳詳細を設定することができます。
4. 上記で登録した帳票グループがそれぞれタグに分かれて表示されています。まず、登録・変更するグループのタグを表示して、そのグループの帳票名称を入力します。10パターンの帳票が登録可能です。

登録したグループ名ごとにタグに分かれて表示されます

[見積書][原価明細書]など帳票の名称を登録・変更します

他のグループに登録された帳票をコピー

番号	名称	内訳	番号	名称	内訳
1	見積明細書	内訳	6		内訳
2	原価明細書	内訳	7		内訳
3		内訳	8		内訳
4		内訳	9		内訳
5		内訳	10		内訳

< 出力時の帳票名称表示 >

□ + 選択帳票名 + □

この部分が出力時の帳票名称の表示の設定になります。上記の設定の場合は右記のような名称表示となります。

選択帳票名（出力の際に選んだ帳票の名称）のみを表示したい場合は、前後の欄を空欄にして下さい。

福知山邸工事

【サイディング見積明細書】

名称	コード	寸法・仕様	数量	単位	単価
外壁サイディング	BR2T8G	AG-WALL 12J ベレーグセラベージュ	176	m	
同壁出隅	LEBR029T8G	AG-WALL 12J ベレーグセラベージュ	38	m	
長尺出隅	LEBR029DY	AG-WALL 12J NEW ベレーグセラベージュ	20	m	
断水シート			176	m	
ジョイナー	****	ハコ型ジョイナー	147	m	
コーキング	****	コーキング	266	m	
群夫	m		0	m	
柱帯			0	ヶ所	
出窓			0	ヶ所	
断材処理費			1	式	
運賃及び消費税			1	式	

帳票のコピー

他のグループに既に登録されている帳票をコピーして登録することができます。
新規に帳票を作成する場合などに利用できます。
(コピー機能を利用して帳票を登録し、そのコピーした帳票の詳細に修正を加えます。)

既に登録されている他のグループの帳票名称からコピーしたい帳票を選択して[OK]ボタンをクリックします

登録したい箇所にカーソルを合わせます。
(クリックします)

[コピー]ボタンをクリックします

帳票名称がコピーされます
(内訳内容も同時にコピーされます)

5. 各帳票の内訳内容を設定します。

設定する帳票の[内訳]ボタンを選択(クリック)します。

6. 下記のような内訳設定画面が表示されます。

帳票に表示する(帳票に印刷される)積算項目名称を入力し、その項目の種別・計算方法など拾いの条件を入力します。

設定する帳票の[内訳]ボタンを選択します

名称	寸法・仕様	種別
外壁サイディング		総壁パネル面積
同質出隅		各出隅コーナーパネルm
長尺出隅		各木口コーナーパネルm
		空白行
防水シート		総壁面積
入隅		各入隅m
土台水切		各水切m
幕板		各幕板m
破風		各破風m
中間水切		各中間水切m
バルコニー水切		各バルコニー水切m
オーバーハング		各オーバーハングm
見切縁		各見切縁m
付柱		各付柱m
ジョイナー		各目地m
ローキング		各ローキングm

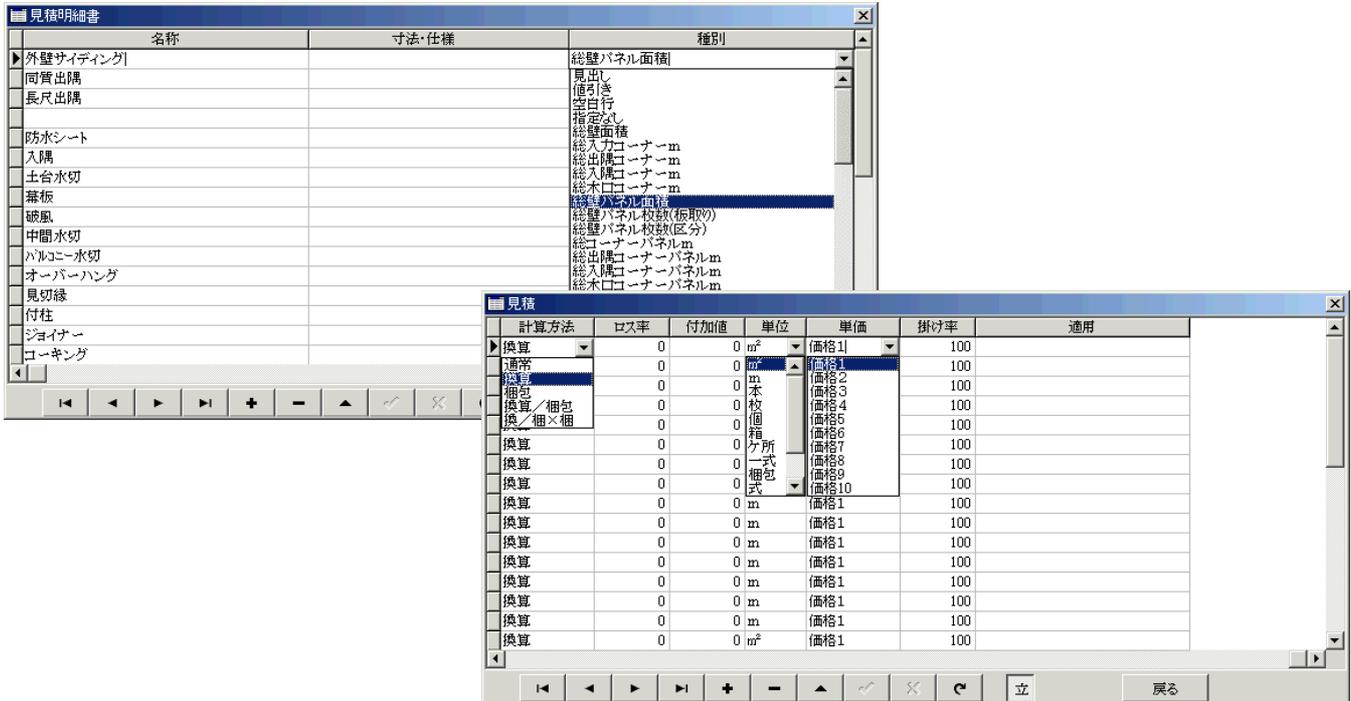
帳票に表示する積算項目名称を入力します

データの追加・削除などの操作はP8-2の壁パネルの登録・変更をご参照ください

帳票の内訳詳細

各帳票に表示する（印刷する）積算項目名称とその拾い条件を設定します。

<種別>・<計算方法>・<単位>・<単価>については、プルダウンメニューより選択して設定します。



帳票内訳項目

名称・・・積算項目名称（帳票に印刷されます）

寸法・仕様・・・積算する製品の寸法・仕様が表示される欄の為、通常は設定不要（入力が可能です）
（積算・印刷画面で製品マスターにより製品コードと連動表示されます）

種別・・・積算項目によって設定する拾い条件（プルダウンメニューから選択）

計算方法・・・積算結果をだすための計算方法（直接入力またはプルダウンメニューから選択）
選択する計算方法には次の5つの方法があります。

通常計算 換算値方式 梱包値方式 換算値/梱包方式 換算値/梱包×梱包方式

ロス率・・・見積の際の積算結果数量（実数量）に対する加減の割合値（単位 %）

$$\text{数量} = \text{実数量} \times [(\text{ロス率} + 100) / 100]$$

付加値・・・見積の際の積算結果数量（実数量）に対する加減の割合値（単位 %）

$$\text{数量} = \text{実数量} \times [(\text{ロ} \text{に対してする加減する実数} \quad \text{数量} = \text{実数量} + \text{付加値})$$

単位・・・積算項目の数量の単位（プルダウンメニューから選択）

（【単位】マスターに登録された単位が表示されます
参照 【マスター設定】 - 【共通】 - 【単位】 ）

単価・・・積算する製品の単価（直接入力またはプルダウンメニューから選択）

掛け率・・・見積の際の金額（数量×単価）に対する加減の割合値（単位 %）

適用・・・積算する製品の備考が表示される欄の為、通常は設定不要（入力が可能です）
（積算・印刷画面で製品マスターにより製品コードと連動表示されます）

種別 一覧

種別のプルダウンメニューに表示される拾い条件は次の通りです。

見出し	名称のみ印刷
値引き	値引値の設定（合計金額から減算）
空白行	空白行の設定
指定なし	任意に数値入力が可能（付加値と価格欄に入力）
総壁面積	入力した壁の総面積（開口・切欠部減）
総入力コーナーm	入力した全てのコーナーの総合計長さ（出隅・入隅・木口の総合計）
総出隅コーナーm	入力した全ての出隅コーナーの総合計長さ
総入隅コーナーm	入力した全ての入隅コーナーの総合計長さ
総木口コーナーm	入力した全ての木口コーナーの総合計長さ
総壁パネル面積	割付した全てのパネルの総面積（目地部除く）
総壁パネル枚数（板取り）	割付した全てのパネルの板取りした総枚数
総壁パネル枚数（区分）	割付した全てのパネルの区分取りした総枚数
総コーナーパネルm	割付した全てのコーナーパネルの総合計長さ（目地部除く）
総出隅コーナーパネルm	割付した全ての出隅コーナーパネルの総合計長さ（目地部除く）
総入隅コーナーパネルm	割付した全ての入隅コーナーパネルの総合計長さ（目地部除く）
総木口コーナーパネルm	割付した全ての木口コーナーパネルの総合計長さ（目地部除く）
総コーナーパネル枚数	割付した全てのコーナーパネルの総枚数（出隅・入隅・木口の総合計）
総出隅コーナーパネル枚数	割付した全ての出隅コーナーパネルの総枚数
総入隅コーナーパネル枚数	割付した全ての入隅コーナーパネルの総枚数
総木口コーナーパネル枚数	割付した全ての木口コーナーパネルの総枚数
各壁パネル面積	割付したパネル製品ごとの面積（目地部除く）
各壁パネル枚数（板取り）	割付したパネル製品ごとの板取りした枚数
各壁パネル枚数（区分）	割付したパネル製品ごとの区分取りした枚数
各出隅コーナーパネルm	割付した出隅コーナーパネル製品ごとの合計長さ（目地部除く）
各入隅コーナーパネルm	割付した入隅コーナーパネル製品ごとの合計長さ（目地部除く）
各木口コーナーパネルm	割付した木口コーナーパネル製品ごとの合計長さ（目地部除く）
各出隅コーナーパネル枚数	割付した出隅コーナーパネル製品ごとの枚数
各入隅コーナーパネル枚数	割付した入隅コーナーパネル製品ごとの枚数
各木口コーナーパネル枚数	割付した木口コーナーパネル製品ごとの枚数
留め付けネジ（板取り）	各コーナーパネル枚数と各壁パネル枚数（板取り）から計算されるネジの合計数
留め付けネジ（区分）	各コーナーパネル枚数と各壁パネル枚数（区分）から計算されるネジの合計数
留め付け釘（板取り）	各コーナーパネル枚数と各壁パネル枚数（板取り）から計算される釘の合計数
留め付け釘（区分）	各コーナーパネル枚数と各壁パネル枚数（区分）から計算される釘の合計数
留め付け金具（板取り）	各コーナーパネル枚数と各壁パネル枚数（板取り）から計算される金具の合計数
留め付け金具（区分）	各コーナーパネル枚数と各壁パネル枚数（区分）から計算される金具の合計数
開口m ²	入力した全ての開口部の総面積
防水テープm	入力開口部同時取得部材の防水テープの総合計長さ
総壁面積（減無）	入力した壁の総面積（開口・切欠部減無）
開口m(全)	入力した全ての開口部周囲の総合計長さ
開口m(上)	入力した全ての開口部上部の総合計長さ
開口m(下)	入力した全ての開口部下部の総合計長さ
開口m(左)	入力した全ての開口部左部の総合計長さ
開口m(右)	入力した全ての開口部右部の総合計長さ
総コーキングm	入力した全てのコーキングの総合計長さ
各コーキングm	入力したコーキング製品ごとの総合計長さ
総水切m	入力した全ての水切の総合計長さ
総*****m	入力した全ての*****の総合計長さ
各水切m	入力した水切の製品ごとの合計長さ
各*****m	入力した*****の製品ごとの合計長さ
総水切（コーキング）m	入力した水切のコーキングの総合計長さ
総*****（コーキング）m	入力した*****のコーキングの総合計長さ
各水切（コーキング）m	入力した水切のコーキングの製品ごとの合計長さ
各*****（コーキング）m	入力した*****のコーキングの製品ごとの合計長さ

副資材に関する種別項目

この部分は、登録された副資材によって異なります。
*****の部分に登録した副資材の名称がはいるります。

計算方法

プルダウンメニューに表示される計算方法には次の5つの方法があります。

通常（通常計算） 換算（換算値方式） 梱包（梱包値方式）
換算/梱包（換算値/梱包方式） 換/梱×梱（換算値/梱包×梱包方式）

通常計算

種別の設定により求められた数量に対しては計算を行いません。
数量に換算する際に、小数点以下切上げを行います。

換算値方式

種別の設定により求められた数量に対して、換算値で割り算を行います。
数量に換算する際に、小数点以下切上げを行います。

梱包値方式

種別の設定により求められた数量に対して、梱包値で割り算を行います。
数量に換算する際に、小数点以下切上げを行います。

梱包値/梱包方式

種別の設定により求められた数量に対して、換算値で割り算を行い、
さらにそれを梱包値で割り算を行います。
数量に換算する際に、小数点以下切上げを行います。

換算値/梱包×梱包方式

種別の設定により求められた数量に対して、換算値で割り算を行い、
さらにそれを梱包値で割り算を行います。
この結果値に対して小数点以下切上げを行います。
切上げを行った結果値に対して梱包値を掛け算します。

<換算値方式 計算例>

幅455 (mm) ・長さ3030 (mm)
換算値1.378 のパネル製品
各壁パネル割付面積の値が 126㎡ の場合

$$\begin{aligned} \text{実数量} &= 126 \div 1.378 \\ &= 91.4368 \dots \\ &= 91.43 \\ &\quad (\text{小数点第3位以下四捨五入}) \\ \text{数量} &= 92 \text{枚} (\text{小数点以下切り上げ}) \end{aligned}$$

<換算値/梱包方式 計算例>

換算値12 梱包値10 の留め付け金具
留め付け金具(板取り)の値が 1029 の場合

$$\begin{aligned} \text{実数量} &= 1029 \div 12 \div 10 \\ &= 8.57 \\ &\quad (\text{小数点第3位以下四捨五入}) \\ \text{数量} &= 9 \text{箱} (\text{小数点以下切り上げ}) \end{aligned}$$

<換算値/梱包×梱包方式 計算例>

換算値12 梱包値10 の留め付け金具
留め付け金具(板取り)の値が 1029 の場合

$$\begin{aligned} & (1029 \div 12 \div 10) \text{ に対して} \\ & \text{小数点以下切り上げ} = 9 \\ \text{実数量} &= 9 \times 10 \\ &= 90 \text{本} \end{aligned}$$

換算値計算機能

計算方法の欄に直接数値を入力することが可能です。

この場合、種別の設定により求められた数量に対して、**入力した数値で割り算**を行います。
(入力した数値を換算値として考えます。)

例えば、

防水シート w = 100mm L = 100m 1巻/1梱
総壁面積 の値が175.82 の場合

換算値として 100 (1m × 100m = 100) を計算方法欄に入力します

$$\begin{aligned} \text{実数量} &= 175.82 \div 100 \\ &= 1.7582 \\ &= 1.76 (\text{小数点第三位以下四捨五入}) \\ \text{数量} &= 2 \text{巻} (\text{小数点以下切り上げ}) \end{aligned}$$

単 価

【価格】マスターに登録された価格名称がプルダウンメニューで表示されます。
指示した価格名称欄の価格を製品マスターから引き当てて表示します。
直接単価の値を入力することも可能です。(参照 【マスター設定】 - 【共通】 - 【価格】)

見積明細書					
計算方法	ロス率	付加値	単位	単価	掛け率
▶換算	0	0	m ²	価格1	100
換算	0	0	m	価格1	100
換算	0	0	m	価格2	100
通常	0	0		価格3	100
通常	0	0	m ²	価格4	100
換算	0	0	m	価格5	
換算	0	0	m	価格6	
換算	0	0	m	価格7	
換算	0	0	m	価格8	
換算	0	0	m	価格9	
換算	0	0	m	価格10	

金具	換算値	梱包値	価格1	価格2	価格3
2	0.1	5	1460	14588	0
2	0.1	5	1460	14588	0
2	0.1	5	1460	14588	0
2	0.1	5	1460	14588	0
2	0.1	5	1200	11989	0
2	0.1	5	1200	11989	0
0	1.458	8	5480	3763	0
0	1.458	8	5480	3763	0

3 単位の登録・変更

1. マスター設定画面の【共通】タグ・出力帳票分類の【単位】ボタンを選択(クリック)します。
2. 右記のような単位マスター画面が表示されます。
3. 製品の単位の登録・変更を設定することができます。
20種の単位を登録することが可能です。

4 内訳書フォーマットの登録・変更

1. マスター設定画面の【共通】タグ・出力帳票分類の【フォーマット】ボタンを選択(クリック)します。
2. 右記のような内訳書フォーマット設定画面が表示されます。
3. B5用・A4用それぞれの内訳書の列の見出し項目の登録・変更を設定することができます。

フォーマット設定

内訳書フォーマット設定画面の左側の項目名から選択（マウスでクリックすると項目名称青変します）し、[追加]ボタンをクリックすると画面右側の一番最後に選択した項目名が追加されます。

画面右側の項目が印刷時の設定フォーマットとなります。

B5・A4のそれぞれの合計サイズが定められており、合計サイズが上限になった場合は項目の追加はできません。
 （上限合計サイズ B5・・・146 A4・・・161）

右側に表示された項目とサイズに従って内訳書が印刷されます

サンプル工事

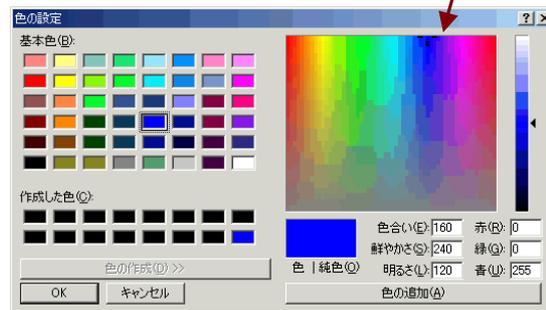
【見積明細書】

名称	コード	寸法・仕様	数量	単位	単価	金額	適用
外壁サイディング	EY44155	モエンエクセラード16・ミラー・シリーズⅡ・ノベルス	147	枚	¥5,800	¥852,600	
同窓出隅	JEY44155	モエンエクセラード16・ミラー・シリーズⅡ・ノベルス	79	本	¥2,600	¥206,400	
長尺出隅	JET40121	モエンエクセラード16・角部透明 シルバーストーンングレ	7	本	¥2,600	¥18,200	

8-14 共通マスター設定(その他)

1 製品色マスターの登録・変更

1. マスター設定画面の【共通】タグ・その他分類の【製品色】ボタンを選択(クリック)します。
2. 右記のような製品パネル色マスター画面が表示されます。
3. パネル製品の製品マスターの設定の中の<製品色>の名称とその色を登録・変更することができます。名前欄に名称を登録し色設定をおこない、[追加]ボタンを選択します。既登録の色マスターを変更する場合は、変更設定の後[変更]ボタンを選択します。



色画面をダブルクリック



パネル設定色で描画
割付画面のパネル表示切替

参照 P4-3

2 価格名の登録・変更

1. マスター設定画面の【共通】タグ・その他分類の【価格名】ボタンを選択(クリック)します。
2. 右記のような価格名設定マスター画面が表示されます。
3. 製品マスターの設定の中の<価格名>の名称を登録・変更することができます。



梱包値	見積価格	原価	仕入価格	価格4
5	1460	14586	0	0
5	1460	14586	0	0
5	1460	14586	0	0
5	1460	14586	0	0

3 寸法値の登録・変更

1. マスター設定画面の【共通】タグ・その他分類の【寸法】ボタンを選択(クリック)します。
2. 右記のような寸法値設定画面が表示されます。
3. W寸法・H寸法は壁や開口入力時の1点入力に、L寸法は副資材などの寸法値入力に利用可能です。よく利用する数値を登録します。



1点入力について
(参照 壁入力 P3-14)

よく利用する
数値を入力します

サインレンガ

SD デザイナー

環境設定

STEP 9

9-A 環境設定概要

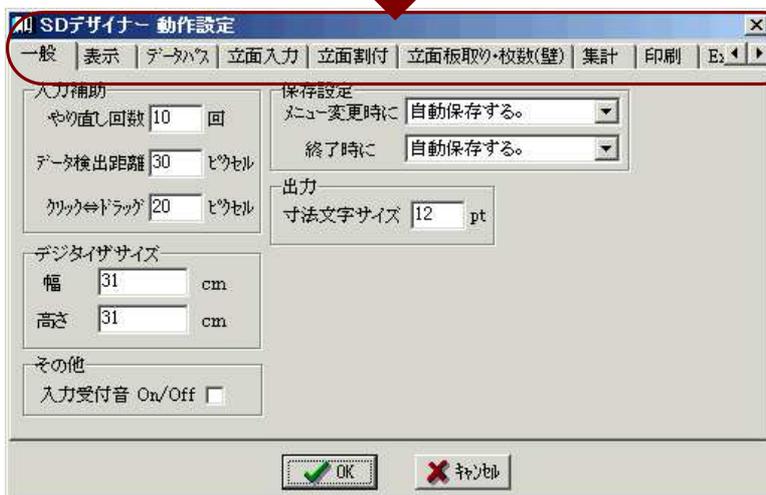
□ SDデザイナーの環境設定は、大きく動作環境設定部・立面環境設定部・印刷環境設定部・その他設定部に分かれています。それぞれの概要は下記の通りです。

- <動作環境> 一般・・・入力・データ保存等に関する設定
表示・・・表示色・メニューリスト位置等に関する設定
データパス・・・データ・マスター等の保存先パスに関する設定
- <立面環境> 立面入力・・・立面入力補助値初期値・作成立面初期値等に関する設定
立面割付・・・最小パネル・有効目地等に関する設定
立面板取り・枚数・・・板取り・区分取り等に関する設定
集計・・・減算面積に関する設定
- <印刷環境> 印刷・・・立面印刷・帳票印刷等に関する設定
- <その他> Ex_HOMES設定・・・Ex_HOMESデータ読み込みに関する設定
実測君設定・・・実測くんデータ読み込みに関する設定
システム情報・・・ユーザー情報・製品情報・更新情報

1 環境設定画面



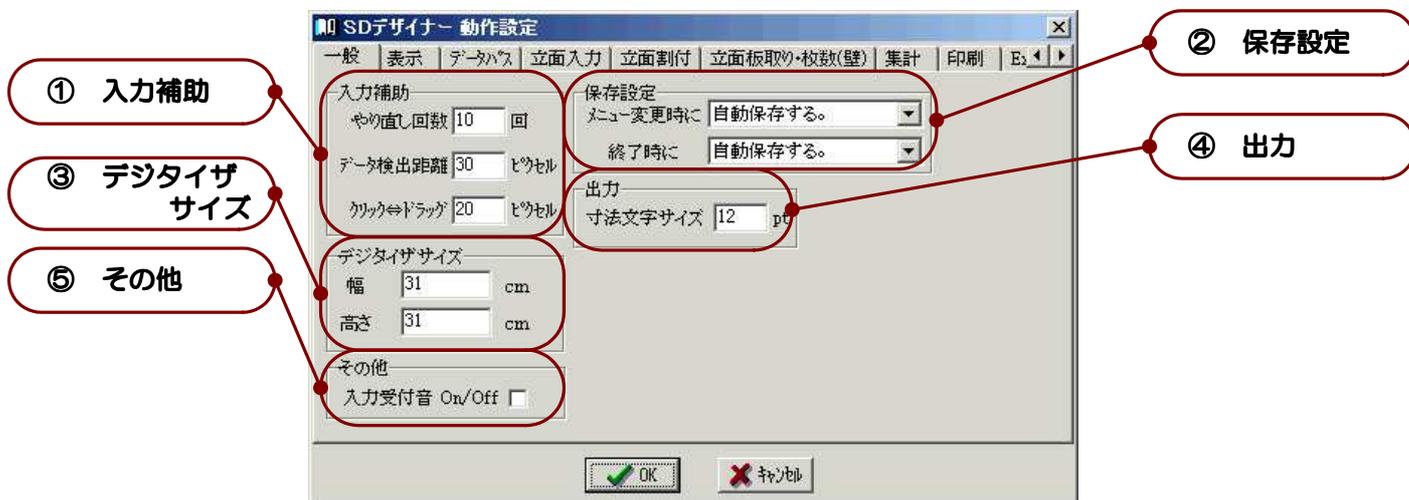
1. SDデザイナー メインメニューから【環境】ボタンをクリックします。
(立面入力画面・割付画面等の[環境設定]ボタンからでも環境設定画面を表示することができます。)
2. 下記のような動作設定画面が表示されます。



それぞれの環境設定分類がタグに分かれて表示されます

1 一般設定

1. 環境設定画面の【一般】タグを選択（クリック）して表示します。
2. 下記のような動作設定（一般）画面が表示されます。



① 入力補助

＜データ検出距離＞・＜クリック⇔ドラッグ＞の設定は通常変更する必要はありません

入力補助

やり直し回数 8 回

データ検出距離 30 ピッチ

クリック⇔ドラッグ 20 ピッチ

＜やり直し回数＞

立面入力や割付などの処理のやり直し回数の設定
(UNDO・REDOが可能な回数)

＜データ検出距離＞

マウスで指示（クリック）した際に読み取りが可能な距離の設定

＜クリック⇔ドラッグ＞

クリックかドラッグかを判断する距離の設定

② 保存設定

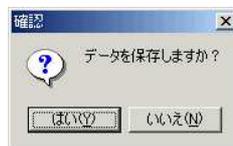
保存設定

メニュー変更時に 自動保存する。

終了時に 自動保存する。

＜メニュー変更時＞＜終了時＞ それぞれのデータ保存の設定
自動保存する・・・メニュー変更時・システム終了時に自動的にデータ保存を行います。

毎回選択する・・・メニュー変更時・システム終了時に、その都度下記の確認画面を表示してデータ保存の有無を選択します。



自動保存する・・・メニュー変更時・システム終了時にデータ保存を行いません。

③ デジタイザサイズ

デジタイザサイズ

幅 31 cm

高さ 31 cm

使用デジタイザの読取り可能サイズの設定

＜幅＞ デジタイザの検出幅を入力

＜高さ＞ デジタイザの検出高さを入力

(ご使用のデジタイザの取扱いマニュアルをご参照ください)

④ 出力



<寸法文字サイズ>

立面図の寸法値のサイズの設定

⑤ その他

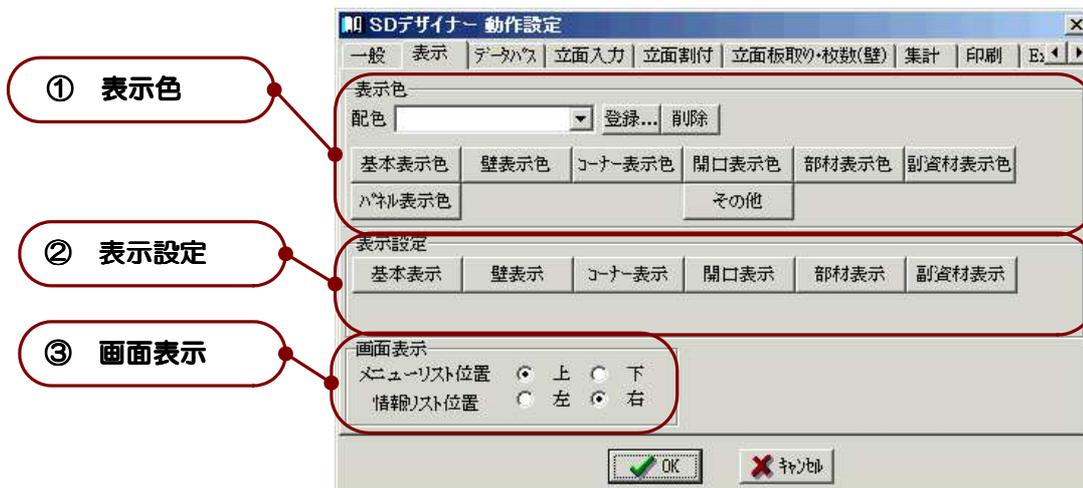


<入力受付音 On/Off>

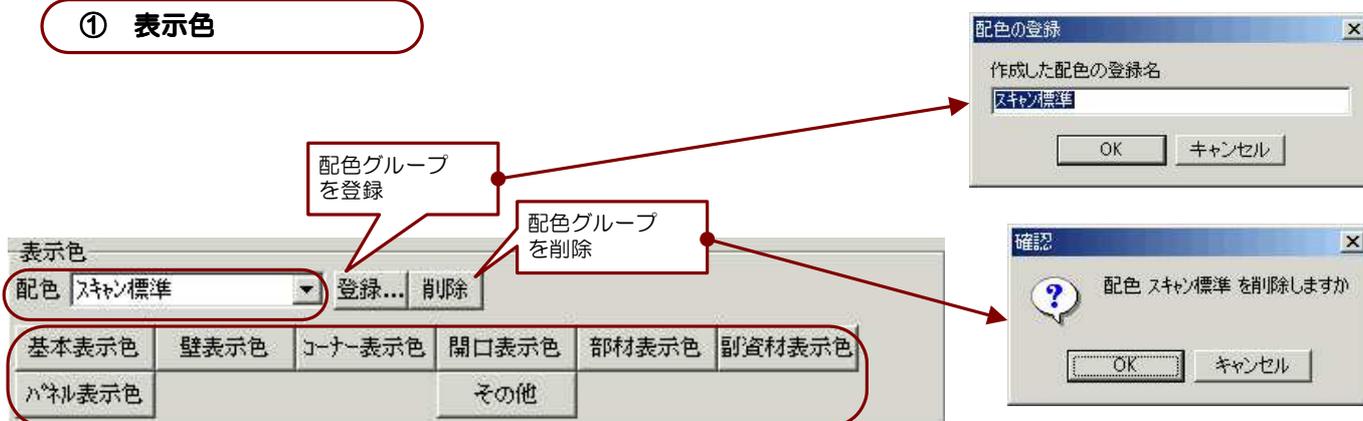
クリック時の音の有無の設定

2 表示設定

1. 環境設定画面の【表示】タグを選択（クリック）して表示します。
2. 下記のような**動作設定（表示）**画面が表示されます。



① 表示色



画面内での部材・部位などの描画色を設定します。

それぞれの配色を設定し、ひとつのグループとして名前を付けて登録することができます。

[登録]ボタンで配色のグループの登録、[削除]ボタンで配色のグループの削除を行うことができます。

<基本表示色>

基準線・入力補助項目などの表示色設定



色にカーソルをあわせ
ダブルクリック



色の設定画面が表示されます

<壁表示色>

壁種類ごとの表示色設定



<コーナー表示色>

コーナー種類ごとの表示色設定



<開口表示色>

開口種類ごとの表示色設定



<部材表示色>

部材種類ごとの表示色設定



<副資材表示色>

副資材部位ごとの表示色設定



<パネル表示色>

区分・種類ごとのパネル表示色設定



<その他表示色>

切欠・補助線・割付目地の表示色設定



② 表示設定

表示設定

基本表示 壁表示 コーナー表示 開口表示 部材表示 副資材表示

画面内での入力部位・部材などの表示有無とその寸法の表示有無の設定をします。
表示するものにチェックをつけます。

(※ 副資材は寸法表示しませんので寸法チェックがありません)

<壁表示>

壁種類ごとの表示設定



<基本表示>

区分・種類ごとのパネル表示設定



<コーナー表示>

コーナー種類ごとの表示設定



<開口表示>

開口種類ごとの表示設定



<部材表示>

部材種類ごとの表示設定



<副資材表示>

副資材部位ごとの表示設定



③ 画面表示

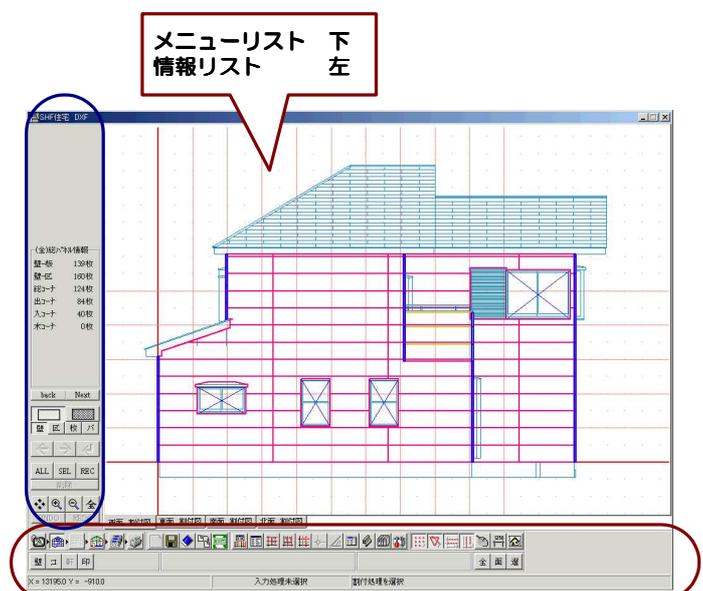
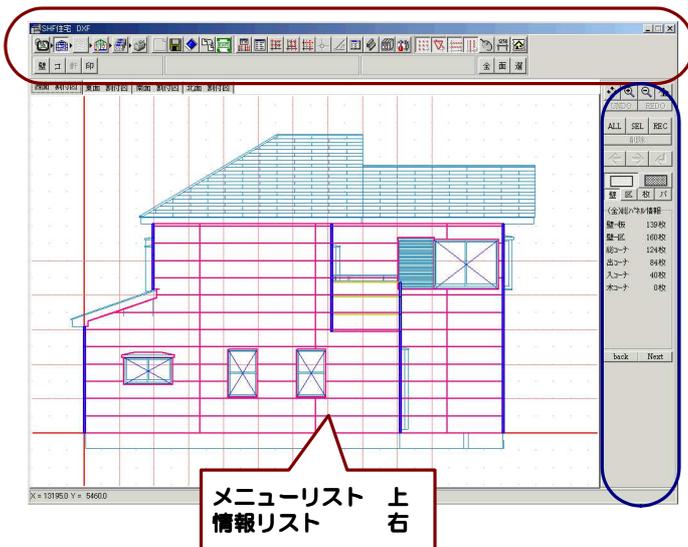


<メニューリスト位置>

メニューリストの位置設定 (上 or 下)

<情報リスト位置>

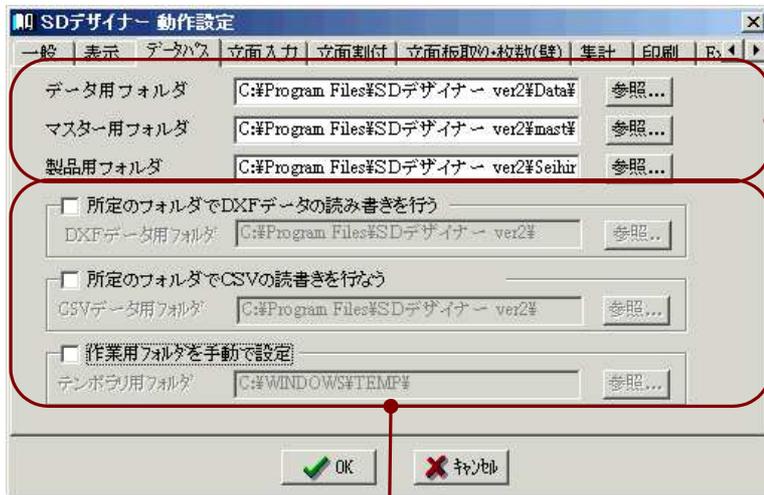
情報リストの位置設定 (左 or 右)



3 データパス設定

1. 環境設定画面の【データパス】タブを選択（クリック）して表示します。
2. 下記のような動作設定（データパス）画面が表示されます。

＜マスター用フォルダ＞・＜製品用フォルダ＞の設定は通常変更する必要はありません



＜データ用フォルダ＞
物件データの保存先フォルダを設定

＜マスター用フォルダ＞
マスター設定の保存先フォルダを設定
（※ 通常はプログラムインストール場所に設定されています。
基本的に変更は行いません！！）

＜製品用フォルダ＞
製品マスターデータの保存先フォルダを設定
（※ 通常はプログラムインストール場所に設定されています。
基本的に変更は行いません！！）

通常は、入力できない状態になっています。

DXFデータ用フォルダ・CSVデータ用フォルダ・作業用フォルダ（テンポラリ用フォルダ）を指定して利用する場合それぞれの項目にチェックをいれると、フォルダ指定が可能になります。

- ＜DXFデータ用フォルダ＞ DXFデータを読み書きするフォルダを設定
- ＜CSVデータ用フォルダ＞ CSVデータを読み書きするフォルダを設定
- ＜テンポラリ用フォルダ＞ システム稼動に必要なテンポラリフォルダを設定

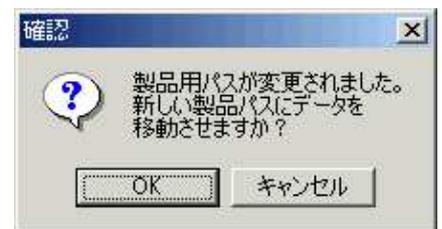
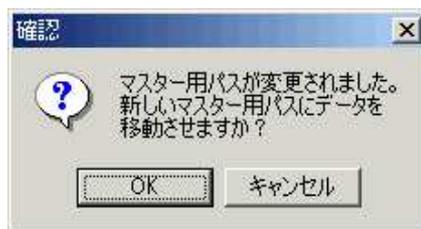
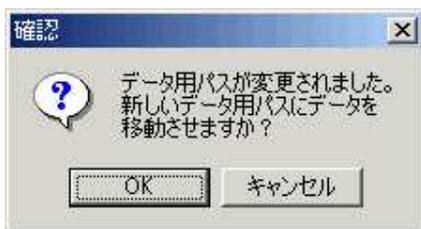
データパスの変更

動作設定（データパス）画面で＜データ用フォルダ＞・＜マスター用フォルダ＞・＜製品用フォルダ＞の変更を行った場合、それぞれ下記のような確認画面が表示されます。

[OK]ボタンを選択（クリック）すると、もとのフォルダ内のファイルが全て変更した新しいフォルダ内に移動します。[キャンセル]ボタンを選択するとファイルの移動は行われません。

※ 注意

データパスの変更が正確に行われない場合、システムが動作しなくなる恐れがあります。
パスの変更を行う場合は、十分に注意して処理を行ってください。



1 立面入力設定

1. 環境設定画面の【立面入力】タブを選択（クリック）して表示します。
2. 下記のような**動作設定（立面入力）**画面が表示されます。
データ入力時の各初期値を設定します。



① 入力補助



物件データごとに設定する入力補助機能の初期値設定

＜縦縮尺＞ 立面の縦方向縮尺

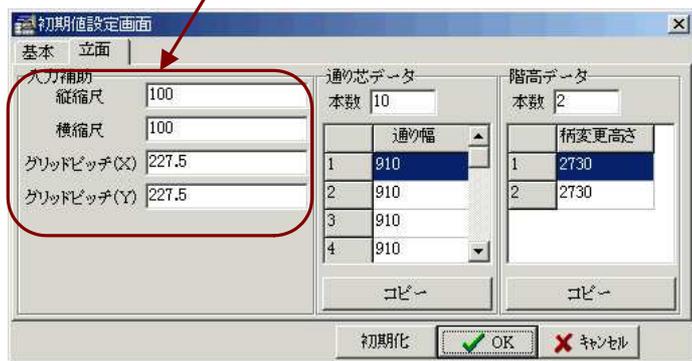
＜横縮尺＞ 立面の横方向縮尺

（縦横縮尺については、デジタイザ使用の入力の場合のみ必要）

＜グリッドピッチ（X）＞ グリッドの横方向の間隔（ピッチ）

＜グリッドピッチ（Y）＞ グリッドの縦方向の間隔（ピッチ）

（※ 参照 入力補助 【物件選択】 P2-2 ）



環境設定で設定した入力補助の値は、新規データの
＜初期値設定画面＞に反映されます

② 立面自動作成



＜立面自動作成＞

チェックをいれると、新規データ入力時に自動で設定した
立面を作成します。

下記欄に自動作成する立面名を入力します。

自動作成立面の
追加可能です

③ 物件データ

物件データ

通り芯

柄変更高さ

使用部材選択

物件データごとに設定する<通り芯>・<柄変更高さ>・<使用部材選択>の初期値設定
<通り芯> 各立面共通の横方向の目安となるライン（通り芯）の初期値を設定
 本数と間隔（通り幅）を設定します。間隔の入力はコピー機能を利用できます。
 （※ 参照 入力補助 【物件選択】 P2-2~2-3 ）

通り幅
1
2
3

本数: 10

通り幅: 910, 910, 910

Buttons: OK, キャンセル

<柄変更高さ> 各立面共通の高さ方向の目安となるライン（柄変更高さ）の初期値を設定
 本数と間隔（柄変更高さ）を設定します。
 間隔の入力はコピー機能を利用できます。
 （※ 参照 入力補助 【物件選択】 P2-2~2-3 ）

柄変更高さ
1
2

本数: 2

柄変更高さ: 2730, 2730

Buttons: OK, キャンセル

初期値設定画面

基本 立面

入力補助
 縦縮尺: 100
 横縮尺: 100
 グリッドピッチ(X): 227.5
 グリッドピッチ(Y): 227.5

通り芯データ
 本数: 10
 通り幅: 910, 910, 910, 910

階高データ
 本数: 2
 柄変更高さ: 2730, 2730

Buttons: 初期化, OK, キャンセル

環境設定で設定した通り芯・柄変更高さの値は、
 新規データの<初期値設定画面>に反映されます

<使用部材選択> 使用する部材・固定部材製品の初期値を設定
 製品マスターからマスター参照でそれぞれの製品コードを入力します。
 直接製品のコードを入力することも可能です。
 （※ 参照 入力補助 【物件選択】 P2-3~2-4 ）

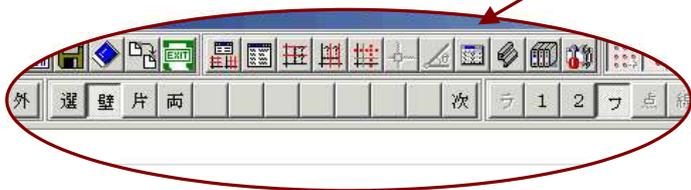
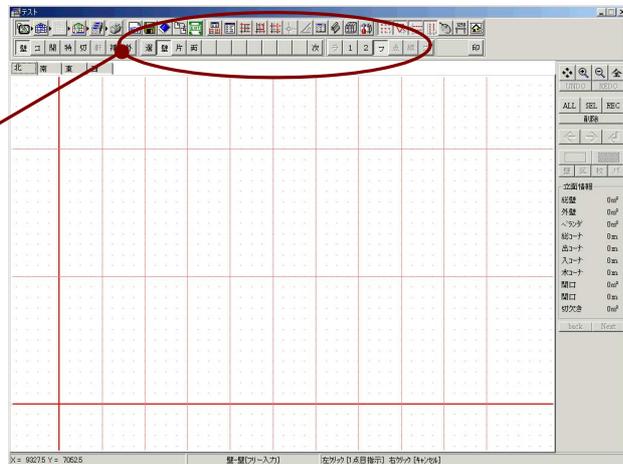
部材名	製品名	製品コード	コーキングコード
水切	土台水切	JF1288E マスター参照	VSL300SE マスター参照
幕板	ニチハ	JA3300 マスター参照	VSL300SE マスター参照
破風	ニチハ	JA3200 マスター参照	VSL300SE マスター参照
入隅	入隅捨て水切り	WBEZ902 マスター参照	VSL300SE マスター参照
軒天	軒天	**** マスター参照	**** マスター参照
オーバーハング	オーバーハング	**** マスター参照	**** マスター参照
付柱	付柱	**** マスター参照	**** マスター参照
見切縁	見切縁	**** マスター参照	**** マスター参照
中間水切	中間水切	**** マスター参照	**** マスター参照
バルコニー水切	バルコニー水切	**** マスター参照	**** マスター参照

Buttons: OK, キャンセル

④ 初期入力方法



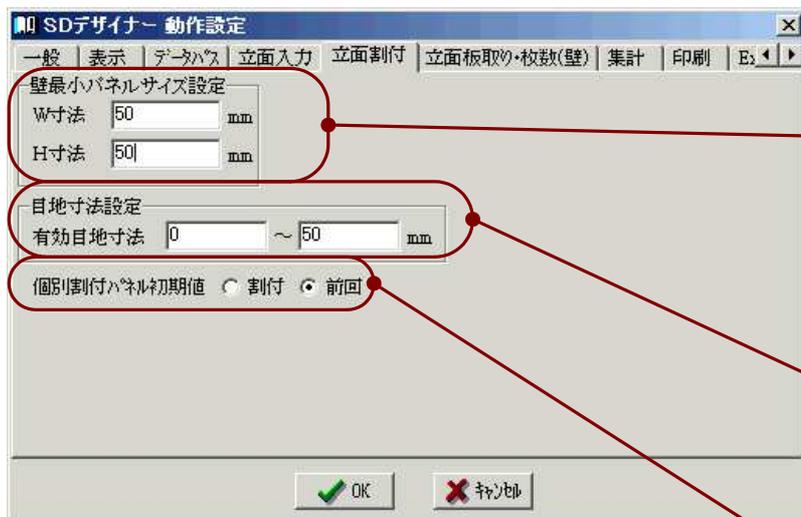
立面入力時、壁・コーナー・開口・切欠き・補助線のそれぞれの入力の入力方法の初期値設定
よく利用する入力方法を設定しておきます



例えば、壁の初期値設定を<フリー入力>とした場合、
上記のように立面の壁入力画面を開いた時点で、フリー
入力がすぐに行える状態になっています。

2 立面割付設定

1. 環境設定画面の【立面割付】タグを選択（クリック）して表示します。
2. 下記のような**動作設定（立面割付）**画面が表示されます。



<最小パネルサイズ設定>

割付時に**エラーサイズパネル（割付画面で★印表示）**となるパネルのサイズ設定
ここで設定したW寸法・H寸法より割付パネル
が小さい場合、エラーサイズパネルとなります
(W寸法・H寸法のどちらか一方があてはまると
エラーとなります)

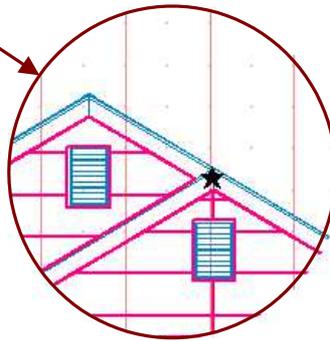
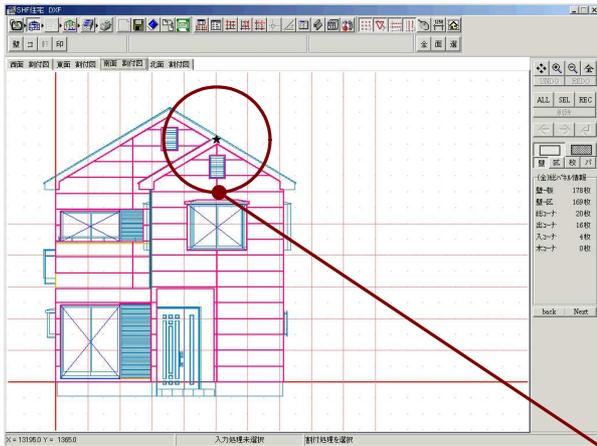
<目地寸法設定（有効目地寸法）>

副資材の目地として自動拾いする目地幅の
範囲

<個別割付パネル初期値>

壁の個別割付けの際の、パネル割付設定画面
の表示の設定

★エラーサイズパネル★



パネル割付でエラーサイズパネルとなる条件

最小パネルサイズW寸法 > 割付結果W寸法
 パネル製品定尺W寸法 < 割付結果W寸法

最小パネルサイズH寸法 > 割付結果H寸法
 パネル製品定尺H寸法 < 割付結果H寸法

上記のどれか一つにでも当てはまる場合
 エラーサイズパネルとして★印表示します

個別割付パネル初期値

個々の壁の割付けの際、パネル割付設定画面の表示の設定
 (※ 参照 個々の壁の割付 【割付】 P4-14)

割付・・・個々の壁の割付けの際、パネル割付設定画面に
 割付を行う壁の割付情報を表示

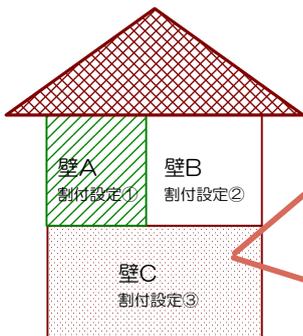
前回・・・個々の壁の割付けの際、パネル割付設定画面に
直前の割付処理の割付情報を表示
 (割付を行う壁に限らず、壁や面のどれかに対して
 行われた割付処理の割付情報が表示されます)

例えば

下記のような壁A (割付設定①) ・壁B (割付設定②) ・壁C (割付設定③) で、
 壁Bの割付設定②を①に変更した後、壁Cの割付設定を変更する場合



＜パネル割付設定画面＞



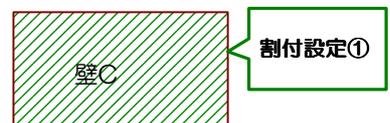
個別割付パネル初期値 <割付>の場合

壁Cの＜パネル割付設定画面＞を開いた時、
 表示される割付設定は割付設定③



個別割付パネル初期値 <前回>の場合

壁Cの＜パネル割付設定画面＞を開いた時、
 表示される割付設定は割付設定①



3 立面板取り・枚数設定

1. 環境設定画面の【立面板取り・枚数（壁）】タグを選択（クリック）して表示します。
2. 下記のような**動作設定（立面板取り・枚数）**画面が表示されます。

<エラーサイズパネル>

エラーサイズパネル（割付画面で★印表示）の集計有無（枚数計算するかしないか）の設定
 （※参照 エラーサイズパネル P9-10）

<区分設定>

区分取りの設定を選択入力
 （※参照 板取りと区分取り P4-40）

番号付け条件

<板取り処理自動更新>

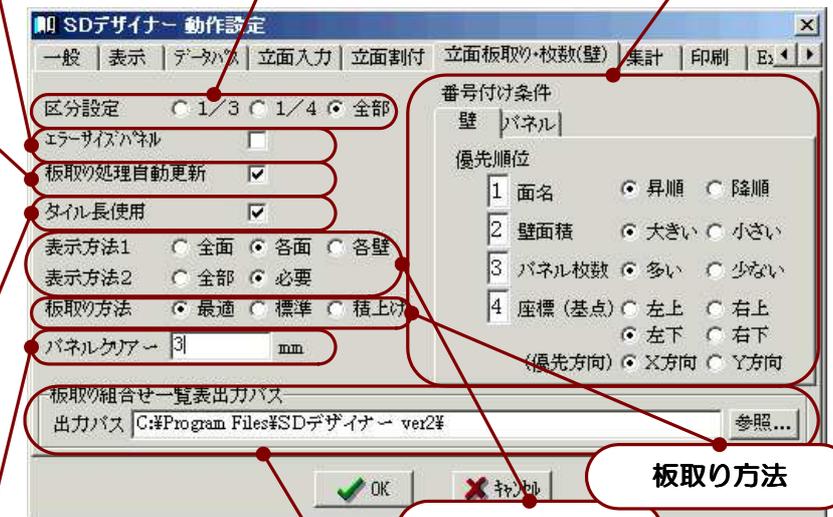
板取りの自動更新処理の有無の設定
 （チェックをはずすと割付時に取回しを行いません）

<タイル長使用>

柄入りパネルの板取りにタイル長の値引用の有無
 （※参照 板取りと区分取り P4-40）
注意！
 製品マスターのタイル長に値が入力されていない場合は引用しません

<パネルクリアー>

1カットに必要なパネルの切しろの値（板取りに利用）



<板取り組み合わせ一覧表出力パス>

板取り組み合わせ一覧表のCSVファイルの保存先の初期値フォルダを設定
 （※参照 板取り組み合わせ一覧表出力 P7-11）

番号付け条件

壁とパネルの番号付け優先順位の設定

壁・・・ 面名・壁面積・パネル枚数・座標のそれぞれの番号付けの際の優先順位を設定します。
 （立面番号に影響します）

パネル・・・座標の番号付けの際の優先順位を設定します
 （取合番号に影響します）

順位番号を入力します

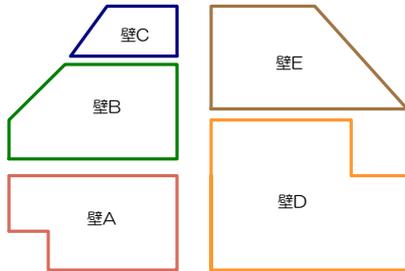


座標の考え方

壁・パネルの座標（基点）及び優先方向については、下記のような考え方を行います

例えば、

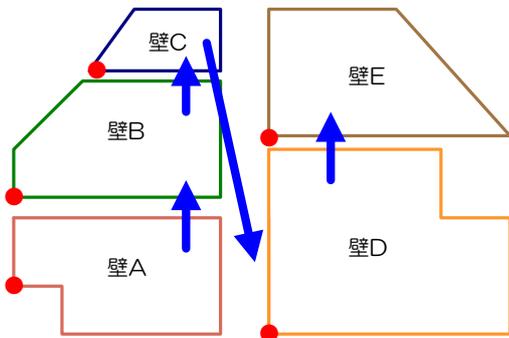
下記のような壁A～Eについて



番号付け条件	
壁	パネル
優先順位	
1 面名	<input type="radio"/> 昇順 <input type="radio"/> 降順
2 壁面積	<input type="radio"/> 大きい <input type="radio"/> 小さい
3 パネル枚数	<input type="radio"/> 多い <input type="radio"/> 少ない
4 座標（基点）	<input type="radio"/> 左上 <input type="radio"/> 右上 <input type="radio"/> 左下 <input type="radio"/> 右下 (優先方向) <input checked="" type="radio"/> X方向 <input type="radio"/> Y方向

番号付け条件	
壁	パネル
座標（基点）	
<input type="radio"/> 左上	<input type="radio"/> 右上
<input type="radio"/> 左下	<input type="radio"/> 右下
(優先方向)	
<input checked="" type="radio"/> X方向	<input type="radio"/> Y方向

<基点座標 左下・優先方向 X方向の場合>

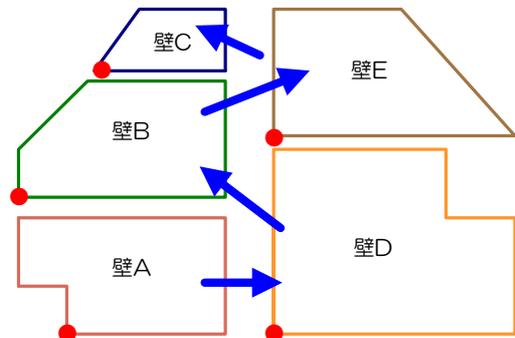


それぞれの壁の基点は ●印

壁A～Eの順番は

①壁A ②壁B ③壁C ④壁D ⑤壁E

<基点座標 左下・優先方向 Y方向の場合>

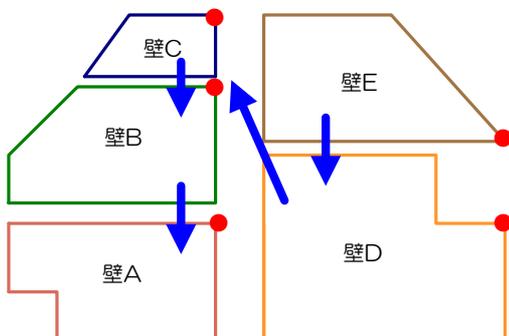


それぞれの壁の基点は ●印

壁A～Eの順番は

①壁A ②壁D ③壁B ④壁E ⑤壁C

<基点座標 右上・優先方向 X方向の場合>

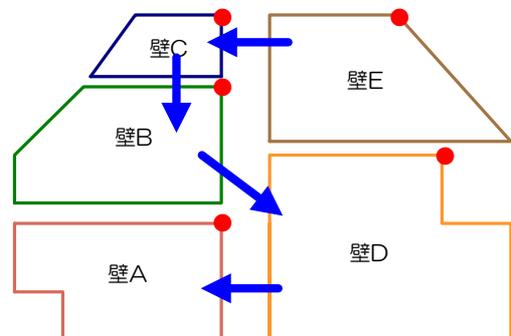


それぞれの壁の基点は ●印

壁A～Eの順番は

①壁E ②壁D ③壁C ④壁B ⑤壁A

<基点座標 右上・優先方向 Y方向の場合>



それぞれの壁の基点は ●印

壁A～Eの順番は

①壁E ②壁C ③壁B ④壁D ⑤壁A

表示方法1

板の取回しを行う範囲を設定

全面・・・全立面を考慮して板の取合いをおこないます（取回しを行う範囲を全立面とします）

各面・・・各立面ごとに板の取合いをおこないます（取回しを行う範囲をそれぞれの立面とします）

各壁・・・各壁ごとに板の取合いをおこないます（取回しを行う範囲をそれぞれの壁とします）

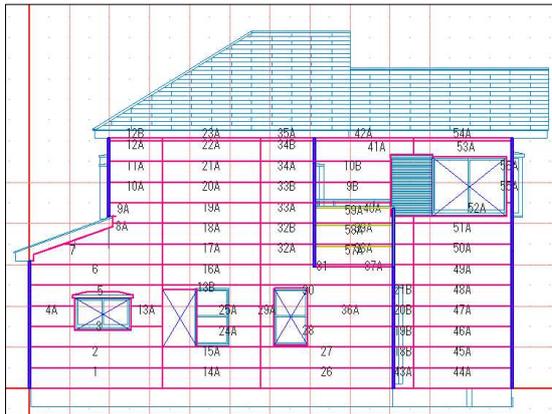
表示方法2

板取番号の表示設定

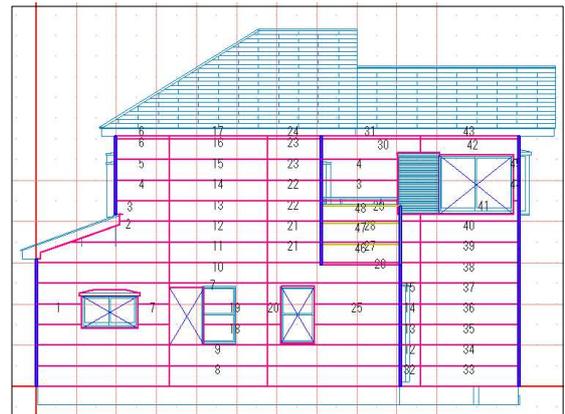
全部・・・割付図の全てのパネルに番号をふり、表示します。（取合番号はアルファベットになります）

必要・・・板取りを行うパネルだけに番号をふり、表示します。

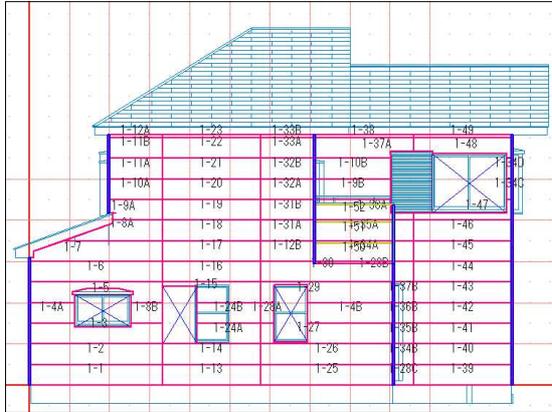
面・壁などの番号取りは <番号付け条件> によって変わります



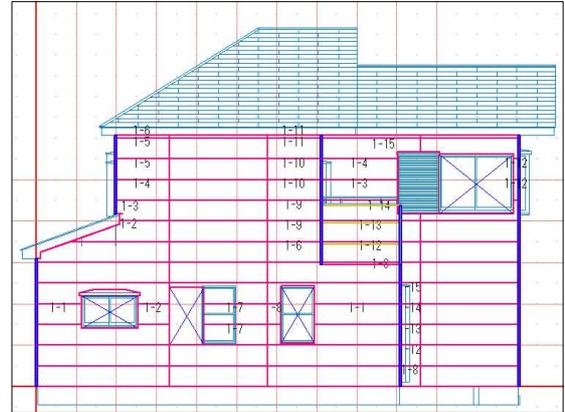
表示方法1・・・全面 表示方法2・・・全部
(取合番号例 13Aと13B)



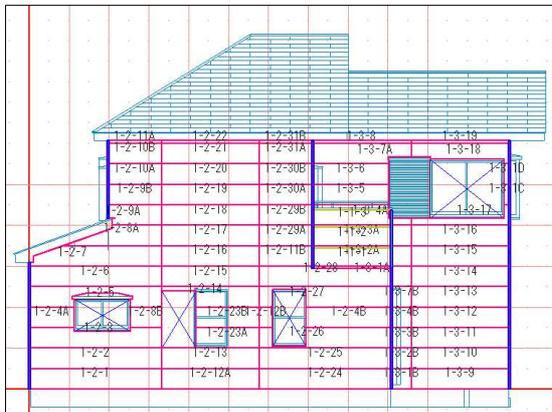
表示方法1・・・全面 表示方法2・・・必要
(取合番号例 13と13)



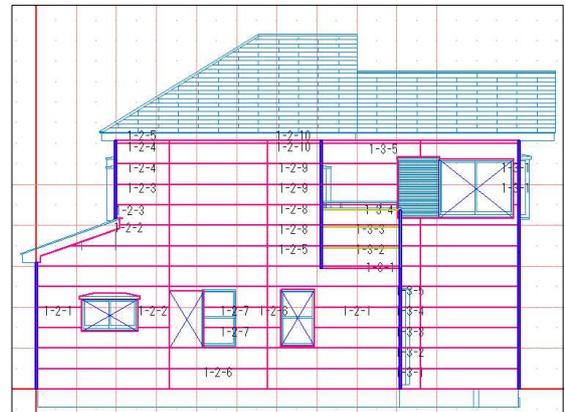
表示方法1・・・各面 表示方法2・・・全部
(取合番号例 1-3Aと1-3B)



表示方法1・・・各面 表示方法2・・・必要
(取合番号例 1-3と1-3)



表示方法1・・・各壁 表示方法2・・・全部
(取合番号例 1-2-4Aと1-2-4B)



表示方法1・・・各壁 表示方法2・・・必要
(取合番号例 1-2-1と1-2-1)

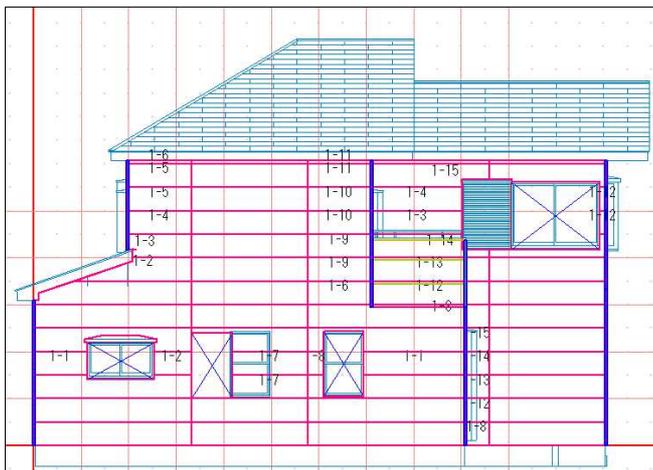
板取り方法

板の取回し方法を設定

最適・・・板の貼付順序を無視して、最小枚数になるように板の取回しを行います

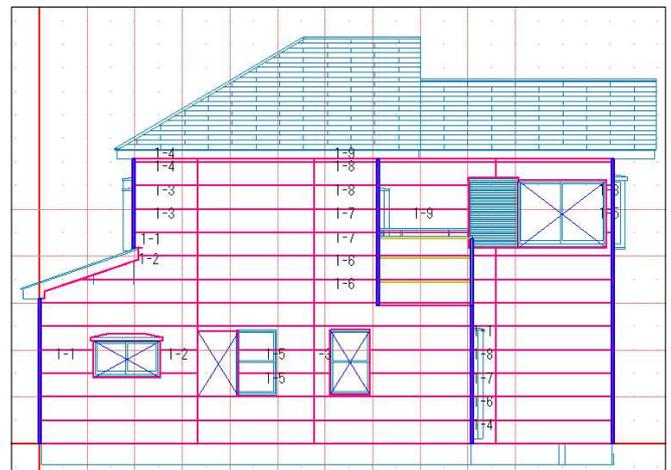
標準・・・板の貼付順序に従い割付。貼付順の若い番号の中から板の取り回しを行います
 (発生した端材の中から取り回しできるものがあれば使用します)

積上げ・・・板の貼付順序に従い割付。(貼付順の1つ前に発生した端材が取り回しできる場合使用します)



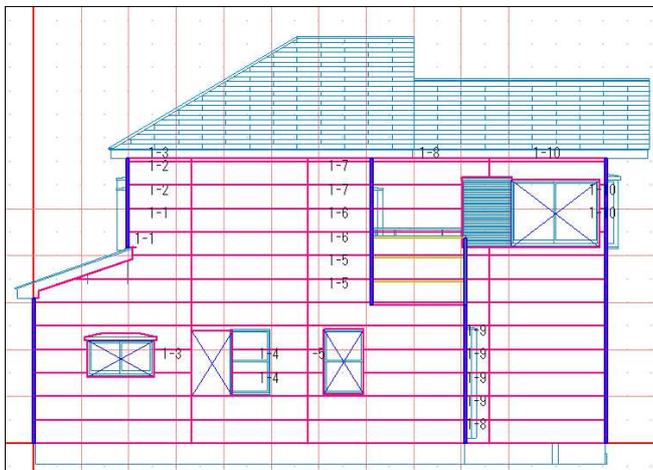
板取り方法 最適

表示方法1・・・各面 表示方法2・・・必要



板取り方法 標準

表示方法1・・・各面 表示方法2・・・必要



板取り方法 積上げ

表示方法1・・・各面 表示方法2・・・必要

※ 上記左記の板取り例示の
番号取り条件は下記のとおりです

番号付け条件

壁 パネル

優先順位

1 面名 昇順 降順

2 壁面積 大きい 小さい

3 パネル枚数 多い 少ない

4 座標 (基点) 左上 右上
 左下 右下
 (優先方向) X方向 Y方向

番号付け条件

壁 パネル

座標 (基点) 左上 右上
 左下 右下
 (優先方向) X方向 Y方向

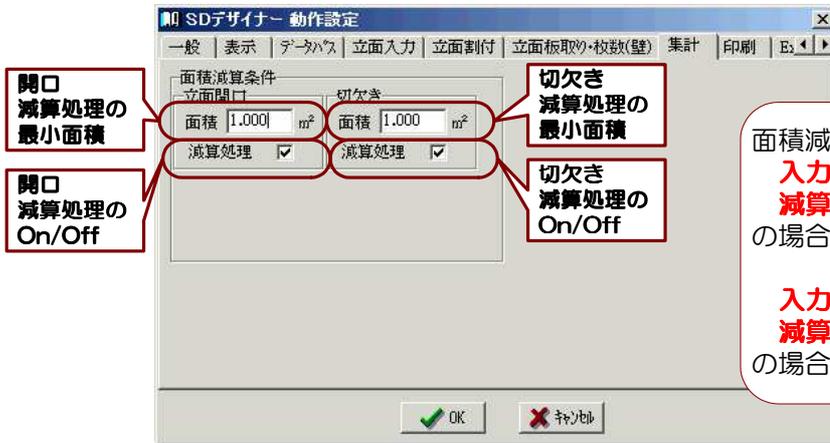
注意！！

板取り方法が同じでも、番号付け条件や表示方法などの条件によって、板取りの結果は大きく異なってきます

4 集計の設定

1. 環境設定画面の【集計】タグを選択（クリック）して表示します。
2. 下記のような**動作設定（集計）**画面が表示されます。

開口と切欠けについての
壁面積からの減算条件を設定します



面積減算条件において

入力開口面積 ≤ 設定開口面積

減算処理 On

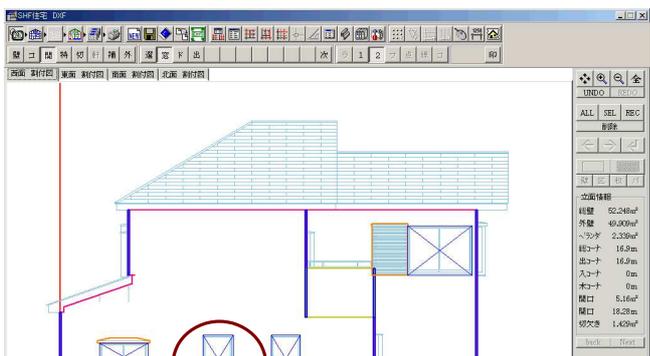
の場合 壁面積から入力開口面積を減算します

入力切欠け面積 ≤ 設定切欠け面積

減算処理 On

の場合 壁面積から入力切欠け面積を減算します

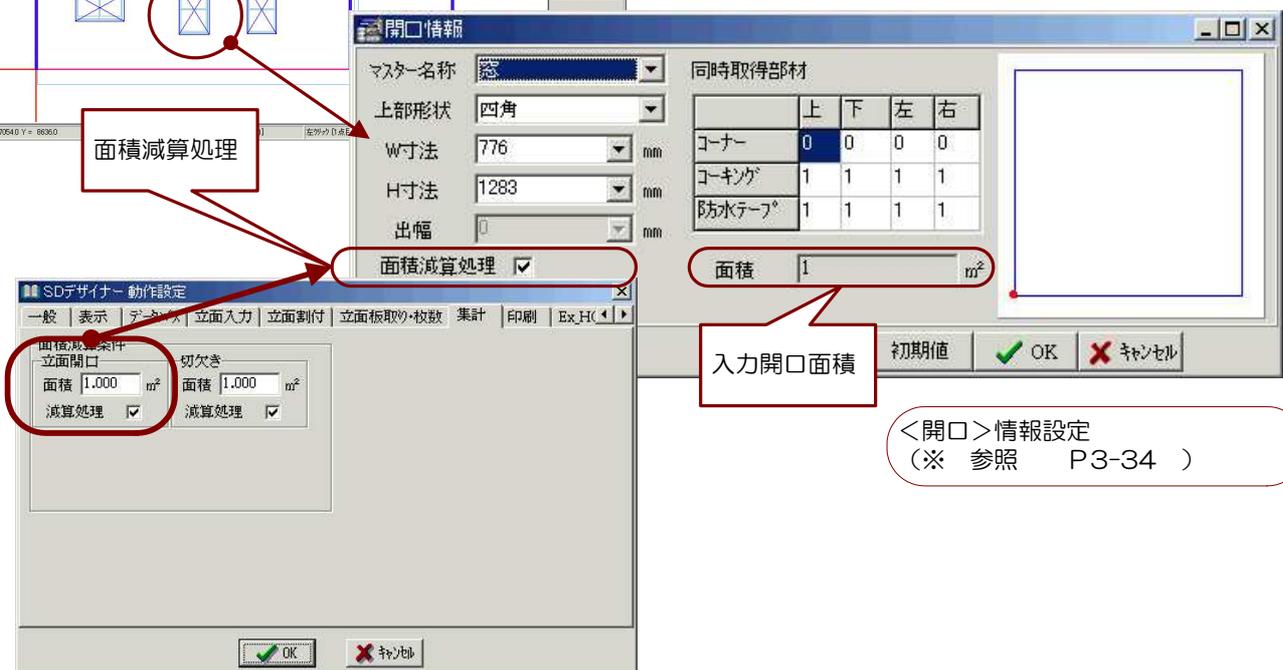
面積減算条件と開口



環境設定【集計】の面積減算条件から
個々の開口情報に表示される面積減算処理の
チェックが設定されます。

減算処理Onの場合

入力開口面積と設定開口面積を比較して
設定開口面積より小さい場合に、**<面積減算
処理>**欄にチェックをいれます。



<開口>情報設定
(※ 参照 P3-34)

1 印刷の設定画面

1. 環境設定画面の【印刷】タブを選択（クリック）して表示します。
2. 下記のような**動作設定（印刷）画面**が表示されます。
 帳票（見積書表紙・内訳書など）の出力設定と立面図の出力設定をおこないます。

作図用紙設定
立面図の出力や用紙の設定

立面印刷設定
立面図印刷の表示設定

帳票CSV印刷設定
帳票のCSV出力の表示設定

帳票用紙設定
帳票の出力用紙サイズの設定

2 立面図の作図用紙設定

<印刷先>

プリンター・・・立面図をプリンタに出力 DXF・・・立面図をDXFファイルに出力

<用紙サイズ>

立面図の作図用紙サイズ設定（B5・A4・A3から選択）

<縮尺>

立面図の縮尺の設定
（プルダウンメニューから選択する方法と直接数値入力する方法があります）

Auto設定の場合

用紙全体に立面図が納まるように（最大の大きさで表示）印刷します

<縮尺統一>

する・・・一番縮尺率の大きい立面図に縮尺を合わせて印刷
しない・・・<縮尺>で設定された縮尺で印刷

<縮尺補正>

縮尺に数値が入った時のみ有効となります
する・・・**設定縮尺率で納まらない場合に**、縮尺の補正を行い、用紙に納まるように印刷（縮尺率が納まる場合はその縮尺で印刷）
しない・・・縮尺補正を行わず設定された縮尺で立面図を印刷

<塗りつぶし>

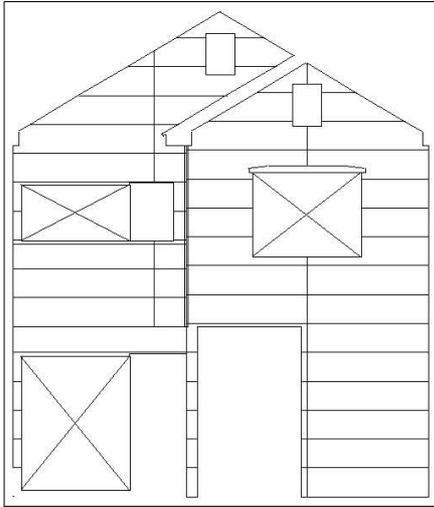
カラー印刷の場合に設定
塗りつぶし印刷の有無を設定

<印刷色>

白黒印刷がカラー印刷を設定（出力プリンタに合わせて設定）

出力例

それぞれの作図設定での出力例を下記に示します。

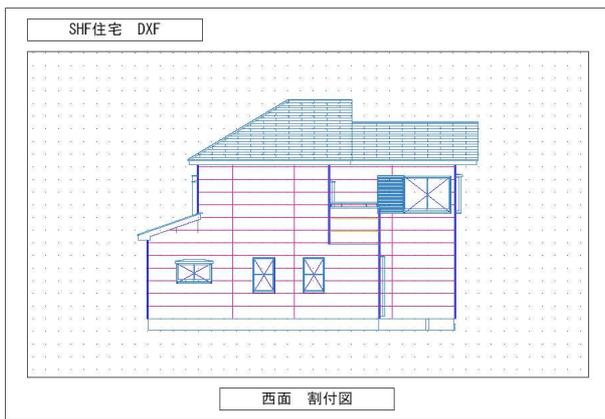


入力されたパネル・開口のデータだけがDXFデータとして出力

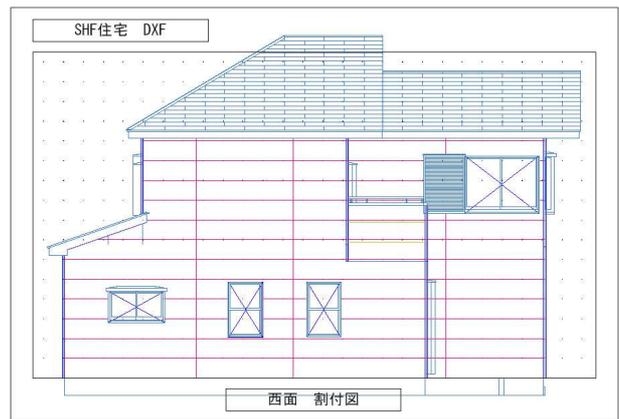
DXF出力の場合の作図用紙設定 他の設定は選択できなくなります



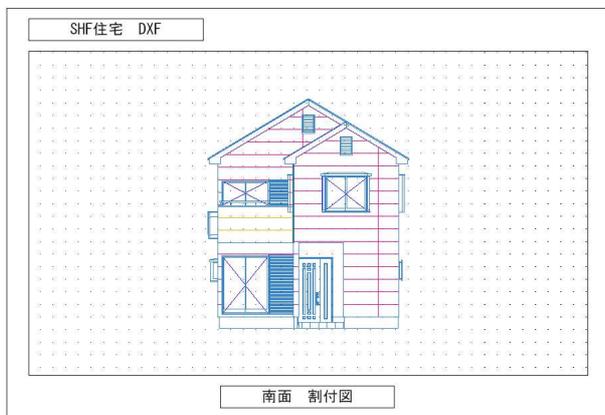
印刷先 DXF



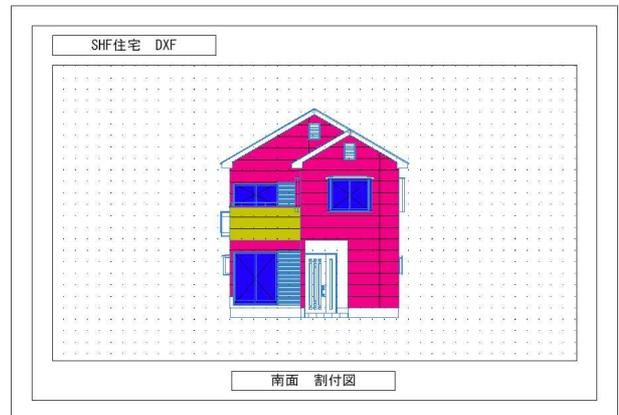
印刷先 プリンター
縮尺 1/50 縮尺補正 する
カラー印刷 塗りつぶし 無



印刷先 プリンター
縮尺 1/50 縮尺補正 しない
カラー印刷 塗りつぶし 無



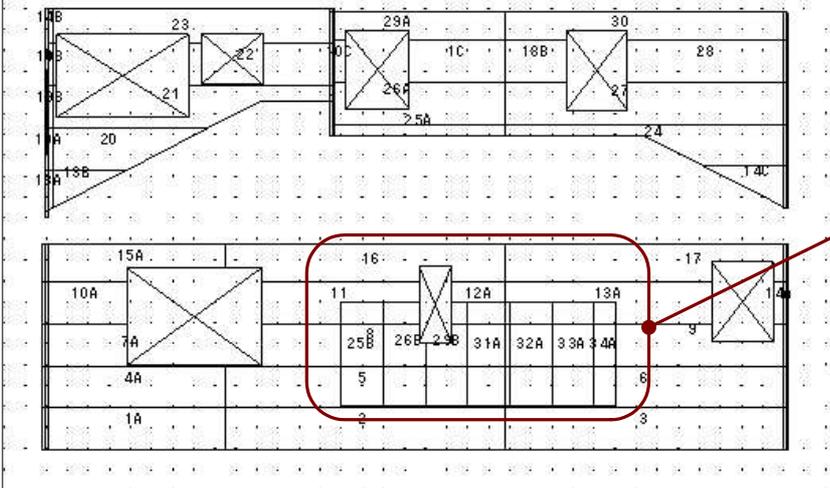
印刷先 プリンター 縮尺 1/Auto
カラー印刷 塗りつぶし 無



印刷先 プリンター 縮尺 1/Auto
カラー印刷 塗りつぶし 有

割付画面での立面図印刷と積算・印刷画面での立面図印刷の違い

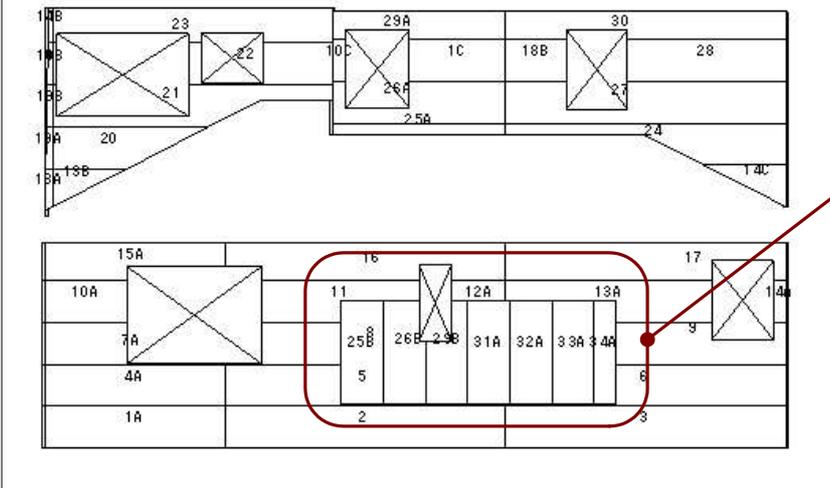
<割付画面の立面図>



割付画面から出力した立面図には
割付パネルがすべて表示されます
(ベランダなど二重にパネルが割付
られている箇所も透過して表示します)

(※参照 P4-39)

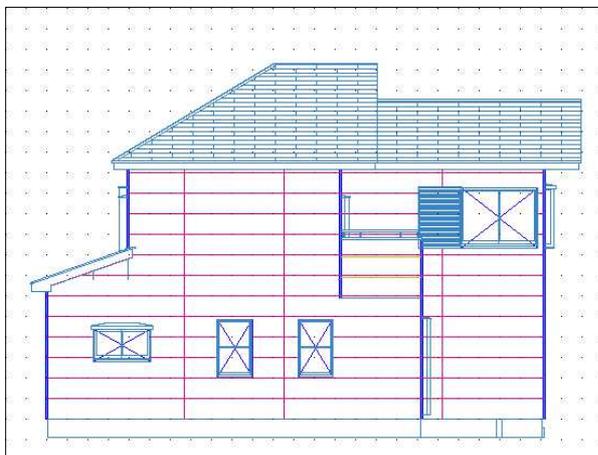
<積算・印刷画面の立面図>



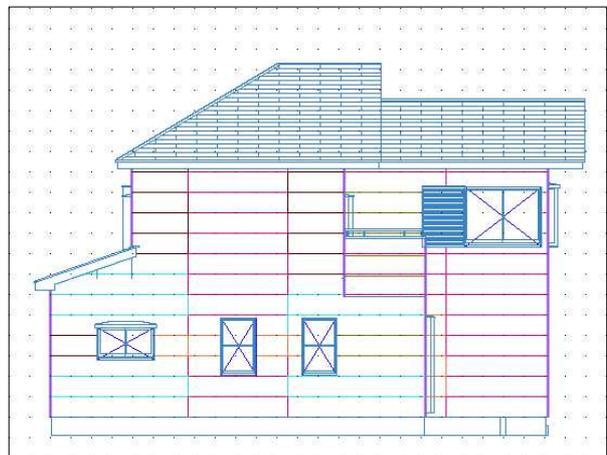
積算・印刷画面から出力した立面図には
外部から見える割付パネルのみが表示
されます

(※参照 P7-10)

割付画面から出力した立面図では、[壁の設定色]のほか[区分の設定色][枚数の設定色]での印刷が可能です。積算・印刷画面からの出力では、[壁の設定色]のみの印刷となります。



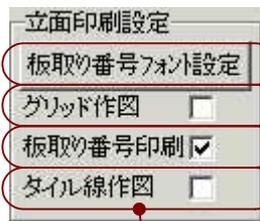
<壁の設定色で印刷>



<区分の設定色で印刷>

3

立面図の印刷詳細設定



<タイル線作図>

タイル線の印刷有無の設定

<板取り番号フォント設定>

板取り番号の色やサイズを設定
 (印刷時の設定なので画面表示のフォントやサイズは変わりません。
 フォント設定は、カラー印刷の場合のみ有効です。)



<グリッド作図>

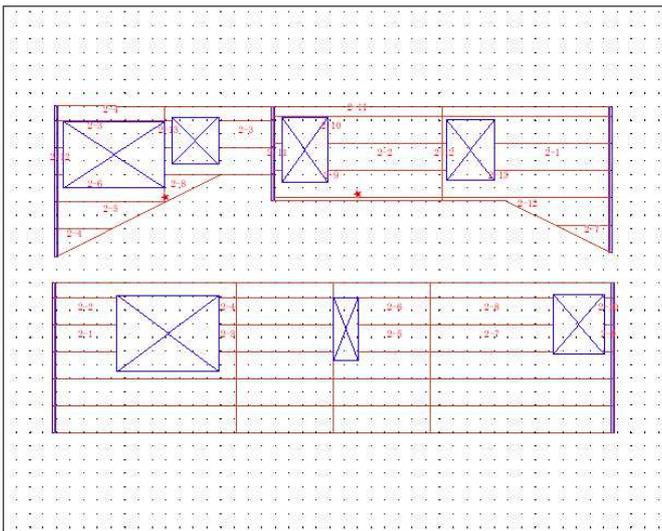
グリッド表示の印刷有無の設定

<板取り番号印刷>

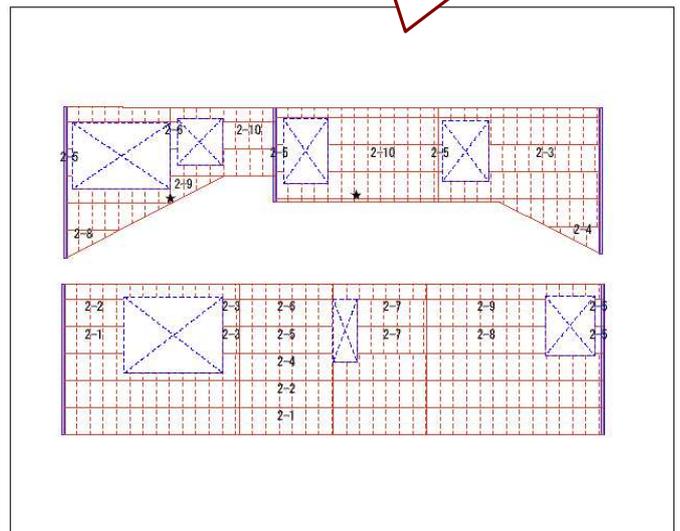
板取り番号の印刷有無の設定

出力例

タイル線作図Onの場合でも
 製品マスターにタイル長の値が
 入っていない場合は表示しません



板取り番号 MS明朝体 赤色
 グリッド作図 On
 板取り番号印刷 On
 タイル線作図 Off



板取り番号 MSゴシック 黒色
 グリッド作図 Off
 板取り番号印刷 On
 タイル線作図 On

4

帳票CSV印刷の設定



<プロジェクトNo.>

CSVファイルのファイル名にプロジェクトNo.付与有無の設定

<物件名>

CSVファイルのファイル名に物件名付与有無の設定

<出力Format>

CSVファイルのファイル内容の設定
 標準・・・出力帳票に設定した印刷項目のみをCSVファイルに出力
 全て・・・帳票の内訳項目全てをCSVファイルに出力

出力例

<プロジェクトNo.>On・<物件名>On

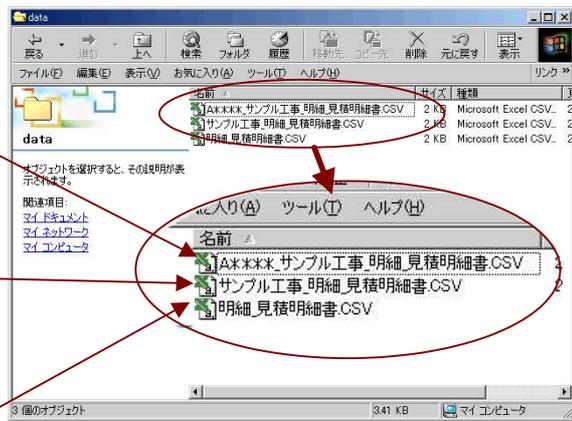
出力ファイル名 例)
 A****_サンプル工事_明細_見積明細書.csv

<プロジェクトNo.>Off・<物件名>On

出力ファイル名 例)
 サンプル工事_明細_見積明細書.csv

<プロジェクトNo.>Off・<物件名>Off

出力ファイル名 例)
 明細_見積明細書.csv



1	サンプル工事									
2	見積明細書									
3	名称	コード	寸法・仕様	数量	単位	単価	金額	適用		
4	外壁サイディング	EY44155	モエンエクセラード16・ミラー	147	枚	¥5,800	¥852,600			
5	同貫出隅	JEY44155	モエンエクセラード16・ミラー	79	本	¥2,600	¥205,400			
6	長尺出隅	JET40121	モエンエクセラード16・角割	7	本	¥2,600	¥18,200			
7	防水シート		遮湿防水シート	2	梱包	¥32,000	¥64,000			
8	土台水切	JF1288E	土台水切 ニチハ	2	梱包	¥19,000	¥38,000			
9	基板	JAS300	ニチハ 裏塗装	2	梱包	¥20,000	¥40,000			
10	ジョイナー	JF1508	16ミリ用ハット型ジョイナー	16	梱包	¥20,000	¥320,000	10本/梱		
11	コーキング	VSL300SE	コーキング	6	梱包	¥15,000	¥90,000	25本/1ケース		
12	残材処理費			1	ケース	¥50,000	¥50,000			
13	運賃及び雑費			1	式	¥100,000	¥100,000			
14	合計金額	¥1,776,200								

1	サンプル工事									
2	見積明細書									
3	名称	メーカー名	コード	寸法・仕様	種別	計算方法	実数量	ロス率	付加値	数
4	外壁サイディング	ニチハ	EY44155	モエンエクセラード16・ミラー	各壁パネル枚数(後取り)	通常	147	0	0	
5	同貫出隅	ニチハ	JEY44155	モエンエクセラード16・ミラー	各出隅コーナパネルm	換算	78.4	0	0	
6	長尺出隅	ニチハ	JET40121	モエンエクセラード16・角割	各本ローナパネルm	換算	6.54	0	0	
7	防水シート			遮湿防水シート	総壁面積		1.76	0	0	
8	土台水切			土台水切 ニチハ	各水切m		3.07	1.24	0	
9	基板			ニチハ 裏塗装	各基板m	換算/梱包	1.26	0	0	
10	ジョイナー			JF1508 16ミリ用ハット型ジョイナー	各目地m	換算/梱包	15.33	0	0	
11	コーキング			VSL300SE コーキング	各コーキングm	換算/梱包	5.23	0	0	
12	残材処理費				指定なし	通常	0	0	1	
13	運賃及び雑費				指定なし	通常	0	0	1	
14	合計金額	¥1,776,200								

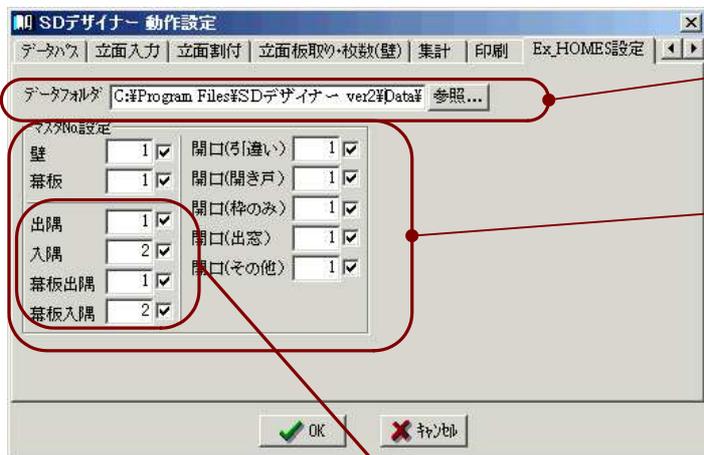
<出力Format> 標準

帳票の印刷
 (※ 参照 P7-6~P7-7)

<出力Format> 全て

1 Ex_HOMESの設定画面

1. 環境設定画面の【Ex_HOMES設定】タグを選択（クリック）して表示します。
2. 下記のような**動作設定（Ex_HOMESの設定）**画面が表示されます。
建材流通店向け積算CADソフト『Ex_HOMES』で出力したデータを読み込む為の設定を行います。



<データフォルダ>

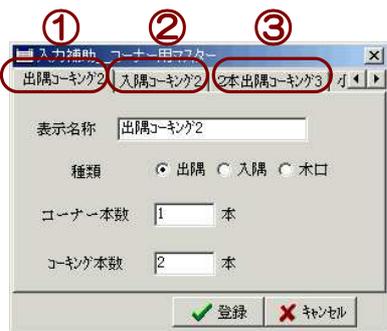
Ex_HOMESのデータを読み込むフォルダの設定

<マスタNoの設定>

Ex_HOMESの壁・出隅コーナー・開口などの部位のSDデザイナーの部位への対応設定
それぞれの部位についてデータ読み込み有無を設定（チェックを入れた部位のデータ読み込み）

Ex_HOMESデータ利用の入力

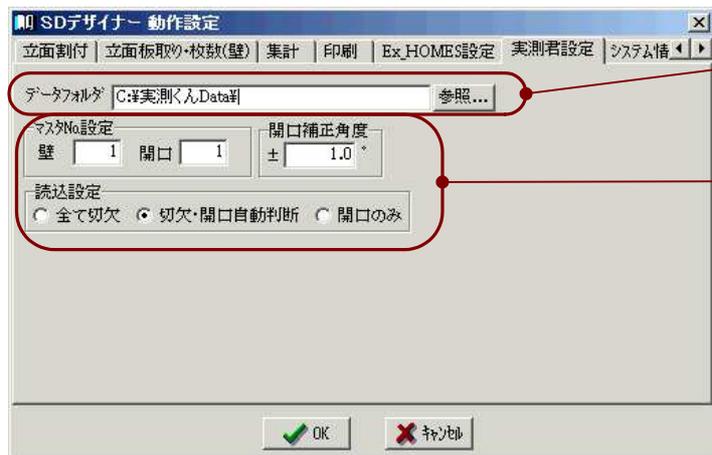
(※ 参照 P3-45)



例えば、
コーナーについてであれば
Ex_HOMESのデータとして出力されている
出隅・入隅・幕板出隅・幕板入隅のそれぞれに対して
SDデザイナーで対応するコーナーを、そのコーナー
用マスターで設定した順番のナンバーで入力します。

2 実測くんの設定画面

1. 環境設定画面の【実測君設定】タグを選択（クリック）して表示します。
2. 下記のような**動作設定（実測くんの設定）**画面が表示されます。
デジカメ距離測定&見積支援ソフト『実測くん』で出力したデータを読み込む為の設定を行います。



<データフォルダ>

実測くんのデータを読み込むフォルダの設定

<マスタNoの設定>

実測くんの壁・開口の部位のSDデザイナーの
部位への対応設定
開口の補正角度、開口・切欠の読み込み設定

実測くんデータ利用の入力

(※ 参照 P3-46)

開口補正角度・読込設定

マスクNo設定
壁 1 開口 1 開口補正角度 ± 1.0°

読込設定
 全て切欠
 切欠・開口自動判断
 開口のみ

開口補正角度



<読込設定>

『実測くん』データの減算部分に対する読込設定

全て切欠・・・すべての減算部分を切欠として読込む

切欠・開口自動判断・・・下記判断で判定して読込む

『実測くん』データの減算部分に対する開口と切欠の判断

開口・・・頂点数4・各角度90°の多角形の減算部分

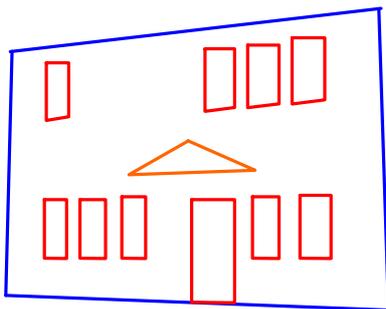
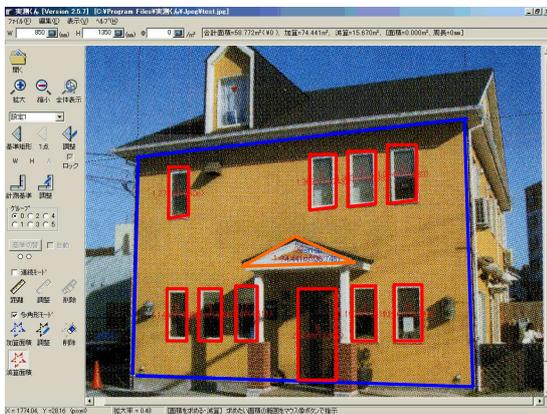
切欠・・・上記開口以外の多角形の減算部分

開口のみ・・・切欠部を除き、開口だけを減算部分として読込む

<開口補正角度>

減算部分に対する読込設定が切欠・開口自動判断の際の各頂点角度に対する補正角度の設定

『実測くん』データの読込例

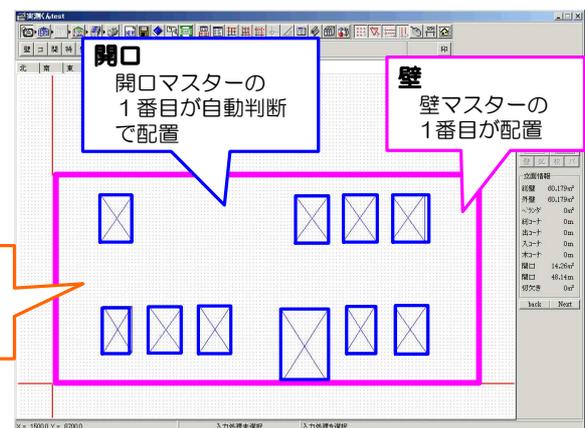
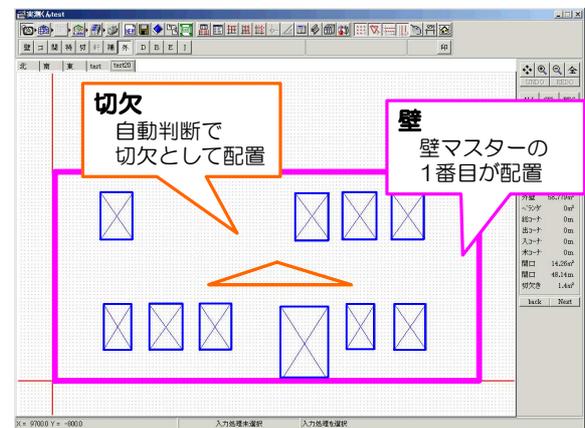
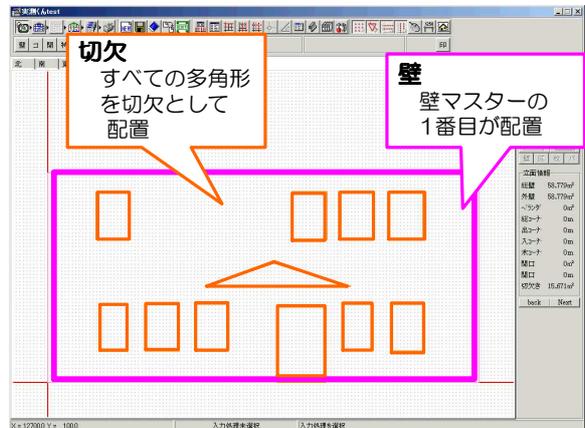


全て切欠
の場合

切欠・開口
自動判断の場合

開口のみ
の場合

切欠と自動判断
された多角形は
除かれます



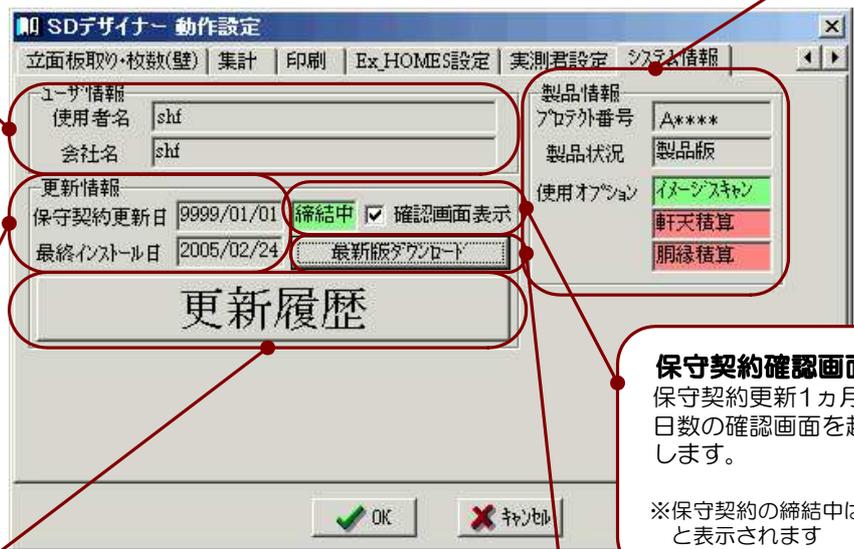
3 システム情報の表示画面

1. 環境設定画面の【システム情報】タグを選択（クリック）して表示します。
2. 下記のような情報表示画面が表示されます。

製品情報
 プロダクト番号・製品状況（製品版・貸出版）・使用オプション設定が表示されます。 ※ 緑色の表示が利用可能なオプションです

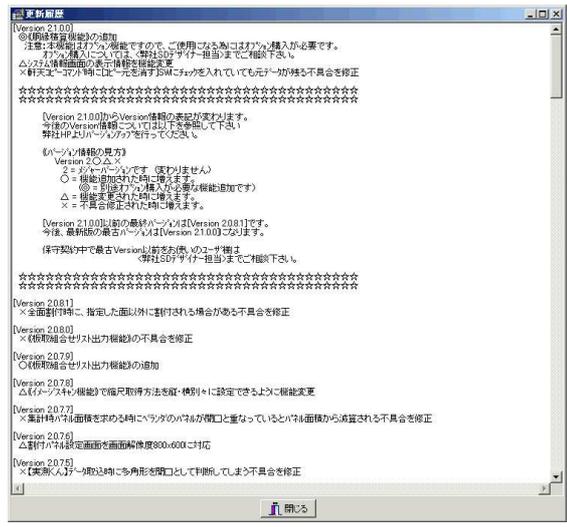
ユーザー情報
 登録されている使用者名
 会社名が表示されます。

更新情報
 保守契約更新日
 最終インストール日
 が表示されます。



保守契約確認画面表示
 保守契約更新1ヵ月前から、残り
 日数の確認画面を起動時に表示
 します。
 ※保守契約の締結中は緑色で『締結中』
 と表示されます

更新履歴
 下記のようなシステムの更新履歴が表示されます。



最新版ダウンロード
 当社ホームページのダウンロード画面が表示されます。
 最新版のプログラムのダウンロードにご利用ください。
 (インターネットに接続していない場合はご利用出来ません)



注意！！
 保守期限を越えたVerのプログラムのインストール
 を行なうことは出来ません。
 保守期限が切れている場合、ご注意ください。

<お願い>
 当社ホームページよりダウンロードする場合、
 予めSHFWEB会員として登録が必要です。
 お手数ですが会員登録の上ダウンロード作業を
 行なって頂けますようお願いいたします。

SDデザイナー Operation Manual

製作発行 株式会社 SHF

〒620-0017 京都府福知山市字猪崎小字古黒353番

Tel 0773-23-8117 Fax 0773-23-7730

<http://www.shfweb.com/> E-mail shf_sd2@shfweb.com

本製品のプログラム及びマニュアルの複写・転載を禁止します。
本製品の内容は予告無しに変更することがあります。
いかなる原因であっても、データの消滅、破壊などについて弊社は責任を負いません。
予めご了承ください。
本製品の著作権は株式会社システムハウス福知山に属します。

